ベーシックレベル英語　前編

この講座は，高校英文法の範囲をまんべんなく学んでいくことをねらいとしたものです。基本的な問題を中心に，英文法をはじめから学習できるレベルとなっております。一方で，高校英文法で扱う範囲をまんべんなく説明していきますので，英文法の総合書的な役割も兼ねております。

受験学年で英語につまずいて一から学び直したい人や，高校に入ったばかりの人から社会人まで，あらゆる人の英文法のやり直しに適した内容となっております。そして，以下の心構えでのぞんでください。

英語の文とは，単に単語を並べたものではなくて，一定のルール（＝英文法）の基に成り立っている世界であること，そして，何となくではなく，そのルールを意識して読解や作文，会話に励むことが，正確な英語力を養う最短の道であること。そのことを理解した上で本講座の復習に励んでください。

英語学習の最初にもっていただきたい心構えとして，以下を挙げます。

①　急に英語ができるようにはならないこと
　　⇒ 最初の３か月はがんばること
②　授業を受動的に受けないこと
　　⇒ 復習を習慣にすること
③　英語は一度で身に付かないこと
　　⇒ 復習で，何度も反復すること

壁にぶつかる度に，上記の三点を思い出して，前に進んでください。英語を通して，一人でも多くの人に良い世界が開けることを願っております。

肘井　学

目　次

第０講　英語学習のコツ

第１講　文の種類
Chapter 1　肯定文と否定文
Chapter 2　命令文
Chapter 3　疑問文①
Yes/No 疑問文・疑問詞疑問文
Chapter 4　疑問文②
否定疑問文・付加疑問文
Chapter 5　疑問文③ 間接疑問文
Chapter 6　感嘆文

第２講　文型と文の要素①
Chapter 1　文型の基本
Chapter 2　be 動詞と一般動詞
Chapter 3　一般動詞の変化①　規則動詞
Chapter 4　一般動詞の変化②　不規則動詞
Chapter 5　第Ⅰ文型 (SVM)
Chapter 6　There is [are] 構文

第３講　文型と文の要素②
Chapter 1　第Ⅱ文型 (SVC)
Chapter 2　第Ⅲ文型 (SVO)
Chapter 3　第Ⅳ文型 (SVO_1O_2)
Chapter 4　第Ⅳ文型から第Ⅲ文型への書き換え
Chapter 5　第Ⅴ文型 (SVOC)

第４講　時制①
Chapter 1　現在形
Chapter 2　進行形
Chapter 3　時・条件の副詞節
Chapter 4　過去形
Chapter 5　未来表現
Chapter 6　時制の一致

第５講　時制②
Chapter 1　完了形の基本 /
完了形① 継続用法
Chapter 2　完了形② 経験用法
Chapter 3　完了形③ 完了・結果用法
Chapter 4　過去完了形：
had p.p.
Chapter 5　未来完了形：
will have p.p.
Chapter 6　完了進行形：
have been ～ ing

第６講　助動詞①
Chapter 1　基本助動詞①
Chapter 2　基本助動詞②
Chapter 3　助動詞の疑問文の会話表現
Chapter 4　will
Chapter 5　need / dare
Chapter 6　助動詞の代用表現①
Chapter 7　助動詞の代用表現②

第７講　助動詞②

Chapter 1　助動詞 + have p.p. ① 過去の推量
Chapter 2　助動詞 + have p.p. ② 過去の後悔
Chapter 3　can・would の慣用表現
Chapter 4　may・might の慣用表現
Chapter 5　提案・命令・要求の that 節
Chapter 6　必要性の should と 感情・主観的判断の should

第８講　受動態

Chapter 1　受動態の作り方
Chapter 2　いろいろな受動態① 助動詞・完了形・進行形
Chapter 3　いろいろな受動態② 第Ⅳ文型・第Ⅴ文型
Chapter 4　いろいろな受動態③ 群動詞
Chapter 5　受動態 × 熟語
Chapter 6　They say that …の受動態

第９講　不定詞①

Chapter 1　不定詞の基本と三用法
Chapter 2　名詞的用法① 名詞的用法の基本
Chapter 3　名詞的用法② 形式主語と形式目的語
Chapter 4　形容詞的用法
Chapter 5　副詞的用法① 副詞的用法の基本
Chapter 6　副詞的用法② 結果
Chapter 7　副詞的用法③ in order to *do*

第 10 講　不定詞②

Chapter 1　不定詞の主語
Chapter 2　不定詞の否定・受動態・進行形
Chapter 3　完了不定詞
Chapter 4　seem to *do*　⇔ It seems … の書き換え
Chapter 5　be to 不定詞
Chapter 6　疑問詞 + to 不定詞

第 11 講　不定詞③

Chapter 1　不定詞を使った表現① 程度を表す表現
Chapter 2　不定詞を使った表現② All S have to do is to *do* …
Chapter 3　不定詞を使った表現③ 独立不定詞
Chapter 4　SVO + *do* を取る動詞
Chapter 5　SVO + to *do* を取る動詞
Chapter 6　代不定詞／使役・知覚動詞の受け身

第 12 講　動名詞

Chapter 1　動名詞の基本
Chapter 2　動名詞の主語・否定
Chapter 3　動名詞の完了形・受動態
Chapter 4　不定詞・動名詞の両方を O に取る動詞
Chapter 5　不定詞を O に取る動詞
Chapter 6　動名詞を O に取る動詞
Chapter 7　動名詞を使った表現①
Chapter 8　動名詞を使った表現②

第 13 講　分詞①

Chapter 1　分詞の種類

Chapter 2　分詞の役割①　名詞修飾

Chapter 3　分詞の役割②　補語になる

Chapter 4　感情動詞の分詞

Chapter 5　付帯状況の with

第 14 講　分詞②

Chapter 1　分詞構文の基本

Chapter 2　いろいろな分詞構文①
受動態・主語を示す場合

Chapter 3　いろいろな分詞構文②
分詞構文の否定・完了形

Chapter 4　分詞構文を使った慣用表現

第０講　　授業の受け方と英語の勉強法

この講座を受けてくださる方々の中には，中学生の方から社会人の方までさまざまな事情の下，英語学習をスタートする方々がいらっしゃるでしょう。どんな状況であろうと，英語初学者に必ず伝えたいメッセージは，

「英語はすぐにはできるようにならない」

これが最初のメッセージとなります。
ちょっとやったら何とかなるんじゃないか，1か月やったけど，何だか…
こういう思いを抱かないためにも，最初にお伝えしておきます。

【授業】
　集中力が続くように，1チャプター約10分の構成となっております。一気に全チャプターを見るのは大変ですので，チャプターごとに，飲み物を飲んでリフレッシュしたり，椅子から立って少し体を動かしたりして，次のチャプターに進むことをお勧めいたします。

【復習】
　英語学習のはじめのうちは，復習が非常に大切です。1チャプターごとに，テキストを頭から見直して，問題を解き直す。そして，知識が完璧になるまで何度も書いて覚えたり，唱えて覚えたりを繰り返してください。

【復習テスト】
　1チャプターの復習が終わるごとに，必ずテストで知識を確認してから先に進んでください。知識の定着には，単純に接触回数がものを言います。理想は，①授業⇒②復習⇒③復習テストの3回の接点です。

第１講　文の種類

Chapter 1　肯定文と否定文
Chapter 2　命令文
Chapter 3　疑問文① Yes/No 疑問文・疑問詞疑問文
Chapter 4　疑問文② 否定疑問文・付加疑問文
Chapter 5　疑問文③ 間接疑問文
Chapter 6　感嘆文

Chapter 1　肯定文と否定文

文の種類

肯定文	I am a student.	私は学生だ。
否定文	I am **not** a student.	私は学生ではない。
命令文	**Be** quiet.	静かにしなさい。
疑問文	Are you a student?	あなたは学生ですか？
感嘆文	What a beautiful scene this is!	これはなんて美しい景色だ！

否定文の種類

否定文には，be 動詞の否定文，一般動詞の否定文，助動詞がついた場合の否定文の大きく三種類がある。

(1) be 動詞の否定文：be 動詞のうしろに **not** を付ける（＊発音は強勢）

現在形の場合

· I **am not** a student.	私は学生ではない。
· You **aren't** a student.	あなたは学生ではない。
· He **isn't** a student.	彼は学生ではない。

過去形の場合

· I **wasn't** busy yesterday.	私は昨日忙しくなかった。
· You **weren't** busy yesterday.	あなたは昨日忙しくなかった。
· He **wasn't** busy yesterday.	彼は昨日忙しくなかった。

(2) 一般動詞の否定文：動詞の原形の前に，**don't [doesn't], didn't** を付ける

· I like soccer.	⇒ I **don't** like soccer.
· He likes soccer.	⇒ He **doesn't** like soccer.
· I liked soccer.	⇒ I **didn't** like soccer.

(3) 助動詞の否定文：助動詞のうしろに **not** を付ける

· He may be a student.	⇒ He **may not** be a student.
· You can play tennis.	⇒ You **can't** play tennis.

■確認問題

＊次の英文を，＿＿に適する語(句)を入れて，それぞれ否定文に変えなさい。

1. I can do it myself.

　⇒ I ＿＿＿＿＿＿＿＿ it myself.

2. I was a student at this school.

　⇒ I ＿＿＿＿＿＿＿＿ a student at this school.

3. He liked melons.

　⇒ He ＿＿＿＿＿＿＿＿ melons.

4. He likes melons.

　⇒ He ＿＿＿＿＿＿＿＿ melons.

復習テスト　第１講　Chapter 1

＊次の英文を否定文に変えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He is a teacher.
   ⇒ He (　　　) a teacher.
   ① don’t　② doesn’t　③ isn’t　④ wasn’t

2. She plays tennis.
   ⇒ She (　　　) tennis.
   ① doesn’t play　② can’t play　③ didn’t play　④ couldn’t play

3. I can speak English.
   ⇒ I (　　　) English.
   ① don’t speak　② can’t speak　③ didn’t speak　④ doesn’t speak

NOTE

Chapter 2　命令文

● 命令文：**動詞の原形**で文を始める

· **Be** quiet!	静かにしなさい！
· **Stop** there!	そこで止まりなさい！

● 否定の命令文：**Don't** V 原形 ～ .：～してはいけない

· **Don't** be so noisy.	そんなにうるさくしてはいけない。
· **Don't** stop there.	そこで止まってはいけない。
· **Never** mind.	気にするなよ。

● Let's の命令文：**Let's** V 原形 ～ .：～しよう

· **Let's** study English together.	一緒に英語を勉強しよう。
· **Let's** not talk about it.	そのことを話すのはやめよう。

■確認問題

＊_____に適する語(句)を入れて，英文を完成させなさい。

1. 教室では静かにしなさい。

_______________ quiet in the classroom.

2. 教室で騒いではいけない。

_______________ noisy in the classroom.

3. 一緒に歌を歌おう。

_______________ sing a song together.

復習テスト　第１講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) quiet here.　ここでは静かにしなさい。
   ① Do　② Please　③ Be　④ Let’s be

2. (　　　) eat this cake.　このケーキを食べてはいけない。
   ① Let’s　② Doesn’t　③ Please　④ Don’t

3. (　　　) to the movies.　映画を見に行こう。
   ① Don’t go　② Let’s go　③ Never go　④ Please go

Chapter 3　疑問文①　Yes/No 疑問文・疑問詞疑問文

疑問文の種類

Yes / No 疑問文	Is he a student?	⇒	Yes / No で答える
疑問詞の疑問文	What do you want?	⇒	Yes / No で答えない

● Yes / No 疑問文

(1) be 動詞の疑問文：S（主語）と be 動詞を倒置させる

· She [He] is a student.	⇒	**Is she** [**he**] a student?
· You are a student.	⇒	**Are you** a student?
· She [He] was a student.	⇒	**Was she** [**he**] a student?
· You were a student.	⇒	**Were you** a student?

(2) 一般動詞の疑問文：**do [does], did** を文頭に置く倒置

· She [He] plays tennis.	⇒	**Does she** [**he**] play tennis?
· You play tennis.	⇒	**Do you** play tennis?
· She [He] played tennis.	⇒	**Did she** [**he**] play tennis?
· You played tennis.	⇒	**Did you** play tennis?

(3) 助動詞の疑問文：助動詞を文頭に置く倒置

· You can play tennis.	⇒	**Can you** play tennis?
· I should go.	⇒	**Should I** go?

● 疑問詞の疑問文

▶ **5W (what, who, when, where, why) / 1H (how)** + 倒置

· **What** do you want?	何がほしいですか？
· **Who** are you?	あなたは誰ですか？
· **When** will the concert begin?	コンサートはいつ始まりますか？
· **Where** are you?	あなたはどこにいますか？
· **Why** were you absent?	なぜあなたは休みましたか？
· **How** are you?	気分はいかがですか？

■確認問題

＊_____に適する語(句)を入れて，英文を完成させなさい。

1. A: ______________ you like the place?
   B: No, I don’t.

2. A: ______________ do you do on weekends?
   B: I usually play soccer with my friends.

3. A: ______________ broke the window?
   B: Tom did.

4. A: ______________ was Mary so angry?
   B: Because her brother told a lie.

復習テスト　第１講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. A: (　　　) you like cats?
   B: Yes, I do.
   ① Do　　② Does　　③ Did　　④ What

2. A: (　　　) do you do on Sunday?
   B: I often play basketball.
   ① Where　　② When　　③ What　　④ How

3. A: (　　　) does Mary live?
   B: She lives in Tokyo.
   ① Who　　② Where　　③ When　　④ Why

NOTE

Chapter 4　疑問文②　否定疑問文・付加疑問文

● 否定疑問文

否定疑問文とは，下記の例文のような**否定形の疑問文**のこと。

・**Don't** you like him?　あなたは彼が好きではないの？

・**Aren't** you a student of this school?　あなたはこの学校の生徒ではないの？

☆ 否定疑問文への答え方

Don't you like him?（あなたは彼が好きではないの？）という否定疑問に対し，Don't に惑わされずに，動詞に対して，Yes, No と答える点に注意。
Do you like でも Don't you like でも，好きなら "Yes"，好きでないなら "No" と答える。

● 付加疑問文

・You don't like melons, **do you**?　あなたはメロン好きではないよね。

・It's very cold today, **isn't it**?　今日とても寒いよね。

「〜だよね」と相手に確認や同意を求める場合に，文のうしろに置く短縮形の疑問文を**付加疑問文**という。**前の文が否定文なら肯定の疑問文，前の文が肯定文なら否定の疑問文**を置く。また，Let's 〜の文には shall we?，命令文には，will you? を置く。

■確認問題

＊＿＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. A: Didn't you go there?　そこに行かなかったの？
   B: ＿＿＿＿＿＿＿＿ , I didn't.　行かなかったよ。

2. A: Can't you speak English?　英語を話せないの？
   B: ＿＿＿＿＿＿＿＿ , I can.　話せるよ。

＊＿＿＿に適する語(句)を入れて，付加疑問文を完成させなさい。

3. They like fruits, ＿＿＿＿＿＿ ?　彼らはフルーツが好きなんだよね。

4. You can't run more faster, ＿＿＿＿＿＿ ?　君はもっと速くは走れないんだよね。

復習テスト　第１講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. A: Didn’t he break the window?　彼は窓を割らなかったの？
   B: (　　　).　割らなかったよ。
   ① Yes, he did　② Yes, he didn’t　③ No, he did　④ No, he didn’t

2. You can play the piano, (　　　)?　あなたはピアノが弾けるよね。
   ① can you　② can’t you　③ do you　④ don’t you

3. She doesn’t like fish, (　　　)?　彼女は魚が好きではないよね。
   ① does it　② doesn’t it　③ does she　④ doesn’t she

Chapter 5　疑問文③　間接疑問文

● 間接疑問文

What do you want?（あなたは何が欲しいですか？）という疑問詞疑問文が，下記の例文のように文に組み込まれ，目的語などの働きをする文を間接疑問文という。

・I don’t know **what you want.**　　私はあなたが何を欲しいかわからない。

☆ 間接疑問文の特徴

① 名詞節（名詞の働きをするSVのカタマリ）を作り，文の目的語などになる。

・I (S) don’t know (V) what you want (O).

② 疑問文と違い，倒置は起きずに普通の語順になる。

・What do you want?　⇒ 倒置

・I don’t know **what you want.**　⇒ 倒置せず

■確認問題

＊次の英文を，書き出しに続けて間接疑問文に変えなさい。

1. When did you leave for Tokyo?

　⇒ I want to know ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ .

2. What is your hobby?

　⇒ I’m interested in ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ .

3. Where are you from?

　⇒ I don’t know ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ .

復習テスト　第１講　Chapter 5

＊次の英文を間接疑問文に変えるとき，空所に入れる語(句)の適切な語順をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. What are you thinking?

⇒ I’m interested in ______ ______ ______ ______.

ア what　　イ are

ウ you　　エ thinking

① ア→イ→ウ→エ　　② ア→ウ→イ→エ

③ ウ→イ→ア→エ　　④ ウ→イ→エ→ア

2. When is his birthday?

⇒ I don’t know ______ ______ ______ ______.

ア is　　イ birthday

ウ his　　エ when

① ウ→イ→ア→エ　　② ア→エ→ウ→イ

③ エ→ア→ウ→イ　　④ エ→ウ→イ→ア

3. Where is Linda from?

⇒ I know ______ ______ ______ ______.

ア is　　イ Linda

ウ where　　エ from

① ウ→イ→ア→エ　　② ウ→ア→イ→エ

③ イ→ア→ウ→エ　　④ イ→ア→エ→ウ

Chapter 6　感嘆文

● How で始まる感嘆文：**How** + 形容詞 / 副詞 + SV!　なんて～だろう

· **How kind** he is!	彼はなんて優しいの。
· **How fast** you run!	君はなんて足が速いんだ。

● What で始まる感嘆文：**What** + **(a)** + 形容詞 + 名詞 + SV!　なんて～だろう

· **What a beautiful scene** this is!	これはなんて美しい景色なんだ。
· **What wonderful hair** she has!	彼女はなんて素敵な髪なんだ。

☆ **What** do you want? と **What** time is it now?

⇒ What の品詞は，名詞と形容詞がある。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (How / What) pretty this flower is!

2. (How / What) a beautiful scene this is!

3. (How / What) beautiful flowers they are!

復習テスト　第１講　Chapter 6

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) cool she is!
   ① What　② How　③ Very　④ Much

2. (　　　) a beautiful song this is!
   ① Very　② What　③ So　④ How

3. (　　　) nice pictures they are!
   ① How　② Too　③ Really　④ What

第２講　　文型と文の要素①

Chapter 1　文型の基本
Chapter 2　be 動詞と一般動詞
Chapter 3　一般動詞の変化①　規則動詞
Chapter 4　一般動詞の変化②　不規則動詞
Chapter 5　第Ⅰ文型（SVM）
Chapter 6　There is [are] 構文

Chapter 1　文型の基本

5 種類の文型

第Ⅰ文型	**SV(M)**	She (S) lives (V) in Sapporo (M).	彼女は札幌に住んでいる。
第Ⅱ文型	**SVC**	She (S) is (V) a doctor (C).	彼女は医者だ。
第Ⅲ文型	**SVO**	She (S) has (V) a car (O).	彼女は車を 1 台持っている。
第Ⅳ文型	**SVO_1O_2**	She (S) gave (V) me (O_1) a car (O_2).	彼女は私に車をくれた。
第Ⅴ文型	**SVOC**	She (S) made (V) me (O) happy (C).	彼女は私を幸せにしてくれた。

文の要素

S：**主語**（～は・～が）

・**She** is a doctor.

V：**動詞**（～である・～する）

・She **is** a doctor.

・She **plays** tennis very well.

C：**補語**（S・O の説明）

・She is **a doctor**.

・She made me **happy**.

O：**目的語**（～を・～に）

・She has **a car**.

M：**修飾語**（動詞や名詞などを修飾）⇒ 前置詞 + 名詞のカタマリなど

・She studied English **in her room**.

☆ 次の文は，なぜ下線部のように解釈が分かれるか？

· He got to the station.	彼は駅に到着した。
· He got angry.	彼は怒った。
· He got a car.	彼は車を手に入れた。

get

第Ⅰ文型 ＝ 到着する
第Ⅱ文型 ＝ ～になる
第Ⅲ文型 ＝ ～を手にする

☆ 第Ⅱ文型 (SVC) と第Ⅲ文型 (SVO) の区別

SVX
→ **S ≠ X**　ならＸは，Ｏ（目的語）
→ **S ＝ X**　ならＸは，Ｃ（補語）

☆文型を学ぶ理由：　文型によって，動詞の意味が変わるから！！

■確認問題

＊次の英文の文の要素を指摘し，日本語を完成させなさい。また，文型を答えなさい。

1. ① These trees grow tall.　　これらの木は，高く ＿＿＿＿＿＿ 。

第［　　］文型

② Japanese grow rice.　　日本人は，米を ＿＿＿＿＿＿ 。

第［　　］文型

grow	第Ⅱ文型 ＝ 〜になる 第Ⅲ文型 ＝ 〜を育てる

2. ① He became a doctor.　　彼は医者に ＿＿＿＿＿＿ 。

第［　　］文型

② Your hat becomes you.　　君の帽子は君に ＿＿＿＿＿＿ 。

第［　　］文型

become	第Ⅱ文型 ＝ 〜になる 第Ⅲ文型 ＝ 〜に似合う

復習テスト　第２講　Chapter 1

＊次の英文の文型をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The man became rich.
① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

2. She grows plants.
① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

3. I got to the park.
① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

NOTE

Chapter 2　be 動詞と一般動詞

動詞の種類

動詞は，大きく **be 動詞**と**一般動詞**の二つに分けることができる。 be 動詞とは，be が原形で，主語によって am，are，is の三種類の形をとる。一般動詞は，be 動詞以外の動詞である。

● be 動詞

単独で動詞として使う用法と，～ ing（現在分詞）/ p.p.（過去分詞）と結びついて，進行形や受動態を作る用法がある。

(1) be 動詞の用法①：単独で動詞となる

be 動詞の変化

主語	be 動詞
I	**am**
You・複数の主語	**are**
三人称単数	**is**

· I am a student.　　私は学生だ。

· You [We / They] are students.　　あなたがた [私たち / 彼ら] は学生だ。

· He [Tom] is a student.　　彼 [トム] は学生だ。

▶ **be 動詞の意味：第Ⅰ文型は『存在』／第Ⅱ文型は『イコール』**

· He was at the station.　　彼は駅にいた。

· I am a doctor.　　私は医者である。

· She is beautiful.　　彼女は美しい。

(2) be 動詞の用法②：進行形や受動態を作る

▶進行形を作る：be 動詞 + ～ ing（現在分詞）

・He **is** playing the guitar.　　彼はギターを弾いている最中だ。

▶受動態を作る：be 動詞 + p.p.（過去分詞）

・English **is** spoken around the world.　英語は世界中で話されている。

● be 動詞と一般動詞の違い

① 主語による現在形の変化

・be 動詞　：主語の人称と人数によって am, are, is を使い分ける

・一般動詞：三人称単数現在形のときは -(e)s を付ける

主語	be 動詞	一般動詞
一人称	I **am** …. / We **are** ….	I **like** …. / We **like**….
二人称	You **are** ….	You **like** ….
三人称	He **is** …. / They **are** ….	They **like** …. / He **likes** ….

② 過去形・過去分詞形の変化

・be 動詞：am, are, is それぞれについて，下記のように変化する

現在形	過去形	過去分詞形
am	was	been
are	were	
is	was	

・一般動詞：Chapter 3 を参照

■確認問題

＊次の英文の文の要素を指摘し，文型を答えなさい。

1. He is a teacher.　　彼は教師です。　　第［　　］文型

2. He was in Sapporo then.　　彼はそのとき札幌にいた。　　第［　　］文型

3. You were very kind.　　あなたはとても親切だった。　　第［　　］文型

復習テスト　第２講　Chapter 2

＊次の英文の文型をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. You are a student.
① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

2. Mary is in America now.
① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

3. They were happy.
① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

NOTE

Chapter 3　一般動詞の変化①　規則動詞

● 規則動詞の変化①：**ed [d]** を付ける

原形		過去形	過去分詞形
play	遊ぶ	played	played
look	見る	looked	looked
open	開ける	opened	opened
like	好む	liked	liked
use	使う	used	used

● 規則動詞の変化②：子音を重ねて **ed** を付ける

原形		過去形	過去分詞形
stop	止まる	stopped	stopped
drop	落ちる	dropped	dropped

● 規則動詞の変化③：y を i に変えて **ed** を付ける

原形		過去形	過去分詞形
study	勉強する	studied	studied
try	試す	tried	tried
carry	運ぶ	carried	carried

■確認問題

＊次の (　　) 内の動詞を適切な形に変えなさい。

1. I (　play　) tennis yesterday.　[　　　　]

2. He (　study　) English when he was young.　[　　　　]

3. The car (　stop　) at the bus stop then.　[　　　　]

復習テスト　第２講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The Japanese restaurant (　　　) yesterday.
   ① open　② opens　③ opened　④ is opening

2. A man (　　　) his phone then.
   ① is dropping　② dropped　③ drop　④ drops

3. The guide (　　　) my bag when I checked in.
   ① carries　② is carrying　③ carry　④ carried

Chapter 4　一般動詞の変化②　不規則動詞

● 不規則動詞の変化①：**AAA** 型

	原形		過去形	過去分詞形
ut 型	cut	切る	cut	cut
	put	置く	put	put
et 型	let	許す	let	let
	set	置く	set	set

● 不規則動詞の変化②：**ABA** 型

	原形		過去形	過去分詞形
原形 -a- 原形型	come	来る	came	come
	become	～になる	became	become

● 不規則動詞の変化③：**ABB** 型

	原形		過去形	過去分詞形
先頭の子音残し + ought 型	bring	持ってくる	brought	brought
	think	考える	thought	thought
先頭の子音残し + aught 型	teach	教える	taught	taught
	catch	つかまえる	caught	caught
語尾の t 型	lend	貸す	lent	lent
	send	送る	sent	sent
	spend	費やす	spent	spent
eep-ept-ept 型	keep	保つ	kept	kept
	sleep	眠る	slept	slept
y を id に変える型	pay	払う	paid	paid
	say	言う	said	said
短縮型	meet	会う	met	met
	lead	導く	led	led

● 不規則動詞の変化④：**ABC** 型

	原形		過去形	過去分詞形
i-a-u 型	sing	歌う	sang	sung
	ring	鳴る	rang	rung
	drink	飲む	drank	drunk
原形 -ew-own 型	know	知っている	knew	known
	grow	成長する	grew	grown
	throw	投げる	threw	thrown
原形 -o-en 型	get	手にする	got	gotten
	forget	忘れる	forgot	forgotten
	write	書く	wrote	written

■確認問題

＊次の (　　) 内の動詞を適切な形に変えなさい。

1. I (　come　) here last night.　　[　　　　　　]

2. He (　teach　) English at that time.　　[　　　　　　]

3. Everybody (　know　) the story in those days.　　[　　　　　　]

復習テスト　第２講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She (　　　) to Japan last year.
   ① come　② comes　③ came　④ is coming

2. My cat (　　　) a butterfly last night.
   ① catches　② was caught　③ is catching　④ caught

3. I often (　　　) a diary at that time.
   ① wrote　② write　③ am writing　④ was written

NOTE

Chapter 5　第Ⅰ文型 (SVM)

● 第Ⅰ文型

・Time flies.　光陰矢のごとし。
S V

・She lives happily.　彼女は幸せに暮らしている。
S V M

・I walk in the park every morning.　私は毎朝公園を散歩する。
S V M M

・He works very hard.　彼はとても一生懸命働いている。
S V M

● 主な修飾語 (M) の種類

▶文型の判断 ＝ M の処理が重要

① **前置詞 + 名詞のカタマリ**：in [on/at など] …

・She studied English **in her room**.　彼女は部屋で英語を勉強した。
S V O M

② **副詞**：-ly ⇒ usually「たいてい」, happily「幸せに」, silently「静かに」

・She sings a song **happily**.　彼女は幸せそうに歌をうたう。
S V O M

③ **時を表す副詞**：yesterday「昨日」, now「現在」, tomorrow「明日」

・She studied English **yesterday**.　彼女は昨日英語を勉強した。
S V O M

④ **頻度を表す副詞**：always「いつも」, often「よく」, sometimes「ときどき」

・She **often** studies English.　彼女はよく英語を勉強する。
S M V O

■確認問題

＊次の英文の文の要素を指摘し，文型を答えなさい。

1. 彼は低い声で話をした。

He spoke in a low voice.　　第［　　］文型

2. 彼は毎朝走る。

He runs every morning.　　第［　　］文型

3. 彼らは昨日，田舎にやって来た。

They came to the country yesterday.　　第［　　］文型

復習テスト　第２講　Chapter 5

＊次の英文中の M（修飾語）の要素を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The girl slept in her room.

① her room　② slept　③ The girl　④ in her room

2. My father ran last Saturday.

① last Saturday　② ran　③ My father　④ Saturday

3. A dog came to the boy quickly.

① A dog　② came　③ the boy　④ to the boy, quickly

NOTE

Chapter 6　There is [are] 構文

● 第Ⅰ文型の最重要構文：There is [are] 構文　～がいる，ある

・There is **a cat** under the table.　　テーブルの下に猫がいる。
M V S M

☆この構文が存在する理由：S の情報を強調したいから！！

☆ is と are の使い分け ⇒ **S が単数か複数か**

・There are **many chairs** in this room. この部屋にはたくさんの椅子がある。

・There is **a store** on the corner.　　その角に 1 軒のお店がある。

■確認問題

＊次の英文の文の要素を指摘し，文型を答えなさい。

1. ドアのところに犬がいる。
   There is a dog at the door.　　第[　　]文型

2. 机の上に本がある。
   There is a book on the desk.　　第[　　]文型

3. その部屋には多くの人がいる。
   There are many people in the room.　　第[　　]文型

復習テスト　第２講　Chapter 6

＊次の英文中のＳ(主語)の要素を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. There is a dog under the chair.
   ① There　② is　③ a dog　④ under the chair

2. There are many books in his room.
   ① in his room　② many books　③ are　④ There

3. There is a park near my house.
   ① is　② near my house　③ There　④ a park

第３講　文型と文の要素②

Chapter 1　第Ⅱ文型（SVC）
Chapter 2　第Ⅲ文型（SVO）
Chapter 3　第Ⅳ文型（SVO_1O_2）
Chapter 4　第Ⅳ文型から第Ⅲ文型への書き換え
Chapter 5　第Ⅴ文型（SVOC）

Chapter 1　第Ⅱ文型 (SVC)

● 第Ⅱ文型の特徴：**S = C**

状態や変化を表す動詞，五感や様子を表す動詞などが第Ⅱ文型をとる。

▶ **五感を表す動詞**：look, feel, smell など

・Your dress (S) **looks** (V) nice (C).　あなたのドレスは素敵に見える。

・She (S) **feels** (V) happy (C).　彼女は幸せに感じる。

・This flower (S) **smells** (V) sweet (C).　この花は甘いにおいがする。

▶ **変化動詞**の一部：become, come など

・She (S) **became** (V) a queen (C).　彼女は女王になった。

・Dreams (S) **come** (V) true (C).　夢はかなう。

■確認問題

＊次の英文の文の要素を指摘し，文型を答えなさい。

1. 彼女は教師になった。
   She became a teacher.　　第［　　］文型

2. 私はあなたといると幸せに感じる。
   I feel happy with you.　　第［　　］文型

3. 私は恐怖を感じた。
   I felt fear.　　第［　　］文型

4. このスープは，いいにおいがする。
   This soup smells good.　　第［　　］文型

5. 彼女はその花のにおいをかいだ。
   She smelled the flowers.　　第［　　］文型

復習テスト　第３講　Chapter 1

＊次の英文の文型をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The woman became an artist.
   ① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

2. He arrived at the station.
   ① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

3. I feel very sad.
   ① 第Ⅰ文型　② 第Ⅱ文型　③ 第Ⅲ文型　④ 第Ⅳ文型

NOTE

Chapter 2　第Ⅲ文型 (SVO)

● 第Ⅲ文型の特徴：**S ≠ O**

· We **discussed** the problem. S　V　O	私たちはその問題について議論した。
· He **married** her last year. S　V　O　M	彼は昨年彼女と結婚した。
· Nick **resembled** his father. S　V　O	ニックは彼の父親に似ていた。

☆ 動詞が目的語とセットで使われることを覚える

· discuss O	「O について議論する」
· marry O	「O と結婚する」
· resemble O	「O と似ている」

■確認問題

＊次の英文の文の要素を指摘し，文型を答えなさい。

1. 私たちはその計画について話し合った。

   We discussed the plan.　第［　　］文型

2. 私は彼と結婚する。

   I will marry him.　第［　　］文型

3. 彼は彼女の兄と似ている。

   He resembles her brother.　第［　　］文型

復習テスト　第３講　Chapter 2

＊次の英文中での下線部の要素を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. They discussed the idea today.

① M(修飾語)　② V(動詞)　③ C(補語)　④ O(目的語)

2. She married Nick last year.

① C(補語)　② O(目的語)　③ M(修飾語)　④ V(動詞)

3. Aki resembles her mother very much.

① M(修飾語)　② C(補語)　③ O(目的語)　④ V(動詞)

Chapter 3　第Ⅳ文型 (SVO_1O_2)

● 第Ⅳ文型の特徴：O_1 に O_2 を与える

▶ give O_1 O_2：O_1 に O_2 を与える

・The teacher (S) gave (V) him (O_1) five minutes (O_2).　その先生は彼に 5 分間与えた。

▶ teach O_1 O_2：O_1 に O_2 という知識を与える = 教える

・I (S) teach (V) these kids (O_1) English (O_2).　私はこの子たちに英語を教えている。

▶ tell O_1 O_2：O_1 に O_2 という情報を与える = 伝える

・He (S) told (V) us (O_1) jokes (O_2).　彼は私たちに冗談を言った。

▶ show O_1 O_2：O_1 に O_2 という姿を与える = 見せる，示す

・I (S) showed (V) him (O_1) my passport (O_2).　私は彼に自分のパスポートを見せた。

▶ lend O_1 O_2：O_1 に O_2 を与える（返す約束付き）= 貸す

・My parents (S) lent (V) me (O_1) the car (O_2).　両親は私に車を貸してくれた。

■確認問題

＊次の英文の文の要素を指摘し，文型を答えなさい。

1. 私はときどき妻に花をあげる。

I sometimes give my wife flowers.　第[　　]文型

2. 彼は私たちに数学を教えてくれる。

He teaches us mathematics.　第[　　]文型

3. 彼女は私にその知らせを話してくれた。

She told me the news.　第[　　]文型

4. 彼は私にその本を見せてくれた。

He showed me the book.　第[　　]文型

5. 私は彼に 1,000 円を貸した。

I lent him 1,000 yen.　第[　　]文型

復習テスト　第３講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，空所に入れる語(句)の適切な語順をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I _____ _____ _____ _____.　私は彼女にプレゼントをあげた。

ア present　イ gave
ウ a　エ her
① イ→ウ→ア→エ　② エ→イ→ウ→ア
③ ア→エ→ウ→イ　④ イ→エ→ウ→ア

2. Mr. Nakata _____ _____ _____ _____.
中田先生は私たちに日本史を教えてくれる。

ア us　イ history
ウ teaches　エ Japanese
① エ→イ→ウ→ア　② ア→ウ→エ→イ
③ ウ→エ→イ→ア　④ ウ→ア→エ→イ

3. She _____ _____ _____ _____.　彼女は私に彼女のノートを見せてくれた。

ア notebook　イ her
ウ me　エ showed
① イ→ア→エ→ウ　② エ→イ→ア→ウ
③ エ→ウ→イ→ア　④ ア→エ→ウ→イ

NOTE

Chapter 4　第Ⅳ文型から第Ⅲ文型への書き換え

● 第Ⅳ文型 (SVO_1O_2) ⇒ 第Ⅲ文型 ($SV\ O_2$ 前置詞 O_1) への書き換え

第Ⅳ文型 (SVO_1O_2) を第Ⅲ文型に書き換える場合には，動詞によって前置詞を使い分ける。

パターン１：**SV O_2 to O_1**

・I gave her the bag. ➡ I gave the bag **to** her.

パターン２：**SV O_2 for O_1**

・He bought me a bike. ➡ He bought a bike **for** me.

☆なぜⅣ文型をⅢ文型に書き換えるか？⇒ 英語はうしろの情報が大切だから！！

● 第Ⅳ文型から第Ⅲ文型への書き換えが重要な動詞

▶ SV O_2 **to** O_1　となる動詞 …　**give, lend, show, teach, tell**

パターン１の動詞の特徴：相手がいないと成り立たない

▶ SV O_2 **for** O_1　となる動詞 …　**buy, cook, make**

パターン２の動詞の特徴：相手がいなくても成り立つ

■確認問題

＊次の英文を第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えるとき，(　　)に入る語を答えなさい。

1. 私は妻にそのかばんをあげようと思っています。

I (S) will give (V) my wife (O_1) the bag (O_2).

⇒ I will give the bag (　　　　) my wife.

2. 彼は自分の娘に新しい指輪を買ってあげた。

He (S) bought (V) his daughter (O_1) a new ring (O_2).

⇒ He bought a new ring (　　　　) his daughter.

3. 彼女はボーイフレンドにおいしい食事を作ってあげた。

She (S) cooked (V) her boyfriend (O_1) a delicious meal (O_2).

⇒ She cooked a delicious meal (　　　　) her boyfriend.

4. 私は友人に車を貸してあげた。

I (S) lent (V) my friends (O_1) the car (O_2).

⇒ I lent the car (　　　　) my friends.

5. 彼女は生徒にその本を見せた。

She (S) showed (V) her student (O_1) the book (O_2).

⇒ She showed the book (　　　　) her student.

復習テスト　　第３講　Chapter 4

＊次の英文を，第Ⅳ文型から第Ⅲ文型に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語（句）をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I will tell him the truth.

⇒ I will tell the truth (　　　) him.

① for　② to　③ of　④ on

2. David taught me math.

⇒ David taught math (　　　) me.

① in　② of　③ on　④ to

3. My grandmother made me an apple pie.

⇒ My grandmother made an apple pie (　　　) me.

① for　② to　③ of　④ at

NOTE

Chapter 5　第Ⅴ文型 (SVOC)

● 第Ⅴ文型 (SVOC) の特徴：**O=C** (名詞・形容詞)

▶ find OC：O が C だとわかる

・I found the movie interesting.　　私はその映画がおもしろいと思った。
　S　V　O　C（形容詞）

▶ make OC：O を C にする

・You make me happy.　　あなたは私を幸せにしてくれる。
　S　V　O　C（形容詞）

▶ name OC：O を C と名付ける

・My parents named me Tom.　　両親が私をトムと名付けた。
　S　V　O　C

■確認問題

＊次の英文の文の要素を指摘し，文型を答えなさい。

1. 彼は彼女がよい人だとわかった。
   He found her a nice person.　　第［　　］文型

2. その知らせは彼女を幸せにした。
   The news made her happy.　　第［　　］文型

3. 彼らはその子をサラと名付けた。
   They named the child Sarah.　　第［　　］文型

復習テスト　第３講　Chapter 5

＊次の英文中での下線部の要素を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I found the book difficult.
   ① M（修飾語）　② V（動詞）　③ C（補語）　④ O（目的語）

2. The news made me excited.
   ① C（補語）　② O（目的語）　③ M（修飾語）　④ V（動詞）

3. We named the cat Tama.
   ① M（修飾語）　② S（主語）　③ O（目的語）　④ C（補語）

第４講　　時制①

Chapter 1　現在形
Chapter 2　進行形
Chapter 3　時・条件の副詞節
Chapter 4　過去形
Chapter 5　未来表現
Chapter 6　時制の一致

Chapter 1　現在形

☆ 次の表現は，どういう意味になるか？ 正しい方を選びなさい。

・What do you do?
① あなたは今何をしていますか？
② あなたのお仕事はなんですか？

英文法の基礎知識：現在形が表すもの

① 不変の真理
・The sun rises in the east.　　太陽は東から昇る。

② 現在の習慣
・I always walk to the station.　　私はいつも駅まで歩いて行く。

③ 現在の状態
・He likes riding a bike.　　彼は自転車に乗るのが好きだ。

● 現在形・進行形の本質

・現在形の本質：　昨日，今日，明日と繰り返し行うもの
・進行形 (be 動詞 + ～ ing) の本質：　一時的に～している最中

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I (take / is taking) a walk in the park every morning.

2. Sandy (eat / is eating) dinner at home now.

3. The moon (goes / is going) around the earth.

☆ 発展編：現在形が表すもの

確定未来：100%決まっている旅行のスケジュールや時刻表など
・I leave for Sapporo tomorrow.　私は明日札幌に出発します。

復習テスト　第４講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. John (　　　) Japanese every day.　ジョンは毎日，日本語を勉強している。
   ① will study　② study　③ studies　④ studied

2. Kyoko (　　　) a book now.　キョウコは今，本を読んでいる。
   ① read　② reads　③ will read　④ is reading

3. The earth (　　　) around the sun.　地球は太陽の周りを回っている。
   ① goes　② go　③ went　④ was going

NOTE

Chapter 2　進行形

● 進行形：be 動詞 + ～ ing ～している最中・一時性

現在進行形：am [is, are] + ～ ing

・He **is taking** a walk in the park now.
　彼は今公園を散歩している。

過去進行形：was [were] + ～ ing

・I **was watching** TV when you called me.
　君が電話をくれたとき，私は TV を見ているところだった。

未来進行形：will be + ～ ing

・I **will be working** here this time next year.
・私は来年のこの時期もここで働いているだろう。

● 進行形にしない動詞：状態動詞

・**進行形にしない動詞の本質：　継続性**　⇒ 一時性をもつ進行形と相性が悪い
・know　「～を知っている」
・belong to　「～に所属している」
・resemble O　「O と似ている」

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I (read / am reading) an English book now.

2. He (belongs / is belonging) to a basketball club.

3. He (knows / is knowing) Japanese history very well.

☆ 発展編：進行形が表すもの

近い未来：その準備を始めている点で，進行形を使う

・I am leaving for Sapporo tomorrow.　私は明日札幌に出発します。

非難　：いつも～してばかりいる

・He is always watching TV.　彼はいつも TV を見てばかりいる。

復習テスト　第４講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I (　　　) hot coffee now.　私は今，ホットコーヒーを飲んでいる。
   ① drinking　② drinks　③ am drinking　④ drank

2. She (　　　) to a dance team.　彼女はダンスチームに所属している。
   ① belonged　② belongs　③ is belonging　④ belong

3. He (　　　) the Japanese singer.　彼はその日本人歌手を知っている。
   ① will be knowing　② will know　③ is knowing　④ knows

NOTE

Chapter 3　時・条件の副詞節

● 時制の最重要ルール：時・条件の副詞節（when, if）

▶ **時・条件の副詞節：will を使わない**

・If it **is** fine tomorrow, we will go on a picnic.
明日晴れたら，私たちはピクニックをする。

・When she **comes**, I will tell her so.
彼女が来たら，彼女にそう言っておきます。

☆ なぜ，このルールが存在するのか？
⇒　if が客観，will は主観なので相性が悪い

▶ **時・条件の副詞節を作る接続詞**：if, when, before, after など

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. If I (see / will see) her, I will give this letter to her.

2. When she (comes / will come), I will give her this book.

3. I will help you if you (come / will come).

4. Please give me a call when you (finish / will finish) your work.

復習テスト　第４講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If it (　　　) next Saturday, we will watch movies at home.
   ① rained　② rains　③ will rain　④ is raining

2. When I (　　　) my homework, I will call you.
   ① finish　② will finish　③ finished　④ am finishing

3. Let’s go home before it (　　　) dark.
   ① is getting　② got　③ was getting　④ gets

Chapter 4　過去形

☆ 次の表現に，過去形・現在完了形のどちらを使うか？

「私は道に迷った」　　I (lost / have lost) my way.

● 過去形・現在完了形の本質

・過去形の本質：　現在から切り離された過去の一点
・現在完了形　：　過去から現在へと続いている

▶ **過去の一点を示す副詞があるときは過去形**
過去の一点を示す副詞：when SV(過去), yesterday, 〜 ago, last 〜

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I (received / have received) his letter last week.

2. He (painted / has painted) the wall three days ago.

3. I (have made / was making) dinner when the telephone rang.

*ring-rang-rung：(音が) 鳴る

復習テスト　第４講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I (　　　) the large park last month.
   ① visit　② have visited　③ visited　④ am visiting

2. She (　　　) to Fukuoka a year ago.
   ① is moving　② moved　③ moves　④ has moved

3. We (　　　) to music when Tom visited us.
   ① have listened　② are listening　③ listen　④ were listening

Chapter 5　未来表現

☆ 未来を表す二つの表現：will と be going to

一般に，英語の未来形と言われるのが will と be going to。この will は，正確には話し手の「必ず～する」という強い意志を表す表現。will が話し手の意志を表す主観的な表現であるのに対して，be going to は，客観的な予定を表す表現。

● will と be going to の区別

▶ その場での思い付きは will を使う

・All right. I'**ll** answer it.　　(電話が鳴って) はい, 私が出ます。

⇒ ここで，I'm going to answer it. とは言わない。

▶ 確定的な予測に will は使えない

・She **is going to** have a baby in January.　　彼女の出産予定は 1 月だ。

⇒ ここで，She will have a baby in January. とは言わない。

・I'**m going to** graduate from college in March.　3月に大学を卒業予定だ。

⇒ ここで，I will graduate from college in March. とは言わない。

▶ ある徴候にもとづく未来の予測

・Look! It **is going to** rain.　　見て！　雨が降りそうだ。

・It **will** rain tomorrow.　　明日雨が降ると思うよ。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. A: The phone is ringing.
   B: I (will / am going to) answer it.

2. Look at the cloud! It (will / is going to) rain.

3. She (will / is going to) have a baby next month.

復習テスト　第４講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. A: Look, dark clouds are coming.　見て，暗雲が近づいてきているね。
   B: Yeah, it (　　　) soon.　うん，もうすぐ雨が降りそうだね。
   ① rains　② was raining
   ③ rained　④ is going to rain

2. A: Hey, I want to buy something at this store.　ねえ，この店で何か買いたいな。
   B: OK, I (　　　) outside, then.　わかった，じゃあ外で待つよ。
   ① wait　② am waiting
   ③ will wait　④ have waited

3. My sister (　　　) university next month.　姉は来月，大学に入学予定だ。
   ① is going to enter　② enter
   ③ has entered　④ entered

Chapter 6　時制の一致

● 時制の一致

時制の一致：英文の動詞の時制に，that 節内の動詞の時制も対応させる。

・She **says** that she **is** tired.　　　彼女は疲れていると言っている。

⬇

・She **said** that she **was** tired.　　　彼女は疲れていると言った。

・She **says** that she **was** tired.　　　彼女は疲れていたと言っている。

⬇

・She **said** that she **had been** tired.　　　彼女は疲れていたと言った。

● 時制の一致の例外

▶ **不変の真理は，時制の一致に影響されない。**

・My teacher said that the earth **is** round.　私の先生は地球は丸いと言った。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. He thought that I (know / knew) the girl.

2. I thought that he (is / was) a nice person.

3. My father said that the earth (goes / went) around the sun.

復習テスト　第４講　Chapter 6

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I thought that he (　　　) the secret.
   ① knows　② knew　③ is knowing　④ has known

2. She said that the team (　　　) the game.
   ① has won　② wins　③ had won　④ is winning

3. My uncle said that the English alphabet (　　　) 26 letters.
   ① has　② had　③ is having　④ has had

第５講　　時制②

Chapter 1　完了形の基本 / 完了形① 継続用法
Chapter 2　完了形② 経験用法
Chapter 3　完了形③ 完了・結果用法
Chapter 4　過去完了形：had p.p.
Chapter 5　未来完了形：will have p.p.
Chapter 6　完了進行形：have been ～ ing

Chapter 1　完了形の基本 / 完了形① 継続用法

完了形の全体像：have p.p. (過去分詞)

完了形には現在完了形 (have p.p.)，過去完了形 (had p.p.)，未来完了形 (will have p.p.) があり，それぞれ①継続用法，②経験用法，③完了用法 (結果用法) の 3 用法がある。

英文法の基礎知識：完了形の三つの用法

① 継続用法

・I **have lived** here for five years.　　私はここで 5 年間暮らしている。

② 経験用法

・I **have been** to Tokyo three times.　　私は東京に 3 回行ったことがある。

③ 完了用法 (結果用法)

・We **have** just **finished** the meeting.　　私たちはちょうど会議を終えたところだ。

☆現在完了形の本質：　**過去から現在**へと続いている

● 完了形①　継続用法：ずっと～してきた

▶**継続用法と相性のいい表現**：since ～：～以来，for ～：～の間

・I **have lived** in Tokyo since 2015.　私は2015年から東京で暮らしている。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I (live / have lived) here for three years.

2. He (has been / was) ill in bed for the last two weeks.

3. We (know / have known) each other since we were young.

復習テスト　第５講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He (　　　) in Kyoto for two years.　彼は京都で２年間ずっと暮らしてきた。
　① lives　② lived　③ is living　④ has lived

2. I (　　　) busy for the last few days.　私はここ数日忙しくしている。
　① was　② have been　③ will be　④ am

3. She (　　　) him since 2019.　彼女は 2019 年から彼を知っている。
　① knows　② knew　③ has known　④ will know

NOTE

Chapter 2　完了形② 経験用法

● 完了形②　経験用法：～したことがある

▶**経験用法と相性のいい表現**：once：1 回，twice：2 回，～ times：～回，
ever：今まで（※通常疑問文でもちいる），
never：一度も～ない，before：以前

・I **have been** to Sapporo four times. 私は札幌に 4 回行ったことがある。

・**Have** you ever **seen** him?　今までに彼に会ったことがありますか？

・I **have** never **read** the book.　私はその本を一度も読んだことがない。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. We (went / have been) to Tokyo twice.

2. Have you ever (be / been) to Hawaii?

3. I have never (saw / seen) such a beautiful scene.

復習テスト　第５講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I (　　　) to the museum twice.　私はその美術館に 2 回行ったことがある。
   ① went　② have been　③ was　④ go

2. Have you ever (　　　) the flower?
   今までにその花を見たことがありますか？
   ① seen　② see　③ saw　④ to see

3. She has never (　　　) that song.　彼女はその歌を一度も歌ったことがない。
   ① sang　② singing　③ sing　④ sung

Chapter 3　完了形③ 完了・結果用法

● 完了形③　完了・結果用法：～し終えて(～した結果)，今に至る

▶ **完了・結果用法と相性のいい表現**：just：ちょうど，already：すでに，
yet：（疑問文）もう，（否定文）まだ～ない

・He **has** just **returned** from Tokyo.　彼はちょうど東京から戻ってきたところだ。

・**Have** you **watched** the movie yet? その映画をもう見ましたか？

・I **have** not **watched** the movie yet. 私はその映画をまだ見ていない。

☆ have been to と have gone to の違い

・He **has been to** Tokyo.　彼は東京に行ったことがある。　経験用法

・He **has gone to** Tokyo.　彼は東京に行ってしまった。　完了(結果)用法

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I have just (finished / finishes) reading a new book.

2. Have you (reading / read) the new book yet?

3. Tom is not here today. He (has been / has gone) to Hokkaido.

復習テスト　第５講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I (　　　) watching a movie.　　私はちょうど映画を見終えたところだ。
   ① have just been　　② have just finished
   ③ was just　　④ am just

2. Have you seen the TV drama (　　　)?
   そのテレビドラマをもう見ましたか。
   ① ever　　② never　　③ yet　　④ since

3. Mari is not at home now. She (　　　) to the park.
   マリは今，家にいない。彼女は公園に行ってしまった。
   ① goes　　② has been　　③ has gone　　④ will go

Chapter 4　過去完了形：had p.p.

● 英文法の基礎知識：過去完了形が表すもの

① 継続用法

・I **had been** in bed for two hours when he **came** back.

彼が戻ってきたとき，私はベッドに 2 時間入っていた。

② 経験用法

・I **had**n't **seen** a gorilla before I **was** twenty years old.

私は 20 歳になるまで(20 歳より以前に)ゴリラを見たことがなかった。

③ 完了用法

・The meeting **had** already **finished** when he **came**.

彼が来たとき，会議はすでに終わっていた。

☆過去完了形の本質：　**過去のある一点から過去**へと続いている

● 大過去：単なる過去の過去

・I lost the book that my father **had bought** for me.

父が私に買ってくれた本を失くしてしまった。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. Mike (has eaten / had eaten) *natto* before he came to Japan.

2. He (has been / had been) in bed for three hours when I returned.

3. The party (has already finished / had already finished) when she came.

復習テスト　第５講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. I (　　　) the trumpet before I joined a brass band.
   ① have played　② will play　③ had played　④ am playing

2. Rick (　　　) on the train for thirty minutes when I called him.
   ① is　② had been　③ will be　④ has been

3. The cafe had already closed when I (　　　) there.
   ① have arrived　② arrive　③ had arrived　④ arrived

Chapter 5　未来完了形：will have p.p.

● 英文法の基礎知識：未来完了形が表すもの

① 継続用法

・I **will have lived** in Sapporo for three years by this time next year.
私は来年のこの時期には札幌に 3 年間暮らしていることになる。

② 経験用法

・He **will have been** to Tokyo three times if he goes there again.
もし再びそこに行ったら，彼は東京に 3 回行ったことになる。

③ 完了用法

・She **will have finished** the book by five tomorrow.
彼女は明日の 5 時までにはその本を読み終えているだろう。

☆ 未来完了形の本質：　**現在や過去から未来のある一点**へと続いている

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I (will finish / will have finished) the report by tomorrow.

2. By next April I (will live / will have lived) in Tokyo for two years.

3. I (will live / will have lived) in America for ten years by next month.

復習テスト　第５講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I (　　　) my math homework by eight tonight.
私は今夜 8 時までには数学の宿題を終えているだろう。
① will finish　② will have finished
③ have finished　④ had finished

2. By next year, Sarah (　　　) here for ten years.
来年には，サラは 10 年間ここに住んでいることになる。
① has lived　② will live　③ will have lived　④ had lived

3. She (　　　) to Nikko twice if she goes there on a school trip.
彼女は，修学旅行で日光に行ったらそこへ 2 回行ったことになる。
① will have been　② has been　③ will go　④ had been

Chapter 6 完了進行形：have been ～ ing

● 英文法の基礎知識：完了進行形 have been ～ ing

▶ **動作の継続を表す**：動詞を進行形にできる場合（状態動詞でない場合）のみ

× We have been knowing each other since we were young.

○ We have known each other since we were young.

現在完了進行形：have been ～ ing

・I **have been cleaning** my room since this morning.

私は今朝からずっと自分の部屋を掃除している。

過去完了進行形：had been ～ ing

・I **had been cleaning** my room for two hours when he came.

彼がやって来たとき，私は 2 時間ずっと自分の部屋を掃除していた。

未来完了進行形：will have been ～ ing

■確認問題

＊選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I (　　) this book since this morning.

① have read　　　② have been reading

2. I (　　) for very long when a phone woke me up.

① didn’t sleep　　　② hadn’t been sleeping

3. By next April he (　　) English for six years.

① will be studying　　　② will have been studying

復習テスト　　第５講　Chapter 6

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My father (　　　) his computer since 9 o’clock.
   ① uses　② used　③ is using　④ has been using

2. I (　　　) a book for hours when she called me.
   ① have been reading　② had been reading
   ③ am reading　④ will have been reading

3. Next month, she (　　　) Japanese for two years.
   ① will be learning　② had been learning
   ③ has been learning　④ will have been learning

第６講　助動詞①

Chapter 1　基本助動詞①
Chapter 2　基本助動詞②
Chapter 3　助動詞の疑問文の会話表現
Chapter 4　will
Chapter 5　need / dare
Chapter 6　助動詞の代用表現①
Chapter 7　助動詞の代用表現②

Chapter 1　基本助動詞①

英文法の基本知識：助動詞

助動詞とは，動詞の前に置いて動詞に話し手の気持ちを加えてくれるもの。
助動詞＋Ｖ原形のかたちで使う。

▶ **must**　：～しなければならない / **～にちがいない**
・You **must** keep the room clean.　部屋をきれいにしておかねばならない。
・He **must** be tired.　彼は疲れている**にちがいない。**

▶ **should**：～すべきだ / **～はずだ**
・You **should** be more careful.　君はもっと注意深くなるべきだ。
・He **should** arrive here in two hours.　彼は二時間後にここに到着する**はずだ。**

▶ **can**　：～できる (してもよい) / **ありうる**
・You **can** smoke here.　ここでタバコを吸ってもいいよ。
・Anyone **can** make a mistake.　誰でもミスを犯すことは**ありうる。**

▶ **may**　：～してもよい / **～かもしれない**
・You **may** go abroad alone.　一人で海外に行ってもよい。
・He **may** have a cold.　彼は風邪を引いている**かもしれない。**

☆ 助動詞超整理法　ver.1

	must (約100%)	**should** (約80%)	**can** (約60%)	**may** (約50%)
義務・許可	～ねばならない	～すべきだ	～できる	～してもよい
推量(可能性)	～にちがいない	～はずだ	ありうる	～かもしれない

■確認問題

＊選択肢から適当な表現を選びなさい。

1. 助動詞のうしろは

① 動詞の過去形　　② 動詞の原形

＊選択肢から空所に入る適当な表現を選びなさい。

	must (約100%)	**should** (約80%)	**can** (約60%)	**may** (約50%)
義務・許可	～ねばならない	～すべきだ	～できる	～してもよい
推量(可能性)	2	～はずだ	ありうる	3

2. ① ～にちがいない　　② ～かもしれない

3. ① ～にちがいない　　② ～かもしれない

復習テスト　第6講　Chapter 1

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My brother didn't sleep well last night. He must be sleepy now.

① ～かもしれない　② ～にちがいない
③ ～すべきだ　④ ～しなければならない

2. At first, I thought her story was a lie, but it may be true.

① ～にちがいない　② ～できる
③ ～かもしれない　④ ～してもよい

3. Jack should arrive at the station by now. He left home so early today.

① ～はずだ　② ～すべきだ
③ ～にちがいない　④ ～してもよい

NOTE

Chapter 2　基本助動詞②

☆ 助動詞超整理法　ver.2

	must (約 100%)	should (約 80%)	can (約 60%)	may (約 50%) **might** (約 30%)	**cannot** (約 0%)
義務 ・ 許可	～ねばならない	～すべきだ	～できる	～してもよい	～できない
推量 (可能性)	～にちがいない	～はずだ	ありうる	～かもしれない	ありえない

● 基本助動詞　その他

▶ **might**：～かもしれない

形は過去形だが，過去の意味は表さず，現在形と距離を置いて意味を弱める働き

・He **might** have a cold.　彼はひょっとすると風邪を引いている**かもしれない。**

▶ **cannot**：ありえない，～はずがない

must の 100% に対して 0% を表す。推量の意味が大切。

・He **cannot** be tired.　彼は疲れている**はずがない。**

▶ **could**：～かもしれない

・It **could** rain this evening.　今日の夕がた雨が降る**かもしれない。**

■確認問題

＊ ______ を埋めて次の英文の日本語訳を完成させなさい。

1. She looks pale. She might have a cold.　＊ pale：顔色が悪い

彼女は顔色が悪く見える。風邪を引いている ______________ 。

2. He looks so young. He cannot be over thirty.

彼はとても若く見える。30 歳をこえている ______________ 。

3. She looks pale. She must have a cold.

彼女は顔色が悪く見える。風邪を引いている ______________ 。

復習テスト　第６講　Chapter 2

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Tom has just eaten a big lunch. He cannot be hungry now.

① ありうる　② ～はずがない
③ ～にちがいない　④ ～かもしれない

2. Aoi knows flowers well. She might know this flower's name.

① ～はずだ　② ～にちがいない
③ ～かもしれない　④ ～はずがない

3. It's a holiday today. That restaurant could be closed.

① ～かもしれない　② ～はずだ
③ ～にちがいない　④ ～してもよい

Chapter 3　助動詞の疑問文の会話表現

● 申し出・提案をする表現

· **Shall I** open the window?	(私が)窓を開けましょうか？
· **Shall we** watch the movie?	その映画を見ませんか？

● 許可を求める表現①

· **May I** have your name?	お名前を伺ってもよろしいですか？
· **Can I** help you?	お手伝いしましょうか？
· **Could I** have some water?	お水を頂けますか？

● 許可を求める表現②

· **Can you** tell me the way?	道を教えてくれますか？
· **Could you** tell me the way?	道を教えてくださいますか？
· **Will you** marry me?	私と結婚してくれますか？
· **Would you** marry me?	私と結婚してくださいますか？

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. お手伝いしましょうか？
   (Can you / Can I) help you?

2. 窓を開けましょうか？
   (Shall we / Shall I) open the window?

3. お水を頂けますか？
   (Could I / Will you) have some water?

復習テスト　第６講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) help you?　お手伝いしましょうか？
   ① Could you　② Must I　③ Can you　④ Can I

2. (　　　) watch the movie?　その映画を見ませんか？
   ① Shall I　② Shall we　③ Could you　④ May I

3. (　　　) tell me the way?　道を教えてくださいますか？
   ① May I　② Shall we　③ Could you　④ Could I

Chapter 4　will

● will の用法

① **単純未来：**I **will** be fifteen next month.　私は来月 15 歳になる。

② **意志未来：**I'**ll** call you later.　あとで電話するよ。

③ **習性**　：Accidents **will** happen.　事故は起こるものだ。

④ **拒絶**　：They **will** not listen to me.　彼らは私の話を聞こうとしない。

☆ will の本質：　**必ず〜する** (95 〜 100%)

● 過去の習慣：would often　昔は（よく）〜した

・I **would often** go fishing with my brother when young.
若いとき，よく兄と釣りに行ったものだった。

■確認問題

＊ ＿＿＿＿ を埋めて次の英文の日本語訳を完成させなさい。

1. I am pushing it hard, but the door will not open.
強く押しているのだが，＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

2. I would often play baseball in this park.
私は，この公園で＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

3. Mothers will always show off their children.　＊ show off：見せびらかす
母親は，常に自分の子どもを＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

復習テスト　第６講　Chapter 4

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I would often go to that park.
   ① ～になる　② ～する
   ③ ～するものだ　④ 昔は～した

2. I tried to close this window, but it will not close.
   ① ～にならない　② ～するものではない
   ③ どうしても～しない　④ 昔は～しなかった

3. Don’t worry about your mistake. Such a thing will happen.
   ① ～になる　② ～するものだ
   ③ ～する　④ どうしても～しない

Chapter 5　need / dare

● 英文法の基礎知識：need の用法

need には，一般動詞の用法と助動詞の用法がある。

① 否定文　You **need not** attend the meeting.
君は会議に出席する必要はない。
＝ You **don't need to** attend the meeting.

② 疑問文　**Need I** attend the meeting?
私は会議に出席する必要はありますか？
＝ **Do I need to** attend the meeting?

③ 肯定文　×You need attend the meeting.　＊この使い方はしないので注意
君は会議に出席する必要がある。
＝ You **need to** attend the meeting.

☆ 一般動詞の need と助動詞の need の区別

	否定文	疑問文	肯定文
一般動詞	don't need to *do*	Do I need to *do*?	need to *do*
助動詞	need not *do*	Need I *do*?	—

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. You (not need / need not) worry about it.

2. I (didn't need to / needed not to) give a speech.

☆ 発展編：dare　～する勇気がある，あえて～する

dare：～する勇気がある，あえて～する
・How **dare** you say such a thing?　　よくもそんなことが言えるね。

復習テスト　第６講 Chapter 5

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. You (　　　) be sorry for that.
　① not need　② don’t need　③ need not　④ doesn’t need

2. (　　　) tell him the truth?
　① Do I need　② Need I　③ Need I to　④ Do need I

3. You must hurry, Phillip! We (　　　) there by five.
　① need get　② need to get　③ need not get　④ don’t need to get

Chapter 6　助動詞の代用表現①

● must ≒ have to

① 過去の義務には，had to

・I **had to** wait for fifty minutes.　私は 50 分待たなければならなかった。

② 否定文にすると，意味が異なる

・You **must not** stop.　立ち止まってはいけない。

・You **don't have to** stop.　立ち止まらなくてもよい。

● 義務の助動詞：should ≒ ought to ＜ had better

▶ **should [ought to]**：～すべきだ

・You **should** apologize to them.　君は彼らに謝るべきだ。

・You **ought to** apologize to them.　君は彼らに謝るべきだ。

▶ **had better**：～すべきだ

・You **had better** apologize to them. 君は彼らに謝ったほうがよい。

☆ ought to と had better の否定形

・**ought not to**　：You **ought not to** apologize to them.

・**had better not**：You **had better not** apologize to them.

■確認問題

＊選択肢から (　　) に入る適当な表現を選びなさい。

1. I couldn't go out last night because I (　　) finish my homework.

① must　② had to

2. You are too kind! You (　　) me a present.

① didn't have to buy　② hadn't to buy

3. She said that I (　　) to give up the plan.

① ought　② should

復習テスト　第６講　Chapter 6

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I (　　　) stay home all day yesterday because the weather was very bad.
   ① must　② ought to　③ should　④ had to

2. Those English sentences were easy. So, I (　　　) use a dictionary.
   ① had to　② didn’t have to　③ had not　④ must

3. My father said that I (　　　) to join our family trip next month.
   ① should　② must　③ ought　④ had better

Chapter 7　助動詞の代用表現②

● can ≒ be able to

① 未来を表す場合には，will be able to

・I **will be able to** help you.　私はあなたを助けてあげられるでしょう。

② 過去を表す場合には，was able to

・He **was able to** win the prize.　彼はその賞をとることができた。

● would often ≒ used to

would often には現在と対比するニュアンスや，過去の状態を表す用法がないことに注意。

	would often	used to
現在との対比	×	○
状態動詞	×	○
動作動詞	○	○

・I **used to** go to the sea, but I don’t now.　現在との対比・動作動詞

・There **used to** be a shop at the corner.　状態動詞

■確認問題

＊選択肢から (　　) に入る適当な表現を選びなさい。

1. I will (　　) swim across the river.

① can　　② be able to

2. There (　　) a coffee shop at this corner.

① used to be　　② would often

復習テスト　第６講　Chapter 7

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I'm sure she will (　　　) speak English soon.
   ① can　② could　③ be able to　④ able to

2. There (　　　) be a big supermarket around here.
   ① would often　② used to　③ was able to　④ was used to

3. I (　　　) eat ice cream every day, but I don't anymore.
   ① used to　② would not　③ can　④ was able to

第７講　　助動詞②

Chapter 1　助動詞 + have p.p. ① 過去の推量
Chapter 2　助動詞 + have p.p. ② 過去の後悔
Chapter 3　can・would の慣用表現
Chapter 4　may・might の慣用表現
Chapter 5　提案・命令・要求の that 節
Chapter 6　必要性の should と 感情・主観的判断の should

Chapter 1　助動詞 + have p.p. ① 過去の推量

● 助動詞 + have p.p. ① 過去の推量

▶ **may have p.p.**：～したかもしれない
・He **may have left** the office.　　彼はオフィスを出**たかもしれない。**

▶ **must have p.p.**：～したにちがいない
・He **must have left** the office.　　彼はオフィスを出**たにちがいない。**

▶ **cannot have p.p.**：～したはずがない
・He **cannot have left** the office.　　彼はオフィスを出**たはずがない。**

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼女は昨日，病気で寝ていたにちがいない。
   She _________ _________ _________ sick in bed yesterday.

2. トムは傘を失くした。バスに置き忘れたのかもしれない。
   Tom lost his umbrella. He _________ _________ _________ it on the bus.

3. 彼がそんなにすぐにその仕事を終えたはずがない。
   He _________ _________ _________ the work so soon.

☆ He **could have left** the office.　　彼はオフィスを出**たかもしれない。**

復習テスト　第７講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He (　　　) up all night.　彼は徹夜したにちがいない。
   ① must stay　② cannot stay
   ③ must have stayed　④ cannot have stayed

2. They (　　　) that poster.　彼らはあのポスターを見たかもしれない。
   ① may have seen　② may see
   ③ must see　④ must have seen

3. He (　　　) such a simple mistake.　彼がそんな単純なミスをしたはずがない。
   ① must have made　② cannot have made
   ③ cannot make　④ must make

Chapter 2　助動詞 + have p.p. ② 過去の後悔

● 助動詞 + have p.p. ② 過去の後悔

▶ **should have p.p.**：～すべきだったのに

・He **should have left** the office.　彼はオフィスを出**るべきだったのに。**

▶ **ought to have p.p.**：～すべきだったのに

・He **ought to have left** the office.　彼はオフィスを出**るべきだったのに。**

▶ **need not have p.p.**：～する必要はなかったのに

・He **need not have left** the office.　彼はオフィスを出**る必要はなかったのに。**

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 昨夜上司に電話しておくべきだったが，忘れてしまった。

I _________ _________ _________ my boss last night, but I forgot.

2. ここに来る前に，僕に電話するべきだったね。

You _________ _________ _________ _________ me before you came here.

3. 6 時に来る必要はなかったのに。

You _________ _________ _________ _________ at 6 o’clock.

☆ You look pale. You **should not have eaten** so much.

顔色が悪いよ。そんなに食べるべきではなかったのに。

復習テスト　第７講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. You (　　　) have come to the party.
あなたはパーティーに来るべきだったのに。
① ought　② should　③ could　④ cannot

2. She (　　　) to have arrived earlier.
彼女はもっと早く到着すべきだったのに。
① has　② should　③ ought　④ must

3. I (　　　) said such a thing.　私はそんなことを言う必要はなかったのに。
① should have　② ought to have　③ cannot have　④ need not have

Chapter 3　can・would の慣用表現

● can の慣用表現

▶ **cannot 〜 too …**：いくら〜してもしすぎることはない

・You **cannot** be **too** careful when you drive a car.
車を運転するときには，いくら注意しすぎてもしすぎることはない。

▶ **cannot help 〜 ing**：〜せざるをえない，せずにはいられない

・I **cannot help laughing** at his story.
私は，彼の話に笑わずにはいられない。

● would の慣用表現

▶ **would like to *do***：〜したいと思う

・I **would like to** talk to you.　　あなたとお話がしたい。

▶ **would rather A than B**：B するよりむしろ A したい

・I **would rather** stay home **than** go out.　外出するよりむしろ家にいたい。

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1.　私は彼の振る舞いに笑わずにはいられない。　＊笑う laugh
　I _________ _________ _________ at his behavior.

2.　私は今日の午後は，勉強するよりもむしろショッピングに行きたい。
　I _________ _________ _________ shopping than study this afternoon.

3. 私は札幌に住みたいと思う。
　I _________ _________ _________ live in Sapporo.

☆ I **would rather** stay home.　　私はむしろ家にいたい。

復習テスト　第７講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I (　　　) you too much.　あなたにはどんなに感謝してもしきれない。
　① cannot thank　② would like to thank
　③ cannot help thanking　④ would rather thank

2. I (　　　) for a walk than stay home.
　私は家にいるよりむしろ散歩に出かけたい。
　① would like to go　② would rather go
　③ cannot help going　④ should have gone

3. I (　　　) her success story.　私は彼女の成功談を聞きたい。
　① cannot hear too　② ought to have heard
　③ cannot help hearing　④ would like to hear

Chapter 4　may・might の慣用表現

● may・might の慣用表現

▶ **may well** *do*：～するのももっともだ，たぶん～だろう

・You **may well** say so.
　あなたがそう言うのももっともだ。

・She **may well** be tired after the exam.
　彼女は試験のあとでたぶん疲れているのだろう。

▶ **might [may] as well A as B**：B するのは A するようなものだ

・You **might as well** throw your money away **as** lend it to him.
　あなたが彼にお金を貸すのは，捨てるようなものだ。

■確認問題

＊＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 君は無礼すぎるよ！　彼女が怒るのももっともだ。
   You are too rude! She ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ get angry.

2. そんなものを買うのは，お金を捨てるようなものだ。
   You ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ throw your money away as buy such a thing.

3. つらい仕事のあとで，彼はたぶん疲れているのだろう。
   He ＿＿＿＿ ＿＿＿＿ be tired after the hard work.

復習テスト　第７講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語（句）をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Jack couldn’t sleep at all last night. He (　　　) feel sleepy.
   ジャックは昨夜，全然眠れなかった。彼が眠いのももっともだ。
   ① might as well　② would rather
   ③ cannot　④ may well

2. He never listens to people. You (　　　) talk to the sky as talk to him.
   彼は人の話をまったく聞かない。彼と話をするのは空と話をするようなものだ。
   ① might　② as well as　③ might as well　④ may well

3. His story (　　　) be a lie.　彼の話はたぶんうそだろう。
   ① cannot　② may well　③ would rather　④ might as well

Chapter 5　提案・命令・要求の that 節

提案・命令・要求の that 節

▶**「提案・命令・要求する」という動詞の目的語にあたる that 節では，「V 原形」か「should+V 原形」を使う**
（＊アメリカ英語では主に V 原形，イギリス英語では主に should+V 原形）

・He **suggested that** his daughter **keep** early hours.
彼は娘に，早寝早起きをすることを提案した。

☆なぜこのルールが存在するか？
⇒ ネイティブは，この that 節を命令文と同じように見ている！

▶**提案・命令・要求の that 節を導く動詞**
・提案する …　**suggest, propose, recommend** (勧める)
・命令する …　**order**
・要求する …　**demand, request, insist**

■確認問題
＊次の英文の下線部を，適切な形に直しなさい。

1. 彼の両親は，彼に学校に行くようにと提案した。
His parents proposed that he <u>attended</u> the school.　[　　　　]

2. 私は，彼女に帰宅するようにと提案した。
I suggested that she <u>went</u> back home.　[　　　　]

3. 彼は，その店に返金するよう求めた。
He demanded that the store <u>paid</u> back his money.　[　　　　]

復習テスト　第７講　Chapter 5

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. He proposed that I (　　　) the surprise party.
　① join　② joined　③ have joined　④ had joined

2. Her boss ordered that she (　　　) the work by tomorrow.
　① finished　② finishes　③ will finish　④ finish

3. The girl demanded that we (　　　) that picture to her.
　① have shown　② should show　③ showed　④ had shown

Chapter 6　必要性の should と感情・主観的判断の should

● 必要性の should

▶必要性の should

必要性を表す形容詞に続く that 節では，「V 原形」か「should+V 原形」。

・It is **necessary** that you **keep** early hours.

早寝早起きすることが必要だ。

▶必要性の should を導く形容詞

necessary (必要な), **essential** (不可欠な), **important** (重要な)

● 感情・主観的判断の should

▶感情・主観的判断の should

感情や主観的判断を表す形容詞・名詞に続く that 節では，「should+V 原形」を使うことで感情や主観的判断を強調できる。

・It is **surprising** that you **should say** such a thing.

君がそんなことを言うなんて，驚きだ。

▶感情・主観的判断の should を導く形容詞・名詞

strange (不思議な), **surprising** (驚くべき), **natural** (当然な),
a pity (残念なこと)

■確認問題

＊次の英文を日本語に直しなさい。

1. It is important that she should go there alone.

____

2. It is strange that you should see her there.

____

復習テスト　第７講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. It is important that we (　　　) our own culture and history.
私たち自身の文化と歴史を学ぶことは重要だ。
① must learn　② have learned　③ should learn　④ learning

2. It is strange that she (　　　) home this early.
彼女がこんなに早く家を出発するのは変だ。
① should leave　② could leave　③ had left　④ leaving

3. It is natural that your sister (　　　) angry.
君のお姉さんが怒るのも当然だ。
① to get　② getting　③ should get　④ had gotten

第８講　受動態

Chapter 1　受動態の作り方
Chapter 2　いろいろな受動態① 助動詞・完了形・進行形
Chapter 3　いろいろな受動態② 第Ⅳ文型・第Ⅴ文型
Chapter 4　いろいろな受動態③ 群動詞
Chapter 5　受動態 × 熟語
Chapter 6　They say that …の受動態

Chapter 1　受動態の作り方

● 受動態（受け身）の作り方

① 能動態 (もとの文) の目的語を主語にする
② 動詞の形を **be+p.p.** (過去分詞) にする
③ 能動態 (もとの文) の主語を by 以下に？？

・Someone broke this window.　誰かがこの窓を割った。
(Someone = S, broke = V, this window = O)
⇒ 受動態にすると…　This window was broken by someone.

・We can see stars at night.　夜，星が見える。
(We = S, can see = V, stars = O)
⇒ 受動態にすると…　Stars can be seen at night by us.

☆なぜ受動態にするか？　⇒　主語がわからない・主語を言う必要がない

■確認問題

＊(　　) 内の動詞を適切な形に変えて，_____に適する語を入れて，受動態の英文を完成させなさい。

1. その店は，日曜日は閉まっている。(close)

The store __________ __________ on Sundays.

2. これらの部屋は，今日は使われていない。(use)

These rooms __________ __________ __________ today.

3. その本はいつ書かれましたか？ (write)

When __________ this book __________ ?

復習テスト　第８講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語（句）をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. An umbrella (　　　) on the bus.　１本の傘がそのバスに置き忘れられた。
   ① leaves　② was left
   ③ has left　④ left

2. Those plans (　　　).　それらの計画は変更されなかった。
   ① was changed　② was not changed
   ③ were changed　④ were not changed

3. When was the big window (　　　)?　その大きな窓はいつ割られましたか。
   ① broke　② broken
   ③ was broken　④ to break

NOTE

Chapter 2　いろいろな受動態① 助動詞・完了形・進行形

● 助動詞を含む受動態

▶ **助動詞を含む受動態：助動詞 ＋ be ＋ p.p.**

・We must finish the work today. 私たちは今日この仕事を終えねばならない。

⇒ 受動態にすると…　The work **must be finished** today by us.

● 進行形の受動態

▶ **進行形の受動態：be ＋ being ＋ p.p.**

・They are constructing the bridge.　彼らは橋を建築している最中だ。

⇒ 受動態にすると…　The bridge **is being constructed** by them.

● 完了形の受動態

▶ **完了形の受動態：have ＋ been ＋ p.p.**

・Someone has stolen my bag.　　誰かが私のカバンを盗んだ。

⇒ 受動態にすると…　My bag **has been stolen** by someone.

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，受動態の英文を完成させなさい。

1. 私の PC はもうすでに直されている。　* 直す repair

   My PC _________ already _________ _________ .

2. 私たちの家は今，建てられているところだ。　*build 建てる

   Our house _________ _________ _________ now.

3. その本はほんの数日では読めない。

   The book _________ _________ _________ in just a few days.

復習テスト　第８講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Birds (　　　) since old times.　鳥は昔から愛されてきた。
   ① are being loved　② has loved
   ③ were loved　④ have been loved

2. An e-mail (　　　) now.　今，Ｅメールが送信されているところだ。
   ① is sending　② has sent　③ is being sent　④ has been sent

3. The beach (　　　).　その浜辺は清掃されなければならない。
   ① is being cleaned　② has been cleaned
   ③ must be cleaned　④ can be cleaned

Chapter 3　いろいろな受動態② 第Ⅳ文型・第Ⅴ文型

● 第Ⅳ文型 (SVO_1O_2) の受動態

He gave me the book.　彼は私に本をくれた。
⇒ 受動態にすると… ① O_1 (人) を主語 I was given the book by him.
② O_2 (物) を主語 The book was given **to** me by him.

● 第Ⅴ文型 (SVOC) の受動態

・第Ⅴ文型 (SVOC) の動詞：**call**, **name**, **find**, **make**, **keep**, **leave** など
We call this flower rose.　私たちはこの花をバラと呼ぶ。
⇒ 受動態にすると…　This flower is called Rose.

■確認問題

＊____に適する語を入れて，受動態の英文を完成させなさい。

1. My father lent me the book.
= The book ________ ________ to me by my father.

2. Mary keeps these rooms clean.
= These rooms ________ ________ ________ by Mary.

3. My sister made us a delicious dinner last night.
= A delicious dinner ________ ________ for us by my sister last night.

復習テスト　第８講　Chapter 3

＊次の英文を，受動態の文に変えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語（句）をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He sent me a gift.
   ⇒ A gift (　　　) to me by him.
   ① sent　② is being sent　③ was sent　④ has been sent

2. The man keeps all the rooms clean.
   ⇒ All the rooms (　　　) clean by the man.
   ① are kept　② were kept　③ has been kept　④ are being kept

3. Lisa made us curry last week.
   ⇒ Curry (　　　) for us by Lisa last week.
   ① is made　② was being made　③ has been made　④ was made

Chapter 4　いろいろな受動態③ 群動詞

群動詞とは？

give up (あきらめる) などのように,「動詞 + 前置詞」や「動詞 + 副詞」などが,一語の動詞と同じ働きをする表現。

● 頻出の群動詞

▶ **speak to**：～に話しかける
・I **was spoken to** by a stranger.　私は見知らぬ人に話しかけられた。

▶ **laugh at**：～を笑う
・He **is laughed at** by everyone.　彼はみんなに笑われている。

▶ **look up to**：～を尊敬する
・He **is looked up to** as a great player.　彼は偉大な選手として尊敬されている。

▶ **speak ill of**：～の悪口を言う
・He **is spoken ill of** by his friends.　彼は友人に悪口を言われている。

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 私はクラスのみんなに笑われた。　*laugh 笑う
   I _________ _________ _________ by everybody in the class.

2. その選手は，チームメイトに尊敬されていた。　*look up to 尊敬する
   The player _________ _________ _________ _________ by his teammates.

復習テスト　第８講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She (　　　) by a little boy.　彼女は少年に話しかけられた。
   ① was spoken　② has been spoken
   ③ was spoken to　④ has been spoken to

2. He (　　　) by his older sister.　彼は姉に笑われた。
   ① was laughed　② was laughed at
   ③ has been laughed at　④ has been laughed

3. You (　　　) by everyone.　あなたはみんなに尊敬されている。
   ① have been looked up　② are looked up
   ③ have been looked up to　④ are looked up to

Chapter 5　受動態 × 熟語

● 受動態を使った熟語

▶ **be known to**：～に知られている
・The man **is known to** the police.　その男性は警察に知られている。

▶ **be known for**：～で知られている
・The Amazon **is known for** its length.　アマゾン川はその長さで知られている。

▶ **be covered with**：～でおおわれている
・The car **is covered with** snow.　その車は雪でおおわれている。

▶ **be filled with**：～で満たされている
・His face **was filled with** pride.　彼の表情は誇りに満ちていた。

▶ **be killed in**：～で亡くなる
・Many people **were killed in** the war.　多くの人がその戦争で亡くなった。

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼女の名は，町の多くの人に知られている。
   Her name __________ __________ __________ many people in her town.

2. 多くの人が，その事故で亡くなった。
   Many people __________ __________ __________ the accident.

3. 私の家は雪でおおわれていた。
   My house __________ __________ __________ snow.

復習テスト　第８講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. His movie (　　　) many people in the world.
彼の映画は世界中のたくさんの人に知られている。
① is known for　② is known to
③ is known as　④ is known in

2. A lot of people (　　　) the big fire.　多くの人が，その大火事で亡くなった。
① were killed　② were being killed
③ were killed in　④ were killed for

3. The bathtub (　　　) water.　浴槽は水で満たされている。
① is filled with　② is filled in
③ is filled for　④ is being filled

Chapter 6　They say that … の受動態

● They say [believe] that … の受動態

▶ **It is said [believed] that** …：…だと言われて[信じられて]いる

They say [believe] that…型の文は，It is said［believed］that …で受動態を作る。

・彼は才能のあるサッカー選手だと言われている。

They say that he is a talented soccer player.

⬇受動態にすると…

That he is a talented soccer player is said (by them).

⬇形式主語(仮主語)の It を使う

It is said that he is a talented soccer player (by them).

▶ この型をとる動詞　…　**say, believe, think, know**　など

・It is said [believed, thought, known] that …

... だと言われている [信じられている，考えられている，知られている]

■確認問題

＊＿＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 日本人は保守的であると言われている。　＊保守的な conservative

＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿ that Japanese people are conservative.

2. 世界中でたった 5 人しかそのことを知らないと信じられている。

＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿ that only five people in the world know that.

3. 喫煙は健康に悪いことが知られている。

It ＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿ smoking is bad for your health.

復習テスト　第８講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) that he is a kind person.　彼は親切な人だと言われている。
① They are said　② They are believed
③ It is said　④ It is believed

2. (　　　) that the old man can use magic.
その年配の男性は魔法を使うことができると信じられている。
① They are believed　② They are known
③ It is known　④ It is believed

3. (　　　) that enough sleep is necessary for good health.
十分な睡眠は健康に必要だと知られている。
① It is known　② It is thought
③ They are known　④ They are thought

第９講　　不定詞①

Chapter 1　不定詞の基本と三用法
Chapter 2　名詞的用法① 名詞的用法の基本
Chapter 3　名詞的用法② 形式主語と形式目的語
Chapter 4　形容詞的用法
Chapter 5　副詞的用法① 副詞的用法の基本
Chapter 6　副詞的用法② 結果
Chapter 7　副詞的用法③ in order to *do*

Chapter 1　不定詞の基本と三用法

不定詞の基本：to + 動詞の原形

▶ 不定詞 = **to** + 動詞の原形 **(to *do*)** には三つの用法がある

① 名詞的用法　：～すること

・My dream is **to become** a doctor.　　私の夢は医者に**なること**です。

② 形容詞的用法：～するための

・I want something **to drink**.　　何か飲み物 (飲む**ための**もの) がほしい。

③ 副詞的用法　：～するために

・I went there **to see** him.　　彼に会う**ために**そこへ行った。

☆ 英文中で to + 動詞の原形が登場したら不定詞 ⇒ 三用法のどれかを考える！

三用法の区別の基本

① 名詞的用法　：S (主語)，O (目的語)，C (補語) のどれかの働きをする

② 形容詞的用法：名詞 + to *do* の形になる

something **to drink**.

③ 副詞的用法：不定詞 (to *do*) と文の動詞が「目的」「手段」の関係になる

■確認問題

＊次の各英文に使われている不定詞が，①名詞的用法，②形容詞的用法，③副詞的用法のうち，どの働きをしているかを答えなさい。

1. We must work hard **to succeed**. [　　　]

2. I want something hot **to drink**. [　　　]

3. Her dream is **to become** a lawyer. [　　　]

4. He went to the store **to talk** with his friend. [　　　]

復習テスト　第９講　Chapter 1

＊下線部について，英文内での意味としてもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I went to the park to enjoy the art festival.
　① 楽しむこと　② 楽しむための
　③ 楽しむために　④ 楽しんで

2. My goal is to pass the test.
　① 合格するために　② 合格すること
　③ 合格するための　④ 合格して

3. The woman wanted something to drink.
　① 飲むための　② 飲むために
　③ 飲んで　④ 飲むこと

NOTE

Chapter 2　名詞的用法① 名詞的用法の基本

名詞的用法の基本　「～すること」

名詞的用法の不定詞は，S（主語），O（目的語），C（補語）のどれかの働きをする。

● S（主語）になる場合

・**To know** our future is impossible.　私たちの未来を知ることは不可能だ。
（To know our future = S）

⬇ 実際には…

・It is impossible **to know** our future.

● O（目的語）になる場合

・I wanted **to know** his name.　彼の名前を知りたい。
（to know his name = O）

・I tried **to write** to her.　彼女に手紙を書こうとした。
（to write to her = O）

・I decided **to go** abroad.　私は海外に行くことを決めた。
（to go abroad = O）

- **want to *do***　：～したい
- **try to *do***　：～しようとする
- **decide to *do***　：～しようと決める

● C（補語）になる場合

・My dream is **to play** soccer with my son. 私の夢は息子とサッカーすることだ。
（to play soccer with my son = C）

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. My dream is (① to live　　② to living) abroad.

2. She finally decided (① to marry　　② to marry with) the man.

3. I want (① knowing　　② to know) the result of the game.

復習テスト　第９講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Our plan is (　　　) a house in Osaka.
   ① bought　② to buy　③ to buying　④ buy

2. I decided (　　　) to Spain next year.
   ① traveled　② traveling　③ to travel　④ to traveling

3. He wants (　　　) that kind woman.
   ① marrying　② to marry　③ married　④ marry

NOTE

Chapter 3　名詞的用法② 形式主語と形式目的語

● 形式主語 (仮主語) の it

・**To be** with you is a great pleasure.　あなたといるととてもうれしい。

⬇主語を形式の it にすると…

It is a great pleasure **to be** with you.

・**To remember** the rule is difficult.　そのルールを覚えておくことは難しい。

⬇主語を形式の it にすると…

It is difficult **to remember** the rule.

▶ **It is 名詞 / 形容詞 to *do*** ～：～することは [名詞 / 形容詞] だ

● 形式目的語 (仮目的語) の it　※主に第Ⅴ文型の目的語

・I think **to tell** him the truth wrong.　彼に真実を伝えるのは間違いだと思う。

⬇目的語を形式の it にすると…

I think **it** wrong **to tell** him the truth.

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (① There’s　　② It’s) difficult to decide which is better.

2. I make (① this　　② it) a rule to take a walk in the morning.

3. I found (① them　　② it) difficult to believe you.

復習テスト　第９講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) easy to read this English book.

　① There's　② It's　③ That　④ Being

2. I make (　　　) a rule to run every Friday.

　① this　② to　③ there　④ it

3. I found (　　　) difficult to forget that memory.

　① it　② there　③ that　④ this

NOTE

Chapter 4 形容詞的用法

形容詞的用法の基本

形容詞的用法の不定詞は，「名詞 + to *do*」の形で直前の名詞を説明する働きをする。
to *do* と名詞の間に，VO 関係・VS 関係・同格関係が成立する。

● 名詞と不定詞 (to *do*) の三つの関係

① VO 関係

・I have a friend **to help**.　私には助けるべき友人がいる。

⇒ 友人**を**助ける (VO 関係)

② VS 関係

・I have a friend **to help** me.　私には自分を助けてくれる友人がいる。

⇒ 友人**が**私を助ける (VS 関係)

③ 同格関係 (= 名詞とイコールの関係)

・She got the ability **to speak** French.　彼女はフランス語を話す能力を習得した。

⇒ 能力 = フランス語を話す (同格関係)

● 同格の不定詞をともなう名詞

▶ 同格の不定詞をともなう名詞：**ability**, **decision**, **promise** など

・the ability to *do*　：～する能力
・the decision to *do*：～する決心
・the promise to *do*：～する約束

■確認問題

＊次の各英文に使われている形容詞的用法の不定詞と名詞との関係が，① VO 関係，② VS 関係，③同格関係のうち，どの働きをしているかを答えなさい。

1. I reached the decision **to follow** your advice.　＊ follow 従う　[　　　]

2. Do you have anything **to say** about his marriage?　[　　　]

3. He is the first man **to invent** this machine.　[　　　]

☆ 発展編

・I am looking for an apartment to live in.

私は住むアパートを探している。

復習テスト　第９講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She has the ability (　　　) things quickly.
   ① understand　② understanding
   ③ to understanding　④ to understand

2. Do you have anything (　　　)?
   ① selling　② to sell　③ to selling　④ sell

3. He was the first person (　　　) to the moon.
   ① go　② to going　③ to go　④ went

NOTE

Chapter 5　副詞的用法① 副詞的用法の基本

● 目的・感情の原因・判断の根拠

① 目的：～するために

・I went there **to see** him.　　彼に会う**ために**そこへ行った。

② 感情の原因：～して (うれしい・悲しいなど)

・I'm happy **to see** you again.　　君にまた会**えて**うれしいよ。

③ 判断の根拠：～するなんて

・He must be smart **to solve** the problem.

その問題を解く**なんて**彼は賢いに違いない。

● 形容詞修飾：直前の形容詞を修飾する

④ 形容詞修飾：～するには ([形容詞] だ)

・This river is dangerous **to swim** in.　　この川は泳ぐ**には**危険だ。

▶ 特徴　…　・ 難易形容詞に使う：**difficult [hard], easy, dangerous**

・ 不定詞の目的語が欠けている

■確認問題

＊＿＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 私はその知らせを聞いてうれしかった。　*hear 聞こえる

   I was glad _________ _________ the news.

2. 電車に傘を置いてくるなんて，君は不注意だったね。　*leave 置き忘れる

   You were careless _________ _________ your umbrella on the train.

3. 学校に間に合うように，彼女は駅まで走った。　*be in time for 〜に間に合う

   She ran to the station _________ _________ in time for school.

4. 英語は学びやすい。　*learn 学習する

   English is easy _________ _________ .

復習テスト　　第９講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He was surprised (　　　) the truth.　彼は真実を知って驚いた。

　① known　② to know　③ at knowing　④ knew

2. You are kind (　　　) a stranger.

　見知らぬ人を助けるなんてあなたは親切だ。

　① helped　② to helping　③ help　④ to help

3. We went to the zoo (　　　) gorillas.　私たちはゴリラを見に動物園へ行った。

　① to see　② to seeing　③ see　④ seen

NOTE

Chapter 6　副詞的用法② 結果

● 結果

⑤ 結果：その結果～する

▶ **grow up to be ～**：成長して (その結果) ～になる

・He **grew up to be** a great athlete.
彼は成長し偉大なアスリートになった。

▶ **live to be ～**：生きて (その結果) ～になる，～まで生きる

・He **lived to be** eighty.
彼は 80 歳まで生きた。

▶ **awake to find ～**：目覚めて (その結果) ～とわかる

・I **awoke to find** myself lying on a bench.
私は目覚めて，自分がベンチで寝ていると気付いた。

▶ **only to *do* ～**：…したが (その結果) ～するだけだ

・He worked hard, **only to** fail.
彼は熱心に働いたが，失敗しただけだった。

▶ **never to *do* ～**：…したが (その結果) 二度と～しない

・He left his country, **never to** return.
彼は国を去り，二度と戻らなかった。

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼は，目覚めると自分が家にたった一人であると気付いた。　*awake 目覚める

He _________ _________ _________ himself alone in the house.

2. 彼は一生懸命勉強したが，試験で失敗しただけだった。

He studied hard, _________ _________ fail in the exam.

3. 彼は成長して有名な歌手になった。　*grow up 成長する

He _________ _________ _________ _________ a famous singer.

復習テスト　第９講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. The girl (　　　) be a *sushi* chef.　その少女は成長して寿司職人になった。
   ① grew up to　② awake to
   ③ only to　④ never to

2. I (　　　) find myself in a hotel room.
   私は，目覚めると自分がホテルの部屋にいると気付いた。
   ① only to　② grew up to
   ③ lived up to　④ awoke to

3. The team practiced very hard, (　　　) lose the game.
   チームはとても熱心に練習したが，試合に負けただけだった。
   ① never to　② to live up to
   ③ only to　④ to grow up to

NOTE

Chapter 7　副詞的用法③　in order to *do*

● in order to *do* と so as to *do*

▶ **in order to *do* [so as to *do*]**：～するために

副詞的用法では「～するために」という目的の意味を持つ to 不定詞だが，目的を強調したいときにこの表現を使う。

・I went home **in order to** change my clothes.
　私は着替えるために家に帰った。

・I took a taxi **so as to** be in time for the meeting.
　私は会議に間に合うようにタクシーに乗った。

■確認問題

＊ 選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 始発電車に間に合うように私は 4 時に起きた。
   I got up at four (　　) be in time for the first train.
   ① in view of　　　② so as to

2. 彼女はフランス文学を学ぶためにパリへ行った。
   She went to Paris (　　) study French literature.　*literature 文学
   ① in view of　　　② in order to

復習テスト　第９講　Chapter 7

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He studies English hard in (　　　) in Australia.
彼はオーストラリアで生活するために，英語を熱心に勉強している。
① addition to live　② order to living
③ order to live　④ case of living

2. Yesterday, she got home earlier so (　　　) the TV show.
昨日，彼女はそのテレビ番組を見るために，早めに帰宅した。
① that to watch　② as to watching
③ that watching　④ as to watch

3. I went to Kumamoto (　　　) my grandparents.
私は祖父母を訪ねるために熊本へ行った。
① in case of visiting　② in order to visit
③ in order of visiting　④ in addition to visit

第10講　不定詞②

Chapter 1　不定詞の主語
Chapter 2　不定詞の否定・受動態・進行形
Chapter 3　完了不定詞
Chapter 4　seem to *do* ⇔ It seems … の書き換え
Chapter 5　be to 不定詞
Chapter 6　疑問詞 + to 不定詞

Chapter 1　不定詞の主語

● 不定詞の主語：for S to *do*

▶ **不定詞の主語は直前に for S を置く**

不定詞の主語を示すときには，不定詞の直前に for S の形で置く。

・It is dangerous **for us** to swim in this river.
私たちがこの川で泳ぐのは危険だ。
※形式主語の it / 不定詞の主語 / 名詞的用法の不定詞「～すること」

● 不定詞の主語：of S to *do*

▶ **人の性格を表す形容詞をともなう場合は of S を置く**

人の性格を表す形容詞をともなうときは，for S ではなく of S を置く。

・It is kind **of you** to say so.
そのように言ってくれるとはあなたは親切ですね。
※状況の it / 主格の of / 副詞的用法の不定詞「～するなんて」

▶ 人の性格を表す形容詞

kind (親切な), **nice** (素敵な), **wise** (賢明な), **careful** (慎重な), **careless** (不注意な), **foolish** (馬鹿な), **stupid** (愚かな)

■確認問題

＊選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. It is important (　　) your teachers' advice.

① of you to follow　　② for you to follow

2. It is necessary (　　) the work.

① of us to finish　　② for us to finish

3. It was foolish (　　) the rumor.　*rumor うわさ

① of her to believe　　② for her to believe

復習テスト　第10講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. It is important (　　　) him to join that practice game.
   ① of　② in　③ for　④ at

2. It is kind (　　　) you to help me with my homework.
   ① for　② of　③ from　④ at

3. It’s very dangerous (　　　) them to climb the mountain today.
   ① of　② from　③ as　④ for

NOTE

Chapter 2　不定詞の否定・受動態・進行形

● 不定詞の否定：not to *do*

▶ **不定詞を否定する場合は直前に not を置く (not の頭出し)**

・I asked him **not to go** out.　　私は彼に，外出しないように頼んだ。

☆ in order to [so as to] の否定は in order **not to** [so as **not to**] となる

● 不定詞の受動態

▶ **不定詞の受動態：to ＋ be ＋ p.p.**

・I like **to be praised** by my father.　　私は父にほめられるのが好きだ。

● 不定詞の進行形

▶ **不定詞の進行形：to ＋ be ＋ ～ing**

・He seems **to be traveling** abroad.　　彼は海外旅行をしている最中らしい。

■確認問題

＊＿＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 私は学校に遅れないように早く起きた。

I got up early in ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ be late for school.

2. 私はその本を買わないことに決めた。

I ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ buy the book.

3. 彼女はみんなに愛されたいと思っている。　*love 愛する

She wants ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ by everybody.

復習テスト　　第10講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語（句）をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Last night, I drank coffee in (　　　) feel sleepy.
昨夜，私は眠くならないようにコーヒーを飲んだ。
① as not to　② not order to　③ so not as　④ order not to

2. I’m happy (　　　) to the event.　私はそのイベントに招かれてうれしい。
① to invite　② to be invited　③ to invited　④ be invited

3. Everyone wants (　　　) by someone. 皆，誰かに愛されたいと思うものだ。
① to be loved　② to loved　③ be loved　④ to love

NOTE

Chapter 3 完了不定詞

● 完了不定詞

▶ **不定詞の完了形：to ＋ have ＋ p.p.**

不定詞が英文の動詞より前の時制を表す場合，to have p.p. を使う。

・She is said **to have been** beautiful when she was young.

彼女は，若いころ美しかったと言われている。

● 完了不定詞と seem [appear] to *do*

▶ **seem [appear] to *do***：～するようだ，～するらしい

・He **seems to be** happy.

彼は幸せであるようだ。

・They **appeared to have** nothing in common.

*have O in common：O を共通に持つ

彼らは，共通点が何もないようだった。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼はお金を全部なくしてしまったようだ。

He seems (① to lose　② to have lost) all his money.

2. あのシャツは彼女には小さすぎるようだ。

That shirt seems (① to be　② to have been) too small for her.

3. 彼はひどい風邪を引いていたようだ。

He seems (① to have　② to have had) a bad cold.

復習テスト　第10講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She seems to (　　　) the meeting.　彼女はその会議に出席したようだ。
　① attend　② be attended　③ be attending　④ have attended

2. Then, the boy (　　　) tired.　そのとき，少年は疲れているようだった。
　① appears　② appears to be
　③ appeared to be　④ appeared to have been

3. He is said to (　　　) a famous singer.　彼は有名な歌手だったと言われている。
　① have been　② be　③ was　④ had been

Chapter 4　seem to *do* ⇔ It seems … の書き換え

● It seems that … ⇔ seem to *do* の書き換え

・It seems that he is happy.　⇒ He **seems to be** happy.
彼は幸せであるようだ。

・It seems that he was happy.　⇒ He **seems to have been** happy.
彼は幸せだったようだ。

■確認問題

＊ 次の各組の英文がほぼ同じ意味になるように，_____に適する語句を入れて，英文を完成させなさい。

1. It seems that she lived in Sapporo five years ago.
   = She seems ____________________ in Sapporo five years ago.

2. It was said that she was the greatest pianist in Japan.
   = She was said ____________________ the greatest pianist in Japan.

復習テスト　　第10講　Chapter 4

＊次の英文を，ほぼ同じ意味の文に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. It seems that he watched a movie with her.
⇒ He seems (　　　) a movie with her.
① to watch　　② to be watched
③ to have watched　　④ watching

2. It was said that the woman was a magician.
⇒ The woman was said (　　　) a magician.
① to be　　② being　　③ to being　　④ to have been

3. It appears that he knew the secret.
⇒ He appears (　　　) the secret.
① to know　　② knowing　　③ to be known　　④ to have known

Chapter 5　be to 不定詞

● be to 不定詞

▶ **be to 不定詞**：予定・義務・意志・可能・運命
⇒万能助動詞 (be going to, should, will, can, shall)

① **予定**：～することになっている
・We **are to meet** tomorrow.　私たちは明日会う予定だ。

② **義務**：～しなければならない
・You **are to leave** the building.　あなた方はその建物を去らねばならない。

③ **意志**：～するつもりである
・If you **are to succeed**, work hard. 成功したいなら，一生懸命働きなさい。
※ if 節中で使われる

④ **可能**：～することができる
・Nothing **was to be** found.　何も見つからなかった。
※否定語＋受動態

⑤ **運命**：～する運命にある
・He **was** never **to return** to Japan.　彼は二度と日本に戻らなかった。

■確認問題
＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. パーティは明日開かれる予定だ。　*(パーティなどを) 開く hold-held-held
The party (① will　② is) to be held tomorrow.

2. 成功したいなら，一生懸命働かなければなりません。
If you (① make　② are) to succeed, you have to work hard.

3. 彼の時計はどこにも見つからなかった。
His watch was (① not be found　② not to be found) anywhere.

復習テスト　第10講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The concert (　　　) to be held next month.
   コンサートは来月開かれる予定だ。
   ① is　　② will　　③ was　　④ should

2. If you (　　　) win the guitar contest, you have to practice harder.
   あなたがギターコンテストで優勝したいなら，もっと熱心に練習しなければなりません。
   ① will　　② want　　③ are to　　④ make

3. The moon was (　　　) last night.　　昨夜，月は見えなかった。
   ① not to see　　② not to be seen
   ③ not be seen　　④ not to have seen

Chapter 6　疑問詞 + to 不定詞

● 疑問詞 + to 不定詞

▶ **how to *do*** ：どのように～すべきか (= ～する方法)

・I don’t know **how to** open the door.　私はそのドアを開ける方法がわからない。

▶ **what to *do*** ：何を～すべきか

・I didn’t know **what to** say.　私は何を言うべきかわからなかった。

▶ **when to *do*** ：いつ～すべきか

・We decided **when to** meet her.　私たちはいつ彼女に会うかを決めた。

▶ **where to *do*** ：どこで～すべきか

・Tell me **where to** meet him.　どこで彼に会えばいいか教えて。

▶ **which to *do*** ：どちらを～すべきか

・Tell me **which to** take.　どちらを取ればよいか教えて。

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼はその仕事の仕方を説明してくれた。

He explained to me __________ __________ do the work.

2. 先生はその単語をどう発音するか知らなかった。

The teacher didn’t know __________ __________ pronounce the word.

3. 問題は，次にどこへ行くかだ。

The problem is __________ __________ go next.

☆　発展編

▶ **what /which 名詞 to *do***：どの / どちらの名詞を〜すべきか

・Tell me **which way to** take.　　どちら道を行けばよいか教えて。

▶ **whether to *do***：〜すべきかどうか

・Tell me **whether to** change your plan.　計画を変えるべきかどうか教えて。

復習テスト　第10講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He taught me (　　　) use the coffee machine.
   彼はコーヒーマシンの使い方を教えてくれた。
   ① how　　② how to
   ③ what　　④ what to

2. He didn’t know (　　　) believe.　彼は何を信じるべきかわからなかった。
   ① what to　　② whether to
   ③ when to　　④ how to

3. The question is (　　　) call her.
   問題はいつ彼女に電話すべきかということだ。
   ① whether to　　② what to
   ③ when to　　④ where to

NOTE

第11講　不定詞③

Chapter 1　不定詞を使った表現① 程度を表す表現
Chapter 2　不定詞を使った表現② All S have to do is to *do* …
Chapter 3　不定詞を使った表現③ 独立不定詞
Chapter 4　SVO + *do* を取る動詞
Chapter 5　SVO + to *do* を取る動詞
Chapter 6　代不定詞／使役・知覚動詞の受け身

Chapter 1　不定詞を使った表現① 程度を表す表現

● …するほど～

▶ **～ enough to *do* …**：…するほど十分に～だ

・He was kind **enough to** show me the way.
彼は私に道を教えてくれるほど親切だった。

▶ **so ～ as to *do* …**：…するほど～だ

・She was **so** foolish **as to** leave her car unlocked.
彼女は車をロックせずに放置するほど愚かだった。

● ～すぎて…できない

▶ **too ～ to *do* …**：～すぎて…できない

・The box was **too** heavy **to** carry.　その箱は重すぎて運べなかった。

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼は車の運転ができる年齢だ。

   He is old __________ __________ drive a car.

2. 私は興奮しすぎて何も言えなかった。

   I was __________ excited __________ say anything.

3. 彼女は私を駅まで連れて行ってくれるほど親切だった。

   She was __________ kind __________ __________ take me to the station.

復習テスト　第11講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. She was rich (　　　) to buy a second home.
彼女は別宅を買えるほど裕福だった。
① too　② as　③ enough　④ so

2. That dish was (　　　) hot to eat.　あの料理は辛すぎて食べられなかった。
① so　② too　③ as　④ enough

3. My grandfather was (　　　) kind as to help street cats.
祖父は野良猫を助けるほど優しかった。
① so　② too　③ enough　④ as

NOTE

Chapter 2 不定詞を使った表現② All S have to do is to *do* …

● …しさえすればよい

▶ **All S have to do is (to) *do* …**：…さえすればよい

(「S がしなければならないすべてのことは…だ」⇒「〜さえすればよい」)

・**All you have to do is to** clean your room.

君は自分の部屋を掃除しさえすればよい。

▶ **have only to *do* …**：…さえすればよい

・You **have only to** clean your room.

君は自分の部屋を掃除しさえすればよい。

● 自動詞 + to *do*

▶ **happen to *do* …**：たまたま〜する

・I **happened to** see her in the park.

公園でたまたま彼女に会った。

▶ **come [get] to *do* …**：〜するようになる

・They **came to** love each other.

彼らは互いに愛し合うようになった。

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼らは互いのことを知るようになるだろう。

   They will __________ __________ __________ each other.

2. 君は私の話に耳を傾けさえすればよい。

   All __________ __________ __________ do is to listen to me.

3. 君は彼にたずねさえすればよい。

   You have __________ __________ ask him.

4. 幸運なことに，私はたまたま彼女のことを知っていた。

   Fortunately, I __________ __________ __________ her.

復習テスト　第１１講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The girl (　　　) like math.　　少女は数学を好むようになった。
   ① came to　② happened to　③ had only to　④ turned to

2. (　　　) you have to do is to call her.　　君は彼女に電話しさえすればよい。
   ① Only　② Every　③ All　④ Each

3. Yesterday, I (　　　) be there.　　昨日，私はたまたまそこにいた。
   ① got to　② happened to　③ had only to　④ came to

NOTE

Chapter 3　不定詞を使った表現③ 独立不定詞

● to *do* 型

▶ **to tell the truth**：実を言うと

・**To tell the truth**, I don’t like *sushi*.

実を言うと，私は寿司が好きではない。

▶ **to be honest [frank]**：率直に言うと

・**To be honest**, I don’t like him very much.

率直に言うと，私は彼がそんなに好きではない。

▶ **to begin with**：まず始めに

・**To begin with**, we didn’t have enough money.

まず始めに，私たちには十分なお金がなかった。

▶ **to make matters worse**：さらに悪いことに

・**To make matters worse**, it began to rain.

さらに悪いことに，雨が降り始めた。

● 形容詞 to *do* 型

▶ **needless to say**：言うまでもなく

・**Needless to say**, he was very angry.

言うまでもなく，彼はとても怒っていた。

☆ **to say nothing of**：～については言うまでもなく

▶ **strange to say**：不思議なことに

・**Strange to say**, she passed the exam after all.

不思議なことに，彼女は最終的にその試験に合格した。

■確認問題

＊＿＿＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 実を言うと，私は酒が好きではない。

＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ , I don’t like *sake*.

2. 言うまでもなく，彼女は試験に失敗した。

＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ , she failed in the exam.

復習テスト　第11講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1.（　　　), I don’t like pumpkin very much.
　実を言うと，私はカボチャがあまり好きではない。
　① Needless to say　② To begin with
　③ To make matters worse　④ To tell the truth

2. (　　　), we don’t have much time.　はじめに，私たちにはあまり時間がない。
　① To tell the truth　② To make matters worse
　③ To begin with　④ To be honest

3. (　　　), it began to rain.　さらに悪いことに，雨が降り出した。
　① To be frank　② To make matters worse
　③ Strange to say　④ To tell the truth

NOTE

Chapter 4　SVO + *do* を取る動詞

第Ⅴ文型と不定詞

第Ⅴ文型 (SVOC) の C には，to *do* や *do* が置かれることがある。英文の動詞によって，C に to *do* を取るか *do* を取るかが決まる。

● 使役動詞 (人を使って〜させる)：make, let, have

▶ 使役動詞 (make, let, have) + O + *do*

① **make**：強制

・I made him **wash** the dishes.　私は彼に皿を洗わせた。

② **let**　：許可

・My mother didn't let me **go**.　母は私を行かせてくれなかった。

③ **have**：依頼

・I had her **type** the letter.　私は彼女に手紙をタイプさせた。

● 知覚動詞 (見たり聞いたり感覚を表す)：see, hear, feel

▶ 知覚動詞 (see, hear, feel) + O + *do*

・I saw my mother **enter** the house.　私は母が家に入るのを目撃した。

・I heard someone **call** my name.　私は誰かが私の名を呼ぶのを聞いた。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 私は，その少年が建物に入るのを見た。
   I saw the boy (① enter　　② to enter) the building.

2. 彼は，暗くなったあと一人で私をそこに行かせた。
   He made me (① go　　② to go) there alone after dark.

3. 彼女の両親は，彼女をコンサートに行かせてくれた。
   Her parents let her (① go　　② to go) to the concert.

復習テスト　第11講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. We saw the girl (　　　) volleyball in a park.
   私たちは，その少女が公園でバレーボールをするのを見た。
   ① play　② to play　③ played　④ to playing

2. My father made me (　　　) vegetables.　父は私に野菜を食べさせた。
   ① ate　② to eat　③ eat　④ eating

3. They didn’t let their son (　　　) the flower vase.
   彼らは息子に，その花瓶に触らせなかった。
   ① touching　② touch　③ to touch　④ touched

NOTE

Chapter 5　SVO + to *do* を取る動詞

● 伝達型：tell, ask, advise

▶ **tell O to *do***：O に～するように言う

・The teacher told them **to sit** down.
先生は彼らに座るように言った。

▶ **ask O to *do***：O に～するように頼む

・She asked her mother **to wake** her at 7 o'clock.
彼女は母親に，7 時に起こすように頼んだ。

▶ **advise O to *do***：O に～するように助言する

● allow, enable

▶ **allow O to *do***：O が～するのを許す〔許可〕

・He allowed me to use the machine.
彼は，私がその機械を使うのを許した。

▶ **enable O to *do***：O が～するのを可能にする

・Her parents enabled her **to buy** the house.
彼女の両親は，彼女がその家を買うのを可能にした。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 父は，私に彼の車を使わせてくれた。

My father (① let　　② allowed) me to use his car.

2. 私は，父親に6時に起こしてくれるように頼んだ。

I asked my father (① wake　　② to wake) me up at six.

3. 彼の助力は，私がその仕事を終えるのを可能にした。

His help enabled me (① finish　　② to finish) the job.

復習テスト　第11講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My older sister (　　　) me to use her smartphone.
   姉は，私に彼女のスマートフォンを使わせてくれた。
   ① let　② told　③ asked　④ allowed

2. She asked him (　　　) more.
   彼女は，彼にもっと説明するように頼んだ。
   ① explain　② to explain　③ explained　④ explaining

3. This video will enable you (　　　) more about science.
   この動画は，あなたが科学についてもっと学ぶのを可能にするでしょう。
   ① learn　② learning　③ to learn　④ to learning

NOTE

Chapter 6　代不定詞／使役・知覚動詞の受け身

● 代不定詞

▶ **前出の語句を不定詞句で繰り返す場合に，to 一語で代用する**

・You don’t have to do it if you don’t want **to** (do it).
それをやりたくないのなら，やらなくてもいい。

● 使役・知覚動詞の受け身

▶ **使役・知覚動詞 + O + *do* は，受動態では O’ be + p.p. to *do* になる**

・I made him **wash** the dishes.
→ He was made **to wash** the dishes.　彼は皿を洗わされた。

・I saw my mother **enter** the house.
→ My mother was seen **to enter** the house.　母は家に入るのを見られた。

■確認問題

＊＿＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼はドアを開けてしまった。彼女が，そうしないようにと言ったのに。
He opened the door although she told him ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ .

2. 「そこに行かない？」「ええ，喜んで。」
“Would you like to go there?”　“Yes, I’d love ＿＿＿＿＿ .”

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

3. 私は，暗くなったあと一人でそこに行かされた。
I was made (① go　② to go) there alone after dark.

復習テスト　　第11講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. He ate that cake although his mother (　　　).
彼はあのケーキを食べてしまった。彼の母が，そうしないようにと言ったのに。
① told not to him　　② told him not to
③ not to told him　　④ not told him to

2. I was made (　　　) the dishes after lunch.
私は，昼食後に皿を洗わされた。
① wash　　② to wash　　③ washing　　④ washed

3. He was seen (　　　) on a bench.　　彼はベンチで寝ているのを見られた。
① slept　　② sleep　　③ to sleeping　　④ to sleep

第12講　動名詞

Chapter 1　動名詞の基本
Chapter 2　動名詞の主語・否定
Chapter 3　動名詞の完了形・受動態
Chapter 4　不定詞・動名詞の両方をOに取る動詞
Chapter 5　不定詞をOに取る動詞
Chapter 6　動名詞をOに取る動詞
Chapter 7　動名詞を使った表現①
Chapter 8　動名詞を使った表現②

Chapter 1　動名詞の基本

英文法の基礎知識：動名詞　「〜すること」

動名詞とは，動詞の〜ing形 (*do*ing) の形で名詞の働きをするもの。英文中でS (主語)，O (目的語)，C (補語) の役割となる。

① S (主語) になる

・**Playing** video games is fun.　　TVゲームをすることは楽しい。

② O (目的語) になる

・I like **playing** video games.　　私はTVゲームをすることが好きだ。

③ C (補語) になる

・My hobby is **playing** video games.　　私の趣味はTVゲームをすることだ。

☆ 動名詞と不定詞 (名詞的用法) の違い

＊次の二つの英文はどちらが正しいか？

・I’m good at **playing** soccer.

・I’m good at **to play** soccer.

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 早起きは健康によい。

(① Gets　② Getting) up early is good for your health.

2. 私は毎朝読書を楽しんでいる。

I enjoy (① read　② reading) books every morning.

3. 通りを渡るときには，慎重になるべきだ。

You should be careful in (① to cross　② crossing) the street.

復習テスト　　第12講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) different cultures is very important.
さまざまな文化を理解することは重要だ。
① Understands　② Understood
③ Understanding　④ To be understood

2. Tom enjoys (　　　) Japanese songs.　トムは日本の歌を歌うのを楽しむ。
① sings　② singing　③ sing　④ to singing

3. We should be careful in (　　　) this machine.
私たちはこの機械を使う際，慎重になるべきだ。
① using　② to use　③ use　④ used

NOTE

Chapter 2　動名詞の主語・否定

● 動名詞の主語

▶ 動名詞の主語は直前に所有格 / 目的格

・I don’t like **your [you]** speaking ill of others.
私は，君が他人の悪口を言うのが好きではない。　*speak ill of ～の悪口を言う

● 動名詞の否定は not の頭出し

▶ 動名詞の否定：not ～ ing：～しないこと

・He was frustrated at **not finding** a job.
彼は，仕事が見つからないことにイライラしていた。　*be frustrated イライラする

■確認問題

＊____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼は，彼女は自分と一緒に来るべきだと主張した。　＊～を主張する insist on
He insisted on _________ _________ with him.

2. 母は，私が一人でそこへ行くことを好まない。
My mother doesn’t like _________ _________ there alone.

3. 彼はその事実を知らないことを恥ずかしく思っている。
＊～を恥ずかしく思う be ashamed of
He is ashamed of _________ _________ the fact.

復習テスト　第12講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My mother doesn't like (　　　) playing video games at night.
   母は，私が夜にテレビゲームをすることを好まない。
   ① I　② my　③ her　④ she

2. She insisted on (　　　) joining the meeting.
   彼女は，彼が会議に参加すべきだと主張した。
   ① him　② he　③ she　④ her

3. Don't be ashamed (　　　) the answer.
   答えがわからないことを恥ずかしく思わないで。
   ① not knowing　② not be known　③ of not knowing　④ in not knowing

Chapter 3　動名詞の完了形・受動態

● 動名詞の完了形は英文の動詞よりも前の時制を表す

▶ **動名詞の完了形は having + p.p.**：～したこと

・I'm ashamed of **having been** lazy at school.　*lazy 怠けた

私は学校で怠けていたことを恥ずかしく思っている。

● 動名詞の受動態

▶ **動名詞の受動態は being + p.p.**：～されること

・I don't like being scolded.　*scold 叱る

私は叱られるのが好きではない。

■確認問題

＊_____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼女は，若いころに一生懸命勉強したことを誇りに思っている。

   She is proud of __________ __________ hard when she was young.

2. 彼は，彼女に嘘をついたことを恥ずかしく思っている。

   He is ashamed of __________ __________ her a lie.

3. 私は子どものように扱われるのが好きではない。

   I don't like __________ __________ like a child.

復習テスト　第12講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The boy is proud of (　　　) that speech contest.
　少年は，スピーチコンテストで優勝したことを誇りに思っている。
　① have won　② having won
　③ being won　④ having been won

2. She doesn’t like (　　　) a princess.
　彼女は，姫と呼ばれるのが好きではない。
　① calling　② being called
　③ having called　④ having been called

3. He is ashamed of (　　　) her feelings.
　彼は，彼女の気持ちを傷つけたことを恥ずかしく思っている。
　① being hurt　② hurting
　③ having hurt　④ having been hurt

Chapter 4　不定詞・動名詞の両方を O に取る動詞

● 不定詞・動名詞の両方を O に取る動詞：**remember, forget**

☆次の二文の違いを考えてみよう。

・Remember **to post** the letter.
その手紙を出すことを覚えていてね (= その手紙を忘れずに出してね)。

・I remember **posting** the letter.
その手紙を出したことを覚えている。

● remember, forget は O が不定詞か動名詞かで意味が変わる！

▶ **不定詞がもつイメージ：未来志向 (これから～すること)**

・**remember to *do***：(これから) ～することを覚えている，忘れずに～する
・**forget to *do***：(これから) ～することを忘れる
Don’t forget **to post** the letter.　その手紙を出すことを忘れないでね。

▶ **動名詞がもつイメージ：過去志向 (以前～したこと)**

・**remember ～ ing**：(以前) ～したことを覚えている
・**forget ～ ing**：(以前) ～したことを忘れる
I’ll never forget **visiting** America. アメリカを訪れたことを忘れないだろう。

■確認問題

＊ (　　) 内の語を適切な形に変えて，英文を完成させなさい。

1. I remember (① to meet　② meeting) you at the party last month.

2. Don’t forget (① to return　② returning) my book to me tomorrow.

復習テスト　第12講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I remember (　　　) to that *sushi* restaurant with you last year.
　① to go　② going　③ being gone　④ to going

2. Don’t forget (　　　) some food to our cats tomorrow.
　① giving　② give　③ to give　④ to giving

3. Please remember (　　　) me when you get home.
　① to calling　② calling　③ to call　④ call

Chapter 5　不定詞を O に取る動詞

● 不定詞を O に取る動詞：これからやることを意味する動詞

▶ 未来志向の動詞

・**decide to *do***　：～することを決める

・**promise to *do***　：～することを約束する

▶ プラス志向の動詞

・**hope to *do***　：～することを希望する

・**wish to *do***　：～することを願う

・**want to *do***　：～したい

・**would like to *do***　：～したい

▶ 例外

・**refuse to *do***　：～することを拒絶する

・**fail to *do***　：～しない

He never **fails to** keep his words.　彼は必ず約束を守る。

・**hesitate to *do***　：～することをためらう

Please don't **hesitate to** contact us. 遠慮なく私たちに連絡してください。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼女は，海外に行くことに決めた。

She decided (① to go　② going) abroad.

2. 遠慮なく私に電話してください。

Don't hesitate (① to call　② calling) me.

3. 彼女は，彼と結婚することを拒んだ。

She refused (① to marry　② marrying) him.

復習テスト　第12講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He promised (　　　) me his DVD.　彼は私にDVDを貸してくれると約束した。
   ① lend　② to lend　③ lending　④ lent

2. I hope (　　　) that university.　私はあの大学に入ることを希望している。
   ① enter　② entered　③ entering　④ to enter

3. Please don't hesitate (　　　) me any questions about us.
   私たちについてのどんな質問でも遠慮なくしてください。
   ① to ask　② ask　③ asking　④ to asking

Chapter 6　動名詞を O に取る動詞

● 動名詞を O に取る動詞

▶ 動名詞の持つイメージ：反復・中断・逃避

① 反復
- **mind ～ ing**　：～することを嫌がる，気にする
- **enjoy ～ ing**　：～して楽しむ

② 中断
- **stop ～ ing**　：～するのをやめる
- **give up ～ ing**　：～するのをやめる

③ 逃避
- **escape ～ ing**　：～するのを逃れる
- **avoid ～ ing**　：～するのを避ける

■確認問題

* (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 窓を開けて下さいませんか (窓を開けるのはいやですか) ？
   Would you mind (① to open　② opening) the window?

2. 私は毎日ギターを弾いて楽しんでいる。
   I enjoy (① to play　② playing) the guitar every day.

3. 私は若いころにたばこを吸うのをやめた。
   I gave up (① to smoke　② smoking) when I was young.

4. 彼はその子どもたちと話すのをやめた。
   He stopped (① to talk　② talking) with the children.

復習テスト　第12講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Would you mind (　　　) that box?　あの箱を閉めてくださいませんか。
   ① close　② to close　③ closing　④ closed

2. My father gave up (　　　) alcohol.　父はアルコールを飲むのをやめた。
   ① drinking　② drink　③ to drink　④ drunk

3. You should avoid (　　　) to him.　君は彼と話すのを避けるべきだ。
   ① talk　② to talk　③ talked　④ talking

Chapter 7　動名詞を使った表現①

● 動名詞を使った表現①

▶ **there is no ～ ing**：～することはできない

・**There is no accounting** for tastes.　*account for ～を説明する

蓼食う虫も好き好き（人の好みは説明できない）。

▶ **it is no use ～ ing**：～しても無駄である

・**It is no use crying** over spilt milk.　*spilt こぼれた

覆水盆に返らず（こぼれたミルクのことを泣いても無駄だ）。

▶ **it goes without saying that ～**：～は言うまでもない

・**It goes without saying that** honesty is the best policy.

正直が一番の方策というのは言うまでもない。

▶ **on ～ ing**：～するとすぐに

・**On arriving** at the airport, he saw the woman.

空港に到着するとすぐに，彼はその女性に会った。

▶ **in ～ ing**：～する際には

・You should be careful **in crossing** the road.

道路を渡る際には注意すべきだ。

■確認問題

＊＿＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 何が次に起こるかはわからない。　*know わかる

There is ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ what will happen next.

2. 彼を説得しようとしても無駄である。　* 説得する persuade

It is ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ trying to persuade him.

3. 通りを渡る際には注意しなければならない。　*cross 横断する

You should be careful ＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ the street.

4. オフィスに着くとすぐに，私は彼に会った。　*arrive at 着く

＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿ at the office, I saw him.

復習テスト　第12講　Chapter 7

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) is no knowing what is 100 percent right.
何が 100 パーセント正しいかはわからない。
① It　② This　③ That　④ There

2. He said, “It is no (　　　) money.”　彼は「貯金しても無駄だよ」と言った。
① using to save　② use saving　③ saving　④ save

3. We should be careful (　　　) driving on this road.
この道路を車で走る際には注意すべきだ。
① in　② on　③ to　④ at

NOTE

Chapter 8　動名詞を使った表現②

● 動名詞を使った表現②

▶ **when it comes to ～ ing**：～することとなると

・**When it comes to playing** the guitar, he is a genius.
ギターを弾くこととなると，彼は天才だ。

▶ **what do you say to ～ ing?**：～してはどうですか？
(= what [how] about ～ ing?)

・**What do you say to seeing** a movie?　映画見に行きませんか？
= **What [how] about seeing** a movie?

▶ **feel like ～ ing**：～したい気がする

・I **feel like going** for a walk.　散歩をしたい気分だ。

▶ **be worth ～ ing**：～する価値がある

・The movie **is worth seeing** twice.　その映画は二回見る価値がある。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 海外に旅行に行きませんか？
What do you say (① to travel　② to traveling) abroad?

2. この本はもう一度読む価値がある。
This book is worth (① to read　② reading) again.

3. 映画を見に出かけませんか？
How about (① to go　② going) out to the movies?

4. 今晩は出かける気にならない。
I don’t feel like (① to go　② going) out tonight.

復習テスト　第12講　Chapter 8

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. What do you say (　　　) to a zoo?　動物園に行きませんか。
   ① go　② to go　③ to going　④ will go

2. She is an expert when it comes (　　　) a camera.
   カメラを修理することとなると，彼女は専門家だ。
   ① to repair　② to repairing　③ of repairing　④ about repairing

3. I feel like (　　　) tennis or soccer.　テニスかサッカーをしたい気分だ。
   ① to play　② about playing　③ to playing　④ playing

第13講　分詞①

Chapter 1　分詞の種類
Chapter 2　分詞の役割①　名詞修飾
Chapter 3　分詞の役割②　補語になる
Chapter 4　感情動詞の分詞
Chapter 5　付帯状況の with

Chapter 1　分詞の種類

分詞の種類

▶ **分詞は「現在分詞 (～ ing)」と「過去分詞 (p.p.)」の二種類**

① 現在分詞は「能動」: ～する, している

② 過去分詞は「受動」: ～れる, られる

すなわち, 能動の意味を表したいなら現在分詞を使い, 受動の意味を表したいなら過去分詞を使う。

ex.) speaking　話している / spoken　話されている

■確認問題

＊次の動詞を, 現在分詞または過去分詞に直しなさい。

1. break　〔現在分詞〕＿＿＿＿＿＿＿＿　〔過去分詞〕＿＿＿＿＿＿＿＿

2. speak　〔現在分詞〕＿＿＿＿＿＿＿＿　〔過去分詞〕＿＿＿＿＿＿＿＿

3. write　〔現在分詞〕＿＿＿＿＿＿＿＿　〔過去分詞〕＿＿＿＿＿＿＿＿

4. take　〔現在分詞〕＿＿＿＿＿＿＿＿　〔過去分詞〕＿＿＿＿＿＿＿＿

復習テスト　　第13講　Chapter 1

＊次の語の過去分詞をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. break
   ① broke　② breaking　③ broken　④ breaks

2. sing
   ① sings　② sang　③ sung　④ singing

3. take
   ① taken　② took　③ taking　④ takes

Chapter 2　分詞の役割①　名詞修飾

● 名詞を修飾する

▶ 単独では前から修飾，語句をともなう場合は後ろから修飾

分詞は前後の名詞を修飾することができる。分詞単独の場合は名詞の前から修飾し，分詞 + 語句をともなう場合は名詞の後ろから修飾する。

・分詞単独	a **sleeping** baby	眠っている赤ん坊
・分詞 + 語句	a baby **sleeping** in the cradle	ゆりかごで眠っている赤ん坊

■確認問題

＊ (　　) 内の語を適切な形に変えて，英文を完成させなさい。

1. 盗まれた財布が見つからなかった。
   I couldn’t find the (steal) wallet.　　[　　　　　　　]

2. ゆりかごで眠っている赤ん坊は，私の息子です。
   The baby (sleep) in the cradle is my son.　　[　　　　　　　]

3. 赤いシャツを着ている少年は誰ですか？
   Who is the boy (wear) a red shirt?　　[　　　　　　　]

4. 私はトムに壊された棚を修理しなければならない。
   I have to repair the shelf (break) by Tom.　　[　　　　　　　]

復習テスト　第13講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He finally found the (　　　) bike.
   彼はとうとう盗まれた自転車を見つけた。
   ① stealing　② stolen　③ steal　④ to steel

2. The cat (　　　) on the bed is Momo.
   そのベッドの上で眠っているネコがモモだ。
   ① slept　② sleeps　③ sleeping　④ to sleep

3. Those pictures (　　　) by him are beautiful.
   彼によって撮られたそれらの写真は美しい。
   ① took　② takes　③ taking　④ taken

Chapter 3　分詞の役割②　補語になる

● C (補語) になる

▶ **第Ⅱ文型 (SVC)，第Ⅴ文型 (SVOC) の C(補語) となる**

・第Ⅱ文型　He sat **surrounded** by his children.
彼は自分の子どもに囲まれて座っていた。

・第Ⅴ文型　I heard my name **called** from behind.
私は自分の名前が背後から呼ばれるのを耳にした。

● 分詞の判別：①対応する名詞を特定，②名詞と分詞の関係を見る

その名詞と，
▶ 能動の関係：現在分詞
▶ 受動の関係：過去分詞

■確認問題

＊ (　　) 内の語を適切な形に変えて，英文を完成させなさい。

1. I’m sorry to have kept you (wait).　[　　　　]

2. I heard my name (call).　[　　　　]

3. I had my teeth (check) at the dentist.　[　　　　]

復習テスト　第13講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Meg came (　　　) her hand.
   ① to wave　② waved　③ waving　④ wave

2. I heard the door (　　　).
   ① closed　② close　③ to close　④ closing

3. He will get his computer (　　　).
   ① fix　② fixing　③ to fix　④ fixed

Chapter 4　感情動詞の分詞

感情動詞

日本語⇒「驚き」「興奮」と感情は内から起こってくるもの。
英語⇒感情はひとりでに起こるものではなく外から刺激されて起こるもの。

日本語：私はその知らせに驚いた。
英語　：I was **surprised** at the news.　私はその知らせに驚かされた。

● 感情動詞一覧

▶ 驚き系　… **surprise** (驚かせる), **amaze** (驚かせる),
shock (ショックを与える)

▶ プラス系　… **excite** (興奮させる), **please** (喜ばせる),
interest (興味を与える), **relieve** (安心させる)

▶ マイナス系 … **disappoint** (失望させる), **bore** (退屈させる)

● 感情動詞の分詞化：①対応する名詞を特定，②名詞と分詞の関係を見る

▶ **名詞が感情を引き起こす原因：現在分詞**

・The news was **surprising**.　その知らせは驚くようなものだった。
(知らせ：驚きを引き起こす原因)

▶ **名詞が感情を抱く主体：過去分詞**

・I was **surprised** at the news.　私はその知らせに驚いた。
(私：驚く主体)

■確認問題

＊(　　)内の語を適切な形に変えて，英文を完成させなさい。

1. I was (excite) at the news. [　　　　　　]

2. The news was (excite) to me. [　　　　　　]

3. The boy looked (disappoint). [　　　　　　]

復習テスト　第13講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He is (　　　) in pop culture.
   ① interesting　② interest　③ interests　④ interested

2. Her story was (　　　).
   ① surprised　② surprising　③ surprise　④ surprises

3. The woman looked (　　　) at the sports results.
   ① disappointment　② disappointed　③ disappoints　④ disappointing

NOTE

Chapter 5　付帯状況の with

付帯状況の with

付帯状況の with は，with の後ろに O と C の文の要素を置くことで，英文に別の状況を付帯させる表現。with OC で「O=C の状態で」という解釈になるが，柔軟に訳出する。

・My father often thinks **with his eyes closed**.
父は，よく目を閉じたまま考え事をする。(目：閉じられている)

● 付帯状況の with は O と C の関係を見る

with OC の C は現在分詞・過去分詞・形容詞などが置かれる。形容詞は一部の特定表現に限られているので，それを押さえる。

▶ **形容詞など**
・Don’t speak **with your mouth full**.
口にものを入れて話してはいけない。

▶ **O と C が能動関係：現在分詞**
・I left the car **with its engine running**.
私はエンジンをかけっぱなしにして車を離れた。(エンジン：動いている)

▶ **O と C が受動関係：過去分詞**
・A strange man stood at the door **with his arms folded**.
見知らぬ男が，腕を組んだままドアの所に立っていた。(腕：組まれている)

■確認問題

＊ (　　) 内の語を適切な形に変えて，英文を完成させなさい。

1. 彼は目を閉じたまままっすぐに歩くことができる。
He can walk straight with his eyes (close).　[　　　　　　　　]

2. 彼女は足を組んでソファに座っていた。
She was sitting on the sofa with her legs (cross).　[　　　　　　　　]

3. 彼は腕を組みながら静かにその話を聞いていた。
He quietly listened to the story with his arms (fold). [　　　　　　　　]

復習テスト　第13講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The student was sleeping with his textbook (　　　).
   その生徒は教科書を開いたまま眠っていた。
   ① opens　② opening　③ opened　④ to open

2. The cat was watching me with its tail (　　　).
   そのネコは尻尾を揺らしながら私を見ていた。
   ① shaken　② shook　③ shakes　④ shaking

3. He was waiting for her reply with his fingers (　　　).
   彼は指を交差させて幸運を祈りながら彼女の返事を待っていた。
   ① crossing　② crossed　③ to cross　④ cross

NOTE

第14講　分詞②

Chapter 1　分詞構文の基本
Chapter 2　いろいろな分詞構文① 受動態・主語を示す場合
Chapter 3　いろいろな分詞構文② 分詞構文の否定・完了形
Chapter 4　分詞構文を使った慣用表現

Chapter 1　分詞構文の基本

分詞構文とは

分詞構文とは，通常接続詞から始まる表現を，現在分詞や過去分詞を使って表すもの。文頭・文中・文尾に置かれる。

文頭　～**ing [p.p.]**…, SV.
文中　S, ～**ing [p.p.]**…, V.
文尾　SV, ～**ing [p.p.]**….

● 分詞構文の作り方

When he **saw** the policeman, he ran away.（主節: he ran away）　警官を見ると，彼は逃げた。

↓ When → ×①　↓ he → ×②　↘ saw → ③

Seeing the policeman, he ran away.（主節: he ran away）

① 接続詞をとる
② 接続詞を含む節と主節の S(主語) をチェック
⇒ S(主語) が主節と共通ならとる　※主節を見ればわかるから
⇒ S(主語) が主節と異なるなら残す　※省略するとわからないから
③ V を～ ing に変える

■確認問題

＊次の英文を，分詞構文を使って書き換えなさい。

1. If you turn to the right, you'll see the station.
   = ________________ to the right, you'll see the station.

2. She studied hard, and became a lawyer.
   = She studied hard, ________________ a lawyer.

3. Because I lived by the lake, I went swimming every day.
   = ________________ by the lake, I went swimming every day.

4. When I looked up, I saw a bird flying over my head.
   = ________________ , I saw a bird flying over my head.

5. I talked with my family, and watched TV on the sofa.
   = I talked with my family, ________________ TV on the sofa.

復習テスト　第14講　Chapter 1

＊次の英文を分詞構文に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If you turn left there, you'll find a convenience store.
⇒ (　　　) left there, you'll find a convenience store.
① Turned　② If you turning　③ If turned　④ Turning

2. She practiced hard every day, and she became a professional tennis player.
⇒ She practiced hard every day, (　　　) a professional tennis player.
① become　② becoming　③ she become　④ she becoming

3. Because he lived alone, he sometimes felt lonely.
⇒ (　　　) alone, he sometimes felt lonely.
① Living　② Lived　③ Because lived　④ Because living

NOTE

Chapter 2　いろいろな分詞構文① 受動態・主語を示す場合

●分詞構文の受動態

▶ 分詞構文が受動態の内容を表すとき，being は省略可能

宇宙から見ると，地球は丸く見えた。

When it **is seen** from space, the earth looks round.（主節：the earth looks round）

× × (Being) **Seen** from space, the earth looks round.（主節：the earth looks round）

● 分詞構文の主語を示す場合

▶ 分詞構文の主語が主節と異なる場合は，そのまま残す

晴れていたので，私たちはピクニックに出かけた。

As it **was** fine, we went on a picnic. (it ≠ we)（主節：we went on a picnic）

× **It being** fine, we went on a picnic.（主節：we went on a picnic）

■確認問題

＊次の英文を，分詞構文を使って書き換えなさい。

1. 空から見ると，その島はとても美しかった。

When it was seen from the sky, the island was very beautiful.

= ＿＿＿＿＿＿＿＿ from the sky, the island was very beautiful.

2. とても寒かったので，彼女は一杯の温かいお茶を飲んだ。

Because it was very cold, she had a cup of hot tea.

= ＿＿＿＿＿＿＿＿ very cold, she had a cup of hot tea.

3. 英語で書いてあるので，その手紙は読みづらかった。

Because it was written in English, the letter was difficult to read.

= ＿＿＿＿＿＿＿＿ in English, the letter was difficult to read.

復習テスト　第14講　Chapter 2

＊次の英文を分詞構文に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. When it is seen from the moon, the earth looks blue.
⇒ (　　　) from the moon, the earth looks blue.
① Seeing　② It seeing　③ Seen　④ It seen

2. Because it was hot, he turned on the electric fan.
⇒ (　　　) hot, he turned on the electric fan.
① It being　② It been　③ He being　④ Been

3. Because it was written in Russian, the web page was impossible for me to read.
⇒ (　　　) in Russian, the web page was impossible for me to read.
① It written　② It writing　③ Written　④ Writing

Chapter 3　いろいろな分詞構文② 分詞構文の否定・完了形

● 分詞構文の否定

▶ 分詞構文が否定の内容を表すとき，直前に not [never] をつける

どうすべきかわからなかったので，私は途方に暮れていた。

Because I **didn't know** what to do, I was at a loss.（主節：I was at a loss）

× × **Not knowing** what to do, I was at a loss.（主節：I was at a loss）

● 分詞構文の完了形

▶ 分詞構文が主節より前の内容を表すとき，having + p.p. となる

宿題を終えたあと，彼は泳ぎに行った。

After he **had finished** his homework, he went swimming.（主節：he went swimming）

× × **Having finished** his homework, he went swimming.（主節：he went swimming）

■確認問題

＊次の英文を，分詞構文を使って書き換えなさい。

1. 気分がすぐれなかったので，私はしばらく休憩した。

   Because I didn't feel well, I took a rest for a while.

   = ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ well, I took a rest for a while.

2. 宿題をやったあと，彼は買い物に出かけた。

   After he had done his homework, he went shopping.

   = ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ his homework, he went shopping.

3. すべてのお金を使ってしまっていたので，私はその本を買えなかった。

   I couldn't buy the book because I had spent all my money.

   = I couldn't buy the book, ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ all my money.

復習テスト　第14講　Chapter 3

＊次の英文を分詞構文に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Because she didn't know how to say *tanuki* in English, she asked her teacher.
   ⇒ (　　　) how to say *tanuki* in English, she asked her teacher.
   ① Knowing　② Knowing not　③ Not knowing　④ Not known

2. After I had finished reading a book, I went to sleep.
   ⇒ (　　　) reading a book, I went to sleep.
   ① Having been finished　② Having being finished
   ③ Having finishing　④ Having finished

3. He was not hungry because he had eaten a big meal.
   ⇒ He was not hungry, (　　　) a big meal.
   ① having eaten　② having eating　③ not eating　④ not eaten

Chapter 4 分詞構文を使った慣用表現

● 分詞構文の慣用表現

▶ **all things considered**：すべてを考慮すると

・**All things considered**, she is a good student.
　すべてを考慮すると，彼女はよい生徒だ。

▶ **judging from**：～から判断すると

・**Judging from** the look of the sky, it may rain tomorrow.
　空模様から判断すると，明日は雨かもしれない。

▶ **compared with**：～と比べると

・**Compared with** her problems, my problems are nothing.
　彼女の問題と比べると，私の問題は何でもない。

▶ **generally speaking**：一般的に言うと

・**Generally speaking**, Japanese people work very hard.
　一般的に言うと，日本人はとても熱心に働く。

※ **frankly speaking**：率直に言うと　**strictly speaking**：厳密に言うと

■確認問題

＊＿＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. トムと比べると，マイクはもう少し注意深い。

　＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ Tom, Mike is a little more careful.

2. すべてを考慮すると，彼はいい人だった。

　＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ , he was a good person.

3. 彼の外見から判断すると，彼は裕福に違いない。

　＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ his appearance, he must be rich.

4. 率直に言って，君の意見には賛成できない。

　＿＿＿＿＿＿ ＿＿＿＿＿＿ , I cannot agree with you.

復習テスト　第14講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) last summer, it is hotter this summer.
去年の夏と比べると，今年の夏の方が暑い。
① Judging from　② Compared with
③ Weather permitting　④ Generally speaking

2. (　　　) his dry answer, it seems he doesn't want to join the party.
彼のそっけない返事から判断すると，彼はパーティーに参加したくないようだ。
① Compared with　② Frankly speaking
③ Speaking of　④ Judging from

3. (　　　), dogs are more friendly than cats.
一般的に言うと，イヌの方がネコよりも人なつこい。
① All things considered　② Frankly speaking
③ Generally speaking　④ Strictly speaking

ベーシックレベル英語　前編　解答

本講座では，解答編もただ答えを載せるものではなく，徹底して受講生の復習を意識した構成にしました。

この講座は，これから広がる大きな英語の世界の基礎を固める大切な始まりです。何より重視してほしいのが，英語学習の習慣。授業を聞いて終わりにしない，復習の大切さ・英語学習の繰り返すことの大切さ，これを念頭に英語学習の良いスタートを切ってください。講義では，全訳はしませんから，この解答の掲載している全訳を参考にしてください。

授業⇒復習⇒復習テストのサイクルで，理解⇒定着⇒実践のサイクルで，英語力を徹底して高めていきましょう。

ベーシックレベル英語　第１講　解答

Chapter 1　確認問題

1. I **cannot [can't] do** it myself.　私はそれを自分でできない。
2. I **wasn't** a student at this school.　私はこの学校の生徒ではなかった。
3. He **didn't like** melons.　彼はメロンが好きではなかった。
4. He **doesn't like** melons.　彼はメロンが好きではない。

Chapter 2　確認問題

1. **Be** quiet in the classroom.
2. **Don't be** noisy in the classroom.
3. **Let's** sing a song together.

Chapter 3　確認問題

1. A: **Do** you like the place?　あなたはその場所が好きですか。
   B: No, I don't.　いいえ，好きではないです。
2. A: **What** do you do on weekends?　あなたは週末何をしますか。
   B: I usually play soccer with my friends.　たいてい友人とサッカーをします。
3. A: **Who** broke the window?　誰がその窓を割ったの。
   B: Tom did.　トムが割りました。
4. A: **Why** was Mary so angry?
   なぜメアリーはそんなに怒っていたの？
   B: Because her brother told a lie.
   彼女の弟が嘘をついていたからだよ。

Chapter 4 確認問題

1. A: Didn’t you go there? そこに行かなかったの？
   B: **No**, I didn’t. 行かなかったよ。
2. A: Can’t you speak English? 英語を話せないの？
   B: **Yes**, I can. 話せるよ。
3. They like fruits, **don’t they**? 彼らはフルーツが好きなんだよね。
4. You can’t run more faster, **can you**? 君はもっと速くは走れないんだよね。

Chapter 5 確認問題

1. I want to know **when you left for Tokyo**.
   私は君がいつ東京に向けて出発したのか知りたい。
2. I’m interested in **what your hobby is**.
   私は君の趣味が何なのかに興味がある。
3. I don’t know **where you are from**.
   私は君がどこ出身かわからない。

Chapter 6 確認問題

1. (**How**) pretty this flower is! これはなんて可憐な花なんだろう。
2. (**What**) a beautiful scene this is! これはなんて美しい景色なんだろう。
3. (**What**) beautiful flowers they are! それらはなんて美しい花なんだろう。

ベーシックレベル英語　第２講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ① These trees grow tall.　これらの木は，高く**なる**。　第［ **2** ］文型
   S V C

   ② Japanese grow rice.　日本人は，米を**育てる**。　第［ **3** ］文型
   S V O

2. ① He became a doctor.　彼は医者に**なった**。　第［ **2** ］文型
   S V C

   ② Your hat becomes you.　君の帽子は君に**似合っている**。　第［ **3** ］文型
   S V O

Chapter 2　確認問題

1. He is a teacher.　彼は教師です。　第［ **2** ］文型
   S V C

2. He was in Sapporo then.　彼はそのとき札幌にいた。　第［ **1** ］文型
   S V M M

3. You were very kind.　あなたはとても親切だった。　第［ **2** ］文型
   S V C

Chapter 3　確認問題

1. I (**played**) tennis yesterday.　私は昨日テニスをした。
2. He (**studied**) English when he was young.　彼は若いころ英語を勉強した。
3. The car (**stopped**) at the bus stop then.
   その車はそのときバス停に停まった。

Chapter 4　確認問題

1. I (**came**) here last night.　私はゆうべここに来た。
2. He (**taught**) English at that time.　彼は当時英語を教えていた。
3. Everybody (**knew**) the story in those days.　当時は誰もがその話を知っていた。

Chapter 5　確認問題

1. 彼は低い声で話をした。

He / spoke / in a low voice.
S / V / M

第[**1**]文型

2. 彼は毎朝走る。

He / runs / every morning.
S / V / M

第[**1**]文型

3. 彼らは昨日，田舎にやって来た。

They / came / to the country / yesterday.
S / V / M / M

第[**1**]文型

Chapter 6　確認問題

1. ドアのところに犬がいる。

There / is / a dog / at the door.
M / V / S / M

第[**1**]文型

2. 机の上に本がある。

There / is / a book / on the desk.
M / V / S / M

第[**1**]文型

3. その部屋には多くの人がいる。

There / are / many people / in the room.
M / V / S / M

第[**1**]文型

ベーシックレベル英語　第３講　解答

Chapter 1　確認問題

1. 彼女は教師になった。

She became a teacher.　　第［ **2** ］文型
S V C

2. 私はあなたといると幸せに感じる。

I feel happy with you.　　第［ **2** ］文型
S V C M

3. 私は恐怖を感じた。

I felt fear.　　第［ **3** ］文型
S V O

4. このスープは，いいにおいがする。

This soup smells good.　　第［ **2** ］文型
S V C

5. 彼女はその花のにおいをかいだ。

She smelled the flowers.　　第［ **3** ］文型
S V O

Chapter 2　確認問題

1. 私たちはその計画について話し合った。

We discussed the plan.　　第［ **3** ］文型
S V O

2. 私は彼と結婚する。

I will marry him.　　第［ **3** ］文型
S V O

3. 彼は彼女の兄と似ている。

He resembles her brother.　　第［ **3** ］文型
S V O

Chapter 3　確認問題

1. 私はときどき妻に花をあげる。

I sometimes give my wife flowers.　　第［ **4** ］文型
S M V O_1 O_2

2. 彼は私たちに数学を教えてくれる。

He teaches us mathematics.　　第［ **4** ］文型
S V O_1 O_2

3. 彼女は私にその知らせを話してくれた。

She told me the news.　　第［ **4** ］文型
S V O_1 O_2

4. 彼は私にその本を見せてくれた。

He showed me the book.　　第［ **4** ］文型
S V O_1 O_2

5. 私は彼に 1,000 円を貸した。

I lent him 1,000 yen.　　第［ **4** ］文型
S V O_1 O_2

Chapter 4　確認問題

1. I will give the bag (**to**) my wife.
2. He bought a new ring (**for**) his daughter.
3. She cooked a delicious meal (**for**) her boyfriend.
4. I lent the car (**to**) my friends.
5. She showed the book (**to**) her student.

Chapter 5　確認問題

1. 彼は彼女がよい人だとわかった。

He found her a nice person.
S　V　O　C　　　　第［ **5** ］文型

2. その知らせは彼女を幸せにした。

The news made her happy.
S　V　O　C　　　　第［ **5** ］文型

3. 彼らはその子をサラと名付けた。

They named the child Sarah.
S　V　O　C　　　　第［ **5** ］文型

ベーシックレベル英語　第４講　解答

Chapter 1　確認問題

1. I (**take**) a walk in the park every morning.
   私は毎朝公園を散歩する。
2. Sandy (**is eating**) dinner at home now.
   サンディは，今，家で夕食を食べているところだ。
3. The moon (**goes**) around the earth.
   月は地球のまわりをまわる。

Chapter 2　確認問題

1. I (**am reading**) an English book now.
   私は今，英語の本を読んでいるところだ。
2. He (**belongs**) to a basketball club.
   彼はバスケットボール部に所属している。
3. He (**knows**) Japanese history very well.
   彼は日本史をとてもよく知っている。

Chapter 3　確認問題

1. If I (**see**) her, I will give this letter to her.
   彼女に会ったら，私がこの手紙を彼女に渡しますよ。
2. When she (**comes**), I will give her this book.
   彼女がやって来たら，私が彼女にこの本をあげましょう。
3. I will help you if you (**come**).
   君が来てくれたら，私は助けるよ。
4. Please give me a call when you (**finish**) your work.
   仕事を終えたら，私に電話してください。

Chapter 4　確認問題

1. I (**received**) his letter last week.
   私は先週彼の手紙を受け取った。
2. He (**painted**) the wall three days ago.
   彼は 3 日前にその壁を塗った。
3. I (**was making**) dinner when the telephone rang.
   電話が鳴ったとき，私は夕食を作っているところだった。

Chapter 5　確認問題

1. A: The phone is ringing.　電話が鳴っているよ。
   B: I (**will**) answer it.　私が出るよ。
2. Look at the cloud! It (**is going to**) rain.　雲を見て！雨が降りそうだ。
3. She (**is going to**) have a baby next month.　彼女は来月出産する予定だ。

Chapter 6　確認問題

1. He thought that I (**knew**) the girl.
   彼は，私がその少女を知っていると思った。
2. I thought that he (**was**) a nice person.
   私は，彼が素晴らしい人だと思った。
3. My father said that the earth (**goes**) around the sun.
   私の父は，地球は太陽のまわりをまわっていると言った。

ベーシックレベル英語　第５講　解答

Chapter 1　確認問題

1. I (**have lived**) here for three years.
   私はここに 3 年間住んでいる。
2. He (**has been**) ill in bed for the last two weeks.
   彼はここ 2 週間病気で寝込んでいる。
3. We (**have known**) each other since we were young.
   私たちは若いときからお互いのことを知っている。

Chapter 2　確認問題

1. We (**have been**) to Tokyo twice.
   私たちは東京に 2 回行ったことがある。
2. Have you ever (**been**) to Hawaii?
   あなたはこれまでにハワイに行ったことがありますか？
3. I have never (**seen**) such a beautiful scene.
   私はこんな美しい景色を見たことがない。

Chapter 3　確認問題

1. I have just (**finished**) reading a new book.
   私はちょうど新しい本を読み終えたところだ。
2. Have you (**read**) the new book yet?
   その新しい本をもう読みましたか？
3. Tom is not here today. He (**has gone**) to Hokkaido.
   トムは今日ここにはいない。彼は北海道に行ってしまった。

Chapter 4　確認問題

1. Mike (**had eaten**) *natto* before he came to Japan.
   マイクは日本に来る前に納豆を食べたことがあった。
2. He (**had been**) in bed for three hours when I returned.
   私が戻ったとき，彼は 3 時間寝込んでいた。
3. The party (**had already finished**) when she came.
   彼女がやって来たとき，パーティーはすでに終わっていた。

Chapter 5　確認問題

1. I (**will have finished**) the report by tomorrow.
   明日までには私はそのレポートを終えているでしょう。
2. By next April I (**will have lived**) in Tokyo for two years.
   来年の 4 月には私は東京に 2 年間住んでいることになる。
3. I (**will have lived**) in America for ten years by next month.
   来月には私はアメリカに 10 年間暮らしていることになる。

Chapter 6　確認問題

1. ②　I (**have been reading**) this book since this morning.
   私はこの本を今朝からずっと読んでいる。
2. ②　I (**hadn’t been sleeping**) for very long when a phone woke me up.
   電話が私を起こしたとき，私はそれほど長く寝ていなかった。
3. ②　By next April he (**will have been studying**) English for six years.
   来年の 4 月には彼は英語を 6 年間勉強していることになる。

ベーシックレベル英語　第６講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② **動詞の原形**
2. ① **～にちがいない**
3. ② **～かもしれない**

Chapter 2　確認問題

1. 彼女は顔色が悪く見える。風邪を引いている**かもしれない**。
2. 彼はとても若く見える。30 歳を超えている**はずがない**。
3. 彼女は顔色が悪く見える。風邪を引いている**にちがいない**。

Chapter 3　確認問題

1. (**Can I**) help you?
2. (**Shall I**) open the window?
3. (**Could I**) have some water?

Chapter 4　確認問題

1. 強く押しているのだが，**そのドアはどうしても開かない**。
2. 私は，この公園で**よく野球をしたものだった**。
3. 母親は，常に自分の子どもを**見せびらかすものだ**。

Chapter 5　確認問題

1. You (**need not**) worry about it.
   君はそのことについて心配する必要はない。
2. I (**didn't need to**) give a speech.
   私はスピーチをする必要はなかった。

Chapter 6　確認問題

1. ② I couldn't go out last night because I (**had to**) finish my homework.
   宿題を終わらせなければならなかったので，私はゆうべ出かけられなかった。
2. ① You are too kind! You (**didn't have to buy**) me a present.
   あなたはなんて親切なんでしょう！私にプレゼントを買う必要なんてなかったのに。
3. ① She said that I (**ought**) to give up the plan.
   彼女は，私がその計画をあきらめるべきだと言った。

Chapter 7　確認問題

1. ② I will (**be able to**) swim across the river.
   私はその川を泳いで渡ることができるだろう。
2. ① There (**used to be**) a coffee shop at this corner.
   その角に，かつてはコーヒーショップがあった。

ベーシックレベル英語　第７講　解答

Chapter 1　確認問題

1. She **must have been** sick in bed yesterday.
2. Tom lost his umbrella. He **may [might] have left** it on the bus.
3. He **cannot [can't] have finished** the work so soon.

Chapter 2　確認問題

1. I **should have called** my boss last night, but I forgot.
2. You **ought to have called** me before you came here.
3. You **need not have come** at 6 o'clock.

Chapter 3　確認問題

1. I **cannot [can't] help laughing** at his behavior.
2. I **would rather go** shopping than study this afternoon.
3. I **would like to** live in Sapporo.

Chapter 4　確認問題

1. You are too rude! She **may well** get angry.
2. You **may [might] as well** throw your money away as buy such a thing.
3. He **may well** be tired after the hard work.

Chapter 5　確認問題

1. His parents proposed that he **(should) attend** the school.
2. I suggested that she **(should) go** back home.
3. He demanded that the store **(should) pay** back his money.

Chapter 6　確認問題

1. **彼女がそこへ一人で行くことが重要だ。**

2. **君が彼女をそこで見るなんて奇妙だ。**

ベーシックレベル英語　第８講　解答

Chapter 1　確認問題

1. The store **is** **closed** on Sundays.
2. These rooms **are** **not** **used** today.
3. When **was** this book **written**?

Chapter 2　確認問題

1. My PC **has** already **been** **repaired**.
2. Our house **is** **being** **built** now.
3. The book **cannot [can't]** **be** **read** in just a few days.

Chapter 3　確認問題

1. The book **was** **lent** to me by my father.
   その本は父が私に貸してくれた。
2. These rooms **are** **kept** **clean** by Mary.
   これらの部屋はメアリーによってきれいにされている。
3. A delicious dinner **was** **made** for us by my sister last night.
   昨夜は私の姉（妹）が私たちにおいしい夕食を作ってくれた。

Chapter 4　確認問題

1. I **was** **laughed** **at** by everybody in the class.
2. The player **was** **looked** **up** **to** by his teammates.

Chapter 5　確認問題

1. Her name **is** **known** **to** many people in her town.
2. Many people **were** **killed** **in** the accident.
3. My house **was** **covered** **with** snow.

Chapter 6 確認問題

1. **It is said** that Japanese people are conservative.
2. **It is believed** that only five people in the world know that.
3. It **is known that** smoking is bad for your health.

ベーシックレベル英語　第９講　解答

Chapter 1　確認問題

1. [　③　]　私たちは，成功するために一生懸命働かなければならない。
2. [　②　]　何か温かい飲み物がほしい。
3. [　①　]　彼女の夢は，弁護士になることだ。
4. [　③　]　彼は，友人と話しにその店へ行った。

Chapter 2　確認問題

1. ① My dream is (**to live**) abroad.
　私の夢は海外で暮らすことだ。
2. ① She finally decided (**to marry**) the man.
　彼女はついにその男と結婚しようと決めた。
3. ② I want (**to know**) the result of the game.
　私はその試合の結果を知りたい。

Chapter 3　確認問題

1. ② (**It's**) difficult to decide which is better.
　どちらがよりよいかを決めるのは難しい。
2. ② I make (**it**) a rule to take a walk in the morning.
　私は朝，散歩をすることにしている。
3. ② I found (**it**) difficult to believe you.
　私は君を信じることが難しいと思った。

Chapter 4　確認問題

1. [　③　]　私は，君の助言に従うという決断に至った。
2. [　①　]　彼の結婚について，何か言うべきことはありますか？
3. [　②　]　彼は，その機械を発明した最初の人だ。

Chapter 5 確認問題

1. I was glad **to hear** the news.
2. You were careless **to leave** your umbrella on the train.
3. She ran to the station **to be** in time for school.
4. English is easy **to learn**.

Chapter 6 確認問題

1. He **awoke to find** himself alone in the house.
2. He studied hard, **only to** fail in the exam.
3. He **grew up to be** a famous singer.

Chapter 7 確認問題

1. ② I got up at four (**so as to**) be in time for the first train.
2. ② She went to Paris (**in order to**) study French literature.

ベーシックレベル英語　第10講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② It is important (**for you to follow**) your teachers’ advice.
   君が先生の助言に従うことが重要だ。
2. ② It is necessary (**for us to finish**) the work.
   私たちがその仕事を終えることが必要だ。
3. ① It was foolish (**of her to believe**) the rumor.
   その噂を信じるなんて，彼女は愚かだった。

Chapter 2　確認問題

1. I got up early in **order** **not** **to** be late for school.
2. I **decided** **not** **to** buy the book.
3. She wants **to** **be** **loved** by everybody.

Chapter 3　確認問題

1. ② He seems (**to have lost**) all his money.
2. ① That shirt seems (**to be**) too small for her.
3. ② He seems (**to have had**) a bad cold.

Chapter 4　確認問題

1. She seems **to have lived** in Sapporo five years ago.
   彼女は５年前に札幌に住んでいたようだ。
2. She was said **to be** the greatest pianist in Japan.
   彼女は日本で最も偉大なピアニストだと言われていた。

Chapter 5　確認問題

1. ② The party (**is**) to be held tomorrow.
2. ② If you (**are**) to succeed, you have to work hard.
3. ② His watch was (**not to be found**) anywhere.

Chapter 6　確認問題

1. He explained to me **how** **to** do the work.
2. The teacher didn’t know **how** **to** pronounce the word.
3. The problem is **where** **to** go next.

ベーシックレベル英語　第 11 講　解答

Chapter 1　確認問題

1. He is old **enough** **to** drive a car.
2. I was **too** excited **to** say anything.
3. She was **so** kind **as** **to** take me to the station.

Chapter 2　確認問題

1. They will **come [get]** **to** **know** each other.
2. All **you** **have [need]** **to** do is to listen to me.
3. You have **only** **to** ask him. ※ only have to でも可
4. Fortunately, I **happened** **to** **know** her.

Chapter 3　確認問題

1. **To** **tell** **the** **truth**, I don’t like *sake*.
2. **Needless** **to** **say**, she failed in the exam.

Chapter 4　確認問題

1. ① I saw the boy (**enter**) the building.
2. ① He made me (**go**) there alone after dark.
3. ① Her parents let her (**go**) to the concert.

Chapter 5　確認問題

1. ② My father (**allowed**) me to use his car.
2. ② I asked my father (**to wake**) me up at six.
3. ② His help enabled me (**to finish**) the job.

Chapter 6　確認問題

1. He opened the door although she told him **not** **to**.

2. “Would you like to go there?”　“Yes, I’d love **to**.”

3. ② I was made (**to go**) there alone after dark.

ベーシックレベル英語　第12講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② (**Getting**) up early is good for your health.
2. ② I enjoy (**reading**) books every morning.
3. ② You should be careful in (**crossing**) the street.

Chapter 2　確認問題

1. He insisted on **her** **coming** with him.
2. My mother doesn't like **my [me]** **going** there alone.
3. He is ashamed of **not** **knowing** the fact.

Chapter 3　確認問題

1. She is proud of **having** **studied** hard when she was young.
2. He is ashamed of **having** **told** her a lie.
3. I don't like **being** **treated** like a child.

Chapter 4　確認問題

1. ② I remember (**meeting**) you at the party last month.
   先月パーティであなたに会ったことを覚えています。
2. ① Don't forget (**to return**) my book to me tomorrow.
   明日，私の本を忘れずに私に返してね。

Chapter 5　確認問題

1. ① She decided (**to go**) abroad.
2. ① Don't hesitate (**to call**) me.
3. ① She refused (**to marry**) him.

Chapter 6　確認問題

1. ② Would you mind (**opening**) the window?
2. ② I enjoy (**playing**) the guitar every day.
3. ② I gave up (**smoking**) when I was young.
4. ② He stopped (**talking**) with the children.

Chapter 7　確認問題

1. There is **no** **knowing** what will happen next.
2. It is **no** **use** trying to persuade him.
3. You should be careful **in** **crossing** the street.
4. **On** **arriving** at the office, I saw him.

Chapter 8　確認問題

1. ② What do you say (**to traveling**) abroad?
2. ② This book is worth (**reading**) again.
3. ② How about (**going**) out to the movies?
4. ② I don’t feel like (**going**) out tonight.

ベーシックレベル英語　第 13 講　解答

Chapter 1　確認問題

1.〔現在分詞〕**breaking**〔過去分詞〕**broken**
2.〔現在分詞〕**speaking**〔過去分詞〕**spoken**
3.〔現在分詞〕**writing**〔過去分詞〕**written**
4.〔現在分詞〕**taking**〔過去分詞〕**taken**

Chapter 2　確認問題

1. I couldn't find the (**stolen**) wallet.
2. The baby (**sleeping**) in the cradle is my son.
3. Who is the boy (**wearing**) a red shirt?
4. I have to repair the shelf (**broken**) by Tom.

Chapter 3　確認問題

1. I'm sorry to have kept you (**waiting**).
   あなたを待たせてごめんなさい。(あなた = 待っている)
2. I heard my name (**called**).
   私は自分の名前が呼ばれるのを耳にした。(名前 = 呼ばれる)
3. I had my teeth (**checked**) at the dentist.
   私は歯医者で歯を診てもらった。(歯 = チェックされる)

Chapter 4　確認問題

1. I was (**excited**) at the news.
   私はその知らせに興奮した。(私 = 興奮する主体)
2. The news was (**exciting**) to me.
   その知らせは私にとって興奮するものだった。(知らせ = 興奮を引き起こす原因)
3. The boy looked (**disappointed**).
   その少年はがっかりしているように見えた。(少年 = 失望する主体)

Chapter 5　確認問題

1. He can walk straight with his eyes (**closed**).
   (彼の目 = 閉じられた)
2. She was sitting on the sofa with her legs (**crossed**).
   (彼女の足 = 組まれた)
3. He quietly listened to the story with his arms (**folded**).
   (彼の腕 = 組まれた)

ベーシックレベル英語　第14講　解答

Chapter 1　確認問題

1. **Turning** to the right, you'll see the station.
   右に曲がれば，駅が見えるでしょう。
2. She studied hard, **becoming** a lawyer.
   彼女は一生懸命勉強し，弁護士になった。
3. **Living** by the lake, I went swimming every day.
   湖畔に住んでいるので，私は毎日泳ぎに行った。
4. **Looking up**, I saw a bird flying over my head.
   見上げると，私は一羽の鳥が頭上を飛んでいるのを目にした。
5. I talked with my family, **watching** TV on the sofa.
   私はソファでTVを見ながら家族と話をした。

Chapter 2　確認問題

1. **Seen** from the sky, the island was very beautiful.
2. **It being** very cold, she had a cup of hot tea.
3. **Written** in English, the letter was difficult to read.

Chapter 3　確認問題

1. **Not feeling** well, I took a rest for a while.
2. **Having done** his homework, he went shopping.
3. I couldn't buy the book, **having spent** all my money.

Chapter 4　確認問題

1. **Compared with** Tom, Mike is a little more careful.
2. **All things considered**, he was a good person.
3. **Judging from** his appearance, he must be rich.
4. **Frankly speaking**, I cannot agree with you.

復習テスト（解答）　第 1 講　Chapter 1

1. ③

He is a teacher.　彼は先生です。

⇒ He (**isn’t**) a teacher.　彼は先生ではありません。

解説：
be 動詞の否定文は，be 動詞の後ろに not を付けてつくる。isn’t は is not の短縮形。

2. ①

She plays tennis.　彼女はテニスをします。

⇒ She (**doesn’t play**) tennis.　彼女はテニスをしません。

解説：
一般動詞の否定文は，動詞の原形の前に don’t[doesn’t]，didn’t を付けてつくる。
この文は，三人称単数を表す She が主語の現在形なので，doesn’t が適切。
doesn’t は does not の短縮形。

3. ②

I can speak English.　私は英語を話すことができます。

⇒ I (**can’t speak**) English.　私は英語を話すことができません。

解説：
助動詞の否定文は，助動詞の後ろに not を付けてつくる。can’t は cannot の短縮形。

復習テスト（解答）　第１講　Chapter 2

1. ③

(**Be**) quiet here.　ここでは静かにしなさい。

解説：
命令文は動詞の原形で文を始める。空所の直後に形容詞 quiet「静かな」があるので，
be 動詞の原形である Be が正解。

2. ④

(**Don’t**) eat this cake.　このケーキを食べてはいけない。

解説：
「～してはいけない」という否定の命令文は，文頭に Don’t を置いてつくる。後ろに続く動詞は原形。

3. ②

(**Let’s go**) to the movies.　映画を見に行こう。

解説：
「～しよう」と相手を誘う文は，文頭に Let’s を置いてつくる。
後ろに続く動詞は原形。go to the movies は「映画を見に行く」の意味。

復習テスト（解答）　第１講　Chapter 3

1. ①

A: (**Do**) you like cats?　あなたはネコが好きですか。

B: Yes, I do.　はい，好きです。

解説：
B が Yes, I do と答えているので，疑問文の種類は Yes / No 疑問文。
一般動詞 like が使われているので，Do を文頭に置いた一般動詞の疑問文にする。

2. ③

A: (**What**) do you do on Sunday?　あなたは日曜日に何をしますか。

B: I often play basketball.　私はよく，バスケットボールをします。

解説：
B がよくしていることを答えているので，疑問詞 what「何」の疑問文にする。

3. ②

A: (**Where**) does Mary live?　メアリはどこに住んでいますか。

B: She lives in Tokyo.　彼女は東京に住んでいます。

解説：
B が場所を答えているので，疑問詞 where「どこに［へ］」の疑問文にする。

復習テスト（解答）　第１講　Chapter 4

1. ④

A: Didn’t he break the window?　　彼は窓を割らなかったの？

B: (**No, he didn’t**).　　割らなかったよ。

解説：
Didn’t he break the window?「彼は窓を割らなかったの？」という否定疑問文に対し，
「割らなかった」と答える場合には No, he didn’t. と表現する。
否定疑問文でも通常の疑問文と同様，動詞に対して Yes / No と答える点に注意。

2. ②

You can play the piano, (**can’t you**)?　　あなたはピアノが弾けるよね。

解説：
「～だよね」という付加疑問文にするには，You can ... で始まる肯定文なので，
後ろには否定形の ..., can’t you? という短縮の疑問文を置く。

3. ③

She doesn’t like fish, (**does she**)?　　彼女は魚が好きではないよね。

解説：
「～だよね」という付加疑問文にするには，She doesn’t ... で始まる否定文なので，
後ろには肯定形の ..., does she? という短縮の疑問文を置く。

復習テスト（解答）　第１講　Chapter 5

1. ②

What are you thinking?　あなたは何を考えていますか。

⇒ I'm interested in **what you are thinking**.

私はあなたが何を考えているかに興味がある。

解説：
間接疑問文にするには，前置詞 in の後ろに名詞節
what you are thinking「あなたが何を考えているか」を目的語として続ける。
間接疑問文は〈疑問詞 + SV〉の語順。be interested in ～「～に興味がある」。

2. ④

When is his birthday?　彼の誕生日はいつですか。

⇒ I don't know **when his birthday is**.

私は彼の誕生日がいつか知らない。

解説：
間接疑問文にするには，動詞 know の後ろに名詞節
when his birthday is「彼の誕生日がいつか」を目的語として続ける。
間接疑問文は〈疑問詞 + SV〉の語順。

3. ①

Where is Linda from?　リンダはどこの出身ですか。

⇒ I know **where Linda is from**.　私はリンダがどこの出身か知っている。

解説：
間接疑問文にするには，動詞 know の後ろに名詞節
where Linda is from「リンダがどこの出身か」を目的語として続ける。
間接疑問文は〈疑問詞 + SV〉の語順。from「～出身の」。

復習テスト（解答）　第１講　Chapter 6

1. ②

(**How**) cool she is!　　彼女はなんてかっこいいのだろう。

解説：
空所の直後に形容詞 cool「かっこいい」があるので,
How で始まる感嘆文〈How + 形容詞 / 副詞 + SV!〉にする。

2. ②

(**What**) a beautiful song this is!　　これはなんて美しい歌なんだ。

解説：
空所の直後に冠詞 a，形容詞 beautiful，名詞 song が続いているので,
What で始まる感嘆文〈What + (a) + 形容詞 + 名詞 + SV!〉にする。

3. ④

(**What**) nice pictures they are!　　それらはなんて素敵な写真なんだ。

解説：
空所の直後に形容詞 nice，名詞の複数形 pictures が続いているので,
What で始まる感嘆文〈What + (a) + 形容詞 + 名詞 + SV!〉にする。

復習テスト（解答）　第２講　Chapter 1

1. ②

The man became rich.　　その男性は裕福になった。

解説：
主語である The man と形容詞 rich「裕福な」をイコールの関係で結ぶことができるので，
この rich は補語（C）だとわかる。よって，SVC の第Ⅱ文型の文。
第Ⅱ文型における become は「〜になる」の意味。

2. ③

She grows plants.　　彼女は植物を栽培している。

解説：
主語である She と名詞 plants「植物」をイコールの関係で結ぶことができないので，
この plants は目的語（O）だとわかる。よって，SVO の第Ⅲ文型の文。
第Ⅲ文型における grow は「〜を栽培する」の意味。

3. ①

I got to the park.　　私はその公園に到着した。

解説：
動詞の後ろの to the park は〈前置詞＋名詞のカタマリ〉なので，これは修飾語（M）だとわかる。
よって，SVM の第Ⅰ文型の文。第Ⅰ文型における get は「到着する」の意味。

復習テスト（解答）　第２講　Chapter 2

1. ②

You are a student.　　あなたは学生です。

解説：
You と a student をイコールの関係で結ぶことができるので，第Ⅱ文型の文。
主語が You，動詞が be 動詞 are の現在形の文である。

2. ①

Mary is in America now.　　メアリは今，アメリカにいる。

解説：
in America と now は修飾語（M）なので，存在を表す第Ⅰ文型の文。
主語が三人称単数の Mary，動詞が be 動詞 is の現在形の文である。

3. ②

They were happy.　　彼らは幸せだった。

解説：
They と happy をイコールの関係で結ぶことができるので，第Ⅱ文型の文。
主語が三人称複数の They，動詞が be 動詞 were の過去形の文である。

復習テスト（解答）　第２講　Chapter 3

1. ③

The Japanese restaurant (**opened**) yesterday.
その日本食レストランは昨日オープンしました。

解説：
文末に過去を表す yesterday「昨日」があるので，過去形の opened が正解。
規則動詞 open の過去形は，語尾に ed を付ける。

2. ②

A man (**dropped**) his phone then. 男性はそのとき，彼の電話を落とした。

解説：
文末に過去を表す then「そのとき」があるので，過去形の dropped が正解。
規則動詞 drop の過去形は，語尾の子音 p を重ねて ed を付ける。

3. ④

The guide (**carried**) my bag when I checked in.
私がチェックインしたとき，そのガイドが私のバッグを運んでくれた。

解説：
文末に過去を表す when I checked in「チェックインしたとき」とあるので，
過去形の carried が正解。規則動詞 carry の過去形は，語尾の y を i に変え，ed を付ける。

復習テスト（解答）　第２講　Chapter 4

1. ③

She (**came**) to Japan last year.　　彼女は去年，日本に来た。

解説：
過去を表す last year「去年」があるので，過去形の came が正解。
不規則動詞 come は，come（原形）－ came（過去形）－ come（過去分詞）と変化する。

2. ④

My cat (**caught**) a butterfly last night.
私のネコは昨夜，チョウをつかまえた。

解説：
過去を表す last night「昨夜」があるので，過去形の caught が正解。
不規則動詞 catch は，catch（原形）－ caught（過去形）－ caught（過去分詞）と変化する。

3. ①

I often (**wrote**) a diary at that time. 私は当時，よく日記を書いた。

解説：
過去を表す at that time「当時」があるので，過去形の wrote が正解。
不規則動詞 write は，write（原形）－ wrote（過去形）－ written（過去分詞）と変化する。

復習テスト（解答）　第２講　Chapter 5

1. ④

The girl slept **in her room**.　その少女は自分の部屋で眠った。

解説：
動詞 slept のうしろに〈前置詞＋名詞のカタマリ〉である in her room があるので，
これを M（修飾語）とする SVM の第Ⅰ文型の文だとわかる。

2. ①

My father ran **last Saturday**.　父はこの前の土曜日にランニングした。

解説：
動詞 ran のうしろに時を表す副詞（句）last Saturday があるので，
これを M（修飾語）とする SVM の第Ⅰ文型の文だとわかる。

3. ④

A dog came **to the boy quickly**.　イヌが素早くその少年のところに来た。

解説：
動詞 came のうしろに〈前置詞＋名詞のカタマリ〉である to the boy と
副詞 quickly「素早く」があるので，これらを M（修飾語）とする SVM の第Ⅰ文型の文だとわかる。

復習テスト（解答）　第２講　Chapter 6

1. ③

There is **a dog** under the chair.　　椅子の下にイヌがいる。

解説：
第Ⅰ文型の There is[are] 構文「〜がいる，ある」の文なので，a dog が S（主語）。
There と under the chair は M（修飾語），is は V（動詞）。

2. ②

There are **many books** in his room. 彼の部屋にはたくさんの本がある。

解説：
第Ⅰ文型の There is[are] 構文「〜がいる，ある」の文なので，many books が S（主語）。
There と in his room は M（修飾語），are は V（動詞）。

3. ④

There is **a park** near my house.　　私の家の近くには公園がある。

解説：
第Ⅰ文型の There is[are] 構文「〜がいる，ある」の文なので，a park が S（主語）。
There と near my house は M（修飾語），is は V（動詞）。

復習テスト（解答）　第３講　Chapter 1

1. ②

The woman became an artist.　　女性は芸術家になった。

解説：
主語である The woman と an artist「芸術家」をイコールの関係で結ぶことができるので，
SVC の第Ⅱ文型の文。第Ⅱ文型における become は「～になる」の意味。
変化動詞の一部や五感を表す動詞などは第Ⅱ文型をとる。

2. ①

He arrived at the station.　　彼は駅に着いた。

解説：
動詞 arrived のうしろに〈前置詞＋名詞のカタマリ〉である at the station があるので，
これらを M（修飾語）とする SVM の第Ⅰ文型の文。

3. ②

I feel very sad.　　私はとても悲しいと感じている。

解説：
主語である I と very sad をイコールの関係で結ぶことができるので，SVC の第Ⅱ文型の文。
第Ⅱ文型における feel は「～に［と］感じる」の意味。

復習テスト（解答）　第３講　Chapter 2

1. ④

They discussed the idea today.　彼らは今日，その考えについて議論した。

解説：
discuss は「～について議論する」という意味の動詞で，目的語とセットで使われる。
よって，the idea は O（目的語）。

2. ②

She married Nick last year.　彼女は去年，ニックと結婚した。

解説：
marry は「～と結婚する」という意味の動詞で，目的語とセットで使われる。
よって，Nick は O（目的語）。

3. ③

Aki resembles her mother very much.
アキは母ととてもよく似ている。

解説：
resemble は「～と似ている」という意味の動詞で，目的語とセットで使われる。
よって，her mother は O（目的語）。

復習テスト（解答）　第３講　Chapter 3

1. ④

I **gave her a present**.　　私は彼女にプレゼントをあげた。

解説：
動詞のうしろに目的語を 2 つ続けた第Ⅳ文型の文（her = O_1，a present = O_2）。
「O_1 に O_2 を与える」は give O_1 O_2 で表す。

2. ④

Mr. Nakata **teaches us Japanese history**.
中田先生は私たちに日本史を教えてくれる。

解説：
動詞のうしろに目的語を 2 つ続けた第Ⅳ文型の文（us = O_1，Japanese history = O_2）。
「O_1 に O_2 を教える」は teach O_1 O_2 で表す。

3. ③

She **showed me her notebook**.
彼女は私に彼女のノートを見せてくれた。

解説：
動詞のうしろに目的語を 2 つ続けた第Ⅳ文型の文（me = O_1，her notebook = O_2）。
「O_1 に O_2 を見せる」は show O_1 O_2 で表す。

復習テスト（解答）　第３講　Chapter 4

1. ②

I will tell him the truth.

⇒ I will tell the truth (**to**) him.　私は彼に真実を話すつもりだ。

解説：
tell O_1 O_2「O_1 に O_2 を話す」という第Ⅳ文型の文を第Ⅲ文型に書き換えると，SV O_2 to O_1 となる。
tell は相手がいないと成り立たない動詞なので，書き換えの際には前置詞 to を使う。

2. ④

David taught me math.

⇒ David taught math (**to**) me.　デイビッドは私に数学を教えてくれた。

解説：
teach O_1 O_2「O_1 に O_2 を教える」という第Ⅳ文型の文を第Ⅲ文型に書き換えると，
SV O_2 to O_1 となる。
teach は相手がいないと成り立たない動詞なので，書き換えの際には前置詞 to を使う。

3. ①

My grandmother made me an apple pie.

⇒ My grandmother made an apple pie (**for**) me.

祖母が私にアップルパイを作ってくれた。

解説：
make O_1 O_2「O_1 に O_2 を作る」という第Ⅳ文型の文を第Ⅲ文型に書き換えると，
SV O_2 for O_1 となる。
make は相手がいなくても成り立つ動詞なので，書き換えの際には前置詞 for を使う。

復習テスト（解答）　第３講　Chapter 5

1. ③

I found the book difficult.　　私はその本が難しいと思った。

解説：
the book と difficult をイコールの関係で結ぶことができるので，第Ⅴ文型（SVOC）の文。
よって，下線部は C（補語）。find OC で「O が C だと思う／わかる」の意味。

2. ②

The news made me excited.　　その知らせは私を興奮させた。

解説：
me と excited をイコールの関係で結ぶことができるので，第Ⅴ文型（SVOC）の文。
よって，下線部は O（目的語）。make OC で「O を C にする」の意味。

3. ④

We named the cat Tama.　　私たちはそのネコをタマと名付けた。

解説：
the cat と Tama をイコールの関係で結ぶことができるので，第Ⅴ文型（SVOC）の文。
よって，下線部は C（補語）。name OC で「O を C と名付ける」の意味。

復習テスト（解答）　第４講　Chapter 1

1. ③

John (**studies**) Japanese every day.

ジョンは毎日，日本語を勉強している。

解説：
現在の習慣は現在形で表す。主語が John なので，三人称単数現在形の studies が正解。

2. ④

Kyoko (**is reading**) a book now.　キョウコは今，本を読んでいる。

解説：
文末の now に着目。一時的に何かをしている最中であることを表すには，
現在進行形〈be 動詞＋～ ing〉を用いる。

3. ①

The earth (**goes**) around the sun.　地球は太陽の周りを回っている。

解説：
不変の真理は現在形で表す。主語が The earth なので，三人称単数現在形の goes が正解。
go around ～「～の周りを回る」。

復習テスト（解答）　第４講　Chapter 2

1. ③

I (**am drinking**) hot coffee now.　私は今，ホットコーヒーを飲んでいる。

解説：
文末に now「今」とあるので，現在進行形〈am[is, are] +～ ing〉にする。
ここでは主語が I なので，be 動詞には am を用いる。

2. ②

She (**belongs**) to a dance team.　彼女はダンスチームに所属している。

解説：
belong to ～「～に所属している」は状態動詞なので，進行形にはしない。
主語が She なので三人称単数現在形の belongs が正解。

3. ④

He (**knows**) the Japanese singer.　彼はその日本人歌手を知っている。

解説：
know「～を知っている」は状態動詞なので，進行形にはしない。
主語が He なので三人称単数現在形の knows が正解。

復習テスト（解答）　第４講　Chapter 3

1. ②

If it (**rains**) next Saturday, we will watch movies at home.
今度の土曜日に雨が降ったら，私たちは家で映画を見るだろう。

解説：
文頭の接続詞 If「もし～なら」に着目。
時・条件を表す副詞節内では，未来のことでも will を使わずに現在形で表す。

2. ①

When I (**finish**) my homework, I will call you.
宿題を終えたら，私はあなたに電話します。

解説：
文頭の接続詞 When「～するとき」に着目。
時・条件を表す副詞節内では，未来のことでも will を使わずに現在形で表す。

3. ④

Let’s go home before it (**gets**) dark.　暗くなる前に家に帰ろう。

解説：
接続詞 before「～する前に」に着目。
時・条件を表す副詞節内では，未来のことでも will を使わずに現在形で表す。get「～になる」。

復習テスト（解答）　第４講　Chapter 4

1. ③

I (**visited**) the large park last month.　私は先月，その広い公園を訪れた。

解説：
過去の一点を示す副詞句 last month「先月」があるので，過去形 visited が正解。

2. ②

She (**moved**) to Fukuoka a year ago.　彼女は 1 年前に福岡へ引っ越した。

解説：
過去の一点を示す副詞句 a year ago「1 年前に」があるので，過去形 moved が正解。
move to ～「～へ引っ越す」。

3. ④

We (**were listening**) to music when Tom visited us.
トムが訪ねてきたとき，私たちは音楽を聴いていた。

解説：
過去の一点を示す副詞節 when Tom visited us「トムが私たちを訪ねてきたとき」があるので，
過去進行形の were listening が正解。

復習テスト（解答）　第４講　Chapter 5

1. ④

A: Look, dark clouds are coming.　見て，暗雲が近づいてきているね。

B: Yeah, it (**is going to rain**) soon.　うん，もうすぐ雨が降りそうだね。

解説：
A が「暗雲が近づいている」という客観的な兆候を伝えていることに着目。
客観的な兆候にもとづく未来の予測は be going to ～で表す。

2. ③

A: Hey, I want to buy something at this store.
ねえ，この店で何か買いたいな。

B: OK, I (**will wait**) outside, then.　わかった，じゃあ外で待つよ。

解説：
「この店で何か買いたい」と述べる A の発言を受けて，
B は「じゃあ外で待つ」とその場の主観的な思いつきで伝えている。
よって，will を用いる。outside「外で」。

3. ①

My sister (**is going to enter**) university next month.
姉は来月，大学に入学予定だ。

解説：
「～する予定だ」という客観的な予定は be going to ～で表す。
enter「（学校など）に入学する」。

復習テスト（解答）　第４講　Chapter 6

1. ②

I thought that he (**knew**) the secret.
私は彼がその秘密を知っていると思った。

解説：
時制の一致により，that 節内の動詞は，主節の動詞 thought に対応させて過去形 knew にする。

2. ③

She said that the team (**had won**) the game.
彼女はそのチームが試合に勝ったと言った。

解説：
「試合に勝った」のは「彼女が言った」時点よりも過去のことなので，
時制の一致により，that 節内の動詞は，過去完了形 had won にする。

3. ①

My uncle said that the English alphabet (**has**) 26 letters.
おじは，英語のアルファベットは 26 文字あると言った。

解説：
不変の真理は時制の一致の影響を受けない。
「英語のアルファベットが 26 文字あること」は不変の真理なので，現在形の has が正解。

復習テスト（解答）　第５講　Chapter 1

1. ④

He (**has lived**) in Kyoto for two years.

彼は京都で２年間ずっと暮らしてきた。

解説：
「ずっと～してきた」という過去から現在も継続している状態は,
現在完了形〈have[has] p.p.〉で表す。ここでの for ～は「～の間」の意味。

2. ②

I (**have been**) busy for the last few days.

私はここ数日忙しくしている。

解説：
「ずっと～だ」という過去から現在も継続している状態は,
現在完了形〈have[has] p.p.〉で表す。for the last few days「ここ数日」。

3. ③

She (**has known**) him since 2019. 彼女は 2019 年から彼を知っている。

解説：
「ずっと～だ」という過去から現在も継続している状態は,
現在完了形〈have[has] p.p.〉で表す。ここでの since ～は「～以来」の意味。

復習テスト（解答）　第５講　Chapter 2

1. ②

I (**have been**) to the museum twice.

私はその美術館に 2 回行ったことがある。

解説：
「～に行ったことがある」という経験を表す文は現在完了形
〈have p.p.〉の have[has] been to ～で表す。twice「2 回」。

2. ①

Have you ever (**seen**) the flower?

今までにその花を見たことがありますか？

解説：
「～したことがあるか」という，経験を尋ねる現在完了形の疑問文。
see の過去分詞は seen。疑問文での ever は「今までに」の意味。

3. ④

She has never (**sung**) that song.

彼女はその歌を一度も歌ったことがない。

解説：
現在完了形〈have[has] p.p.〉に never「一度も～ない」を用いて，
「～したことがない」という経験を表す文にする。sing の過去分詞は sung。

復習テスト（解答）　第５講　Chapter 3

1. ②

I (**have just finished**) watching a movie.

私はちょうど映画を見終えたところだ。

解説：
「～したところだ」という完了・結果は，現在完了形〈have[has] p.p.〉を用いて表す。
ここでの just は「ちょうど」の意味。

2. ③

Have you seen the TV drama (**yet**)?　そのテレビドラマをもう見ましたか。

解説：
現在完了形の完了・結果用法の疑問文における「もう」は，yet を文末に置いて表す。

3. ③

Mari is not at home now. She (**has gone**) to the park.

マリは今，家にいない。彼女は公園に行ってしまった。

解説：
第 1 文の内容から，現在完了形の完了・結果用法を用いて，
have[has] gone to ～「～に行ってしまった」とする。
経験用法の have[has] been to ～「～に行ったことがある」との違いに注意。at home「在宅して」。

復習テスト（解答）　第５講　Chapter 4

1. ③

I (**had played**) the trumpet before I joined a brass band.
私はブラスバンドに入るより前にトランペットを演奏したことがあった。

解説：
「私がブラスバンドに入った」という過去のある一点における経験は，過去完了形〈had p.p.〉で表す。

2. ②

Rick (**had been**) on the train for thirty minutes when I called him.
私がリックに電話した時点で，彼は 30 分間電車に乗っていた。

解説：
「私が彼（＝リック）に電話した」という過去のある一点までの継続は，
過去完了形〈had p.p.〉で表す。

3. ④

The cafe had already closed when I (**arrived**) there.
私がそこに到着したとき，カフェはすでに閉まっていた。

解説：
完了用法の過去完了形〈had p.p.〉の文。過去形の arrived を入れて，
when 節で「私がそこに（＝カフェに）到着した」という過去のある一点を示す。

復習テスト（解答）　第５講　Chapter 5

1. ②

I (**will have finished**) my math homework by eight tonight.

私は今夜 8 時までには数学の宿題を終えているだろう。

解説：
「今夜 8 時」という未来のある一点における完了は，未来完了形〈will have p.p.〉で表す。
ここでの by は「～までに」の意味。

2. ③

By next year, Sarah (**will have lived**) here for ten years.

来年には，サラは 10 年間ここに住んでいることになる。

解説：
「来年」という未来のある一点までの継続は，未来完了形〈will have p.p.〉で表す。
ここでの for は「～の間」という期間を表す。

3. ①

She (**will have been**) to Nikko twice if she goes there on a school trip.

彼女は，修学旅行で日光に行ったらそこへ 2 回行ったことになる。

解説：
「修学旅行でそこに（＝日光に）行ったら」という未来のある一点における経験は，
未来完了形〈will have p.p.〉で表す。twice「2 回」。

復習テスト（解答）　第５講　Chapter 6

1. ④

My father (**has been using**) his computer since 9 o’clock.
父は 9 時からずっとコンピュータを使っている。

解説：
「(過去のある一点から今まで）ずっと～している」という動作の継続は，
現在完了進行形〈have[has] been ～ ing〉で表す。

2. ②

I (**had been reading**) a book for hours when she called me.
彼女が私に電話をくれたとき，私は何時間も本を読んでいた。

解説：
「(過去のある一点まで）ずっと～していた」という動作の継続は，
過去完了進行形〈had been ～ ing〉で表す。

3. ④

Next month, she (**will have been learning**) Japanese for two years.
来月で，彼女は 2 年間日本語を学び続けていることになる。

解説：
「(未来のある一点まで）ずっと～している」という動作の継続は，
未来完了進行形〈will have been ～ ing〉で表す。

復習テスト（解答）　第６講　Chapter 1

1. ②

My brother didn't sleep well last night. He must be sleepy now.
兄は昨夜，よく眠れなかった。彼は今，眠い**にちがいない**。

解説：
助動詞 must には「〜しなければならない」という義務を表す用法と
「〜にちがいない」という推量を表す用法があるが，
ここでは第 1 文の内容から，推量の意味だとわかる。

2. ③

At first, I thought her story was a lie, but it may be true.
最初，彼女の話はうそだと思ったが，それは本当**かもしれない**。

解説：
助動詞 may には「〜してもよい」という許可を表す用法と
「〜かもしれない」という推量を表す用法があるが，
ここでは逆接を表す but までの内容から，推量の意味だとわかる。

3. ①

Jack should arrive at the station by now. He left home so early today.
ジャックは今ごろ駅に着いている**はずだ**。彼は今日，かなり早く家を出た。

解説：
助動詞 should には「〜すべきだ」という義務を表す用法と
「〜はずだ」という推量を表す用法があるが，ここでは第 2 文の内容から，推量の意味だとわかる。

復習テスト（解答）　第６講　Chapter 2

1. ②

Tom has just eaten a big lunch. He cannot be hungry now.
トムは昼食をたっぷり食べたばかりだ。彼は今，おなかが空いている**はずがない。**

解説：
第 1 文に「トムは昼食をたっぷり食べたばかりだ」とあるので，
ここでの cannot は「ありえない，はずがない」という推量の意味だとわかる。

2. ③

Aoi knows flowers well. She might know this flower’s name.
アオイは花に詳しい。彼女はこの花の名前を知っている**かもしれない。**

解説：
第 1 文に「アオイは花に詳しい」とあるので，
ここでの might は「～かもしれない」という推量の意味だとわかる。

3. ①

It’s a holiday today. That restaurant could be closed.
今日は祝日だ。あのレストランは閉まっている**かもしれない。**

解説：
第 1 文に「今日は祝日だ」とあるので，
ここでの could は「～かもしれない，ありうる」という推量の意味だとわかる。

復習テスト（解答）　第６講　Chapter 3

1. ④

(**Can I**) help you?　　お手伝いしましょうか？

解説：
「～しましょうか」という申し出は Can I ～ ? で表すことができる。
Can I help you? は「(あなたを) お手伝いしましょうか？」という意味で，
相手に手助けを申し出る際の定番表現。

2. ②

(**Shall we**) watch the movie?　　その映画を見ませんか？

解説：
「～しませんか」という提案は Shall we ～ ? で表すことができる。

3. ③

(**Could you**) tell me the way?　　道を教えてくださいますか？

解説：
「～してくださいますか」という丁寧な依頼は Could you ～ ? で表すことができる。

復習テスト（解答）　第６講　Chapter 4

1. ④

I would often go to that park.　　私はあの公園によく行った**ものだった**。

解説：
下線部の would は「昔は～した」という過去の習慣を表す。
副詞 often「よく」と一緒に使われることが多い。

2. ③

I tried to close this window, but it will not close.
私はこの窓を閉めようとしたが，それは**どうしても**閉まら**ない**。

解説：
下線部の will not は「どうしても～ない」という拒絶を表す。

3. ②

Don’t worry about your mistake. Such a thing will happen.
自分のミスを心配するな。そういうことは起こる**ものだ**。

解説：
下線部の will は「～するものだ」という習性を表す。

復習テスト（解答）　第６講　Chapter 5

1. ③

You (**need not**) be sorry for that.
君がそれについて申し訳なく思う必要はない。

解説：
否定文なので，〈助動詞 need + not〉「～する必要はない」の形にする。
一般動詞 need を使った否定文だと don’t need to *do* の形にする必要がある。
be sorry for ～「～について申し訳なく思う」。

2. ②

(**Need I**) tell him the truth?
私は彼に真実を伝える必要があるだろうか。

解説：
助動詞 need を用いた疑問文なので，Need I *do* ～ ?「私は～する必要があるか」という形にする。
一般動詞の need を使った疑問文だと Do I need to *do* ～ ? という形にする必要がある。
truth「真実」。

3. ②

You must hurry, Phillip! We (**need to get**) there by five.
急いで，フィリップ！私たちは 5 時までにそこへ到着する必要があるの。

解説：
肯定文なので，一般動詞 need を用いた need to *do* という形にする。
助動詞 need は肯定文では用いない。by「～までに」。

復習テスト（解答）　第６講　Chapter 6

1. ④

I (**had to**) stay home all day yesterday because the weather was very bad.

天気がとても悪かったので，私は昨日は一日中家にいなければならなかった。

解説：
過去の義務は had to *do*「～しなければならなかった」で表す。

2. ②

Those English sentences were easy. So, I (**didn’t have to**) use a dictionary.

その英語の文章は簡単だった。そのため，私は辞書を使う必要がなかった。

解説：
第 1 文の内容から，didn’t have to *do*「～する必要がなかった」という不要の表現にする。

3. ③

My father said that I (**ought**) to join our family trip next month.

父は，私も来月の家族旅行に参加すべきだと言った。

解説：
空所の直後に前置詞 to があるので，ought to *do* で「～すべきだ」という義務の表現にする。
ought to *do* に過去形はなく，時制の一致の影響を受けない点に注意。

復習テスト（解答）　第6講　Chapter 7

1. ③

I'm sure she will (**be able to**) speak English soon.
彼女はきっと，すぐに英語を話せるようになるでしょう。

解説：
空所の前に will があるので，未来形の文。
「～することができるだろう」という未来の能力は be able to *do*「～することができる」で表す。

2. ②

There (**used to**) be a big supermarket around here.
この辺りにはかつて大きなスーパーがあった。

解説：
空所の直後に状態動詞 be があるので，
過去の状態を表す used to *do*「昔は～だった，よく～していた」を用いる。
would often には過去の状態を表す用法がなく，状態動詞と一緒に使うことができない。

3. ①

I (**used to**) eat ice cream every day, but I don't anymore.
私は以前，毎日アイスクリームを食べていたが，もはや（毎日は）食べていない。

解説：
現在と過去を対比して過去の習慣を表す文なので，
used to *do*「昔は～だった，よく～していた」を用いる。anymore「〈否定文･疑問文で〉もはや」。

復習テスト（解答）　第７講　Chapter 1

1. ③

He (**must have stayed**) up all night.　彼は徹夜したにちがいない。

解説：
「〜したにちがいない」という過去の推量は〈must have p.p.〉で表す。
stay up all night「徹夜する」。

2. ①

They (**may have seen**) that poster.
彼らはあのポスターを見たかもしれない。

解説：
「〜したかもしれない」という過去の推量は〈may[might] have p.p.〉で表す。poster「ポスター」。

3. ②

He (**cannot have made**) such a simple mistake.
彼がそんな単純なミスをしたはずがない。

解説：
「〜したはずがない」という過去の推量は〈cannot[can't] have p.p.〉で表す。
make a mistake「ミスをする」。

復習テスト（解答）　第７講　Chapter 2

1. ②

You (**should**) have come to the party.
あなたはパーティーに来るべきだったのに。

解説：
「～すべきだったのに」という過去の後悔や非難は
〈should have p.p.〉もしくは〈ought to have p.p.〉で表す。
ここでは空所の直後に have と過去分詞が続いているので，should を入れる。

2. ③

She (**ought**) to have arrived earlier.
彼女はもっと早く到着すべきだったのに。

解説：
「～すべきだったのに」という過去の後悔や非難は
〈should have p.p.〉もしくは〈ought to have p.p.〉で表す。
ここでは空所の直後に to，have，過去分詞と続いているので，ought を入れる。

3. ④

I (**need not have**) said such a thing.
私はそんなことを言う必要はなかったのに。

解説：
「～する必要はなかったのに」という過去の後悔や非難は〈need not have p.p.〉で表す。

復習テスト（解答）　第７講　Chapter 3

1. ①

I (**cannot thank**) you too much.

あなたにはどんなに感謝してもしきれない。

解説：
「いくら〜してもしすぎることはない, どんなに〜してもしきれない」は〈cannot 〜 too ...〉で表す。

2. ②

I (**would rather go**) for a walk than stay home.

私は家にいるよりむしろ散歩に出かけたい。

解説：
「B するよりむしろ A したい」は would rather A than B で表す。
go for a walk「散歩に出かける」。

3. ④

I (**would like to hear**) her success story.

私は彼女の成功談を聞きたい。

解説：
「〜したい（と思う）」は would like to *do* で表す。success story「成功談」。

復習テスト（解答）　第７講　Chapter 4

1. ④

Jack couldn’t sleep at all last night. He (**may well**) feel sleepy.
ジャックは昨夜，全然眠れなかった。彼が眠いのももっともだ。

解説：
「～するのももっともだ」は may well *do* で表す。not ～ at all「全然～ない」。

2. ③

He never listens to people. You (**might as well**) talk to the sky as talk to him.
彼は人の話をまったく聞かない。彼と話をするのは空と話をするようなものだ。

解説：
「B するのは A するようなものだ」は might[may] as well A as B で表す。

3. ②

His story (**may well**) be a lie.　彼の話はたぶんうそだろう。

解説：
「たぶん～だろう」は may well *do* で表す。may 単独よりもやや可能性の高い推量を表す。lie「うそ」。

復習テスト（解答）　第７講　Chapter 5

1. ①

He proposed that I (**join**) the surprise party.
彼は，私にサプライズパーティーに参加するようにと提案した。

解説：
提案を表す動詞 propose ～「～を提案する」があることに着目。
propose の目的語にあたる that 節内では，動詞の原形または〈should ＋ V 原形〉を用いる。

2. ④

Her boss ordered that she (**finish**) the work by tomorrow.
彼女の上司は，彼女に明日までにその仕事を終えるようにと命令した。

解説：
命令を表す動詞 order ～「～を命令する」があることに着目。
order の目的語にあたる that 節内では，動詞の原形または〈should ＋ V 原形〉を用いる。

3. ②

The girl demanded that we (**should show**) that picture to her.
少女は，私たちが彼女にその写真を見せるよう求めた。

解説：
要求を表す動詞 demand ～「～を要求する」があることに着目。
demand の目的語にあたる that 節内では，動詞の原形または〈should ＋ V 原形〉を用いる。

復習テスト（解答）　第７講　Chapter 6

1. ③

It is important that we (**should learn**) our own culture and history.
私たち自身の文化と歴史を学ぶことは重要だ。

解説：
必要性を表す形容詞 important「重要な」に続く that 節内では，
V 原形または〈should ＋ V 原形〉を用いる。

2. ①

It is strange that she (**should leave**) home this early.
彼女がこんなに早く家を出発するのは変だ。

解説：
感情・主観的判断を表す形容詞 strange「変な」に続く that 節内では，
〈should ＋ V 原形〉を用いることで感情や主観的判断を強調できる。

3. ③

It is natural that your sister (**should get**) angry.
君のお姉さんが怒るのも当然だ。

解説：
感情・主観的判断を表す形容詞 natural「当然な」に続く that 節内では，
〈should ＋ V 原形〉を用いることで感情や主観的判断を強調できる。

復習テスト（解答）　第８講　Chapter 1

1. ②

An umbrella (**was left**) on the bus.　１本の傘がそのバスに置き忘れられた。

解説：
受動態は動詞の形を〈be 動詞＋ p.p.〉にして作る。
受動態は，主語がわからない場合や主語を言う必要がない場合に用いられる。
leave「～を置き忘れる」の過去分詞は left。

2. ④

Those plans (**were not changed**).　それらの計画は変更されなかった。

解説：
受動態〈be 動詞＋ p.p.〉の否定文は，be 動詞の直後に not を置いて作る。
ここでは主語が複数を表す Those plans の過去の文なので，
be 動詞は were が適切。change「～を変更する」の過去分詞は changed。

3. ②

When was the big window (**broken**)?
その大きな窓はいつ割られましたか。

解説：
疑問詞（ここでは When）を用いた疑問文の受動態は，
疑問詞の後ろを〈be 動詞＋主語＋ p.p.〉の形にして作る。
break「～を壊す」の過去分詞は broken。

復習テスト（解答）　第８講　Chapter 2

1. ④

Birds (**have been loved**) since old times.
鳥は昔から愛されてきた。

解説：
完了形の受動態は〈have[has] been ＋ p.p.〉の形で表す。since old times「昔から」。

2. ③

An e-mail (**is being sent**) now.　　今，E メールが送信されているところだ。

解説：
進行形の受動態は〈be 動詞＋ being ＋ p.p.〉の形で表す。

3. ③

The beach (**must be cleaned**).　　その浜辺は清掃されなければならない。

解説：
助動詞を含む受動態は〈助動詞＋ be ＋ p.p.〉の形で表す。
ここでは「～されなければならない」なので，義務を表す must を用いる。

復習テスト（解答）　第８講　Chapter 3

1. ③

He sent me a gift.　彼は私に贈り物を送ってくれた。

⇒ A gift (**was sent**) to me by him.　贈り物が彼によって私に送られた。

解説：
send O_1 O_2「O_1 に O_2 を送る」を用いた第Ⅳ文型（SVO_1O_2）の文を受動態の文に書き換える。
O_2 である a gift「贈り物」を主語にして〈be 動詞 was + p.p.〉を続ける。
ここでの前置詞 by は「～によって」の意味で，動作主を表す。

2. ①

The man keeps all the rooms clean.
その男性は全ての部屋をきれいにしている。

⇒ All the rooms (**are kept**) clean by the man.
全ての部屋はその男性によってきれいにされている。

解説：
keep O C「O を C に保つ」を用いた第Ⅴ文型（SVOC）の文を受動態の文に書き換える。
O である all the rooms「全ての部屋」を主語にして〈be 動詞 are + p.p.〉を続ける。

3. ④

Lisa made us curry last week.
リサは先週，私たちにカレーを作ってくれた。

⇒ Curry (**was made**) for us by Lisa last week.
カレーは先週，リサによって私たちのために作られた。

解説：
make O_1 O_2「O_1 に O_2 を作ってやる」を用いた第Ⅳ文型（SVO_1O_2）の文を受動態に書き換える。
O_2 である curry「カレー」を主語にして〈be 動詞 was + p.p.〉を続ける。

復習テスト（解答）　第８講　Chapter 4

1. ③

She (**was spoken to**) by a little boy.　彼女は少年に話しかけられた。

解説：
speak to ～「～に話しかける」は一語の動詞と同じ働きをする群動詞。
よって，受動態は〈be 動詞 was ＋過去分詞 spoken to〉となる。

2. ②

He (**was laughed at**) by his older sister.
彼は姉に笑われた。

解説：
laugh at ～「～を笑う」は一語の動詞と同じ働きをする群動詞。
よって，受動態は〈be 動詞 was ＋過去分詞 laughed at〉となる。

3. ④

You (**are looked up to**) by everyone.　あなたはみんなに尊敬されている。

解説：
look up to ～「～を尊敬する」は一語の動詞と同じ働きをする群動詞。
よって，受動態は〈be 動詞 are ＋過去分詞 looked up to〉となる。

復習テスト（解答）　第８講　Chapter 5

1. ②

His movie (**is known to**) many people in the world.

彼の映画は世界中のたくさんの人に知られている。

解説：
「～に知られている」は受動態を用いた熟語 be known to ～で表す。
be known for ～は「～で知られている」の意味。

2. ③

A lot of people (**were killed in**) the big fire.

多くの人が，その大火事で亡くなった。

解説：
「～で亡くなる」は be killed in ～で表す。戦争や事故，災害などの文脈で用いられることの多い表現。

3. ①

The bathtub (**is filled with**) water.　浴槽は水で満たされている。

解説：
「～で満たされている」は受動態を用いた熟語 be filled with ～で表す。bathtub「浴槽」。

復習テスト（解答）　第８講　Chapter 6

1. ③

(**It is said**) that he is a kind person.　彼は親切な人だと言われている。

解説：
「～だと言われている」は It is said that ～ . で表す。They say that ～ . を受動態にした文。

2. ④

(**It is believed**) that the old man can use magic.
その年配の男性は魔法を使うことができると信じられている。

解説：
「～だと信じられている」は It is believed that ～ . で表す。magic「魔法」。

3. ①

(**It is known**) that enough sleep is necessary for good health.
十分な睡眠は健康に必要だと知られている。

解説：
「～だと知られている」は It is known that ～ . で表す。enough「十分な」。

復習テスト（解答）　第９講　Chapter 1

1. ③

I went to the park <u>to enjoy</u> the art festival.

私はその芸術祭を**楽しむために**公園へ行った。

解説：
to enjoy 以降の「その芸術祭を楽しむ」と「公園へ行った」が,
目的と手段の関係になっているため,
この不定詞〈to ＋ V 原形〉は副詞的用法「〜するために」だとわかる。

2. ②

My goal is <u>to pass</u> the test.

私の目標は，その試験に**合格することだ**。

解説：
主語である My goal「私の目標」と to pass 以降の「その試験に合格する」をイコールの関係
（S ＝ C）で結ぶことができるので，この不定詞〈to ＋ V 原形〉は,
文の補語の働きをしている名詞的用法「〜すること」だとわかる。pass「〜に合格する」。

3. ①

The woman wanted something <u>to drink</u>.

女性は飲み物（ **飲むための**もの ）がほしかった。

解説：
to drink が代名詞 something「何か」を後ろから修飾していると考えられるので,
この不定詞〈to ＋ V 原形〉は形容詞的用法「〜するための」だとわかる。

復習テスト（解答）　第９講　Chapter 2

1. ②

Our plan is (**to buy**) a house in Osaka.
私たちの計画は大阪に家を買うことだ。

解説：
不定詞〈to + V 原形〉を入れると，「大阪に家を買うこと」という文の補語になる。
この不定詞は名詞的用法。

2. ③

I decided (**to travel**) to Spain next year.
私は来年スペインに旅行することを決めた。

解説：
動詞 decide は不定詞〈to + V 原形〉を目的語に取り，
decide to *do* で「～することを決める」の意味。
この不定詞は名詞的用法で，動詞 decide の目的語の働きをしている。

3. ②

He wants (**to marry**) that kind woman.
彼はその優しい女性と結婚したいと思っている。

解説：
動詞 want は不定詞〈to + V 原形〉を目的語に取り，want to *do* で「～したい」の意味。
この不定詞は名詞的用法で，動詞 want の目的語の働きをしている。

復習テスト（解答）　第９講　Chapter 3

1. ②

(**It’s**) easy to read this English book.　この英語の本を読むのは簡単だ。

解説：
It’s を入れて，〈It is[It’s] +形容詞［名詞］+ to *do* ～.〉「～することは…だ」の形の文にする。
この It は形式主語で，名詞的用法の不定詞 to read 以降が真主語。

2. ④

I make (**it**) a rule to run every Friday.
私は毎週金曜日にランニングすることにしている。

解説：
it を入れて，make it a rule to *do*「～することにしている」を用いた文にする。
この it は形式目的語で，名詞的用法の不定詞 to run 以降が真の目的語。

3. ①

I found (**it**) difficult to forget that memory.
私はその記憶を忘れるのが難しいと思った。

解説：
find O C「O を C だと思う，O が C だとわかる」の O の部分が空所になっている文。
後ろに不定詞 to forget があるので，形式目的語として働く it を入れると，
不定詞以降が真の目的語となり，文が成立する。

復習テスト（解答）　第９講　Chapter 4

1. ④

She has the ability (**to understand**) things quickly.

彼女は物事を素早く理解する能力を持っている。

解説：
名詞 ability は同格の不定詞をともなう名詞で，the ability to *do* で「〜する能力」という意味。
この不定詞は形容詞的用法で，the ability と不定詞以降が同格の関係にある。

2. ②

Do you have anything (**to sell**)?　あなたには売るものがありますか。

解説：
不定詞 to sell を入れて，「売るべき何か」とする。
この不定詞は形容詞的用法で代名詞 anything を修飾しており，
anything が sell の目的語の働きをしている VO 関係にある。

3. ③

He was the first person (**to go**) to the moon.

彼は月に行った最初の人だった。

解説：
不定詞 to go を入れて，「月に行った最初の人」とすると文意が通る。
この不定詞は形容詞的用法で the first person を修飾しており，
the first person が go の主語の働きをしている SV 関係にある。

復習テスト（解答）　第９講　Chapter 5

1. ②

He was surprised (**to know**) the truth.

彼は真実を知って驚いた。

解説：
感情を表す形容詞 surprised「驚いた」があることに着目。
「真実を知って」と感情の原因を表す不定詞 to know を入れる。この不定詞は副詞的用法。

2. ④

You are kind (**to help**) a stranger.

見知らぬ人を助けるなんてあなたは親切だ。

解説：
人の性格を表す形容詞 kind「親切な」があることに着目。
「見知らぬ人を助けるなんて」と判断の根拠を表す不定詞 to help を入れる。
この不定詞は副詞的用法。stranger「見知らぬ人」。

3. ①

We went to the zoo (**to see**) gorillas.

私たちはゴリラを見に動物園へ行った。

解説：
不定詞 to see を入れて，「ゴリラを見るために」という目的を表す内容にすると，
「動物園へ行った」と「ゴリラを見る」が手段と目的の関係になる。この不定詞は副詞的用法。

復習テスト（解答）　第９講　Chapter 6

1. ①

The girl (**grew up to**) be a *sushi* chef.

その少女は成長して寿司職人になった。

解説：
「成長して（その結果）～になる」は grow up to be ～で表す。
この不定詞は結果を表す副詞的用法。*sushi* chef「寿司職人」。

2. ④

I (**awoke to**) find myself in a hotel room.

私は，目覚めると自分がホテルの部屋にいると気付いた。

解説：
「目覚めて（その結果）～とわかる」は awake to find ～で表す。
この不定詞は結果を表す副詞的用法。find O C「O が C だとわかる」。

3. ③

The team practiced very hard, (**only to**) lose the game.

チームはとても熱心に練習したが，試合に負けただけだった。

解説：
「…したが（その結果）～しただけだった」は，...(,) only to *do* ～で表す。
この不定詞は結果を表す副詞的用法。

復習テスト（解答）　第９講　Chapter 7

1. ③

He studies English hard in (**order to live**) in Australia.
彼はオーストラリアで生活するために，英語を熱心に勉強している。

解説：
空所の前に in があることに着目。
「オーストラリアで生活する」と「英語を熱心に勉強している」が目的と手段の関係にあるため，
「〜するために」という意味になる in order to *do* の形にする。
不定詞の副詞的用法は「〜するために」の意味だが，
目的を強調したい場合には in order to *do* や so as to *do* で表現できる。

2. ④

Yesterday, she got home earlier so (**as to watch**) the TV show.
昨日，彼女はそのテレビ番組を見るために，早めに帰宅した。

解説：
空所の前に so があることに着目。
「そのテレビ番組を見る」と「早めに帰宅した」が目的と手段の関係にあるため，
「〜するために」という意味になる so as to *do* の形にする。TV show「テレビ番組」。

3. ②

I went to Kumamoto (**in order to visit**) my grandparents.
私は祖父母を訪ねるために熊本へ行った。

解説：
「祖父母を訪ねる」と「熊本へ行った」が目的と手段の関係にあるので，
目的を表す in order to *do*「〜するために」の形にする。

復習テスト（解答）　第10講　Chapter 1

1. ③

It is important (**for**) him to join that practice game.

彼がその練習試合に参加することは重要だ。

解説：
形式主語から始まる，〈It is[It’s] ＋形容詞［名詞］＋ to *do* ～ .〉「～することは…だ」の形の文。
不定詞の主語は直前に for S を置いて示す。この不定詞は名詞的用法で「～すること」の意味。

2. ②

It is kind (**of**) you to help me with my homework.

私の宿題を手伝ってくれるなんて，あなたは親切ですね。

解説：
形容詞 kind「親切な」があることに着目。
人の性格を表す形容詞をともなうときは，不定詞の主語は直前に of S を置いて示す。
この不定詞は副詞的用法で「～するなんて」の意味。help A with ～「A の～を手伝う」。

3. ④

It’s very dangerous (**for**) them to climb the mountain today.

彼らが今日，その山に登るのはとても危険だ。

解説：
形式主語から始まる〈It is[It’s] ＋形容詞［名詞］＋ to *do* ～ .〉「～することは…だ」の形の文。
不定詞の主語は直前に for S を置いて示す。
この不定詞は名詞的用法で「～すること」の意味。dangerous「危険な」。

復習テスト（解答）　第10講　Chapter 2

1. ④

Last night, I drank coffee in (**order not to**) feel sleepy.
昨夜，私は眠くならないようにコーヒーを飲んだ。

解説：
空所の直前にある in に着目。
in order to *do*「～するために」の否定は，in order not to *do* と不定詞の直前に not を置いて表す。

2. ②

I'm happy (**to be invited**) to the event.
私はそのイベントに招かれてうれしい。

解説：
「～して…」と感情の原因や理由を表す不定詞の文にする。
不定詞の内容を受動態で表すには〈to be p.p.〉の形にする。

3. ①

Everyone wants (**to be loved**) by someone.
皆，誰かに愛されたいと思うものだ。

解説：
want to *do*「～したい」の不定詞の内容を受動態で表すには，〈to be + p.p.〉の形にする。

復習テスト（解答）　第10講　Chapter 3

1. ④

She seems to (**have attended**) the meeting.
彼女はその会議に出席したようだ。

解説：
不定詞の内容である「その会議に出席した」が英文の動詞 seems よりも
前の時制を表している文なので，〈to have + p.p.〉の形にする。
seem to *do*「～するようだ，～するらしい」。

2. ③

Then, the boy (**appeared to be**) tired.
そのとき，少年は疲れているようだった。

解説：
不定詞の内容である「疲れている」が「～のようだった」と同じ過去の時制の文にするので，
appeared to be が正解。appear to *do*「～するようだ，～するらしい」。

3. ①

He is said to (**have been**) a famous singer.
彼は有名な歌手だったと言われている。

解説：
不定詞の内容である「有名な歌手だった」が英文の動詞 is said よりも前の時制を表している文なので，
〈to have + p.p.〉の形にする。

復習テスト（解答）　第10講　Chapter 4

1. ③

It seems that he watched a movie with her.

⇒ He seems (**to have watched**) a movie with her.

彼は彼女と映画を見たようだ。

解説：
that 節内の動詞 watched が，英文の動詞 seems よりも前の時制を表しているので，
完了不定詞の〈to have + p.p.〉の形にする。

2. ①

It was said that the woman was a magician.

⇒ The woman was said (**to be**) a magician.

その女性は手品師だと言われていた。

解説：
that 節内の動詞 was と英文の動詞 was said の時制が同じなので，不定詞 to be が正解。
magician「手品師」。

3. ④

It appears that he knew the secret.

⇒ He appears (**to have known**) the secret.

彼はその秘密を知っていたようだ。

解説：
that 節内の動詞 knew が，英文の動詞 appears よりも前の時制を表しているので，
完了不定詞の〈to have + p.p.〉の形が入る。secret「秘密」。

復習テスト（解答）　第10講　Chapter 5

1. ①

The concert (**is**) to be held next month.
コンサートは来月開かれる予定だ。

解説：
空所の後ろに to があるので，be 動詞の is を入れて〈be ＋ to 不定詞〉で
「～することになっている」という意味にする。
ここでの〈be ＋ to 不定詞〉は予定を表す。held は hold「～を開く」の過去分詞。

2. ③

If you (**are to**) win the guitar contest, you have to practice harder.
あなたがギターコンテストで優勝したいなら，もっと熱心に練習しなければなりません。

解説：
空所が if 節中にあることに着目。
〈be ＋ to 不定詞〉は if 節中で「～するつもりである」という意志を表すので are to を入れる。
contest「コンテスト」。

3. ②

The moon was (**not to be seen**) last night.
昨夜，月は見えなかった。

解説：
空所の前にある was に着目。月は「見られなかった」なので，
可能を表す〈be ＋ to 不定詞〉の受動態を否定文にした not to be seen を入れる。

復習テスト（解答）　第10講　Chapter 6

1. ②

He taught me (**how to**) use the coffee machine.
彼はコーヒーマシンの使い方を教えてくれた。

解説：
「～する方法，どのように～すべきか」は how to *do* で表す。
この〈疑問詞＋ to 不定詞〉は，動詞 taught の 2 つ目の目的語の働きをしている。
coffee machine「コーヒーマシン」。

2. ①

He didn’t know (**what to**) believe. 彼は何を信じるべきかわからなかった。

解説：
「何を～すべきか」は what to *do* で表す。
〈疑問詞＋ to 不定詞〉を動詞 know の目的語の働きをしている。

3. ③

The question is (**when to**) call her.
問題はいつ彼女に電話すべきかということだ。

解説：
「いつ～すべきか」は when to *do* で表す。
この〈疑問詞＋ to 不定詞〉は，文の補語の働きをしている。question「問題，質問」。

復習テスト（解答）　第11講　Chapter 1

1. ③

She was rich (**enough**) to buy a second home.
彼女は別宅を買えるほど裕福だった。

解説：
「…するほど十分に～だ」は～ enough to *do* ... で表す。
副詞 enough は形容詞を後ろから修飾する点に注意。second home「別宅」。

2. ②

That dish was (**too**) hot to eat.　　あの料理は辛すぎて食べられなかった。

解説：
「～すぎて…できない」は too ～ to *do* ... で表す。hot「辛い」。

3. ①

My grandfather was (**so**) kind as to help street cats.
祖父は野良猫を助けるほど優しかった。

解説：
「～するほど…だ」は so ～ as to *do* ... で表す。street cat「野良猫」。

復習テスト（解答）　第 11 講　Chapter 2

1. ①

The girl (**came to**) like math.　少女は数学を好むようになった。

解説：
「～するようになる」は come[get] to *do* で表す。

2. ③

(**All**) you have to do is to call her.　君は彼女に電話しさえすればよい。

解説：
「～しさえすればよい」は All S have to do is (to) *do* もしくは have only to *do* で表す。

3. ②

Yesterday, I (**happened to**) be there.　昨日，私はたまたまそこにいた。

解説：
「たまたま～する」は happen to *do* で表す。

復習テスト（解答）　第11講　Chapter 3

1. ④

(**To tell the truth**), I don’t like pumpkin very much.

実を言うと，私はカボチャがあまり好きではない。

解説：
「実を言うと」は to tell the truth で表す。to *do* 型の独立不定詞の表現。pumpkin「カボチャ」。

2. ③

(**To begin with**), we don’t have much time.

はじめに，私たちにはあまり時間がない。

解説：
「まず始めに」は to begin with で表す。to *do* 型の独立不定詞の表現。

3. ②

(**To make matters worse**), it began to rain.

さらに悪いことに，雨が降り出した。

解説：
「さらに悪いことに」は To make matters worse で表す。to *do* 型の独立不定詞の表現。

復習テスト（解答）　第11講　Chapter 4

1. ①

We saw the girl (**play**) volleyball in a park.
私たちは，その少女が公園でバレーボールをするのを見た。

解説：
知覚動詞 see は〈see + O（目的語）+ *do*〉で「O が～するのを見る」の意味になる。

2. ③

My father made me (**eat**) vegetables.
父は私に野菜を食べさせた。

解説：
使役動詞 make は〈make + O（目的語）+ *do*〉で
「(強制的に) O に～させる」の意味になる。vegetable「野菜」。

3. ②

They didn't let their son (**touch**) the flower vase.
彼らは息子に，その花瓶に触らせなかった。

解説：
使役動詞 let は〈let + O（目的語）+ *do*〉で「O に～させる」の意味になる。
let は許可を表す。flower vase「花瓶」。

復習テスト（解答）　第 11 講　Chapter 5

1. ④

My older sister (**allowed**) me to use her smartphone.

姉は，私に彼女のスマートフォンを使わせてくれた。

解説：
空所の後ろに目的語 me と to があるので，allow O to *do*「O が～するのを許す」の形にする。

2. ②

She asked him (**to explain**) more.

彼女は，彼にもっと説明するように頼んだ。

解説：
「O に～するように頼む」は ask O to *do* で表す。explain「説明する」。

3. ③

This video will enable you (**to learn**) more about science.

この動画は，あなたが科学についてもっと学ぶのを可能にするでしょう。

解説：
「O が～するのを可能にする」は enable O to *do* で表す。video「動画」。

復習テスト（解答）　第11講　Chapter 6

1. ②

He ate that cake although his mother (**told him not to**).
彼はあのケーキを食べてしまった。彼の母が，そうしないようにと言ったのに。

解説：
tell O not to *do*「O に〜しないように言う」の to に続く内容を to 一語で代用する。
この to の後ろには，前出の eat that cake が省略されている。although「〜だけれども」。

2. ②

I was made (**to wash**) the dishes after lunch.
私は，昼食後に皿を洗わされた。

解説：
空所の前に was made とあるので，
〈使役動詞 make ＋ O（目的語）＋ *do*〉「（強制的に）O に〜させる」の受動態
〈O’ ＋ be 動詞＋ p.p. ＋ to *do*〉の形にする。wash the dishes「皿を洗う」。

3. ④

He was seen (**to sleep**) on a bench.　彼はベンチで寝ているのを見られた。

解説：
空所の前に was seen とあるので，
〈知覚動詞 see ＋ O（目的語）＋ *do*〉「O が〜するのを見る」の受動態
〈O’ ＋ be 動詞＋ p.p. ＋ to *do*〉の形にする。bench「ベンチ」。

復習テスト（解答）　第12講　Chapter 1

1. ③

(**Understanding**) different cultures is very important.
さまざまな文化を理解することはとても重要だ。

解説：
動名詞を入れて，Understanding different cultures「さまざまな文化を理解すること」を主語とする文にする。動名詞は動詞の～ ing 形（*do*ing）の形で名詞の働きをし，英文中で S（主語），O（目的語），C（補語）になる。

2. ②

Tom enjoys (**singing**) Japanese songs.
トムは日本の歌を歌うのを楽しむ。

解説：
動名詞を入れて singing Japanese songs「日本の歌を歌うこと」を動詞 enjoy の目的語とする文にする。

3. ①

We should be careful in (**using**) this machine.
私たちはこの機械を使う際，慎重になるべきだ。

解説：
空所の直前に前置詞 in があることに着目。前置詞の後ろに動詞を続ける場合は動名詞にする。
in *do*ing は「～する際には」の意味。 careful「慎重な」。

復習テスト（解答）　第12講　Chapter 2

1. ②

My mother doesn't like (**my**) playing video games at night.
母は，私が夜にテレビゲームをすることを好まない。

解説：
動名詞の意味上の主語は，動名詞の直前に所有格または目的格を置いて示す。
テレビゲームをするのは「私」なので，所有格の my が正解。

2. ①

She insisted on (**him**) joining the meeting.
彼女は，彼が会議に参加すべきだと主張した。

解説：
動名詞の意味上の主語は，動名詞の直前に所有格または目的格を置いて示す。
会議に参加すべきなのは「彼」なので，目的格の him が正解。insist on ～「～を主張する」。

3. ③

Don't be ashamed (**of not knowing**) the answer.
答えがわからないことを恥ずかしく思わないで。

解説：
「～を恥ずかしく思う」は be ashamed of ～で表し，前置詞 of には動名詞が続く。
動名詞の否定は not ～ ing「～しないこと」で表すので，of not knowing が正解。

復習テスト（解答）　第12講　Chapter 3

1. ②

The boy is proud of (**having won**) that speech contest.
少年は，スピーチコンテストで優勝したことを誇りに思っている。

解説：
「スピーチコンテストで優勝した」のは「誇りに思っている」よりも前の出来事なので，
動名詞の完了形〈having + p.p.〉の形にする。
動名詞の完了形は，文の動詞（述語動詞）よりも前の時制を表す際に用いられる。

2. ②

She doesn’t like (**being called**) a princess.
彼女は，姫と呼ばれるのが好きではない。

解説：
「～と呼ばれること」なので動名詞の受動態〈being + p.p.〉の形にする。call ～ ...「～を…と呼ぶ」。

3. ③

He is ashamed of (**having hurt**) her feelings.
彼は，彼女の気持ちを傷つけたことを恥ずかしく思っている。

解説：
「彼女の気持ちを傷つけた」のは「恥ずかしく思っている」よりも前の出来事なので，
動名詞の完了形〈having + p.p.〉の形にする。
hurt「～を傷つける」は，原形・過去形・過去分詞が同形の動詞。

復習テスト（解答）　第12講　Chapter 4

1. ②

I remember (**going**) to that *sushi* restaurant with you last year.
私は，去年あなたと一緒にあの寿司屋に行ったことを覚えている。

解説：
last year「去年」とあるので，動名詞を入れて，
remember ～ ing「(以前) ～したことを覚えている」にする。
remember to *do* にすると
「(これから) ～することを覚えている，忘れずに～する」の意味になるので不適切。

2. ③

Don’t forget (**to give**) some food to our cats tomorrow.
明日，私たちのネコにご飯をあげるのを忘れないで。

解説：
tomorrow「明日」とあるので，不定詞を入れて，
forget to *do*「(これから) ～することを忘れる」を用いた否定の命令文にする。
forget ～ ing だと「(以前) ～したことを忘れる」の意味になるので不適切。

3. ③

Please remember (**to call**) me when you get home.
家に着いたら，忘れずに私に電話してね。

解説：
when you get home「家に着いたら」とあるので，
不定詞を入れて remember to *do*「(これから) ～することを覚えている，忘れずに～する」にする。

復習テスト（解答）　第12講　Chapter 5

1. ②

He promised (**to lend**) me his DVD.

彼は私にDVDを貸してくれると約束した。

解説：
「～することを約束する」はpromise to *do*で表す。
promiseやdecideのような未来志向の動詞は，不定詞を目的語に取る。

2. ④

I hope (**to enter**) that university.

私はあの大学に入ることを希望している。

解説：
「～することを希望する」はhope to *do*で表す。
hopeやwishのようなプラス志向の動詞は，不定詞を目的語に取る。

3. ①

Please don’t hesitate (**to ask**) me any questions about us.

私たちについてのどんな質問でも遠慮なくしてください。

解説：
「遠慮なく～してください」は「～することをためらわないでください」と考え，
hesitate to *do*「～することをためらう」を否定の命令文にして表現する。
hesitateは不定詞を目的語に取る動詞。

復習テスト（解答）　第 12 講　Chapter 6

1. ③

Would you mind (**closing**) that box?　あの箱を閉めてくださいませんか。

解説：
mind は動名詞を目的語に取って，「～することを嫌がる，気にする」の意味になる。
Would you mind *doing*? は「～してくださいませんか」という依頼の表現。
mind や enjoy といった反復を表す動詞は動名詞を目的語に取る。

2. ①

My father gave up (**drinking**) alcohol.　父はアルコールを飲むのをやめた。

解説：
give up は動名詞を目的語に取って，「～するのをやめる」の意味になる。
give up や stop といった中断を表す動詞は動名詞を目的語に取る。alcohol「アルコール」。

3. ④

You should avoid (**talking**) to him.　君は彼と話すのを避けるべきだ。

解説：
avoid は動名詞を目的語に取って，「～するのを避ける」の意味になる。
avoid や escape といった逃避を表す動詞は動名詞を目的語に取る。

復習テスト（解答）　第12講　Chapter 7

1. ④

(**There**) is no knowing what is 100 percent right.

何が 100 パーセント正しいかはわからない。

解説：
there is no ～ ing で「～することはできない」という意味の動名詞を用いた表現。
percent「パーセント」。

2. ②

He said, "It is no (**use saving**) money."

彼は「貯金しても無駄だよ」と言った。

解説：
it is no use ～ ing で「～しても無駄である」という意味の動名詞を用いた表現。
save money「貯金する」。

3. ①

We should be careful (**in**) driving on this road.

この道路を車で走る際には注意すべきだ。

解説：
「～する際には」は動名詞を用いて in ～ ing で表す。drive「車で走る」。

復習テスト（解答）　第12講　Chapter 8

1. ③

What do you say (**to going**) to a zoo?
動物園に行きませんか。

解説：
What do you say to ～ ing? で「～してはどうですか」と相手を誘う表現。zoo「動物園」。

2. ②

She is an expert when it comes (**to repairing**) a camera.
カメラを修理することとなると，彼女は専門家だ。

解説：
when it comes to ～ ing で「～することとなると」という意味の動名詞を用いた表現。
expert「専門家」，repair「～を修理する」。

3. ④

I feel like (**playing**) tennis or soccer.　テニスかサッカーをしたい気分だ。

解説：
feel like ～ ing で「～したい気がする」という意味の動名詞を用いた表現。

復習テスト（解答）　第13講　Chapter 1

1. ③

broken

解説：
break「～を壊す」の過去分詞は broken。過去分詞は「～れる，られる」という受動の意味を表す。
なお，現在分詞は breaking。現在分詞は「～する，している」という能動の意味を表す。

2. ③

sung

解説：
sing「～を歌う」の過去分詞は sung。過去分詞は「～れる，られる」という受動の意味を表す。
なお，現在分詞は singing。現在分詞は「～する，している」という能動の意味を表す。

3. ①

taken

解説：
take「～を取る」の過去分詞は taken。過去分詞は「～れる，られる」という受動の意味を表す。
なお，現在分詞は taking。現在分詞は「～する，している」という能動の意味を表す。

復習テスト（解答）　第13講　Chapter 2

1. ②

He finally found the (**stolen**) bike.
彼はとうとう盗まれた自転車を見つけた。

解説：
「盗まれた自転車」という受動の意味にするので，
過去分詞 stolen を入れて名詞 bike「自転車」を修飾すればよい。
分詞単独の場合には前から名詞を修飾する。finally「とうとう」。

2. ③

The cat (**sleeping**) on the bed is Momo.
そのベッドの上で眠っているネコがモモだ。

解説：
「眠っているネコ」という能動の意味にするので，
現在分詞 sleeping を入れて名詞 cat を修飾すればよい。
分詞が単独ではなく語句をともなう場合は，後ろから名詞を修飾する。

3. ④

Those pictures (**taken**) by him are beautiful.
彼によって撮られたそれらの写真は美しい。

解説：
「撮られた写真」という受動の意味にするので，
過去分詞 taken を入れて名詞 pictures を修飾すればよい。
分詞が単独ではなく語句をともなう場合は，後ろから名詞を修飾する。take pictures「写真を撮る」。

復習テスト（解答）　第13講　Chapter 3

1. ③

Meg came (**waving**) her hand.　　メグが手を振りながら来た。

解説：
空所に分詞を入れて，主語 Meg とイコールの関係を結ぶ補語の形にする第Ⅱ文型（SVC）の文。
「メグ」が「手を振っている」という能動の関係が成立するので，現在分詞の waving が正解。

2. ①

I heard the door (**closed**).　　私はドアが閉められるのを聞いた。

解説：
hear は第Ⅴ文型（SVOC）をとる動詞なので，空所には目的語 the door の補語となる分詞が入る。
「ドア」が「閉められる」という受動の関係が成立するので，過去分詞の closed が正解。

3. ④

He will get his computer (**fixed**).
彼はコンピュータを直してもらうでしょう。

解説：
get は第Ⅴ文型（SVOC）をとる動詞なので，空所には目的語 his computer の補語となる分詞が入る。
「彼のコンピュータ」が「直される」という受動の関係が成立するので，過去分詞の fixed が正解。
fix「～を直す，～を固定する」。

復習テスト（解答）　第13講　Chapter 4

1. ④

He is (**interested**) in pop culture.　彼はポップカルチャーに興味がある。

解説：
主語である He が感情を抱く主体なので，過去分詞の interested が正解。
英語では日本語と異なり，感情は内からひとりでに湧き上がるものではなく
外から刺激されて発生するものと考えられるため，「人が～に興味がある」と述べる場合は
感情動詞 interest「～に興味を起こさせる」を受動態にして表す。
pop culture「ポップカルチャー，大衆文化」。

2. ②

Her story was (**surprising**).　彼女の話は驚くようなものだった。

解説：
主語である Her story が驚くという感情を引き起こす原因なので，現在分詞の surprising が正解。

3. ②

The woman looked (**disappointed**) at the sports results.
女性はスポーツの試合結果に失望しているように見えた。

解説：
主語である The woman が感情を抱く主体なので，過去分詞の disappointed が正解。
look「～に見える」を用いた第Ⅱ文型（SVC）の文。
be disappointed at ～「～に失望している」。sports result「スポーツの試合結果」。

復習テスト（解答）　第13講　Chapter 5

1. ③

The student was sleeping with his textbook (**opened**).
その生徒は教科書を開いたまま眠っていた。

解説：
〈with ＋目的語（O）＋分詞・形容詞など（C)〉で「O ＝ C の状態で」という付帯状況を表す。
空所には分詞が入るが，目的語 his textbook と空所に入る分詞の間で
「教科書＝開かれた」という受動関係が成立するので，過去分詞 opened が正解。

2. ④

The cat was watching me with its tail (**shaking**).
そのネコは尻尾を揺らしながら私を見ていた。

解説：
付帯状況を表す〈with ＋目的語（O）＋分詞・形容詞など（C)〉「O ＝ C の状態で」の形。
空所には分詞が入るが，目的語 its tail と空所に入る分詞の間で
「尻尾＝揺れた」という能動関係が成立するので，shake「揺れる」の現在分詞 shaking が正解。
tail「尻尾」。

3. ②

He was waiting for her reply with his fingers (**crossed**).
彼は指を交差させて幸運を祈りながら彼女の返事を待っていた。

解説：
付帯状況を表す〈with ＋目的語（O）＋分詞・形容詞など（C)〉「O ＝ C の状態で」の形。
空所には分詞が入るが，目的語 his fingers と空所に入る分詞の間で
「指＝組まれた」という受動関係が成立するので，
cross「～を交差させる，～を組む」の過去分詞 crossed が正解。reply「返事」。

復習テスト（解答）　第14講　Chapter 1

1. ④

If you turn left there, you'll find a convenience store.

⇒ (**Turning**) left there, you'll find a convenience store.

そこを左に曲がれば，コンビニを見つけるでしょう。

解説：
この文を分詞構文にするには，まず文頭の接続詞 If をとり，
次に主語 you が主節と共通なので you もとる。そして，動詞 turn を現在分詞 turning に変える。

2. ②

She practiced hard every day, and she became a professional tennis player.

⇒ She practiced hard every day, (**becoming**) a professional tennis player.

彼女は毎日熱心に練習し，プロのテニス選手になった。

解説：
この文を分詞構文にするには，まずカンマの直後にある接続詞 and をとり，
次に主語 she が主節と共通なので she もとる。
そして，動詞 became を現在分詞 becoming に変える。professional「プロの」。

3. ①

Because he lived alone, he sometimes felt lonely.

⇒ (**Living**) alone, he sometimes felt lonely.

一人暮らしをしていたので，彼は時々寂しかった。

解説：
この文を分詞構文にするには，まず文頭の接続詞 Because をとり，
次に主語 he が主節と共通なので he もとる。そして，動詞 lived を現在分詞 living に変える。
lonely「寂しい」。

復習テスト（解答）　第14講　Chapter 2

1. ③

When it is seen from the moon, the earth looks blue.

⇒ (**Seen**) from the moon, the earth looks blue.

月から見ると，地球は青く見える。

解説：
この文を分詞構文にするには，まず，文頭の接続詞 When をとる。
次に，主語 it が指しているのは主節の the earth で主語が共通なので it もとる。
分詞構文が受動態の内容を表すとき being は省略可能なので，過去分詞 Seen を入れる。

2. ①

Because it was hot, he turned on the electric fan.

⇒ (**It being**) hot, he turned on the electric fan.

暑かったので，彼は扇風機の電源を入れた。

解説：
この文を分詞構文にするには，まず，文頭の接続詞 Because をとる。
そして，主語 it が主節の主語 he と異なるので it は残し，
be 動詞 was を現在分詞 being にすればよいので，It being を入れる。
turn on ～「～の電源を入れる」，electric fan「扇風機」。

3. ③

Because it was written in Russian, the web page was impossible for me to read.

⇒ (**Written**) in Russian, the web page was impossible for me to read.

ロシア語で書かれていたので，そのウェブページは私にとって読めなかった。

解説：
この文を分詞構文にするには，まず，文頭の接続詞 Because をとる。
次に，主語 it が指しているのは主節の the web page で主語が共通なので it もとる。
分詞構文が受動態の内容を表すとき being は省略可能なので，過去分詞 Written を入れる。
Russian「ロシア語」，impossible「不可能な」。

復習テスト（解答）　第14講　Chapter 3

1. ③

Because she didn’t know how to say *tanuki* in English, she asked her teacher.

⇒ (**Not knowing**) how to say *tanuki* in English, she asked her teacher.

英語で「タヌキ」を何と言うかわからなかったので，彼女は先生に聞いた。

解説：
否定の内容を表す分詞構文を作るには，分詞の直前に not[never] をつける。
受動態の文ではないので，動詞は現在分詞 knowing にする。
なお，タヌキは英語で racoon dog と言う。

2. ④

After I had finished reading a book, I went to sleep.

⇒ (**Having finished**) reading a book, I went to sleep.

本を読み終えたあと，私は眠りについた。

解説：
元の文では「本を読み終えた」のが「私は眠りについた」よりも前の出来事であることを，
過去完了形を用いて明確にしている。分詞構文で主節よりも前の内容を表す場合は
〈having ＋ p.p.〉の形にするので，Having finished を入れる。

3. ①

He was not hungry because he had eaten a big meal.

⇒ He was not hungry, (**having eaten**) a big meal.

彼はたっぷり食事をしていたので，おなかが空いていなかった。

解説：
元の文では「たっぷり食事をした」のが「おなかが空いていなかった」よりも
前の出来事であることを過去完了形で明確にしている。分詞構文で主節より前の内容を表す場合は
〈having ＋ p.p.〉の形にするので，Having eaten を入れる。

復習テスト（解答）　第14講　Chapter 4

1. ②

(**Compared with**) last summer, it is hotter this summer.

去年の夏と比べると，今年の夏の方が暑い。

解説：
「～と比べると」は分詞構文を用いた慣用表現 compared with[to] ～で表す。

2. ④

(**Judging from**) his dry answer, it seems he doesn’t want to join the party.

彼のそっけない返事から判断すると，彼はパーティーに参加したくないようだ。

解説：
「～から判断すると」は分詞構文を用いた慣用表現 judging from[by] ～で表す。dry「そっけない」。

3. ③

(**Generally speaking**), dogs are more friendly than cats.

一般的に言うと，イヌの方がネコよりも人なつこい。

解説：
「一般的に言うと」は分詞構文を用いた慣用表現 generally speaking で表す。friendly「人なつこい」。

ベーシックレベル英語　後編

この講座は，高校英文法の範囲をまんべんなく学んでいくことをねらいとしたものです。基本的な問題を中心に，英文法をはじめから学習できるレベルとなっております。一方で，高校英文法で扱う範囲をまんべんなく説明していきますので，英文法の総合書的な役割も兼ねております。

受験学年で英語につまずいて一から学び直したい人や，高校に入ったばかりの人から社会人まで，あらゆる人の英文法のやり直しに適した内容となっております。そして，以下の心構えでのぞんでください。

英語の文とは，単に単語を並べたものではなくて，一定のルール（＝英文法）の基に成り立っている世界であること，そして，何となくではなく，そのルールを意識して読解や作文，会話に励むことが，正確な英語力を養う最短の道であること。そのことを理解した上で本講座の復習に励んでください。

英語学習の最初にもっていただきたい心構えとして，以下を挙げます。

①　急に英語ができるようにはならないこと
　　⇒ 最初の３か月はがんばること
②　授業を受動的に受けないこと
　　⇒ 復習を習慣にすること
③　英語は一度で身に付かないこと
　　⇒ 復習で，何度も反復すること

壁にぶつかる度に，上記の三点を思い出して，前に進んでください。英語を通して，一人でも多くの人に良い世界が開けることを願っております。

肘井　学

目　次

第 15 講　比較①
Chapter 1　比較の基本
Chapter 2　比較級・最上級の作り方
Chapter 3　原級の否定形
Chapter 4　原級の慣用表現
Chapter 5　no + 比較級①
Chapter 6　no + 比較級②

第 16 講　比較②
Chapter 1　ラテン比較級
Chapter 2　the + 比較級①
Chapter 3　the + 比較級②
Chapter 4　最上級相当表現①
Chapter 5　最上級相当表現②

第 17 講　比較③
Chapter 1　比較の強調
Chapter 2　比較級の慣用表現
Chapter 3　not more than・not less than
Chapter 4　最上級の慣用表現
Chapter 5　同一物内の比較
Chapter 6　比較総合

第 18 講　関係詞①
Chapter 1　関係詞の基本
Chapter 2　関係代名詞 主格と目的格
Chapter 3　関係代名詞 所有格の whose
Chapter 4　関係代名詞 that
Chapter 5　関係副詞
Chapter 6　関係代名詞と関係副詞の区別

第 19 講　関係詞②
Chapter 1　前置詞 + 関係代名詞
Chapter 2　関係代名詞 what
Chapter 3　what の慣用表現
Chapter 4　関係詞の非制限用法
Chapter 5　関係代名詞の as
Chapter 6　疑似関係代名詞 ／ 関係形容詞

第 20 講　関係詞③
Chapter 1　関係代名詞の省略
Chapter 2　複合関係詞①
Chapter 3　複合関係詞②
Chapter 4　連鎖関係詞 ／ 分離

第 21 講　仮定法①
Chapter 1　仮定法の基本
Chapter 2　仮定法過去・仮定法過去完了
Chapter 3　仮定法過去と仮定法過去完了の混在
Chapter 4　I wish SV.
Chapter 5　It is time SV.
Chapter 6　as if ～

第 22 講　仮定法②
Chapter 1　もし～がなかったら
Chapter 2　仮定法未来
Chapter 3　if 節の倒置
Chapter 4　if 節の代用

第 23 講　名詞
Chapter 1　可算名詞と不可算名詞
Chapter 2　不可算名詞の種類
Chapter 3　前置詞 + 抽象名詞
Chapter 4　複数形の作り方
Chapter 5　相互複数
Chapter 6　複数形になると意味が異なる名詞

第 24 講　冠詞
Chapter 1　冠詞の基本
Chapter 2　不定冠詞 (a / an) の表現
Chapter 3　定冠詞 (the) の表現
Chapter 4　無冠詞の表現

第 25 講　代名詞①
Chapter 1　人称代名詞と三単現の s
Chapter 2　人称代名詞の格
Chapter 3　it の用法 / it と one の区別
Chapter 4　this と that
Chapter 5　再帰代名詞

第 26 講　代名詞②
Chapter 1　another・the other・the others・others
Chapter 2　both・all・either・any・neither・none
Chapter 3　each・someone・something など

第 27 講　形容詞・副詞
Chapter 1　形容詞の限定用法と叙述用法
Chapter 2　人を主語にできない形容詞
Chapter 3　形の似ている形容詞
Chapter 4　数量を表す形容詞
Chapter 5　副詞の基本
Chapter 6　注意すべき副詞
Chapter 7　節の代わりになる so・not

第 28 講　前置詞
Chapter 1　at
Chapter 2　on
Chapter 3　in
Chapter 4　to と for
Chapter 5　by
Chapter 6　前置詞の抽象化

第 29 講　接続詞①
Chapter 1　等位接続詞
Chapter 2　相関接続詞
Chapter 3　従属接続詞① 時
Chapter 4　従属接続詞② 理由
Chapter 5　従属接続詞③ 条件・譲歩
Chapter 6　従属接続詞④ 目的・結果

第 30 講　接続詞②
Chapter 1　名詞節を導く接続詞① that
Chapter 2　名詞節を導く接続詞② whether, if
Chapter 3　区別が必要な接続詞 as, since
Chapter 4　他品詞から転用された接続詞
Chapter 5　A するとすぐに B

第 31 講　話法

Chapter 1　話法の基本 / 話法の書き換え① 時制の一致
Chapter 2　話法の書き換え② 人称代名詞と指示語
Chapter 3　話法の書き換え③ 副詞
Chapter 4　話法の書き換え④ say ⇒ tell
Chapter 5　話法の書き換え⑤ say ⇒ ask
Chapter 6　話法の書き換え⑥ say ⇒ ask, suggest

第 32 講　否定

Chapter 1　準否定語
Chapter 2　部分否定
Chapter 3　not を使わない否定表現
Chapter 4　否定表現

第 33 講　強調・倒置・省略

Chapter 1　強調構文
Chapter 2　強調表現
Chapter 3　文型倒置
Chapter 4　強制倒置
Chapter 5　省略

第15講　比較①

Chapter 1　比較の基本
Chapter 2　比較級・最上級の作り方
Chapter 3　原級の否定形
Chapter 4　原級の慣用表現
Chapter 5　no + 比較級①
Chapter 6　no + 比較級②

Chapter 1　比較の基本

比較の全体像

比較

① 原級　：二つのものを比較して同じくらい～だ

② 比較級：二つのものを比較してより～だ

③ 最上級：三つ以上のものの中で最も～だ

● 原級・比較級・最上級の基本

▶ **原級**　：S is **as** ～ **as** A「S は A と同じくらい～だ」

原級（= 形容詞・副詞を変化させない形）を as, as で挟む。

・Tom is **as** tall **as** his father.　　トムは父親と同じくらい背が高い。

原級のキーワード = as・as で原級を挟み込む

▶ **比較級**：S is ～ er [more ～] **than** A「S は A より～だ」

・Tom is taller **than** his father.　　トムは彼の父親よりも背が高い。

比較級のキーワード = than があったら比較級

▶ **最上級**：S is **the** ～ est [most ～] of A「S は A の中で最も～だ」

・Tom is **the** tallest of the three.　　トムは 3 人の中で一番背が高い。

最上級のキーワード = 最上級には the をつける

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. This room is as (① larger　　② large) as my room.

2. Light travels (① faster　　② fastest) than sound.　*travel 移動する

3. The Nile is the (① longer　　② longest) river in the world.

復習テスト　第15講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Tom is as (　　　) Bob.
   ① kind as　② kinder　③ kindest　④ more kind

2. This drink is (　　　) than that one.
   ① coolest　② as cool　③ cooler　④ cool

3. Ken is the (　　　) student in my class.
   ① more smarter　② smartest　③ as smart　④ most smart

NOTE

Chapter 2 比較級・最上級の作り方

比較級・最上級の作り方

▶**比較級は，形容詞・副詞に -er をつける**

・Tom is **taller** than his father.　　トムは彼の父親よりも背が高い。

＊つづりが長い語は more をつける

例：beautiful → **more** beautiful

＊語尾が e の語は -r，語尾が y で終わる一部の語は y を i に変えて -er

例：large → larg**er** ／ easy → eas**ier**

▶**最上級は，形容詞・副詞に -est をつける**

・Tom is the **tallest** in his class.　　トムはクラスで一番背が高い。

＊つづりが長い語は most をつける

例：beautiful → **most** beautiful

＊語尾が e の語は -st，語尾が y で終わる一部の語は y を i に変えて -est

例：large → larg**est** ／ easy → eas**iest**

● 不規則変化

原級	比較級	最上級
good　よい well　(体調が)よい，上手に	better	best
bad　悪い ill　(体調が)悪い	worse	worst
many　(数が)たくさんの much　(量が)たくさんの	more	most
little　(量が)少しの	less	least

● 二通りの変化をするもの

原級		比較級		最上級	
late	時間	later	より遅れた	latest	最新の
	順序	latter	後者の	last	最後の
far	距離	farther	より遠い	farthest	最も遠い
	程度	further	さらに	furthest	最も高い程度で

■確認問題

＊次の語の比較級・最上級を答えなさい。

1. happy　比較級 [　　　　]　最上級 [　　　　]

2. good　比較級 [　　　　]　最上級 [　　　　]

3. much　比較級 [　　　　]　最上級 [　　　　]

復習テスト　第15講　Chapter 2

＊次の語の比較級・最上級の組み合わせとしてもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。なお，選択肢は全て「比較級 － 最上級」の順にすること。

1. easy
① more easy － easiest　② easiest － easier
③ easier － easiest　④ easiest － most easy

2. bad
① better － best　② best － better
③ worse － worst　④ worst － worse

3. little
① most － more　② less － least
③ more － most　④ least － less

NOTE

Chapter 3　原級の否定形

● 原級の否定形

▶ **not as (so) 〜 as A**：A ほど〜でない

・He is **not so** tall **as** she.　　彼は彼女ほど背が高くない。

= He is **less** tall **than** she.

● not so much A as B

▶ **not so much A as B**：A というよりむしろ B

もともと原級の否定形。「B ほど A ではない」の意味。

・She is **not so much** a teacher **as** a poet.

彼女は詩人ほどには先生ではない （ 彼女 = 先生⇒×，詩人⇒○ ）

先生ではなくて，詩人だ ⇒ 先生**というよりむしろ**詩人だ

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼は，彼女ほど若くはない。

He is not so young as she.

= He is (① less younger　　② less young) than she.

2. 私は，アンほど上手に英語を話せない。

I cannot speak English (① better　　② so well) as Ann.

3. 彼女は，女優というよりもむしろ歌手だ。　＊女優 actress

She is not so much an actress (① than　　② as) a singer.

復習テスト　　第15講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She is not so old as he.　　彼女は，彼ほど年齢が上ではない。
   = She is (　　　) than he.　　彼女は，彼より年上ではない。
   ① less older　　② less old
   ③ as old　　④ older

2. You cannot swim (　　　) as Pete.　君はピートほど速く泳ぐことができない。
   ① faster　　② fastest
   ③ less fast　　④ so fast

3. He is not so much a writer (　　　) a film director.
   彼は作家というよりもむしろ映画監督だ。
   ① than　　② and
   ③ as　　④ so

Chapter 4　原級の慣用表現

● できる限り～

▶ **as ～ as possible [S can]**：できる限り～
・Come here **as** soon **as possible**.　　できるだけ早くここに来て。
　= Come here **as** soon **as you can**.

● 倍数表現

▶ … **times as ～ as A**：A の…倍～だ
（半分：**half**，2 倍：**twice**，3 倍以上：～ **times**）

・Japan is **twice as** large **as** that country.
　日本は，あの国の 2 倍の広さだ。

■確認問題
＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. できるだけ早くあなたに会いたいです。
   I want to see you (① as soon as possible　　② as possible as I can).

2. この国の人口は，日本の人口の 2 倍の規模だ。
   The population of this country is (① as twice large　　② twice as large) as that of Japan.

3. 彼は私の 4 倍たくさんの本を持っている。
   He has four times (① as many as books　　② as many books as) I have.

復習テスト　第15講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，空所に入れる語(句)の適切な語順をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Please send me a message ______ ______ ______ ______.
   できるだけ早く私にメッセージを送ってください。
   ア as　　イ possible
   ウ soon　　エ as
   ① ア→イ→エ→ウ　　② ウ→エ→イ→ア
   ③ ア→ウ→エ→イ　　④ イ→ア→ウ→エ

2. This pizza is ______ ______ ______ ______ that one.
   このピザはあのピザの 2 倍の大きさだ。
   ア twice　　イ large
   ウ as　　エ as
   ① ウ→ア→イ→エ　　② ア→ウ→イ→エ
   ③ ウ→ア→エ→イ　　④ エ→ア→イ→ウ

3. My older brother has five times ______ ______ ______ ______ I have.
   兄は私の 5 倍のペンを持っている。
   ア pens　　イ as
   ウ many　　エ as
   ① エ→ウ→イ→ア　　② ウ→ア→エ→イ
   ③ ア→イ→ウ→エ　　④ イ→ウ→ア→エ

Chapter 5　no + 比較級①

☆文と文との比較・二つの文の真実性は差がない

● no more ⇒ **皮肉**・両者否定

・A whale is **no more** a fish **than** a horse is.
鯨が魚でないのは，馬が魚でないのと同様だ。

・S is **no more** C than S′ is (C)
直訳：S が C というのは，S′ が C というのと差がない（**とんでもない！**）
意訳：S が C でないのは，S′ が C でないのと同様だ

● no less ⇒ **事実強調**・両者肯定

・Sunlight is **no less** necessary to good health **than** fresh air is.
日光が健康に必要なのは，新鮮な空気が健康に必要なのと同様だ。

・S is **no less** C than S′ is (C)
直訳：S が C というのは，S′が C というのと差がない（**当然だ！**）
意訳：S が C なのは，S′が C であるのと同様だ

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 私が泳げないのは，金づちが泳げないのと同様だ。
I can (① no more　② no less) swim than a hammer can.

2. よい友人を作ることが重要なのは，お金を稼ぐことが重要であるのと同様だ。
Making good friends is no (① less　② more) important than making money.

復習テスト　第15講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. You can (　　　) fly than an elephant can.
君が空を飛べないのは，ゾウが空を飛べないのと同様だ。
① more no　② less no　③ no more　④ no less

2. Caring for ourselves is (　　　) important than caring for others is.
自分を大切にすることが大事なのは，他人を大切にすることが大事なのと同様だ。
① no less　② more no　③ no more　④ less no

3. This song is (　　　) beautiful than that one is.
この歌が美しいのは，あの歌が美しいのと同様だ。
① less no　② no more　③ more no　④ no less

Chapter 6　no + 比較級②

● no more than

▶ **no more than**：～しかない (= only)

・I have **no more than** $10.　　私は 10 ドルしか持っていない。

① no（マイナス）× more（プラス）= マイナス「(数量が)～しかない」
② than のうしろで具体化

● no less than

▶ **no less than**：～もある (= as much [many] as)

・I have **no less than** $1,000.　　私は 1,000 ドルも持っている。

① no（マイナス）× less（マイナス）= プラス「(数量が)～もある」
② than のうしろで具体化

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 私は 100 円しか持っていなかった。
   I had (① no more　　② no less) than 100 yen.

2. 病院まで 5 マイルもあった。
   It was (① no more　　② no less) than five miles to the hospital.

3. 彼には 10 人も子どもがいる。
   He has (① no more　　② no less) than ten children.

復習テスト　第15講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The price of this phone case was (　　　) than 230 yen.
   このスマホケースの値段はたったの230円だった。
   ① not more　② not less　③ no more　④ no less

2. One of my friends has (　　　) than six cats.
   私の友人の一人は6匹もネコを飼っている。
   ① not more　② not less　③ no more　④ no less

3. He can play (　　　) than nine musical instruments.
   彼は9つも楽器を弾くことができる。
   ① no more　② no less　③ not more　④ not less

第16講　比較②

Chapter 1　ラテン比較級
Chapter 2　the + 比較級①
Chapter 3　the + 比較級②
Chapter 4　最上級相当表現①
Chapter 5　最上級相当表現②

Chapter 1　ラテン比較級

● ラテン比較級

▶「～より」を than ではなく to を使う

・He is **superior to** me in English.　彼は私よりも英語において優れている。

be superior to：～より優れている
be inferior to：～より劣っている
be senior to：～より年上(先輩)だ
be junior to：～より年下(後輩)だ
prefer A to B：B より A が好きだ

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼は，君よりも年上(先輩)だ。
He is (① senior　② older) to you.

2. She speaks English better than I.
= She is (① inferior　② superior) to me in speaking English.

3. 私は家で TV を見るよりもジムに行く方が好きだ。
I prefer going to the gym (① than　② to) watching TV at home.

復習テスト　第16講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She is (　　　) to her husband.　　彼女は彼女の夫よりも年下だ。
   ① younger　② older　③ junior　④ senior

2. You are (　　　) to him in playing the harmonica.
   ハーモニカを吹くことにかけては，君は彼よりも上手だ。
   ① inferior　② superior　③ better　④ junior

3. She prefers purple (　　　) red.　　彼女は赤色よりも紫色の方が好きだ。
   ① than　② in　③ to　④ at

Chapter 2　the + 比較級①

● the + 比較級 of the two

▶ **the + 比較級 of the two**：二つのうち〜な方

・Tom is **the taller of the two**.　トムは二人のうち背が高い方だ。

*the tallest of the two
the taller of the two
二人のうち背が高い方　→　一つに限定

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. Tom is (① most popular　② the more popular) of the two.

2. Which is (① the easier　② easiest) of the two questions?

3. That computer is the newer (① in　② of) the two.

4. Katy is the (① older　② oldest) of the three sisters.

復習テスト　　第16講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Bobby is (　　　) of the two.
   ① taller　② tallest　③ the tallest　④ the taller

2. Which is (　　　) of the three computers?
   ① the newer　② the newest　③ newer　④ newest

3. Kuro is (　　　) of the two cats.
   ① the smallest　② smaller　③ the smaller　④ smallest

Chapter 3　the + 比較級②

● the + 比較級～ , the + 比較級…

▶ **the + 比較級～ , the + 比較級** …：～すればするほど，それだけますます…

・**The higher** you climb, **the colder** it becomes.

高く登れば登るほど，それだけますます寒くなる。

● all the 比較級 for [because] ～

▶ **all the 比較級 for [because]** ～：～なのでそれだけいっそう…

・I like him **all the better for** his honesty.

= I like him **all the better because** he is honest.

彼は正直なので，それだけいっそう私は彼が好きだ。

● none the less for [because] ～

▶ **none the less for [because]** ～：～だからそれだけ…ないことはない

= ～にもかかわらず…

・I like him **none the less** for his faults.

彼の欠点にもかかわらず，私は彼が好きだ。

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 年をとるほど，それだけますます彼女は賢明になった。　＊賢明な wise

The older she grew, (① more wise　　② the wiser) she became.

2. 彼女は恥ずかしがり屋なので，それだけいっそう私は彼女が好きだ。

I like her (① all the better　　② none the less) for her shyness.

3. 彼女は恥ずかしがり屋だが，それにもかかわらず私は彼女が好きだ。

I like her (① all the better　　② none the less) for her shyness.

復習テスト　第16講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The more you practice, (　　　) you can play the drums.
練習すればするほど，君はそれだけますます上手にドラムを叩けるようになる。
① better　② the better　③ more better　④ much best

2. I like my little brother (　　　) for his strong will.
弟は意志が強いので，それだけいっそう私は彼が好きだ。
① all the better　② none the less　③ the better　④ the less

3. I like my little brother (　　　) for his laziness.
弟は怠惰だが，それにもかかわらず私は彼が好きだ。
① all the better　② none the less　③ the better　④ the less

NOTE

Chapter 4　最上級相当表現①

最上級相当表現とは？

原級や比較級を用いて，最上級の意味を伝えられる表現。**形は原級・比較級**にもかかわらず，**意味は最上級**となる。

● 主語に否定語

▶ **No other 単数名詞 is** ┌ **so[as] 〜 as A**　：A ほど〜な名詞は他にない
└ **比較級 than A**　：A より〜な名詞は他にない
⇒ **A が一番〜な名詞だ**

・**No** other city in Japan is so big as Tokyo.　原級
・**No** other city in Japan is bigger than Tokyo.　比較級
日本で東京ほど(よりも)大きな都市はない（= 日本で東京が一番大きい都市だ)。

・**Nothing** is so precious as time.　原級
・**Nothing** is more precious than time.　比較級
時間ほど(よりも)貴重なものはない（= 時間が一番貴重である)。

■確認問題

＊____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. Alex is the tallest student in my class.
　= No other student in my class is ________ ________ Alex.

2. Baseball is the most popular sport in Japan.
　= No other sport in Japan is ________ ________ as baseball.

3. Honesty is the most important of all.　*honesty 正直なこと
　= ________ is more important than honesty.

復習テスト　第16講　Chapter 4

＊次の英文を，ほぼ同じ意味の文に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Lilly is the best tennis player in the club.
   ⇒ No other tennis player in the club is (　　　) Lilly.
   ① better than　② as good　③ the best　④ so better

2. Chicken curry is the most popular dish in this restaurant.
   ⇒ No other dish in this restaurant is (　　　) as chicken curry.
   ① more popular than　② the most popular
   ③ as popular　④ popular so

3. He often says, "Sleep is the most important of all."
   ⇒ He often says, "(　　　) is more important than sleep."
   ① No other　② Another　③ Anything　④ Nothing

Chapter 5　最上級相当表現②

● than 以下に any ～「どの～」

▶ **S is 比較級 than any other 単数名詞**：S は他のどの名詞より～だ
⇒ **S は一番～だ**

・Tokyo is bigger than **any** other city in Japan.　比較級
東京は日本の他のどの都市よりも大きい（= 日本で東京が一番大きい都市)。

● as 以下に any ～「どの～」

・He is as tall as **any** other boy in his class.
彼はクラスの他のどの少年にも劣らず背が高い。

■確認問題

＊____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. Our school is older than any other building in this area.
= Our school is __________ __________ building in this area.

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

2. The Shinano is the longest river in Japan.
= The Shinano is longer than (① no other　② any other) river in Japan.

3. She is more beautiful than any other (① girl　② girls) in my school.

復習テスト　第16講　Chapter 5

＊次の英文を，ほぼ同じ意味の文に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He is younger than any other member in this rock band.
⇒ He is (　　　) member in this rock band.
① younger　② the youngest　③ as young as　④ the younger

2. I learned that Russia is the largest country in the world.
⇒ I learned that Russia is larger than (　　　) in the world.
① another country　② the other country
③ any other country　④ any other countries

3. She is the wisest student in my class.
⇒ She is wiser than any (　　　) in my class.
① as students　② other students
③ another student　④ other student

第17講　比較③

Chapter 1　比較の強調
Chapter 2　比較級の慣用表現
Chapter 3　not more than · not less than
Chapter 4　最上級の慣用表現
Chapter 5　同一物内の比較
Chapter 6　比較総合

Chapter 1　比較の強調

● 原級・比較級・最上級の強調

	原級	比較級	最上級
very	◎	×	◎
much	×	◎	○
far（much 強調）	×	◎	○
even [still]	×	◎	×
by far	×	△	◎

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. The building is (① very　　② much) older than we think.

2. This is the (① very　　② most) best book I've ever read.

3. This comic is (① even　　② by far) the most interesting of all.

復習テスト　第17講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. That park is (　　　) larger than people think.
   ① very　② most　③ much　④ so

2. This is the (　　　) best movie I've ever seen.
   ① most　② even　③ still　④ very

3. This book is (　　　) the most popular of the five.
   ① by far　② very　③ so　④ even

Chapter 2　比較級の慣用表現

● 比較級を使った表現

▶ **～, much [still] less** …：～でない，まして…ではない

・I can’t speak English, **much less** French.

私は英語を話せないし，ましてフランス語などなおさら話せない。

▶ **know better than to *do***：～するほど愚かではない

「～するより物事をよく知っている（= ～するほど愚かではない）」の意。

・He **knows better than to** say such a thing.

彼はそんなことを言うほど愚かではない。

▶ **比較級 and 比較級**：ますます～，だんだん～

・It’s getting **colder and colder**.

ますます寒くなってきている。

▶ **more or less**：多かれ少なかれ

・I am **more or less** satisfied with living here.

私は多かれ少なかれここでの暮らしに満足している。

■確認問題

＊____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼はフランス語を読むことはできない。まして書くことはなおさらできない。

He can’t read French, ________ ________ write it.

2. 彼は友人を裏切るほど愚かではない。　＊裏切る betray

He ________ ________ than to betray his friends.

3. だんだん暗くなってきている。

It’s getting ________ ________ ________.

復習テスト　　第17講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. We are (　　　) affected by the people around us.
   私たちは多かれ少なかれ周囲の人々に影響を受けている。
   ① much more　② more or less　③ much less　④ still more

2. She knows (　　　) than to lend him big money.
   彼女は彼に大金を貸すほど愚かではない。
   ① better　② more　③ best　④ much

3. These days, his French is getting (　　　).
   近頃，彼のフランス語はますますよくなってきている。
   ① very better　② better and better　③ so better　④ more or less

Chapter 3　not more than・not less than

● not more than

▶ **not more than**：多くても　⇒上限（= at most）
「～より多くはない」⇒ 上限を示す表現 = 多くても
・He has **not more than** 1,000 yen.
彼は多くても 1,000 円しか持っていない。

● not less than

▶ **not less than**：少なくとも　⇒下限（= at least）
「～より少ないことはない」⇒ 下限を示す表現 = 少なくとも
・He has **not less than** 1,000 yen.
彼は少なくとも 1,000 円は持っている。

■確認問題
＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼女には少なくとも 5 人は子どもがいる。
She has not (① more　　② less) than five children.

2. 駅までせいぜい 2 マイルだ。
It is not (① more　　② less) than two miles to the station.

3. 私の母は，私に少なくとも一日 2 時間は勉強するようにと言った。
My mother told me to study at (① less　　② least) two hours a day.

復習テスト　第17講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He has not (　　　) than ten DVDs.
   彼はDVDを少なくとも10枚は持っている。
   ① least　② more　③ less　④ most

2. That convenience store is (　　　) than 200 meters from here.
   あのコンビニはここからせいぜい200メートルだ。
   ① not more　② not less　③ no more　④ no less

3. My older sister practices the guitar (　　　) one hour a day.
   姉は少なくとも1日1時間ギターを練習する。
   ① not less　② at least　③ more or less　④ at most

Chapter 4　最上級の慣用表現

● 最上級を使った表現

▶**the + 序数 + 最上級（-est）**：何番目に～だ
（2番目：second，3番目：third，4番目：fourth）
・This is **the fifth largest** city in Japan.
これは日本で5番目に大きな都市です。

▶**one of the 最上級 + 複数名詞**：最も～な名詞の一つ
・This is **one of the best movies** that I've ever watched.
これは私がこれまでに見た中で最も素晴らしい映画の一つだ。

● at + 最上級

▶**at most**：多くても ⇒上限
・He has **at most** 1,000 yen.　　彼は多くても1,000円しか持っていない。

▶**at least**：少なくとも ⇒下限
・He has **at least** 1,000 yen.　　彼は少なくとも1,000円は持っている。

■確認問題
＊____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 大阪は，日本で2番目に大規模な都市だ。　＊大規模な large
Osaka is the ________ ________ city in Japan.

2. 彼は，日本で最も有名なピアニストの一人だ。
He is one of the ________ ________ ________ in Japan.

3. 彼女は，多くみても18歳だ。
She is ________ ________ eighteen years old.

復習テスト　第17講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He is the (　　　) in the ski club.　　彼はスキー部で3番目に背が高い。
   ① tallest　② very tallest　③ tallest third　④ third tallest

2. This is (　　　) songs that she has ever made.
   これは，彼女がこれまで作ってきた中でもっとも人気の曲の一つだ。
   ① the most popular one of　② one of the most popular
   ③ others of the most popular　④ the most popular others of

3. I got (　　　) two hours of sleep last night.
   私は昨夜，せいぜい2時間しか睡眠をとっていない。
   ① at least　② at most　③ no less　④ not less than

Chapter 5　同一物内の比較

● more 原級 than 原級

☆ 次の英文の違いは何か？

・She is prettier than her sister.　彼女は姉よりもかわいい。

・She is **more** pretty **than** beautiful.　彼女は美しいというよりもかわいい。

⇒ 上の文は彼女と姉の比較，下の文は She is pretty. と She is beautiful. の比較。

▶ **more B（原級）than A（原級）**：A というよりむしろ B

● 同一物内の最上級 ⇒ the なしの最上級

☆ 次の英文の違いは何か？

・This lake is the deepest in the world.　この湖は世界で一番深い。

・This lake is deepest at that point.　この湖はあの地点が一番深い。

⇒ 上の文は，世界中からこの湖「一つに限定」　the が必要

下の文は，この湖の中での比較　the は不要

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. He is (① more kind　② kinder) than honest.

2. She looks (① the happiest　② happiest) when she is cooking.

3. This lake is (① the deepest　② deepest) in Japan.

復習テスト　第17講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She is (　　　) than shy.　　彼女は内気というよりもむしろおとなしい。
   ① more quiet　　② quieter
   ③ not so much quiet　　④ no more quiet

2. My mother looks (　　　) when she is listening to rock music.
   母はロック音楽を聴いているときが一番楽しそうだ。
   ① happier　　② the happiest　　③ happiest　　④ much happier

3. You should know that the lake is (　　　) in this area.
   その湖がこの地域で一番深いということを君は知っておくべきだ。
   ① the deepest　　② deepest　　③ deeper　　④ the deeper

Chapter 6 比較総合

● 差を表す by

▶ **差を表す by**：～の分だけ

・He is taller than I **by** three inches.　　彼は私より 3 インチ背が高い。

● as ～ as を使った表現

▶ **as ～ as ever lived**：並外れて～

「これまで生きた誰にも劣らず～」⇒「並外れて～」

・He is **as** great a scholar **as ever lived**.　　彼は並外れて偉大な学者だ。

▶ **as good as ～**：～も同然

・The house looked **as good as** new.　　その家は新築同然に見えた。

▶ **as busy as a bee**：とても忙しい

・He is always **as busy as a bee**.　　彼はいつもとても忙しい。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼の息子は私の息子よりも 3 歳若い。

   His son is younger than mine (① by　　② for) three years.

2. その車は新品同然に見えた。

   The car looked (① as well as　　② as good as) new.

3. その日，彼はとても忙しかった。

   He was as busy as (① an ant　　② a bee) on the day.

復習テスト　第17講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My brother is older than her (　　　) four years.
   兄は彼女よりも4歳年上だ。
   ① in　② for　③ by　④ to

2. His phone case is (　　　) new.
   彼のスマホケースは新品同然だ。
   ① at least　② as good as　③ more or less　④ as well as

3. My mother was as busy as a (　　　) last month.
   母は先月，とても忙しかった。
   ① butterfly　② tiger　③ kangaroo　④ bee

第18講　関係詞①

Chapter 1　関係詞の基本
Chapter 2　関係代名詞 主格と目的格
Chapter 3　関係代名詞 所有格の whose
Chapter 4　関係代名詞 that
Chapter 5　関係副詞
Chapter 6　関係代名詞と関係副詞の区別

Chapter 1　関係詞の基本

関係代名詞とは？

▶**接続詞**と**代名詞**の役割を一つで兼ねる

・She has a son **and he** is a doctor.
彼女には息子がいて，彼は医者である。
⇒ She has a son **who** is a doctor.

関係副詞とは？

▶**接続詞**と**副詞**の役割を一つで兼ねる

・That is the town **and there** I was born.
それは街で，そこで私は生まれた。
⇒ That is the town **where** I was born.

● 関係代名詞と関係副詞

(1) 関係代名詞

先行詞	主格	所有格	目的格
人	who [that]	whose	whom [that]
人以外	which [that]	whose	which [that]

(2) 関係副詞

先行詞	時	理由	場所	方法
関係副詞	when	why	where	how

＊時：time, day など　　＊理由：reason

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I have a friend (① which　　② who) plays tennis very well.

2. She has a son (① which　　② who) lives in New York.

3. Is that the bus (① which　　② who) goes to Tokyo station?

復習テスト　第18講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. He has a daughter (　　　) is a teacher.
   ① which　② where　③ who　④ how

2. I have an uncle (　　　) lives in Spain.
   ① where　② who　③ when　④ which

3. That is the train (　　　) goes to the South station.
   ① which　② who　③ how　④ when

NOTE

Chapter 2　関係代名詞 主格と目的格

● 関係代名詞の使い分け

先行詞	主格	所有格	目的格
人	who [that]	whose	whom [that]
人以外	which [that]	whose	which [that]

● 主格と目的格の区別

主格・目的格は，その関係代名詞が，うしろの文で主語となる代名詞か，目的語となる代名詞かの違い。

▶うしろの文の主語が欠けていれば主格の who

・The girl **who** is standing over there is my sister.
向こうに立っている女の子は私の妹です。

▶うしろの文の目的語が欠けていれば目的格の whom

・The girl **whom** you met yesterday is my sister.
君が昨日会った女の子は私の妹です。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. Do you know the girl (① who　　② whom) is playing the guitar?

2. This is the book (① which　　② whose) I have wanted.

3. Heaven helps those (① who　　② whom) help themselves.

復習テスト　第18講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I met a woman (　　　) plays the clarinet very well.
   ① which　② who　③ whose　④ whom

2. This is the letter (　　　) he sent to me.
   ① whose　② who　③ whom　④ which

3. The man (　　　) we met last Sunday is a famous actor.
   ① whose　② when　③ whom　④ which

Chapter 3　関係代名詞 所有格の whose

● 関係代名詞 所有格 whose の特徴

▶ **先行詞と whose の直後の名詞が所有の関係**

・I have a friend **whose** name is Mary.
　私には，メアリという名前の友人がいる。

▶ **whose の直後の名詞に冠詞 (a, the) がない**

・The house **whose** roof is green is mine.
・I have a friend **whose** name is Mary.

▶ **人以外の先行詞にも使える**

・The house **whose** roof is green is mine.
　屋根が緑の家が私の家です。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I have a friend (① who　② whose) father is an actor.

2. I have a friend (① who　② whose) is an actor.

3. I bought a book (① which　② whose) cover is red.

復習テスト　第18講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She has a friend (　　　) aunt is a movie star.
   ① who　② which　③ whom　④ whose

2. You have a friend (　　　) studies French.
   ① whose　② who　③ which　④ whom

3. He lives in a house (　　　) roof is pink.
   ① which　② that　③ whose　④ who

Chapter 4 関係代名詞 that

● 関係代名詞の that

関係代名詞の that が好まれる場面

① 先行詞が疑問詞の who

・Who **that** knows her can believe the story?
彼女を知る誰が，その話を信じられようか。

② 先行詞が最上級形容詞，only, very で修飾されている

・He is the greatest basketball player **that** I have ever met.
彼は，私が今まで会った中で最も優れたバスケットボール選手だ。

③ 先行詞が all などの修飾語をともなう場合

・My father gave me all the money **that** he had.
父は，私に有り金すべてをくれた。

④ 先行詞が人 + 人以外の場合

・Look at the woman and her dog **that** are walking over there.
向こうを歩いている女性と犬を見て。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. Who (① that　　② which) knows him can trust him?

2. This is the very book (① that　　② who) I’ve wanted.

3. This is the most interesting book (① that　　② who) I’ve ever read.

復習テスト　第18講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Who (　　　) knows the boy will believe his story?
   ① that　　② which　　③ whose　　④ whom

2. This is the very thing (　　　) he has always wanted.
   ① who　　② whose　　③ that　　④ where

3. That is the funniest joke (　　　) I've ever heard.
   ① when　　② that　　③ whose　　④ who

Chapter 5　関係副詞

● 先行詞による関係副詞の使い分け

先行詞	時	理由	場所	方法
関係副詞	when	why	where	how

＊時：time, day など　　＊理由：reason

・I remember the day **when** I first met you.
私は，初めてあなたに会った日を覚えている。

・I don’t know the reason **why** you got angry.
私は，あなたが怒った理由がわからない。

・This is the park **where** I used to play soccer.
これは，私がかつてサッカーをした公園だ。

・This is **how** I have mastered English.
これが，私が英語をマスターした方法です。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. This is the park (① where　② which) the event was held last week.

2. Tell me the reason (① how　② why) you did such a thing.

3. Sunday is the day (① when　② where) I play soccer with my friends.

4. Computers have changed (① which　② how) we live.

復習テスト　第18講　Chapter 5

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. This is the park (　　　) I saw those cats yesterday.
   ① when　② where　③ why　④ how

2. Please tell me the reason (　　　) you like dogs.
   ① how　② when　③ where　④ why

3. 2011 is the year (　　　) my little sister was born.
   ① why　② when　③ how　④ where

Chapter 6　関係代名詞と関係副詞の区別

● 自動詞と他動詞

自動詞	うしろに目的語が不要	go, stay, live など
他動詞	うしろに目的語が必要	visit, discuss, like など

● 関係代名詞と関係副詞の区別

☆ 次の英文で，which, where のどちらの関係詞を使うか？

① This is the park (　　　　　　　) I've wanted to visit.

② This is the park (　　　　　　　) I've wanted to go.

※「先行詞が the park だから where」というのは× !!

関係詞のうしろの文が重要

① …・visit は他動詞で目的語が必要だが，目的語が欠けている。
・目的語は名詞なので，この文は名詞が欠けている文（= 不完全文)。
・関係詞のうしろが不完全文 ⇒ 関係代名詞

② …・go は自動詞で，目的語が不要。
・うしろは名詞の欠けがない文（= 完全文)。
・関係詞のうしろが完全文 ⇒ 関係副詞

☆ 関係詞のうしろの文が,
・不完全文（名詞の欠けた文）　⇒ 関係代名詞
・完全文　（名詞の欠けのない文）⇒ 関係副詞

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. This is the hotel (① which　　② where) I stayed last week.

2. Japan is the country (① which　　② where) I’ve wanted to visit.

復習テスト　第18講　Chapter 6

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Finland is the country (　　　) my uncle sometimes visits.
   ① where　② how　③ which　④ whom

2. Okinawa is the prefecture (　　　) I've wanted to go.
   ① where　② which　③ when　④ why

3. Hakodate is the city (　　　) my mother was born.
   ① which　② where　③ whose　④ when

NOTE

第19講　関係詞②

Chapter 1　前置詞 ＋ 関係代名詞
Chapter 2　関係代名詞 what
Chapter 3　what の慣用表現
Chapter 4　関係詞の非制限用法
Chapter 5　関係詞代名詞の as
Chapter 6　疑似関係代名詞 ／ 関係形容詞

Chapter 1　前置詞 ＋ 関係代名詞

● 前置詞 + 関係代名詞 ⇒ うしろは完全文

・ This is the town. + I was born in the town.
⇒ This is the town **in which** I was born.　完全文
　これは私が生まれた街です。

● 前置詞 + 関係代名詞の解法　⇒先行詞をうしろの文に入れる

・ This is the town (　　　　　) I was born.
⇒ This is the town (　　　　　) I was born **in the town (→ in which)**.
⇒ This is the town **in which** I was born.

■確認問題
＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 財布を入れたバッグが見つからない。
　I can't find the bag (① which　　② in which) I put my wallet.

2. 君に初めて出会った日を決して忘れない。
　I'll never forget the day (① which　　② on which) I first met you.

3. 君が一緒に話していた少年を知っている。
　I know the boy (① whom　　② with whom) you were talking.

復習テスト　第19講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. This is the city (　　　) my best friend was born.
   ここは，私の親友が生まれた市です。
   ① which　② whom　③ in which　④ who

2. He forgot the day (　　　) she takes a piano lesson.
   彼は，彼女がピアノのレッスンを受けている曜日を忘れた。
   ① that　② which　③ whom　④ on which

3. I don’t know the man (　　　) she was talking.
   私は，彼女が話していた男性を知らない。
   ① whom　② to whom　③ which　④ that

Chapter 2　関係代名詞 what

● 関係代名詞 what の特徴 × 2

①「〜こと」という名詞節を作る
② うしろの文が不完全
・**What** you have achieved is great.　*achieve 達成する
あなたが達成したことは素晴らしい。

● what = the thing which 〜　「〜こと」

・The thing which you have achieved is great.
⬇
What you have achieved is great.

☆ what は先行詞を含んでいる = 文中に先行詞は現れない

■確認問題
＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 必要なものは，君の助けだ。　* 必要な necessary
(① Which　　② What) is necessary is your help.

2. 先生が言っていることがわからないよ。
I can’t understand (① in which　　② what) my teacher is talking about.

3. 私を驚かせたことは，その試合の結果だ。　* 結果 result
(① There　　② What) surprised me was the result of the game.

復習テスト　第19講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) is important is trying your best.
　大事なのは君のベストを尽くすことだ。
　① Which　② It　③ That　④ What

2. I don’t know (　　　) they are talking about.
　私には彼らの話していることがわからない。
　① what　② which　③ in which　④ that

3. (　　　) excited me was an e-mail message from him.
　私をわくわくさせたのは，彼からのEメールのメッセージだ。
　① That　② Which　③ What　④ It

Chapter 3　whatの慣用表現

● whatの慣用表現

▶ **what S is [am/are]**：現在のS
▶ **what S was [were/used to be]**：過去のS
▶ **what S was ～ years ago**：～年前のS

・Bill is not what he used to be.
ビルはかつての彼とは違う。

▶ **what is called ～ / what we [you/they] call ～**：いわゆる～
▶ **what is 比較級**：さらに～なことに
▶ **A is to B what C is to D**：AとBの関係はCとDの関係と同じだ

・Reading is to the mind **what** food is to the body.
読書の精神に対する関係は，食物の体に対する関係と同じだ。

▶ **what with A and (what with) B**：AやらBやらが原因で
▶ **What with** bad weather **and** fatigue, I didn't enjoy my trip.
悪天候や疲労で，私は旅行を楽しめなかった。

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 現在のパリは，50年前とは異なる。
Paris today is different from (① it was　　② what it was) 50 years ago.

2. マイクは，いわゆる音楽の天才だ。　＊天才 genius
Mike is (① what is called　　② what you say) a musical genius.

3. とても寒かった。さらに悪いことに，雨が降り始めた。
It was very cold, and (① what was bad　　② what was worse), it began to rain.

復習テスト　第19講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Brian has changed from (　　　) three years ago.
   ブライアンは 3 年前の彼とは変わった。
   ① he was　② what he was　③ it was　④ what it was

2. (　　　) shopping and movies, she is usually out on weekends.
   買い物やら映画やらで，彼女は週末にはたいてい外出している。
   ① What of　② What for　③ What to　④ What with

3. It was very hot last night, and (　　　), the air conditioner broke.
   昨夜はとても暑かった。さらに悪いことに，エアコンが壊れた。
   ① what was worse　② what with bad
   ③ what with worse　④ what was bad

Chapter 4　関係詞の非制限用法

● 関係詞の制限用法・非制限[継続]用法

制限用法：
関係詞だけで先行詞を修飾する用法。先行詞の意味を「制限」する。
・She has a son **who** is a doctor.　彼女には医者である息子が一人いる。

非制限[継続]用法：
カンマ + 関係詞で先行詞の説明が続く用法。特に制限しないものなので，非制限用法と呼ばれる。
・She has a son, **who** is a doctor. 彼女には息子が一人おり，彼は医者である。

● 非制限[継続]用法の特別用法

▶ **,which**：そしてそれは　⇒ 文や節を先行詞にとれる！
・He remained silent**, which** made me angry.
彼は黙ったままだった。そしてそのことは私を怒らせた。

▶ **,who**：そしてその人は
・He has a sister**, who** is a pianist.
彼には姉が一人いる。そしてその人はピアニストである。

▶ **,when**：そしてそのとき
・They came at eight**, when** we sat at the table.
彼らは 8 時に来た。そしてそのとき私たちは食卓に座った。

▶ **,where**：そしてそこで
・She went to Tokyo**, where** she met him.
彼女は東京に行った。そしてそこで彼女は彼と出会った。

■確認問題

＊____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 彼は嘘をついていないと言ったが，それは本当ではなかった。

   He said he didn’t tell a lie, __________ was not true.

2. 私はグリーン氏に会ったが，彼は北海道出身だった。

   I met Mr. Green, __________ was from Hokkaido.

3. 私は東京を訪れ，そしてそこに一週間滞在した。

   I visited Tokyo, __________ I stayed for a week.

復習テスト　第19講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My son said he finished washing the bath, (　　　) was not true.
   息子は浴槽を洗い終えたと言ったが，それは本当ではなかった。
   ① what　② that　③ which　④ who

2. I have an aunt, (　　　) lives in Bali.
   私にはおばがおり，彼女はバリ島に住んでいる。
   ① which　② who　③ that　④ where

3. We went to Nagano, (　　　) we enjoyed skiing.
   私たちは長野に行き，そこでスキーを楽しんだ。
   ① when　② which　③ who　④ where

NOTE

Chapter 5　関係代名詞の as

● such や the same と呼応する

▶ **such A as B**：B のような A

・I have never seen **such** a picture **as** he painted.
私は彼が描いたような絵を見たことがない。

▶ **the same A as B**：B と同じ A

・He wears **the same** kind of clothes **as** his brother wears.
彼は自分の兄が着るのと同じ種類の服を着る。

● 文単位で先行詞をとる as

▶ **As is often the case with ～**：～にはよくあることだが
(= As is usual with ～)

・She likes chocolate, **as is often the case with** young girls.
⇒ **As is often the case with** young girls, she likes chocolate.
若い女の子にはよくあることだが，彼女はチョコレートが好きだ。

■確認問題

＊____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 君は，自分を助けてくれるような友人を選ぶべきだ。
You should choose such friends ___________ will help you.

2. 私は，彼が持っているのと同じ本を買いたい。
I want to buy the same book ___________ he has.

3. 彼にはよくあることだが，彼は会議に遅れた。
___________ is often the case with him, he was late for the meeting.

復習テスト　第19講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I want such a notebook (　　　) she has.
　私は，彼女が持っているようなノートが欲しい。
　① what　② as　③ which　④ that

2. I use the same kind of hair wax (　　　) my brother uses.
　私は，兄が使っているのと同じ種類のヘアワックスを使っている。
　① as　② whom　③ who　④ what

3. (　　　) is often the case with my cat, she slept almost all day yesterday.
　私のネコにはよくあることだが，彼女は昨日ほぼ一日中寝ていた。
　① What　② It　③ Which　④ As

Chapter 6　疑似関係代名詞 ／ 関係形容詞

● 疑似関係代名詞

▶ **関係代名詞の but**：～ない名詞 (= that ～ not …)

・There is no rule **but** has some exceptions.

=There is no rule **that** does**n't** have any exceptions.

例外のない規則はない。

▶ **関係代名詞の than**：～以上の

・He has more money **than** is necessary.

彼は必要以上のお金を持っている。

● 関係形容詞の what = all the 名詞 that ～「～するすべての名詞」

▶ **関係形容詞の what**：～するすべての名詞 (= all the 名詞 that ～)

・I gave my children **what** help I could give.

私は子どもにできるすべての援助を与えた。

・I gave my children **what** little money I had.

私は子どもになけなしのお金を与えた。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼は，持っていたなけなしのお金を私にくれた。

He gave me (① all that　② what little) money he had.

2. 欠点のない人間なんていない。　＊欠点 fault

There is no one (① that　② but) has some faults.

3. 彼女は一人で食べられる以上のリンゴを持っていた。

She had more apples (① than　② but) she could eat alone.

復習テスト　第19講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Yesterday, she spent (　　　) money she had.
   昨日，彼女は持っていたなけなしのお金を使った。
   ① what little　② as　③ which　④ all that

2. There is no one (　　　) knows the news.
   そのニュースを知らない人はいない。
   ① which　② but　③ as　④ than

3. The woman has more bags (　　　) are needed.
   その女性は必要以上のかばんを持っている。
   ① as　② but　③ than　④ what

第20講　関係詞③

Chapter 1　関係代名詞の省略
Chapter 2　複合関係詞①
Chapter 3　複合関係詞②
Chapter 4　連鎖関係詞 ／ 分離

Chapter 1　関係代名詞の省略

● 関係代名詞の省略の条件 × 2

▶関係代名詞の省略の条件：① 名詞 + SV の語順　② 目的語の欠け

S（主語）のうしろ

・The boy you met yesterday is my brother.
　君が昨日会った少年は私の弟だ。

O（目的語）のうしろ

・I don't know the boy you were talking with.
　私は君が一緒に話していた少年を知らない。

■確認問題

＊（　　）内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. これは私がずっと探していた本だ。
　This is the book (① which　② I've) been looking for.

2. 私が昨日買った本はとてもおもしろい。
　The book (① that　② I) bought yesterday is very interesting.

3. こちらは私の話していた男性です。
　This is the man (① who　② I) was talking about.

復習テスト　第20講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. This is the DVD (　　　) always wanted.
　これは私がずっと欲しかったDVDだ。
　① which　② that　③ I’ve　④ what I

2. The movie (　　　) saw last Sunday was boring.
　私たちがこの前の日曜日に見た映画は退屈だった。
　① that　② we　③ what we　④ which

3. That person is the dancer (　　　) was talking about.
　あの人が，彼女の話していたダンサーだ。
　① she　② which　③ that　④ whom

Chapter 2　複合関係詞①

● 複合関係詞（任意の意味）：～するどんな名詞でも

▶ 複合関係詞の特徴：① 関係詞 ever　② 先行詞が文中に現れない

whoever　：～するどんな人でも
whatever　：～するどんなものでも
whichever　：～するどちらでも
whenever　：～するどんなときでも
wherever　：～するどんな場所でも

・You can take **whoever** wants to go.
行きたがっているどんな人でも連れてきていいよ。

・I'll give you **whatever** I have.
私が持っているものは何でもあなたにあげましょう。

・You can choose **whichever** you like.
あなたが気に入っているどちらでも選んでいいよ。

・She helps me **whenever** I'm in trouble.
私が困ったときにはいつでも，彼女は私を助けてくれる。

・I'll follow you **wherever** you go.
あなたが行くどこへでも，ついて行くよ。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. Give this ticket to (① anyone　② whoever) wants it.

2. I have two rackets. Take (① which　② whichever) you like.

3. Please let me know (① wherever　② whenever) you visit Tokyo.

4. I'll take you (① wherever　② however) you want to go.

復習テスト　第20講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. You can lend this book to (　　　) needs it.
   ① everyone　② whatever　③ whom　④ whoever

2. Please call me (　　　) you like.
   ① whoever　② whenever　③ what　④ which

3. Our dog follows my son (　　　) he goes.
   ① however　② whatever　③ wherever　④ whoever

Chapter 3　複合関係詞②

● 複合関係詞（譲歩の意味）：たとえ～でも

whoever：たとえ誰が～しても
whatever：たとえ何が～しても
whichever：たとえどちらが～しても
whenever：たとえいつ～しても
wherever：たとえどこで～しても
however + 形容詞[副詞]：たとえSがどんなに形容詞[副詞]でも

・**Whoever** comes to see me, tell him I'm out.
たとえ誰が私に会いに来ても，私は出かけていると伝えてください。

・**Whatever** happens, I'll believe you.
たとえ何が起こっても，私は君を信じるよ。

・**Whichever** you take, I'll give it to you.
たとえ君がどちらを選んでも，それを君にあげよう。

・**Whenever** I call him, he is not at home.
たとえいつ彼に電話しても，彼は家にいない。

・**However** late you may be, please give me a call.
たとえどれほど遅くなっても，電話してください。

● no matter + 疑問詞

譲歩の意味の複合関係詞は，すべて no matter + 疑問詞に置き換えられる。
・**No matter how** late you may be, please give me a call.

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (① Whatever　　② Whenever) happens, we must go home by 9 o’clock.

2. (① Whatever　　② Whoever) may say so, I don’t believe the story.

3. No matter (① what　　② how) hard it may be, you have to do your best.

復習テスト　第20講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) team wins, the game will be exciting.
① Whatever　② Whichever　③ However　④ Whoever

2. (　　　) long it takes, he'll fulfill his dream.
① Whatever　② Whenever　③ However　④ Whichever

3. No matter (　　　) old you get, I'm on your side.
① how　② when　③ what　④ which

NOTE

Chapter 4　連鎖関係詞 ／ 分離

● 連鎖関係詞の特徴

▶ 連鎖関係詞：関係詞のすぐうしろに SV が続いて，関係詞節が続く表現

・The man who **I thought** would pass the exam has failed.
試験に合格すると思っていた男性が，不合格だった。

☆ who の直後の SV（ここでは I thought）をいったん外して考える！

The man who would pass the exam 試験に合格するであろう人	＋	I thought 私が思っていた

⇒ 試験に合格するだろうと私が思っていた人

● 先行詞と関係詞が分離する場合

・The day **when** we can travel to the moon will come.
⬇
The day will come **when** we can travel to the moon.
私たちが月に旅行できる時代がやってくるだろう。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. The day will come (① which　② when) we can solve the problem.

2. The boy (① who　② whom) I thought was her friend was her brother.

3. You should do (① which　② what) you think is right.

復習テスト　第20講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The time will soon come (　　　) she can speak Japanese fluently.
　① what　② when　③ which　④ whom

2. The woman (　　　) I believed was his mother was his aunt.
　① whom　② which　③ whoever　④ who

3. It’s important to do (　　　) you think is best.
　① what　② when　③ how　④ which

第21講　仮定法①

Chapter 1　仮定法の基本
Chapter 2　仮定法過去・仮定法過去完了
Chapter 3　仮定法過去と仮定法過去完了の混在
Chapter 4　I wish SV.
Chapter 5　It is time SV.
Chapter 6　as if ～

Chapter 1　仮定法の基本

仮定法とは

英文が述べる内容を，事実か仮定の話か命令かで分ける。
① 直説法：事実を述べる（一般的な英文）
② 仮定法：事実に反することを述べる（現実に反する内容を伝える）
③ 命令法：命令文

直説法と仮定法の違い

☆ 次の二文は何が違うか？
・If it is fine tomorrow, we will go on a picnic.
明日晴れたら，私たちはピクニックに行く。

・If I were you, I **would** not marry such a man.
私があなたなら，そんな男性とは結婚しないだろう。

■確認問題
＊次の英文が，①仮定法，②直説法 のどちらかを指摘し，日本語に直しなさい。

1. If it rains tomorrow, I’ll be at home. [　　]
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

2. If I were a bird, I could fly to you. [　　]
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

復習テスト　第21講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If it (　　　) next Sunday, I will watch online videos at home.
　① will rain　② rains　③ rained　④ to rain

2. If I (　　　) him, I would not say such a thing.
　① am　② are　③ were　④ will be

3. If it (　　　) sunny now, I could go to that park.
　① is　② has been　③ will be　④ were

Chapter 2　仮定法過去・仮定法過去完了

● 仮定法の公式

	本来の時制	if 節の特徴	主節の特徴
仮定法過去	現在	過去形	助動詞の過去形 + V 原形
仮定法過去完了	過去	過去完了形	助動詞の過去形 + have p.p.

※助動詞の過去形：would, could, might など

☆ 仮定法では，なぜ現在のことでも過去形を使うのか？

英語の過去形とは，単に時制上の過去を示すのみではない。**現在と距離を置く**ことで，**丁寧さ**や**非現実的イメージ**を伝えられる。

・駅への道を教えてくれますか？
△　Can you tell me the way to the station?
○　**Could** you tell me the way to the station?

・もし私があなたなら，その会社では働かないだろう。
×　If I am you, I will not work in the company.
○　If I **were** you, I **would** not work in the company.

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. If you (① were　　② would be) here, I would be happy.

2. If I (① knew　　② had known) her address, I could have visited her.

3. If I had a little more time, I (① can talk　　② could talk) with him.

復習テスト　第21講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If she (　　　) here, we could enjoy this party more.
   ① is　② were　③ will be　④ had been

2. If I (　　　) harder, I could have passed that test.
   ① study　② studied　③ have studied　④ had studied

3. If I had 200 yen in my pocket now, I (　　　) a drink.
   ① buy　② will buy　③ could buy　④ had bought

Chapter 3　仮定法過去と仮定法過去完了の混在

☆ 次の英文は正しいか？

・If you **had married** him at that time, you **would be** happy now.
もしあなたがあのとき彼と結婚していたら，今頃幸せだろうに。

● 仮定法の公式

	本来の時制	if 節の特徴	主節の特徴
仮定法過去	現在	過去形	助動詞の過去形 + V 原形
仮定法過去完了	過去	過去完了形	助動詞の過去形 + have p.p.

※助動詞の過去形：would, could, might など

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. If I (① did not　② were not) busy, I could go with you.

2. If I (① took　② had taken) his advice then, I would be happier now.

3. If I had stopped smoking at that time, I (① would have been ② would be) healthier now.

4. If you had not told her a lie, she (① wouldn't be　② wouldn't have been) angry now.

復習テスト　第21講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If I (　　　) money yesterday, I could buy this video game now.
   ① save　② saved　③ have saved　④ had saved

2. If we had taken her advice at that time, we (　　　) happier now.
   ① would have been　② would be
   ③ are　④ had been

3. If you had not skipped breakfast this morning, you (　　　) hungry now.
   ① wouldn't have been　② have been
   ③ wouldn't be　④ had been

Chapter 4　I wish SV.

☆ 次の二文は何が違うか？

・I hope you **will have** a date with me.　　僕とデートしてほしい。
・I wish you **had** a date with me.　　僕とデートしてくれたらなぁ。

＊ hope (that…) は可能だと信じて望む　⇒ 直説法
＊ wish (that…) は可能とは思わないが望む　⇒ 仮定法

● 仮定法の慣用表現①

▶ **I wish SV.**：S が V だったらなぁ
V の時制を，**本来の時制から一つ古い方**にずらす

・現在：I wish I knew his address.　　彼の住所を知っていればなぁ。
　　　　　　　└→ 仮定法過去の if 節の特徴
・過去：I wish I had bought the ticket.　　そのチケットを買っていたらなぁ。
　　　　　　　└→ 仮定法過去完了の if 節の特徴

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I wish I (① have　② had) a million yen.

2. I hope you (① will give　② gave) us some help.

3. He wishes he (① were　② had been) rich at that time.

復習テスト　第21講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I wish I (　　　) that girl's name.
   ① know　② am knowing　③ knew　④ have known

2. I hope she (　　　) to the party tomorrow.
   ① come　② will come　③ came　④ had come

3. I wish I (　　　) the festival last week.
   ① join　② joined　③ have joined　④ had joined

Chapter 5　It is time SV.

● 仮定法の慣用表現②

・**It is time SV.**：S が V する時間だ
V の時制を，**本来の時制から一つ古い方**にずらす
（現在を表す表現なので，V はそれより一つずらした過去形しか使われない）

・It is time you went to bed.　寝る時間だ。
・It is about time you took a bath.　そろそろ風呂に入る時間だ。
・It is high time you went home.　とっくに家に帰る時間だ。

■確認問題
＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. とっくに君は宿題をやる時間だ。
It's high time you (① did　② have done) your homework.

2. 私たちは次に何をすべきかを決める時期だ。
It is time we (① decide　② decided) what to do next.

3. そろそろ彼は家を出る時間だ。
It's about time he (① leaves　② left) home.

復習テスト　第21講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. It is time we (　　　) for the station.
   私たちは駅に向かって出発する時間だ。
   ① will leave　② left　③ have left　④ had left

2. It’s about time we (　　　) toilet paper rolls.
   そろそろトイレットペーパーを買う時期だ。
   ① will buy　② had bought　③ have bought　④ bought

3. It’s high time you (　　　) English.
   君はとっくに英語を勉強する時間だ。
   ① studied　② have studied　③ will study　④ had studied

Chapter 6　as if ～

● 仮定法の慣用表現③

▶SV ～ **as if [though] S′V′.**：まるで S′ が V′ するかのように～

＊ V と V′ が同時なら V′ を仮定法過去にする

・She talks **as if** she were a child.
彼女は，まるで自分が子どもであるかのように話す。

＊ V より V′ が過去なら V′ を仮定法過去完了にする

・He looks **as if** he had seen a ghost.
彼は，まるで幽霊を見たかのように見える。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼女はまるで自分が大人であるかのように話す。
   She talks (① if　　② as if) she were an adult.

2. 彼はまるでそのことについて聞いたことがあるかのような口ぶりだ。
   He talks as if he (① heard　　② had heard) about it.

3. 彼は，まるで行ったことがあるかのようにパリについて話した。
   He talked about Paris as though he (① have been　② had been) there.

復習テスト　　第21講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He plays the guitar (　　　) he were a famous musician.
   彼はまるで自分が有名な音楽家であるかのようにギターを弾く。
   ① if　② though　③ as like　④ as if

2. She talks as if she (　　　) there, too.
   彼女はまるで自分もそこに居合わせていたかのような口ぶりだ。
   ① is　② had been　③ have been　④ has been

3. He talked as though he (　　　) the video.
   彼はまるでその動画を見たことがあるかのような口ぶりだった。
   ① saw　② sees　③ have seen　④ had seen

第 22 講　　仮定法②

Chapter 1　もし～がなかったら
Chapter 2　仮定法未来
Chapter 3　if 節の倒置
Chapter 4　if 節の代用

Chapter 1　もし～がなかったら

● もし～がなかったら

▶ **If it were not for ～**（仮定法過去）

・**If it were not for** your help, I could not succeed.
あなたの助けがなければ，成功できないだろう。

▶ **If it had not been for ～**（仮定法過去完了）

・**If it had not been for** your help, I could not have succeeded.
あなたの助けがなかったら，成功できなかっただろう。
= **Without** your help, I could not have succeeded.
= **But for** your help, I could not have succeeded.

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. If it (① were not　　② had not) for water, we could not live.

2. If it (① were not　　② had not been) for your help, I could not have succeeded.

3. He wouldn’t have succeeded (① if it were not　　② but for) her help.

復習テスト　第22講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. If it (　　　) for chocolate, I could not enjoy my life.
① without　② but　③ were not　④ had not

2. If it (　　　) for this cook book, I couldn't have cooked the omelet.
① were not　② without　③ had not been　④ but

3. (　　　) her uncle's advice, she wouldn't have passed the test.
① If it were not　② But for　③ If it had not　④ With

Chapter 2 仮定法未来

● 仮定法未来（これから先の仮定 + 実現可能性がかなり低い）

▶ If S **were to** *do*：仮に S が V するなら

☆ 主節は S 助動詞の過去形 + V 原形 ～

・If the sun **were to** rise in the west, what would you do?
仮に太陽が西から昇ったら，あなたはどうするだろうか？

☆ 極めて実現性の低い仮定によく使われる

▶ If S **should** *do*：万一 S が V するなら

☆ 主節は命令文 ～ / S 助動詞の過去形［現在形］+ V 原形 ～

・If anyone **should** visit me, tell them I'll be back soon.
万一誰かが私を訪ねて来たら，すぐ戻ると伝えておいて。

・If you **should** be late again, you will lose your job.
万一再び遅刻したら，あなたは職を失うことになる。

・If it **should** snow tomorrow, the game would be postponed.
万一明日雪が降ったら，試合は延期されるでしょう。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. If anything (① should happen　② had happened), please let me know.

2. If the sun (① had disappeared　② were to disappear) tomorrow, what would happen in this world?

3. If Mike (① came　② should come), tell him to call me.

復習テスト　第22講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. If John (　　　) me, tell him I’m busy.
　① had called　② should call　③ called　④ will call

2. If you (　　　) into a parallel world, what would you do?
　① had gotten　② will get
　③ have gotten　④ were to get

3. If you (　　　) my purse, please let me know.
　① found　② had found　③ should find　④ will find

Chapter 3　if 節の倒置

● if 節の倒置

手順：① if を消して，② S と were (had, should) を逆にする

· If it were not for ～ , ….	⇒	Were it not for ～ , ….
· If it had not been for ～ , ….	⇒	Had it not been for ～ , ….
· If anything should happen, ….	⇒	Should anything happen, ….
· If the sun were to disappear, ….	⇒	Were the sun to disappear, ….

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (① Had　　② If) it not been for your help, we couldn’t have finished it.

2. (① Were to　　② Should) he need any help, just let me know.

3. (① Were　　② Should) the sun to rise in the west, what would you do?

4. (① Were　　② Had) I in your position, I would not do such a thing.

復習テスト　第22講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) it not been for their help, we wouldn’t have succeeded.
   ① Were　② Had　③ If　④ If were

2. (　　　) any trouble happen, please send me a message.
   ① If　② Were to　③ Without　④ Should

3. (　　　) I in his place, I would not buy two tickets.
   ① Were　② Had　③ If　④ Were to

Chapter 4　if 節の代用

● if 節の代用

▶ **otherwise**（If ～ not の代用）：さもなければ

・Work hard; **otherwise** you would fail.

(= if you did not work hard, you would fail.)

一生懸命頑張りなさい，さもなければ失敗するよ。

▶ **不定詞**で代用

・**To hear him speak**, you would take him for a British man.

彼が話すのを聞けば，彼をイギリス人と思うだろう。

▶ **主語**で代用

・**A wise man** would not do such a thing.

賢い人なら，そんなことはしないだろう。

▶ **副詞句**で代用

・**Five years ago**, I would have joined the company.

5 年前なら，私はその会社に入社していただろう。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I was very tired; (① without　② otherwise), I would have gone there.

2. 5 年前だったら，私は彼と結婚しなかったのに。
   Five years ago, I (① wouldn't have　② hadn't) married him.

3. 彼が話すのを聞けば，あなたは彼をアメリカ人だと思うだろう。
   To hear him speak, you (① would　② should) take him for an American.

復習テスト　第22講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I studied English hard; (　　　), I would have failed the test.
   私は熱心に英語を勉強した。そうでなければ，私はテストに不合格だっただろう。
   ① without　② still　③ otherwise　④ if so

2. A few weeks ago, I (　　　) solved this question.
   数週間前なら，私はこの問題が解けなかっただろう。
   ① couldn’t　② couldn’t have　③ had　④ could have

3. To hear her speak, you (　　　) her for a native Japanese.
   彼女が話すのを聞けば，あなたは彼女が生粋の日本人だと思うだろう。
   ① should take　② had taken　③ took　④ would take

第23講　名詞

Chapter 1　可算名詞と不可算名詞
Chapter 2　不可算名詞の種類
Chapter 3　前置詞 + 抽象名詞
Chapter 4　複数形の作り方
Chapter 5　相互複数
Chapter 6　複数形になると意味が異なる名詞

Chapter 1　可算名詞と不可算名詞

可算名詞と不可算名詞

可算名詞　(C ountable)　= 数えられる名詞
不可算名詞 (U ncountable)　= 数えられない名詞

● 可算名詞と不可算名詞の特徴

	可算名詞	不可算名詞
複数形	○	×
a / an	○	×

● 可算名詞と不可算名詞の数え方

	可算名詞	不可算名詞
多い	many	much
少ない	few	little

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I don't have (① many　② much) money now.

2. I couldn't buy the book because I had (① few　② little) money.

3. There were (① few　② little) people in the room.

復習テスト　第23講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. She doesn’t have (　　　) money.
   ① many　② much　③ few　④ a

2. This web page has (　　　) information.
   ① few　② many　③ an　④ little

3. (　　　) people like cockroaches.
   ① Much　② Little　③ Few　④ An

Chapter 2　不可算名詞の種類

● 不可算名詞の種類

不可算名詞は大きく「ひとまとめで考える名詞」,「物質名詞」,「抽象名詞」の三つに分けられる。

▶ひとまとめで考える名詞

money「お金」	⇒ coin and bill	「お金全部」
furniture「家具」	⇒ chair and desk	「家具全部」
baggage [luggage]「手荷物」	⇒ bag and suitcase	「手荷物全部」

▶物質名詞

water「水」　**milk**「ミルク」　**coffee**「コーヒー」

bread「パン」　**paper**「紙」

▶抽象名詞

information「情報」　**advice**「アドバイス」　**homework**「宿題」

news「ニュース」　**work**「仕事」

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 牛乳はバターになる。

(① A milk　② Milk) is made into (① a butter　② butter).

2. 彼には，とてもたくさん宿題がある。

He has so (① many homeworks　② much homework).

3. 彼女は，その問題についてたくさんの情報を持っている。

She has (① many informations　② much information) on the matter.

復習テスト　第23講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Give me (　　　).　　私にパンと水をちょうだい。
   ① breads and waters　　② breads and water
   ③ bread and water　　④ bread and waters

2. She has so (　　　) furniture.　　彼女はとてもたくさんの家具を持っている。
   ① little　　② few　　③ many　　④ much

3. I have (　　　) knowledge of astronomy.
   私は天文学の知識がほとんどない。
   ① many　　② much　　③ little　　④ few

Chapter 3　前置詞 + 抽象名詞

● 前置詞句から他品詞への転用

▶形容詞への転用： **of + 抽象名詞 = 形容詞**

・What he said was **of importance**.　彼が言ったことは重要だった。

of importance = important　「重要な」
of use = useful　「役に立つ」
of value = valuable　「価値のある」

▶副詞への転用： **with + 抽象名詞 = 副詞**

・He solved the problem **with ease**.　彼は簡単にその問題を解いた。

with ease = easily　「簡単に」
with care = carefully　「注意深く」

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼はその質問に簡単に答えた。
   He answered the question (① of　　② with) ease.

2. その事実は重要ではない。
   The fact is (① of　　② with) no importance.

3. 彼の考えはまったく役に立たない。
   His idea is (① of　　② with) no use.

復習テスト　第23講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Please handle it (　　　) care.　　取り扱いに注意してください。
　① at　② of　③ with　④ in

2. Customer reviews are (　　　) value to the shop.
　顧客のレビューは店にとって価値がある。
　① of　② with　③ to　④ on

3. Her advice was of no (　　　).
　彼女のアドバイスはまったく役に立たなかった。
　① using　② used　③ uses　④ use

Chapter 4　複数形の作り方

● 規則変化

· desk → desk**s**	book → book**s**	⇒	普通は s をつける
· box → box**es**	fox → fox**es**	⇒	x で終わると es
· class → class**es**	bus → bus**es**	⇒	s で終わると es
· leaf → lea**ves**	knife → kni**ves**	⇒	f (fe) を v に変えて es
· city → cit**ies**	baby → bab**ies**	⇒	y を i に変えて es

● 不規則変化

· tooth → teeth	「歯」	foot → feet	「足」
· man → men	「男性」	woman → women	「女性」
· child → children	「子ども」		

■確認問題

＊次の単語を，複数形に直しなさい。

1. lady　　[　　　　　　]

2. leaf　　[　　　　　　]

3. tooth　　[　　　　　　]

4. box　　[　　　　　　]

5. class　　[　　　　　　]

6. foot　　[　　　　　　]

復習テスト　第23講　Chapter 4

＊次の名詞のうち，複数形を作るときに不規則変化する語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. ① class　② leaf　③ bus　④ child

2. ① tooth　② knife　③ city　④ book

3. ① baby　② desk　③ fox　④ foot

Chapter 5 相互複数

● 相互複数を扱う熟語

▶**shake hands with ～**：～と握手する

・We shook hand**s** with each other.　私たちはお互いに握手をした。

*shake-shook-shook

▶**make friends with ～**：～と仲よくなる

・I made friend**s** with my classmates.　私はクラスメイトと仲よくなった。

▶**change trains**：電車を乗り換える

・I changed train**s** at Tokyo Station.　私は東京駅で電車を乗り換えた。

■確認問題

＊____に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. 私は彼と握手をした。

   I shook __________ with him.

2. 彼は彼女の友達と仲よくなった。

   He made __________ with her friend.

3. 私はそこに行くのに電車を乗り換えた。

   I changed __________ to go there.

復習テスト　第23講　Chapter 5

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I made (　　　) with an exchange student from Canada.
   私はカナダからの留学生と仲よくなった。
   ① friendly　② friend's　③ a friend　④ friends

2. We should change (　　　) here.
   私たちはここで電車を乗り換えるべきだ。
   ① a train　② trains　③ the train　④ trainers

3. He shook (　　　) with her.　彼は彼女と握手した。
   ① a hand　② hands　③ handing　④ the hand

Chapter 6　複数形になると意味が異なる名詞

● 常に複数形で使う名詞

▶通常二つそろって使う名詞

scissor**s**「ハサミ」 shoe**s**「靴」 glove**s**「手袋」

☆ 数えるときは **a pair of** scissors [shoes, gloves]

▶学問

politic**s**「政治学」 mathematic**s**「数学」 physic**s**「物理学」

☆ s がついても**単数扱い**

● 複数形になると意味が異なる名詞

・glass	「ガラス，コップ」	→	**glasses**	「メガネ」
・paper	「紙」	→	**papers**	「論文」
・work	「仕事」	→	**works**	「作品」

■確認問題

＊ (　　) 内の語を適切な形に直しなさい。

1. メガネをかける　wear (glass)　[　　　　]

2. 一対の手袋　a pair of (glove)　[　　　　]

3. 一足の靴　a pair of (shoe)　[　　　　]

復習テスト　第23講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I wear (　　　) at home.　私は家ではメガネをかけている。
   ① glasses　② a glass　③ glassing　④ the glass

2. He lost a pair of (　　　) yesterday.　彼は昨日，一対の手袋をなくした。
   ① a glove　② glove　③ gloves　④ the glove

3. (　　　) as difficult as science for me.
   私にとって，数学は科学と同じくらい難しい。
   ① Mathematics are　② Mathematics is
   ③ Mathematic are　④ Mathematic is

第24講　冠詞

Chapter 1　冠詞の基本
Chapter 2　不定冠詞 (a / an) の表現
Chapter 3　定冠詞 (the) の表現
Chapter 4　無冠詞の表現

Chapter 1　冠詞の基本

冠詞 (a / the) の役割

名詞の前に置いて，その名詞の性質を示す。

● 冠詞の種類

① 不定冠詞	(a / an)	：一つの不特定のもの
② 定冠詞	(the)	：一つに特定できるもの
③ 無冠詞		：物質名詞や抽象名詞

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な方を選び，英文を完成させなさい。

1. 太陽は東から昇る。

(① A　② The) sun rises in (① an　② the) east.

2. テーブルの下に1匹の猫がいる。

There is (① a　② the) cat under the table.

3. 私はペンを買った。それはとても使いやすい。

I bought (① a　② the) pen. (① A　② The) pen is easy to use.

復習テスト　第24講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) is 384,400 kilometers away from the earth.
   ① A moon　② Moons　③ The moon　④ Moon

2. There is (　　　) on that tree.
   ① a bird　② bird　③ birds　④ the bird

3. He gave me a book. (　　　) is about animals.
   ① A book　② Book　③ The books　④ The book

Chapter 2　不定冠詞 (a/an) の表現

● 不定冠詞 (a / an) の表現

▶ one の意味を表す a / an

・Rome was not built in **a** day.　　ローマは一日にしてならず。

▶「～につき」の a / an

・He earns 10,000 yen **a** day.　　彼は日に 1 万円稼ぐ。

▶「同じ～の」の a / an

・Birds of **a** feather flock together. 同じ羽の鳥は共に集まる（= 類は友を呼ぶ）。

● a / an + 固有名詞

・He thinks he is **an** Edison.　　彼は自分をエジソン**のような人**と考えている。
（⇒ エジソンのような才能を持つ，数人いる人の一人）

・I had a call from **a** Mr. Tanaka.　私は田中さん**という人**から電話をもらった。
（⇒ 無数にいる田中さんの一人）

・It's **a** Sony.　　ソニー製品の一つ。
（⇒ 無数にあるソニー製品の一つ）

■確認問題

＊（　　）内の選択肢から適当な方を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼はとても賢い。彼はアインシュタインのような人だ。　*smart 賢い
He is very smart. He is (① an　　② the) Einstein.

2. 私は週に 5 日働いている。
I work five days (① a　　② the) week.

3. 塩を取ってください。
Pass me (① a　　② the) salt, please.

復習テスト　第24講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) Ms. Yamada called us.
   山田さんという人が私たちに電話をしてきた。
   ① The　② An　③ A　④ That

2. I study English six days (　　　) week.　私は週に6日，英語を勉強している。
   ① a　② the　③ from　④ to

3. 〈同じ食卓で食事をしている相手に対し〉
   Hey, pass me (　　　) soy sauce.　ねえ，私にしょうゆを取って。
   ① a　② the　③ with　④ in

Chapter 3　定冠詞 (the) の表現

● the の基本用法

・先行の名詞を指す	I bought a car. **The** car is very good.
・最上級の形容詞 + 名詞につく	**the** largest city
・何を指しているか相手にわかる	Please open **the** window.
・唯一のもの	**the** moon, **the** earth, **the** sun

☆ the がつくとうしろの名詞が共通認識となる!!

● 定冠詞 (the) の表現

▶ 単位の **by the** ～：～単位で

・We rent a car **by the** day.　　私たちは一日単位で車を貸しております。

▶ **the + 形容詞**：～な人々 (= 形容詞 + people)

・the old	高齢者	the young	若者
・the rich	お金持ち	the poor	貧しい人

▶ **catch A by the arm**　：A の腕をつかむ

・catch me by **the** arm　：私の腕をつかむ

・pat me on **the** shoulder：私の肩を叩く

・look me in **the** eye　：私の目を見る

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な方を選び，英文を完成させなさい。

1. 私たちは砂糖をポンド単位で売っている。

   We sell sugar by (① a　　② the) pound.

2. 私たちは高齢者に親切にすべきだ。

   We should be kind to (① an　　② the) old.

3. 彼は彼女の腕をつかんだ。

   He caught her by (① her　　② the) arm.

復習テスト　第24講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. The shop sells meat (　　　) gram.　　その店は肉をグラム単位で売っている。
   ① a　　② the　　③ by　　④ by the

2. This video is for (　　　).　　この動画は若者向けだ。
   ① young　　② a young　　③ the young　　④ younger

3. He doesn’t look me in (　　　) eye.　　彼は私の目を見てくれない。
   ① his　　② an　　③ my　　④ the

Chapter 4　無冠詞の表現

● 無冠詞（冠詞をつけない）の場合

▶物質名詞・抽象名詞

・I sometimes drink **milk**.　私はときどき牛乳を飲む。

・I'll give you helpful **information**.　あなたに役立つ情報をあげましょう。

▶総称の複数

・I like **cats**.　私は猫が好きだ。

▶目的を表す

・go to school　「学校に通う」

・go to bed　「寝る」

▶交通手段の by のうしろの名詞

・by bus [train]　「バス[電車]で」

・by car　「車で」

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な方を選び，英文を完成させなさい。

1. 私はよくバスで学校に行く。

I often go to school by (① the　② 無冠詞) bus.

2. 彼女はゆうべ遅くに寝た。

She went to (① a　② 無冠詞) bed late last night.

3. 彼は，犬が嫌いだと言っている。

He says that he doesn't like (① the　② 無冠詞) dogs.

復習テスト　第24講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. We went to Yamanashi by (　　　).　　私たちは電車で山梨に行った。
   ① train　② a train　③ the train　④ trains

2. She usually goes to (　　　) at eight.　　彼女は普段，8時に学校に行く。
   ① a school　② schools　③ school　④ the school

3. He really likes (　　　).　　彼はネコが大好きだ。
   ① the cats　② cat　③ a cat　④ cats

第25講　代名詞①

Chapter 1　人称代名詞と三単現の s
Chapter 2　人称代名詞の格
Chapter 3　it の用法 / it と one の区別
Chapter 4　this と that
Chapter 5　再帰代名詞

Chapter 1　人称代名詞と三単現の s

● 人称代名詞 基本表

	単数	複数
一人称	I	we
二人称	you	you
三人称	he she it	they

● 三単現の s とは？

▶**主語が三人称単数で現在時制の場合，動詞の語尾に s をつける**

・He **plays** soccer with his friends on Sundays.
彼は毎週日曜日に友人とサッカーをする。

■確認問題

＊(　　)内の語を必要に応じて適切な形に変えなさい。英文はすべて現在時制とする。

1. Mary (sing) a song very well.　[　　　　　　]

2. He (live) in Sapporo.　[　　　　　　]

3. You (run) very fast.　[　　　　　　]

復習テスト　第25講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He (　　　) tennis on Sundays.
   ① practice　② practices　③ is practiced　④ practicing

2. She (　　　) very fast.
   ① talking　② talk　③ talks　④ to talk

3. We (　　　) a big garden.
   ① have　② having　③ has　④ to have

Chapter 2　人称代名詞の格

● 人称代名詞の格

	主格 （～は[が]）	所有格 （～の）	目的格 （～を[に]）	所有代名詞 （～のもの）
一人称	I	my	me	mine
	we	our	us	ours
二人称	you	your	you	yours
三人称	he	his	him	his
	she	her	her	hers
	it	its	it	—
	they	their	them	theirs

・**I** saw **her** two days ago.　　私は二日前に彼女を見た。
主格　目的格

・**Your** bicycle is older than **mine.**　　君の自転車は私の自転車よりも古い。
所有格　　所有代名詞 (= my bicycle)

■確認問題

＊（　　）内の語を必要に応じて適切な形に変えなさい。

1. 彼の時計は，私のものよりも高価だ。

(He) watch is more expensive than (I).

[　　　　　] [　　　　　]

2. 私たちの祖父母は，私たちに訪ねてほしいと思っている。

(We) grandparents wants (we) to visit (they).

[　　　　　] [　　　　　] [　　　　　]

3. あなたの荷物を運びましょうか？

Would you like (I) to carry (you) baggage?

[　　　　　] [　　　　　]

復習テスト　第25講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Yesterday, I lost (　　　) umbrella.

① I　② my　③ me　④ mine

2. Our house is bigger than (　　　).

① they　② their　③ them　④ theirs

3. Do you want (　　　) to join the party?

① we　② our　③ us　④ ours

Chapter 3　it の用法 / it と one の区別

● 天候・時間・距離の it

▶天候・時間・距離の it

・**It** is cold today.	今日は寒い。
・What time is **it** now?	今何時ですか？
・**It**'s three miles from here to Tokyo.	ここから東京まで 3 マイルです。

▶状況の it

・How's **it** going?	調子はどう？
・You made **it**.	うまくいったね。

● one と it の区別

☆ one と it は両方とも代名詞（前に出てきた名詞の代わり）！

▶one = 前に出てきた名詞と同種 / 不可算名詞の代わりはダメ

・I've lost my umbrella, so I have to buy **one**.
傘を失くしてしまったので，一本買わねばならない。

・I'll lend you some money if you need **it**.　(× one)
必要なら君にいくらかお金を貸そう。

▶it = 前に出てきた名詞そのもの

・He bought a book yesterday, but he has lost **it**.
彼は昨日，本を一冊買ったが，その本を失くしてしまった。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I've lost my watch. So I have to buy (① one　　② it).

2. I've lost my watch. I can't find (① one　　② it) anywhere.

3. How far is (① that　　② it) from Tokyo to Osaka?

復習テスト　第25講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My pencil case is broken, so I must buy (　　　).
   ① it　　② other　　③ one　　④ ones

2. I bought a book last month. I lent (　　　) to my friend yesterday.
   ① it　　② other　　③ one　　④ another

3. What time is (　　　) in Cambodia now?
   ① one　　② that　　③ it　　④ another

Chapter 4　this と that

● this と that

this ：話し手から近い位置にある人や物 [複数形は **these**]
that：話し手から遠い位置にある人や物 [複数形は **those**]

・**This** is my book, and **that** is yours.　　これは私の本で，あれが君のです。

● 代名詞の that / those

・The population of Tokyo is larger than **that** of Osaka.
東京の人口は大阪の人口よりも多い。

・The ears of a rabbit are longer than **those** of a fox.
ウサギの耳はキツネの耳よりも長い。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. This book seems more interesting than (① this　　② that).

2. The population of China is larger than (① that　　② those) of Japan.

3. The temperature here is higher than (① that　　② those) in Hokkaido.

復習テスト　第25講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. 〈近くにある物と少し離れたところにある物を比べて〉
   This box is smaller than (　　　).
   ① this　② these　③ one　④ that

2. The population of this prefecture is smaller than (　　　) of Tokyo.
   ① that　② those　③ this　④ these

3. The trees in this park are taller than (　　　) in that park.
   ① this　② that　③ these　④ those

Chapter 5　再帰代名詞

● 再帰代名詞とは？

▶ **-self**：myself, yourself, ourselves, himself, herself, itself, themselves

① 他動詞の目的語が主語と同じ場合

・He introduced **himself**.　　彼は自己紹介をした。

② 名詞や代名詞の強調

・You should do it **yourself**.　　あなたは自分でそれをやるべきだ。

● 再帰代名詞を使った熟語

▶ **help oneself to**：自由に～を取って食べる［飲む］

・Help yourself to the cake.
ケーキを自由に取って食べてください。

▶ **make oneself understood**：自分の話をわかってもらう

・I couldn’t make myself understood in English.
私は英語で自分の話を理解してもらえなかった。

▶ **make oneself heard**：自分の話を聞いてもらう

・I couldn’t make myself heard because of the noises.
私は騒音のせいで自分の話を聞いてもらえなかった。

■確認問題

＊（　　）内の語を必要に応じて適切な形に変えなさい。

1. 最終的に，ロミオは自殺してしまった。
Finally, Romeo killed (he).　　[　　　　　　]

2. この料理をどうぞ自由に取って食べてください。
Please help (you) to these dishes.　　[　　　　　　]

3. 私は，英語で自分の言うことを理解してもらえなかった。
I couldn’t make (I) understood in English.　　[　　　　　　]

復習テスト　第25講　Chapter 5

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. We enjoyed (　　　) a lot.

　① us　② ourselves　③ we　④ ours

2. Help (　　　) to these cookies, please.

　① you　② your　③ yours　④ yourself

3. She couldn’t make (　　　) understood in Japanese.

　① her　② she　③ herself　④ hers

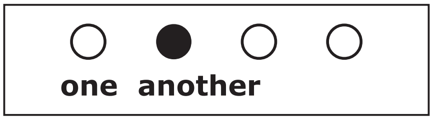
第26講　代名詞②

Chapter 1	another · the other · the others · others
Chapter 2	both · all · either · any · neither · none
Chapter 3	each · someone · something など

Chapter 1　another · the other · the others · others

● another と the other の区別

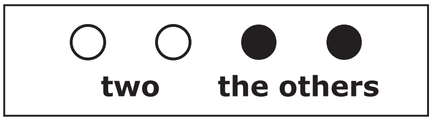
▶ **another**：an + other で複数あるうちの不特定の一つ（an は不特定）



▶ **the other**：残りの一つ（the は特定）

● the others と others の区別

▶ **the others**：残りのすべて（the は特定）



▶ **others**：複数あるうちのいくつか

☆ **Some ～ , others …**：～するものもいれば，…するものもいる

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 私はこのネクタイが好きではない。もう一つ別のものを見せてくれますか。
   I don’t like this tie. Could you show me (① another　② the other)?

2. 私には二人娘がいる。一人は東京に，もう一人は大阪に住んでいる。
   I have two daughters. One lives in Tokyo, and (① another　② the other) lives in Osaka.

3. 泳ぐのが好きな人もいれば，踊りが好きな人もいる。
   Some like swimming, and (① others　② the others) like dancing.

4. そのメンバーのうち二人は賛成したが，残りの全員が反対した。
   Two of the members agreed, but (① others　② the others) disagreed.

復習テスト　第26講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I don’t like the color of this hat. Could you show me (　　　)?
   この帽子の色が好きではありません。もう一つ別のものを見せてくれますか。
   ① one　② the other　③ another　④ the others

2. He has two birds. One is green, and (　　　) is yellow.
   彼は鳥を二羽買っている。一羽は緑色で，もう一羽は黄色だ。
   ① another　② the others　③ one　④ the other

3. Three of the workers were absent from the meeting, but (　　　) joined it.
   従業員のうち三人はその会議を欠席したが，残りの全員はそれに参加した。
   ① the other　② the others　③ others　④ another

NOTE

Chapter 2　both・all・either・any・neither・none

● both・all・either・any・neither・none の区別

二つのもの対象		三つ以上のもの対象	
both	両方	all	全部
either	どちらか（どちらでも）	any	どれでも
neither	どちらも～ない	none	どれも～ない

・**Both** of the two boys are my friends.
その二人の少年たちのうち，両方とも私の友人だ。

・**All** of the three boys are my friends.
その三人の少年たちのうち，全員が私の友人だ。

・Choose **either** of the two books.
その二冊の本のうち，どちらかを選びなさい。

・I didn't have **any** of these cookies.
私は，そのクッキーのどれも食べなかった。

・**Neither** of the two books is interesting.
その二冊の本のうち，どちらもおもしろくない。

・**None** of the boys were present.
その少年たちのうち，誰も出席していなかった。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I read two books yesterday, but (① either　② neither) of them was interesting.

2. (① Both　② All) of the three boys failed in the exam.

3. I'll give you (① either　② any) of these two books.

復習テスト　第26講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I like (　　　) of the two students.
   ① all　② none　③ both　④ any

2. I'll lend you (　　　) of these five DVDs.
   ① both　② either　③ neither　④ any

3. I heard both opinions, and (　　　) of them was wrong.
   ① neither　② any　③ all　④ none

Chapter 3　each・someone・something など

● each と every の区別

▶ **each of** ～：～のそれぞれ

・**Each of** the students has his or her own computer.
その生徒のうちそれぞれが，自分のコンピュータを持っている。

☆ **every of** は **NG**
・その少年たちのうちそれぞれが，その話に興味を持っていた。
○　**Each of** the boys was interested in the story.
×　Every of the boys was interested in the story.

● -one [-body] と -thing

▶ **-one [-body]**：～人

・I need **someone** to help me.	私には誰か助けてくれる人が必要だ。
・I like **everybody** in my team.	私はチームの誰もが好きだ。
・Is there **anyone** in the room?	その部屋に誰かいますか？
・**Nobody** knows the truth.	誰も真実を知らない。

▶ **-thing**：～もの

・I need **something** cold to drink.	何か冷たい飲みものが必要だ。
・How’s **everything**?	調子はどうですか？
・I don’t know **anything** about it.	私はそのことについて何も知らない。
・I have **nothing** to do.	私は何もすることがない。

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 三人の少女それぞれが賞を取った。

(① Each　② Every) of the three girls got a prize.

2. 私は何か温かい飲み物がほしい。

I want (① something　② anything) hot to drink.

3. 彼のクラスの誰もその話に興味を持っていなかった。

(① Nobody　② Anybody) in his class was interested in the story.

4. 私はその部屋で何も見つけられなかった。

I couldn’t find (① nothing　② anything) in the room.

復習テスト　第26講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) of the four movies is interesting.
　その四本の映画のそれぞれが面白い。
　① Every　② Either　③ Each　④ Neither

2. (　　　) arrived late.　誰も遅れずに到着した。
　① Somebody　② Anybody　③ Everybody　④ Nobody

3. I can’t cook (　　　).　私は何も料理することができない。
　① nothing　② anything　③ something　④ everything

NOTE

第 27 講　形容詞・副詞

Chapter 1　形容詞の限定用法と叙述用法
Chapter 2　人を主語にできない形容詞
Chapter 3　形の似ている形容詞
Chapter 4　数量を表す形容詞
Chapter 5　副詞の基本
Chapter 6　注意すべき副詞
Chapter 7　節の代わりになる so・not

Chapter 1　形容詞の限定用法と叙述用法

● 限定用法と叙述用法

① 限定用法：名詞を修飾する

・a pretty girl　かわいい女の子

② 叙述用法：C（補語）になる

・The girl is pretty.　その女の子はかわいい。

● 叙述用法でしか使えない形容詞

a から始まる形容詞：**alive** 生きている , **asleep** 眠っている , **awake** 目覚めている , **alike** 似ている , **alone** 一人の

・The baby is asleep.　その赤ん坊は眠っている。

・眠っている赤ん坊
　○　a sleeping baby
　×　an asleep baby

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 眠っている赤ん坊を起こさないで。

Don't wake up the (① asleep　② sleeping) baby.

2. 彼女は現在生きている最高の歌手だ。

She is the greatest (① alive　② living) singer.

3. 彼女は電車で眠りに落ちた。

She fell (① asleep　② sleeping) on the train.

復習テスト　第27講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Is Fred still (　　　)?
   ① woke　② awake　③ woken　④ wake

2. She is (　　　) student.
   ① acting　② active　③ an acted　④ an active

3. Emma has a new smartphone, but mine is (　　　).
   ① old smartphone　② has old　③ old　④ an old

NOTE

Chapter 2　人を主語にできない形容詞

● necessary, convenient, possible

▶人を主語にできない形容詞：**necessary** 必要な , **convenient** 便利な , **possible** 可能な

・It is necessary for you to go there alone.
君が一人でそこへ行く必要がある。(× You are necessary …)

・Call me when it is convenient for you.
都合のいいときに電話してよ。(× when you are convenient)

・Is it impossible for us to get there in time?　(× We are impossible …)
私たちが間に合ってそこに到着することは不可能ですか？

☆ impossible が人を主語にできる場合
○　You are impossible to work with.
あなたと一緒に働くのは不可能だ。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼が一人でそこへ行くのは不可能だ。
(① He is impossible　② It is impossible for him) to go there alone.

2. あなたが都合のよいときに来てください。
Please come when (① you are convenient　② it is convenient for you).

3. 彼はその試験のために勉強する必要がある。
(① He is necessary　② It is necessary for him) to study for the exam.

復習テスト　第27講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. (　　　) to study Japanese history.　あなたは日本史を勉強する必要がある。
   ① It is necessary for you　② You are possible
   ③ It is possible for you　④ You are necessary

2. Visit my place when (　　　).　あなたが都合のよいときに私の家に来て。
   ① you are necessary　② you are convenient
   ③ it is convenient for you　④ it is necessary for you

3. (　　　) to live alone.　彼女が一人で暮らすのは不可能だ。
   ① It is inconvenient for her　② It is impossible for her
   ③ She is impossible　④ She is inconvenient

Chapter 3　形の似ている形容詞

● sense の派生形容詞

▶ sense の派生形容詞
- **sensitive**　「敏感な・繊細な」
- **sensible**　「分別のある」

▶ imagine の派生形容詞
- **imaginative**　「想像力豊かな」
- **imaginable**　「想像できる」
- **imaginary**　「想像上の」

▶ respect の派生形容詞
- **respective**　「それぞれの」
- **respectable**　「立派な」
- He is a **respectable** person.　彼は立派な人だ。
- **respectful**　「尊敬する」
- You should be **respectful** toward others.　他人を尊敬すべきだ。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. あなたはお年寄りを敬うべきだ。

   You should be (① respectful　② respectable) toward the old.

2. ユニコーンは想像上の生き物だ。

   Unicorns are (① imaginary　② imaginative) creatures.

3. 彼は分別のある人だ。

   He is a (① sensible　② sensitive) man.

復習テスト　第27講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Your decision was (　　　).　　君の決断は分別のあるものだった。
   ① sensible　② sensitive　③ a sense　④ senseless

2. The boy has an (　　　) friend in his head.
   その少年は頭の中に想像上の友人がいる。
   ① imaginative　② imaginable　③ imaginary　④ imagining

3. She is (　　　) of her grandfather.　彼女は祖父を敬っている。
   ① respective　② respectable　③ a respect　④ respectful

Chapter 4　数量を表す形容詞

● 可算名詞と不可算名詞の「多い・少ない」

	可算名詞（数）	不可算名詞（量）
多い	**many** books	**much** money
多い	a lot of books	a lot of money
かなり多い	quite a few books	quite a little money
少しある	a few books	a little money
ほとんどない	**few** books	**little** money
いくつか / いくらかの	some books	some money

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 私はそのとき，ほとんど手元にお金を持っていなかった。

   I had (① few　　② little) money with me at that time.

2. 彼には，友人がたくさんいる。

   He has (① many　　② much) friends.

3. 机の上には，本が数冊ある。

   There are (① a few　　② a little) books on the desk.

復習テスト　第27講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) students could answer the question.
その質問に答えられる生徒はほとんどいなかった。
① A little　② A few　③ Little　④ Few

2. We had (　　　) rain last year.　昨年は雨がたくさん降った。
① a little　② much　③ a few　④ many

3. There is (　　　) wine left in the bottle.　その瓶にはワインが少し残っている。
① a few　② a little　③ few　④ little

Chapter 5　副詞の基本

● 副詞の役割

① 動詞を修飾する

・He runs **fast**.　　彼は速く走る。

② 形容詞・副詞を修飾する

・The question is **very** easy.　　その問題はとても易しい。

③ 文を修飾する

・**Clearly**, he doesn't like her.　　明らかに，彼は彼女が好きではない。

☆ 副詞の役割 ＝ 名詞以外を修飾する

● 副詞の種類と位置

▶様子を表す副詞の位置 ⇒ 動詞（+ 目的語）のうしろ

・He speaks **clearly**.　　彼ははっきりと話す。

▶場所・時を表す副詞の位置 ⇒ 基本的に動詞（+ 目的語）のうしろ

・I met him **there yesterday**.　　私は昨日，そこで彼と会った。

▶頻度・程度を表す副詞の位置 ⇒ 一般動詞の前，be 動詞・助動詞のうしろ

・I **always** walk to the station.　　私はいつも駅まで歩く。

・I will **always** be here.　　私はいつもここにいますよ。

■確認問題

＊指定された副詞（句）を入れる位置として，もっとも適切なものを①・②のうちから選びなさい。

1. often

I ① go ② to school by bus. [　　　]

2. always

I ① will ② love you. [　　　]

3. very hard

He ① studied English ②. [　　　]

復習テスト　第27講　Chapter 5

＊次の副詞を入れる位置として，もっとも適切なものをそれぞれ①～④から一つ選びなさい。

1. tomorrow

   It ① will ② be ③ sunny ④ .

2. always

   You ① can ② send me ③ a message ④ .

3. carefully

   ① Please ② read ③ instructions ④ before use.

NOTE

Chapter 6　注意すべき副詞

● home / abroad

▶ **come home**：帰宅する
× I came to home at seven.
○ I came home at seven.

▶ **go abroad**：海外に行く
× I want to go to abroad someday.
○ I want to go abroad someday.

● hard・hardly / late・lately

▶ **hard**：熱心に / **hardly**：ほとんど～ない
・He studies mathematics very **hard**.　彼は数学をとても熱心に勉強している。
・I can **hardly** hear you.　君の言うことがほとんど聞こえない。

▶ **late**：遅れて / **lately**：最近
・He always comes **late**.　彼はいつも遅れてやって来る。
・I have been feeling good **lately**.　私は最近気分がよい。

■確認問題
＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 私は留学したい。
I want to study (① in abroad　　② abroad).

2. 最近彼女に会いましたか？
Have you met her (① late　　② lately)?

3. 私は彼の言うことがほとんど信じられない。
I can (① hard　　② hardly) believe what he says.

復習テスト　第27講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He will come (　　　) soon.　彼はもうじき帰宅するだろう。
　① to home　② at home　③ in home　④ home

2. My brother is going to (　　　) next year.　兄は来年，留学する予定だ。
　① study to abroad　② study abroad
　③ study in abroad　④ study on abroad

3. I could (　　　) sleep last night.　私は昨夜，ほとんど眠れなかった。
　① hardly　② late　③ hard　④ lately

Chapter 7　節の代わりになる so・not

● so で肯定の that 節を，not で否定の that 節を代用する

Do you think that he will win the game?	彼が試合に勝つと思いますか?
⬇	
· I hope **so** (= he will win the game).	勝ってほしいと思うよ。
· I'm afraid **not** (= he won't win the game).	勝てないと思うよ。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1.「彼は来ると思いますか」　「残念だけど来ないと思うよ」

“Do you think he's coming?”

“I'm afraid (① so　② not).”

2.「明日晴れると思いますか」　「晴れるといいですね」

“Do you think it will be fine tomorrow?”

“I hope (① so　② not).”

3.「それは本当ですか？」　「残念ながらそのようです」

“Is that true?”

“I'm afraid (① so　② not).”

復習テスト　第27講　Chapter 7

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. A: Do you think we will win?　私たちが勝つと思いますか。
   B: (　　　).　勝つといいですね。
   ① I hope so　② I hope not　③ I hope will　④ I don’t hope so

2. A: Did she get a cold?　彼女は風邪をひいたのですか。
   B: (　　　).　残念ながらそのようです。
   ① I hope so　② I hope not　③ I’m afraid so　④ I’m afraid not

3. A: Do you think it will rain next Sunday?
   今度の日曜日，雨が降ると思いますか。
   B: (　　　).　降らないといいですね。
   ① I hope so　② I hope not　③ I’m afraid so　④ I’m afraid not

第 28 講　　前置詞

Chapter 1　at
Chapter 2　on
Chapter 3　in
Chapter 4　to と for
Chapter 5　by
Chapter 6　前置詞の抽象化

Chapter 1　at

● at：点・ゼロ次元

▶時刻の at

・School begins **at** 8:30.　　学校は 8 時半に始まる。

▶場所の at

・He was **at** Tokyo station.　　彼は東京駅にいた。

▶対象の at

・He threw the ball **at** Tom.　　彼は，トムめがけてボールを投げた。

＊look **at**　～を見る

＊laugh **at**　～を笑う

▶感情対象の at

・I was surprised **at** the news.　　私はその知らせに驚いた。

＊be disappointed **at**　～に失望する

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I have been waiting (① at　② with) the bus stop for long.
2. I am going to meet her (① on　② at) 9 o’clock.
3. I was disappointed (① to　② at) her absence.　*absence 不在

復習テスト　第28講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I called him (　　　) 7:00 p.m. yesterday.
   ① for　② in　③ to　④ at

2. She waited (　　　) the train station.
   ① on　② at　③ to　④ for

3. I was surprised (　　　) what I saw.
   ① in　② for　③ at　④ to

Chapter 2　on

● on：接触・1～2次元

▶信頼の on

・Japan depends **on** foreign countries for oil.
　日本は石油を外国に頼っている。

＊rely **on** [count **on**]　～に頼る

▶根拠の on

・The theory is based **on** careful research.
　その理論は注意深い調査に基づいている。

＊**on** purpose　わざと，故意に

▶日付の on

・The accident occurred **on** April 1.
　その事故は4月1日に起きた。

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. The novel is based (① in　　② on) a true story.

2. Our success depends (① on　　② in) his ability.

3. The party was held (① at　　② on) January 21.

復習テスト　第28講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. This anime is based (　　　) a novel.
   ① at　② on　③ for　④ in

2. He relies (　　　) his friend Kenji.
   ① to　② in　③ on　④ from

3. She is going to leave Japan (　　　) May 15.
   ① on　② in　③ at　④ with

Chapter 3　in

● in：包囲・2～3次元

▶方角の in
・You are going **in** the right direction.
あなたは正しい方向に進んでいます。

▶状態の in
・He is **in** good health.　彼は健康だ。
＊get **in** touch with　～と連絡を取る
＊fall **in** love with　～と恋に落ちる

▶時の経過の in
・Breakfast will be ready **in** ten minutes.
朝食は 10 分後に準備できます。

▶着用の in
・She went out **in** her new yellow blouse.
彼女は新しい黄色のブラウスを着て外出した。

■確認問題
＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼は 5 分後に戻ってきます。
He'll be back (① into　② in) five minutes.

2. School usually begins (① in　② from) April in Japan.

3. I'll get (① for　② in) touch with you by telephone.

復習テスト　第28講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She'll get home (　　　) two hours.
   ① before　② on　③ of　④ in

2. The sun rises (　　　) the east.
   ① in　② on　③ at　④ of

3. Let's get (　　　) touch with each other.
   ① beyond　② in　③ at　④ for

Chapter 4　to と for

● to：到達

▶**to one’s 感情名詞**：～したことに

・**To** my surprise, our team won the game.
驚いたことに，私たちのチームはその試合に勝った。

● for：方向

▶**目的の for**

・The train left Nagoya **for** Tokyo.　電車は東京に向けて名古屋を出発した。
・The plane is bound **for** Tokyo.　その飛行機は東京行きだ。

▶**賛成の for**

・Are you **for** or against the plan?　その計画に賛成ですか，反対ですか？

▶**交換の for**

・I got a new car **for** nothing.　私は新車をただで手に入れた。
・You shouldn’t take things **for** granted.　物事を当然と思うべきではない。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (① To　② At) my surprise, the teacher got very angry.

2. She bought a new bag (① on　② for) ten thousand yen.

3. Are you (① at　② for) the plan?

復習テスト　第28講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) my surprise, she passed the test.
① To　② At　③ On　④ Of

2. Are your parents (　　　) your opinion?
① to　② for　③ at　④ of

3. I bought this hat (　　　) nine hundred yen.
① on　② to　③ for　④ in

Chapter 5　by

● by：近接

▶行為者の by

・He was attacked **by** a man in the park.
彼は公園で男に襲われた。

▶期限の by

・He will be back **by** Friday.
彼は金曜日までには戻るだろう。

▶come by：手に入れる

・It was difficult to come **by** this watch.
この時計を手に入れるのは難しかった。

▶stand by：支持する

・Thank you for standing **by** me about the matter.
そのことで私を支持してくれてありがとう。

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I have to finish the work (① by　　② until) the end of this month.

2. I will always stand (① in　　② by) you.

3. How did you (① turn　　② come) by the book?

復習テスト　第28講　Chapter 5

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. My sister stood (　　　) me about that matter.
　① in　② by　③ to　④ at

2. This rare card is hard to come (　　　).
　① with　② at　③ for　④ by

3. I must get home (　　　) 6:30 p.m. today.
　① until　② to　③ by　④ in

Chapter 6　前置詞の抽象化

● 前置詞句から新たな意味

beyond + 抽象名詞 = 否定

＊beyond description　言葉で言い表せないほど

＊beyond belief　信じられないほど

・The building is beautiful **beyond description**.
　その建物は，言葉に言い表せないほど美しい。

out of + 抽象名詞 = 否定

＊out of the question　不可能だ

＊out of order　故障している

・It's **out of the question** for her to solve the problem alone.
　彼女が一人でその問題を解くのは不可能だ。

under + 抽象名詞 = 最中

＊under construction　建設中

＊under discussion　議論中

・The building is **under construction**.　その建物は建設中だ。

over + 食事 = 従事（食べながら・飲みながら）

・Let's talk **over** a cup of tea.　お茶を飲みながら話しましょう。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. Let's talk (① over　② under) a cup of coffee.

2. The picture is beautiful (① out of　② beyond) description.

3. The road is now (① over　② under) construction.

復習テスト　第28講　Chapter 6

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Why don’t we talk about this (　　　) dinner?
   ① over　② under　③ out of　④ beyond

2. This book is boring (　　　) description.
   ① out of　② beyond　③ over　④ under

3. The sign says a new building is (　　　) construction.
   ① beyond　② out of　③ under　④ over

第 29 講　接続詞①

Chapter 1　等位接続詞
Chapter 2　相関接続詞
Chapter 3　従属接続詞① 時
Chapter 4　従属接続詞② 理由
Chapter 5　従属接続詞③ 条件・譲歩
Chapter 6　従属接続詞④ 目的・結果

Chapter 1　等位接続詞

接続詞の種類

等位接続詞 / 相関接続詞 / 従属接続詞
① 等位接続詞：and, but, or など
② 相関接続詞：both A and B, not only A but also B など
③ 従属接続詞：If ～ , … When ～ , … など

● 等位接続詞

文法上・意味上同じ性質のものをつなぐ。
・He said that it was bad **and** that I must not do it again.
彼は，それは悪いことで，二度とやってはいけないと言った。

● 命令文～ , and … / 命令文～ , or …

▶命令文～ , **and** …：～しなさい，そうすれば…
・Hurry up, **and** you'll catch the train.
急ぎなさい，そうすれば電車に乗れるだろう。

▶命令文～ , **or** … ：～しなさい，さもないと…
・Hurry up, **or** you'll miss the train.
急ぎなさい，さもないと電車に乗り遅れるだろう。

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. Get up right now, (① or　　② and) you'll be late for school.

2. Get up right now, (① or　　② and) you'll catch the first train.

3. I went abroad (① or　　② and) studied psychology very hard.

* psychology 心理学

復習テスト　第29講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Practice very hard, (　　　) you’ll win the next tennis match.
   ① but　② and　③ or　④ when

2. Leave now, (　　　) you’ll miss the last train.
   ① or　② if　③ but　④ and

3. He went to a bookstore (　　　) bought some books.
   ① but　② if　③ and　④ when

NOTE

Chapter 2　相関接続詞

● and と相関するもの

▶ **both A and B**：A と B 両方
・The movie is **both** interesting **and** useful.
その映画はおもしろいし，役に立つ。

● but (also) と相関するもの

▶ **not A but B**：A ではなくて B
・She is **not** from Japan, **but** from Korea.
彼女は日本出身ではなくて，韓国出身だ。

▶ **not only A but also B**：A だけではなく B も
・**Not only** you **but also** your father is right.
あなただけでなく，あなたのお父さんも正しい。

● or と相関するもの

▶ **either A or B**：A か B のどちらか
・**Either** you **or** your father is right.
あなたかあなたのお父さんのどちらかが正しい。

▶ **neither A nor B**：A でも B でもない
・I'm **neither** rich **nor** famous.
私は裕福でも有名でもない。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I speak neither Japanese (① and　　② nor) Korean.

2. He is famous both in Japan (① and　　② but) in Italy.

3. I like not only singing (① and　　② but) also dancing.

復習テスト　第29講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She likes neither snakes (　　　) spiders.
   ① and　　② or　　③ but　　④ nor

2. This book is popular both in Asia (　　　) in Europe.
   ① or　　② and　　③ nor　　④ but

3. Not only he (　　　) also she should join us.
   ① but　　② by　　③ and　　④ or

Chapter 3　従属接続詞① 時

従属接続詞の基本

▶SV 接続詞 S'V'.

・You may come in **when** I call you.
私が呼んだら入ってきていいよ。

▶接続詞 S'V', SV.

・**When** he was young, he was interested in movies.
彼は若いころ，映画に興味を持っていた。

● 時：while, before, after

▶while：～している間

・**While** I stayed in Japan, I visited many places.
私は日本にいる間，多くの場所を訪ねた。

▶before / **after**：～する前 / ～した後

・You have to brush your teeth **before** you go to bed.
寝る前には，歯を磨かなければいけない。

・He came back **after** the game was over.
試合が終わったあと，彼は戻ってきた。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (① After　② While) you have finished your homework, please call me.

2. He stayed outside (① after　② while) it was raining.

3. I'll finish the work (① before　② or) you come.

復習テスト　第29講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I'll call you (　　　) I have arrived home.
   ① while　② or　③ after　④ but

2. I took a bath (　　　) she was watching TV.
   ① before　② nor　③ after　④ while

3. Please answer my question (　　　) you leave.
   ① before　② but　③ or　④ nor

Chapter 4　従属接続詞② 理由

● 理由：because, since, as

▶ **because** 新情報 ：なぜなら～だから

・He went home early **because** he had a little fever.
彼は家に早く帰った。なぜなら少し熱があったからだ。

▶ **since** 旧情報 ：～なので

・**Since** it is raining, we can't go on a picnic.
雨が降っているので，私たちはピクニックに行けない。

▶ **as** 旧情報 ：～なので

・**As** it is Sunday, we have no school today.
日曜日なので，今日は学校がない。

● 理由：now that

▶ **now that**：今や～なので

・**Now that** I have a child, I have to work harder.
今や子どもがいるので，もっと頑張らないといけない。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. He was absent (① because　② though) he caught a cold.

2. We canceled the plan (① as　② while) it was raining.

3. (① Though　② Now that) he is a popular actor, everybody knows his name.

復習テスト　第29講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I slept all day yesterday (　　　) I was sick.
　① because　② though　③ if　④ or

2. Many people love cats (　　　) they are cute.
　① although　② if　③ whether　④ as

3. (　　　) she is 20 years old, she can drink wine.
　① Before　② Now that　③ Though　④ Nor

Chapter 5　従属接続詞③ 条件・譲歩

● 条件：if, unless

▶ **if**：もし～なら

・**If** this is the case, we have to help him right now.
もしこれが事実なら，私たちは今すぐ彼を助けねばならない。

▶ **unless**：～しない限り（もし～しなければ）

・You will never know **unless** you try it.
やってみない限り，決してわからない。

● 譲歩：though [although], while, whether A or B

▶ **though [although]**：～だけれども

・**Although** it is raining, we have to go there.
雨が降っているけれども，私たちはそこに行かなければならない。

▶ **while**：～だけれども

・**While** I like him, I don't trust him much.
私は彼が好きだけれども，あまり彼のことを信用していない。

▶ **whether A or B**：A だろうと B だろうと

・**Whether** you like it **or** not, I will do it.
あなたがそれを望んでも望まなくても，私はそれをやる。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I'll go out (① though　　② whether) you come or not.

2. (① Although　　② Because) I gave him some advice, he wouldn't listen to it.

3. (① So　　② While) I like the watch, I don't like its color.

復習テスト　第29講　Chapter 5

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) I like watching soccer, I’m not good at playing it.
   ① Since　② Because　③ So　④ While

2. (　　　) I went to bed early yesterday, I woke up late this morning.
   ① Because　② Although　③ Since　④ Unless

3. I’ll go to the party (　　　) she joins or not.
   ① though　② unless　③ whether　④ if

Chapter 6　従属接続詞④ 目的・結果

● 結果：so ～ that ... [such ～ that ...] とても～なので…

▶ **so** ～ **that** …　：so は副詞 ⇒ うしろに形容詞（+ a + 名詞）

・He is **so** nice a man **that** everyone likes him.
　彼はとてもいい人なので，誰もが彼のことを好きである。

▶ **such** ～ **that** …：such は形容詞 ⇒ うしろに名詞

・He is **such** a nice man **that** everyone likes him.
　彼はとてもいい人なので，誰もが彼のことを好きである。

● 目的：so that S + 助動詞 S が～するように

・Let’s take the train **so that** we **can** get there 20 minutes earlier.
　20 分早く着けるように，その電車に乗りましょう。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼は，試験に合格できるように一生懸命勉強した。
　He studied hard (① so that　　② such that) he can pass the exam.

2. それはとてもおもしろい本だったので，私は一日でそれを読んだ。
　It was (① such　　② so) an interesting book that I read it in a day.

3. 彼はとても早く起きたので，始発電車に間に合った。
　He got up (① such　　② so) early that he was in time for the first train.

復習テスト　第29講　Chapter 6

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She went to bed early (　　　) she can wake up at 5 a.m. tomorrow.
   彼女は，明日は午前5時に起きられるよう早めに寝た。
   ① unless　② so that　③ such that　④ although

2. He spoke English (　　　) fast that I couldn’t understand him.
   彼はとても速く英語を話したので，私は彼の言っていることがわからなかった。
   ① such　② even　③ so　④ very

3. It was (　　　) a heavy box that he couldn’t move it.
   それはとても重い箱だったので，彼はそれを動かすことができなかった。
   ① such　② so　③ very　④ much

第30講　　接続詞②

Chapter 1　名詞節を導く接続詞① that
Chapter 2　名詞節を導く接続詞② whether, if
Chapter 3　区別が必要な接続詞 as, since
Chapter 4　他品詞から転用された接続詞
Chapter 5　A するとすぐに B

Chapter 1　名詞節を導く接続詞① that

● 名詞節の that

▶**名詞節の that**：～ということ

① 主語　・**That** he is wrong is clear. ⇒ It is clear **that** he is wrong.
彼が間違っていることは，明らかだ。

② 目的語　・I know **that** you are honest.
私はあなたが正直者だとわかっている。

③ 補語　・The trouble is **that** she doesn’t understand you.
困ったことに，彼女はあなたを理解していない。

● 同格の that

▶**名詞 + that ～**：～という名詞

・The fact **that** you are my friend is important.
あなたが私の友人だという事実が重要だ。

・I’m glad to hear the news **that** he survived the accident.
彼がその事故を生き延びたという知らせを聞いてうれしい。

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. He knew (① that　　② what) she was from China.

2. Remember the fact (① that　　② what) this is their first game.

3. The trouble is (① that　　② what) you are too tired.

復習テスト　第30講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. Everyone knows (　　　) she is a good person.
   ① what　② which　③ that　④ who

2. I learned the fact (　　　) he was from the U.K.
   ① that　② what　③ where　④ which

3. The problem is (　　　) my computer is broken.
   ① who　② what　③ which　④ that

NOTE

Chapter 2　名詞節を導く接続詞② whether, if

● 名詞節を導く whether, if

▶ **whether [if]**：～かどうか

・The question is **whether** your friends will help you or not.
問題は，あなたの友人があなたを助けてくれるかどうかだ。

・He asked me **if** I liked Italian food.
彼は私に，イタリア料理が好きかどうかたずねた。

☆ if を名詞節で使えない ⇒ 主語で使う場合
・あなたが真実を言うかどうかが重要だ。
○　**Whether** you tell the truth or not is important.
×　**If** you tell the truth or not is important.

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (① If　　② Whether) you like it or not is important.

2. He asked me (① if　　② what) I wanted to change the plan.

3. I wonder (① which　　② if) he is honest.

復習テスト　第30講　Chapter 2

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) she has her own credit card or not is important.
   ① If　② Whether　③ What　④ Which

2. Do you know (　　　) he is available on that day?
   ① what　② which　③ that　④ if

3. Have you decided (　　　) you're going to the party or not?
   ① if　② whether　③ what　④ that

Chapter 3　区別が必要な接続詞 as, since

● as

▶**時**　：～すると

・**As** I got there, he left there.
私がそこに着くと，彼はそこを離れてしまった。

▶**比例**：～するにつれて　⇒ 比較級とセット

・**As** it grew darker, it became colder.
暗くなるにつれて，寒くなった。

● since

▶**時**　：～して以来　⇒ 完了形とセット

・She has worked **since** she left school.
彼女は，学校を出て以来ずっと働いている。

▶**理由**：～なので

・**Since** it is raining, we can't go on a picnic.
雨が降っているので，私たちはピクニックに行けない。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (① Because　　② Since) we were children, we have known each other.

2. (① If　　② As) we climbed higher, it got colder.

3. (① While　　② As) I had little money, I didn't buy anything.

復習テスト　　第30講　**Chapter 3**

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) I don't have the ticket, I have to buy one.
   ① While　② Whether　③ Since　④ That

2. (　　　) the exam day got closer, he became more nervous.
   ① As　② Nor　③ After　④ While

3. (　　　) she was rich, she bought a third house.
   ① Whether　② That　③ As　④ While

Chapter 4　他品詞から転用された接続詞

● 副詞［前置詞句］⇒ 接続詞

▶ **once SV,** …：一度 S が V すると

・**Once** you begin, you must continue.
一度始めたら，続けなければならない。

▶ **every [each] time SV,** …：S が V するたびに

・**Every time** I see her, I feel happy.
彼女を見るたびに，私は幸せな気持ちになる。

▶ **in case SV,** …：S が V する場合に備えて

・Take an umbrella with you **in case** it rains.
雨が降る場合に備えて，傘を持っていきなさい。

▶ **as soon as SV, …**：S が V するとすぐに

・**As soon as** you arrive in Sapporo, please let me know.
札幌に着いたらすぐに，私に知らせてください。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. (① As much as　② As soon as) he saw the policeman, he ran away.

2. Don’t forget to take your coat (① in that　② in case) it snows.

3. He was out (① every time　② which) I went to see him.

復習テスト　　第30講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) he falls asleep, he doesn’t wake up easily.

　① As much as　② Although　③ Once　④ As soon as

2. You should bring a sweater (　　　) it gets colder.

　① in case　② once　③ in that　④ whether

3. He feels very happy (　　　) he touches his cat.

　① which　② in case　③ what　④ every time

Chapter 5　A するとすぐに B

● A するとすぐに B

▶ **no sooner A than B**

・He had **no sooner** arrived at the station **than** it started raining.
彼が駅に着くとすぐに，雨が降り始めた。

▶ **hardly A when [before] B**

・He had **hardly** arrived at the station **when [before]** it started raining.

▶ **scarcely A when [before] B**

・He had **scarcely** arrived at the station **when [before]** it started raining.

☆ 否定の副詞が文頭 ⇒ うしろは倒置（疑問文の語順）

・**No sooner** had he arrived at the station **than** it started raining.

・**Hardly** had he arrived at the station **when** it started raining.

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. I had hardly come home (① when　　② than) the phone rang.

2. She had hardly heard the news (① before　　② than) she began to cry.

3. No sooner (① he had seen　　② had he seen) me than he ran away.

復習テスト　第30講　Chapter 5

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She had hardly left home (　　　) it began to snow.
   ① once　② when　③ than　④ if

2. The movie had scarcely started (　　　) I wanted to go to the bathroom.
   ① after　② unless　③ before　④ than

3. No sooner (　　　) *sashimi* than he had a stomachache.
   ① he eaten had　② had eaten he　③ he had eaten　④ had he eaten

第31講　話法

Chapter 1　話法の基本 / 話法の書き換え① 時制の一致
Chapter 2　話法の書き換え② 人称代名詞と指示語
Chapter 3　話法の書き換え③ 副詞
Chapter 4　話法の書き換え④ say ⇒ tell
Chapter 5　話法の書き換え⑤ say ⇒ ask
Chapter 6　話法の書き換え⑥ say ⇒ ask, suggest

Chapter 1　話法の基本 / 話法の書き換え① 時制の一致

話法とは？

say という動詞の発言部分を，“ ～ ”（クォーテーションマーク）を使って直接表すか，“ ～ ” を使わずに表現する，発言内容の表し方のこと。

直接話法と間接話法

① 直接話法：say の発言部分を，“ ～ ” で表す

・I said, “I am interested in movies.”
　私は，「私は映画に興味がある」と言った。

② 間接話法：say の発言部分を，that 節などをもちいて表す

・I said (that) I was interested in movies.
　私は，自分は映画に興味があるのだと言った。

● 直接話法から間接話法への書き換え：時制の一致

[直接話法]　I said, “I am interested in movies.”

⬇

[間接話法]　I said (that) I **was** interested in movies.

☆ 直接話法：発言した時点では現在のことなので，現在形
☆ 間接話法：時制の一致により，過去形にする

■確認問題

＊(　　)内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. ［直接話法］　I said, “I am busy.”
　［間接話法］　I said I (① am　　② was) busy.

2. ［直接話法］　I said, “I have been busy.”
　［間接話法］　I said I (① was　　② had been) busy.

3. ［直接話法］　I said, “I will study hard.”
　［間接話法］　I said I (① would study　　② studied) hard.

復習テスト　第31講　Chapter 1

＊次の英文を直接話法から間接話法に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I said, “I am a student.”
   ⇒ I said I (　　　) a student.
   ① am　② was　③ were　④ had been

2. I said, “I have been tired.”
   ⇒ I said I (　　　) tired.
   ① am　② was　③ have been　④ had been

3. I said, “I will become a teacher.”
   ⇒ I said I (　　　) a teacher.
   ① become　② will become　③ would become　④ became

NOTE

Chapter 2　話法の書き換え② 人称代名詞と指示語

● 人称代名詞の変化

[直接話法]　He said, "I don't want to do my homework."
⬇　彼は，「僕は自分の宿題をやりたくない」と言った。
[間接話法]　He said (that) **he** didn't want to do **his** homework.
*I を he に，don't を didn't に，my を his に変える。

● 指示語の変化

[直接話法]　He said, "I don't want this shirt."
⬇　彼は，「僕はこのシャツは欲しくない」と言った。
[間接話法]　He said (that) he didn't want **that** shirt.
*I を he に，don't を didn't に，this を that に変える。

[直接話法]　He said, "I don't want these letters."
⬇　彼は，「僕はこれらの手紙は欲しくない」と言った。
[間接話法]　He said (that) he didn't want **those** letters.
*I を he に，don't を didn't に，these を those に変える。

■確認問題
＊次の英文を，間接話法で書き換えなさい。

1. [直接話法]　She said, "I want to go back to my house."
[間接話法]　She said ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.

2. [直接話法]　He said, "I don't want this book."
[間接話法]　He said ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.

3. [直接話法]　She said, "I like this song very much."
[間接話法]　She said ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿.

復習テスト　第31講　Chapter 2

＊次の英文を直接話法から間接話法に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He said, “I’m walking my dog.”
   ⇒ He said he (　　　) dog.
   ① is walking my　　② is walking his
   ③ was walking my　　④ was walking his

2. She said, “I don’t know this boy.”
   ⇒ She said she (　　　) boy.
   ① doesn’t know this　　② doesn’t know that
   ③ didn’t know that　　④ didn’t know this

3. He said, “I like this movie very much.”
   ⇒ He said (　　　) movie very much.
   ① he liked this　　② he liked that
   ③ I liked this　　④ I liked that

Chapter 3　話法の書き換え③ 副詞

● 副詞の変化

［直接話法］ He said, “I will meet my friend today.”

⬇　彼は，「今日友人に会うつもりだ」と言った。

［間接話法］ He said (that) he would meet his friend **that day**.

*I を he に，will を would に，my を his に，today を that day に変える。

直接話法		間接話法	
here	ここで，ここに	there	そこで，そこに
now	今	then	そのとき
today	今日	that day	その日
tomorrow	明日	the next day	その翌日
yesterday	昨日	the day before	その前日
last night	昨夜	the night before	その前夜
～ ago	～前	～ before	～前

■確認問題

＊次の英文を，間接話法で書き換えなさい。

1. ［直接話法］ She said, “I want to read this book now.”
   ［間接話法］ She said ______________________________.

2. ［直接話法］ He said, “I arrived here yesterday.”
   ［間接話法］ He said ______________________________.

3. ［直接話法］ He said, “I will meet my parents tomorrow.”
   ［間接話法］ He said ______________________________.

復習テスト　第31講　Chapter 3

＊次の英文を直接話法から間接話法に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He said, “I want to watch a movie today.”
   ⇒ He said he wanted to watch a (　　　).
   ① movie yesterday　② movie tomorrow
   ③ movie today　④ movie that day

2. She said, “I met the boy a few minutes ago.”
   ⇒ She said she had met the boy (　　　).
   ① after a few minutes　② in a few minutes
   ③ a few minutes ago　④ a few minutes before

3. He said, “I will see her here tomorrow.”
   ⇒ He said he would see her (　　　).
   ① there tomorrow　② there the next day
   ③ here tomorrow　④ here the next day

Chapter 4　話法の書き換え④ say ⇒ tell

● say to 人 , “ ～ ” ⇒ tell 人 that ～

［直接話法］　He said to me, “I want to go with you.”
⬇　彼は私に，「僕は君と一緒に行きたい」と言った。
［間接話法］　He **told** me (that) he wanted to go with me.
*said to me を told me に，I を he に，want を wanted に，you を me に変える。

● say to 人 , “命令文 ” ⇒ tell 人 to *do*

［直接話法］　He said to me, “Do your homework.”
⬇　彼は私に，「宿題をやりなさい」と言った。
［間接話法］　He **told** me **to** do my homework.
*said to me, “命令文 ” を told me to *do* に，your を my に変える。

● say to 人 , “否定の命令文 ” ⇒ tell 人 not to *do*

［直接話法］　He said to me, “Don’t do such a thing again.”
⬇　彼は私に，「そんなことはもうするな」と言った。
［間接話法］　He **told** me **not to** do such a thing again.
*said to me, “Don’t ～ ” を told me not to *do* に変える。

■確認問題
＊次の英文を，間接話法で書き換えなさい。

1.［直接話法］　She said to me, “I saw your father yesterday.”
［間接話法］　She ____.

2.［直接話法］　He said to me, “Don’t spend too much money.”
［間接話法］　He ____.

3.［直接話法］　She said to me, “Leave here at once.”
［間接話法］　She ____.

復習テスト　第31講　Chapter 4

＊次の英文を直接話法から間接話法に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He said to me, “I went to bed early last night.”
   ⇒ He (　　　) me he had gone to bed early the night before.
   ① spoke　② told　③ talked　④ said

2. She said to me, “Don’t leave now.”
   ⇒ She (　　　) leave then.
   ① talked not to me　② talked to me not
   ③ told me not to　④ told me to not

3. He said to me, “Try this cake.”
   ⇒ He (　　　) try that cake.
   ① talked to me　② said to me
   ③ spoke me to　④ told me to

Chapter 5　話法の書き換え⑤ say ⇒ ask

● say to 人 , "疑問詞疑問文" ⇒ ask 人 間接疑問文 ～

[直接話法]　He said to me, "Why are you so angry?"
⬇　彼は私に,「なぜ君はそんなに怒っているの？」と言った。
[間接話法]　He **asked** me **why** I was so angry.
*said to me "Why ～ ? " を asked me why ～に，are you ～ ? を I was ～に変える。

● say to 人 , "Yes/No 疑問文" ⇒ ask 人 if [whether] ～

[直接話法]　He said to me, "Do you know her name?"
⬇　彼は私に,「君は彼女の名前を知っている？」と言った。
[間接話法]　He **asked** me **if** I knew her name.
*said to me, "Do you ～ ? " を asked me if ～に，Do you know ～ ? を I knew ～に変える。

■確認問題
＊次の英文を，間接話法で書き換えなさい。

1. [直接話法]　She said to me, "What are you doing?"
[間接話法]　She ______________________________.

2. [直接話法]　He said to me, "Do you want to read this book?"
[間接話法]　He ______________________________.

3. [直接話法]　I said to her, "Will you marry me?"
[間接話法]　I ______________________________.

復習テスト　第31講　Chapter 5

＊次の英文を直接話法から間接話法に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. He said to her, “Where are you going?”
⇒ He (　　　) going.
① told her where was she　② asked her where was she
③ asked her where she was　④ told her where she was

2. She said to me, “Do you like cats?”
⇒ She (　　　) cats.
① asked me whether I like　② asked me whether I liked
③ told me whether I liked　④ told me whether I like

3. I said to him, “Will you go there alone?”
⇒ I (　　　) there alone.
① told him if he would go　② asked him if you would go
③ asked him if he would go　④ told him if you would go

Chapter 6　話法の書き換え⑥ say ⇒ ask, suggest

● say to 人 , “Please ～ / Would you ～ ?” ⇒ ask 人 to *do*

[直接話法]　He said to me, “Please help me.”
⬇　彼は私に，「私を助けてください」と言った。
[間接話法]　He **asked** me **to** help him.
*said to me, “Please ～ ” を asked me to *do* に，help me を help him に変える。

● say to 人 , “Let’s ～ ” ⇒ suggest to 人 that we ～

[直接話法]　She said to me, “Let’s go to a movie.”
⬇　彼女は私に，「映画に行きましょう」と言った。
[間接話法]　She **suggested to** me **that we** (should) go to a movie.
*said to me, “Let’s ～ ” を suggested to me that we ～に変える。

■確認問題
＊次の英文を，間接話法で書き換えなさい。

1. [直接話法]　I said to him, “Let’s go to lunch.”
[間接話法]　I ______________________________.

2. [直接話法]　She said to me, “Please pass me the salt.”
[間接話法]　She ______________________________.

3. [直接話法]　He said to me, “Please have a seat.”
[間接話法]　He ______________________________.

復習テスト　第31講　Chapter 6

＊次の英文を直接話法から間接話法に書き換えるとき，空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He said to me, “Let’s eat something.”
   ⇒ He (　　　) that we eat something.
   ① suggested to me　　② talked to me
   ③ asked me　　④ told me

2. She said to him, “Please tell me the truth.”
   ⇒ She (　　　) the truth.
   ① suggested to him he tell her　　② suggested to him he tell me
   ③ asked him to tell me　　④ asked him to tell her

3. I said to her, “Would you call me at 10 a.m.?”
   ⇒ I (　　　) at 10 a.m.
   ① asked her to call her　　② suggested to her she call me
   ③ asked her to call me　　④ suggested to her she call her

第32講　否定

Chapter 1　準否定語
Chapter 2　部分否定
Chapter 3　not を使わない否定表現
Chapter 4　否定表現

Chapter 1　準否定語

準否定語とは？

not（～ない），no（一つも～ない），never（一度も～ない）のような強い否定語に対して，little（ほとんど～ない）のようにやや弱い否定語のこと。

準否定語

▶**頻度　rarely [seldom]**　：めったに～ない

・He **rarely** listens to others' opinions.
　彼はめったに人の意見を聞かない。

▶**程度　hardly [scarcely]**　：ほとんど～ない

・I could **hardly** understand what he said.
　私は，彼が言ったことをほとんど理解できなかった。

▶**数量　few [little]**　：（数量が）ほとんど～ない

・There are **few** people in this park.　この公園にはほとんど人がいない。
・I have **little** money with me now.　私は今ほとんどお金を持っていない。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 私は，彼の言ったことがほとんど聞こえなかった。

I could (① hardly　　② seldom) hear what he said.

2. 私はめったに夕食を外に食べに行かない。

I (① rarely　　② scarcely) go out for dinner.

3. 私は学生時代ほとんど友人がいなかった。

I had (① few　　② little) friends in school days.

復習テスト　第32講　Chapter 1

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I could (　　　) understand her.
   私は彼女の言うことがほとんどわからなかった。
   ① seldom　② rarely　③ hardly　④ few

2. I (　　　) stay up all night.　私はめったに徹夜しない。
   ① hardly　② little　③ scarcely　④ rarely

3. I had (　　　) money last month.　私は先月，ほとんどお金がなかった。
   ① little　② hardly　③ few　④ seldom

NOTE

Chapter 2　部分否定

● 部分否定：not + 100% word

▶ **not always**：いつも～なわけではない

・His opinion is **not always** right.
彼の意見がいつも正しいとは限らない。

▶ **not necessarily**：必ずしも～なわけではない

・Expensive clothes is **not necessarily** good.
高価な服が必ずしもいいとは限らない。

▶ **not all / not every**：すべての名詞が～なわけではない

・**Not all** children like sports.
すべての子どもがスポーツを好きなわけではない。

・**Not every** member is for the plan.
すべてのメンバーがその計画に賛成なわけではない。

▶ **not both**：両方とも～なわけではない

■確認問題

＊ (　　) 内の語を必要に応じて適切な形に変えなさい。

1. 彼女の意見はいつも間違っているわけではない。
Her opinion (① is always not　　② isn't always) wrong.

2. 彼女はすべての問題が解けたわけではなかった。
She couldn't solve (① all　　② every) the questions.

3. お金は必ずしも人を幸せにするわけではない。
Money (① necessarily doesn't　　② doesn't necessarily) make people happy.

復習テスト　第32講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. She is (　　　) busy.　　　彼女はいつも忙しいわけではない。
   ① not both　② not always　③ not every　④ not all

2. I couldn’t see (　　　) the animals in the zoo.
   私は，その動物園内の全ての動物を見られたわけではなかった。
   ① any　② every　③ each　④ all

3. Your parents or teachers are (　　　) right.
   君の両親や教師が必ずしも正しいとは限らない。
   ① not both　② necessarily not
   ③ not necessarily　④ not every

Chapter 3　not を使わない否定表現

● not を使わない否定表現

▶**the last person to *do***：最も～しそうにない人
・He is **the last person to** tell a lie.
彼は嘘をつく最後の人だ。→ 彼は嘘をつくような人ではない。

▶**far from**：決して～ではない
・The problem is **far from** easy.
この問題は簡単からはほど遠い。→ この問題は決して簡単ではない。

▶**free from**：～がない
・His paper is **free from** mistakes.
彼の論文には間違いがない。

▶**by no means**：（どんな手段でも～ない）⇒ 決して～ではない
・He is **by no means** a gentleman.
彼は決して紳士とは言えない。

■確認問題

＊(　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 彼女は決して親切ではない。
   She is (① free from　　② by no means) kind.

2. 彼はそんなことを言う人ではない。
   He is the (① last　　② most) person to say such a thing.

3. その映画は決して満足いくようなものではなかった。
   The movie was (① far from　　② no means) satisfactory.

復習テスト　第32講　Chapter 3

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. The boy is (　　　) smart.　　その少年は決して賢くはない。
   ① not always　② free from　③ not every　④ by no means

2. The book was (　　　) useful.
   その本は決して役立つものではなかった。
   ① no means　② far from　③ any means　④ free from

3. He is the (　　　) person to hurt people’s feelings.
   彼は人の気持ちを傷つけるような人ではない。
   ① most　② first　③ last　④ every

Chapter 4　否定表現

● 二重否定

▶ **never A without B**：(B なしで決して A しない) ⇒ A すると必ず B する
・I **never** listen to the song **without** crying.
泣かずには決してその曲を聴かない。→ 私はその曲を聴くと必ず泣いてしまう。

● 前置詞 but（＝～以外）を使った表現

▶ **anything but**：(～以外なんでもよい) ⇒ 決して～ではない
・He is **anything but** kind.　　彼は決して親切ではない。

▶ **nothing but**：(～以外の何もない) ⇒ ～しかない
・I ate **nothing but** rice.　　私は米しか食べなかった。

▶ **have no choice but to *do***：(～以外選択肢がない) ⇒ ～せざるをえない
・He **had no choice but to** go there.　彼はそこに行かざるをえなかった。

■確認問題

＊ (　　) 内の選択肢から適当な表現を選び，英文を完成させなさい。

1. 私は彼を見ると，必ず自分の学生時代を思い出す。
I never see him (① without　　② when) remembering my school days.

2. 私は彼に謝罪せざるをえなかった。
I had no choice (① and　　② but) to apologize to him.

3. 私は彼女から愛情しか求めなかった。
I wanted (① anything　　② nothing) but love from her.

復習テスト　第32講　Chapter 4

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. I had no choice (　　　) to call her.
   私は彼女に電話せざるをえなかった。
   ① but　② nor　③ and　④ or

2. That day, I read (　　　) but comic books.
   その日，私は漫画しか読まなかった。
   ① everything　② anything　③ something　④ nothing

3. He never goes shopping (　　　) spending a lot of money.
   彼は買い物に出かけると必ず大金を使う。
   ① hardly　② when　③ without　④ always

第33講　　強調・倒置・省略

Chapter 1　強調構文
Chapter 2　強調表現
Chapter 3　文型倒置
Chapter 4　強制倒置
Chapter 5　省略

Chapter 1　強調構文

● It is A that ～　～なのは A だ

・**It was** Tom **that** broke the window.
その窓を割ったのはトムだ。

☆ A が時の副詞（yesterday など）や副詞節（because ～など）⇒ 強調構文確定
・**It was** because he was sick **that** he was absent from school.
彼が学校を休んでいたのは，病気だったからだ。

☆ A が形容詞 ⇒ 形式主語構文確定
・**It is** clear **that** he is sick.
彼が病気なのは明らかだ。

● It is not until A that B

▶ **It is not until A that B**：（A まで B しない）⇒ A して初めて B する
・**It was not until** yesterday **that** I knew the news.
昨日まで，私はその知らせを知らなかった。
→ 昨日になって初めて，私はその知らせを知った。

■確認問題

＊次の英文を日本語に訳しなさい。

1. It was only yesterday that I first met him.

____。

2. It is because she is honest that we like her.

____。

3. It was not until yesterday that she came back.

____。

復習テスト　第33講　Chapter 1

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①〜④から一つ選びなさい。

1. It was only last week (　　　) I learned her first name.
   ① whose　② what　③ that　④ because

2. It is (　　　) he is kind that I like him.
   ① because　② that　③ which　④ what

3. It was not (　　　) 2021 that I wore glasses.
   ① because　② until　③ that　④ when

NOTE

Chapter 2 強調表現

● 動詞の強調

▶ **強調の助動詞 do**：実際に，本当に

・I **did** go there alone.　　僕は本当に一人でそこへ行ったんだ。

● 疑問詞の強調

▶ **in the world / on earth**：一体全体

・What **in the world** are you doing?　一体全体，君は何をしているんだ？

・Who **on earth** said such a thing?　一体全体，誰がそんなことを言った？

● not の強調

▶ **not ～ at all**：まったく～ない

・I do**n't** like this song **at all**.　私はまったくこの歌が好きではない。

▶ **not ～ in the least**：少しも～ない

・I'm **not** interested in movies **in the least**.　私は少しも映画に興味がない。

■確認問題

＊＿＿に適する語を入れて，英文を完成させなさい。

1. この映画は少しもおもしろくない。

   This movie is not interesting in the ＿＿＿＿＿＿＿＿.

2. 一体全体，あなたは彼女に何を言ったんだ？

   What in the ＿＿＿＿＿＿＿＿ did you say to her?

3. 一体全体，どこでその事故は起きたんだ？

   Where on ＿＿＿＿＿＿＿＿ did the accident happen?

復習テスト　第33講　Chapter 2

＊日本文の意味に合うように，次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)をそれぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. He is not lazy in (　　　).　　彼は少しも怠惰ではない。
   ① at all　② the most　③ earth　④ the least

2. What in (　　　) are they doing?　　一体全体，彼らは何をしているんだ？
   ① earth　② the world　③ the least　④ at all

3. Believe me, Mom. I (　　　) finish my homework.
   信じて，お母さん。僕は本当に宿題を終えたんだ。
   ① do　② at all　③ did　④ the least

Chapter 3　文型倒置

倒置の種類

① 文型倒置

・At the place began my school days.　その場所で私の学校生活は始まった。
　　M　　V　　S

② 強制倒置：否定の副詞(句) + 疑問文の語順

・**Little** did I dream that I would meet you again.
再びあなたに会うとは，夢にも思わなかった。

● 文型倒置

(1) 第Ⅰ文型の倒置：SVM ⇒ MVS

・At the place began my school days.　その場所で私の学校生活は始まった。
　　M　　V　　S

① 前置詞句の範囲を決定。前置詞句に SV は入らないことを根拠にする。
② 倒置の可能性を予測して，SV を決定。

(2) 第Ⅱ文型の倒置：SVC ⇒ CVS

・Important was the test last night.　昨夜のテストは重要だった。
　　C　　V　　S

① 文頭の形容詞を確認。
② 名詞にかかるものではないことを確認して，SV を決定。

■確認問題

＊次の英文を日本語に訳しなさい。

1. On the table was a letter from him.

____。

2. Wonderful was the book I read yesterday.

____。

3. At the bus stop was an old man.

____。

復習テスト　第33講　Chapter 3

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. In that box (　　　) a white cat.
   ① that　② is　③ does　④ only

2. (　　　) was the film we saw.
   ① Interesting　② Interest　③ Interestingly　④ Interested

3. On the corner (　　　) a convenience store.
   ① where　② that　③ what　④ was

NOTE

Chapter 4　強制倒置

● 強制倒置

▶否定の副詞（never, little, only など）が文頭 ⇒ 疑問文の語順

① **never**：決して〜ない

・**Never** have I seen such a beautiful castle.
そのような美しい城は一度も見たことがない。

② **little**：少しも〜ない

・**Little** did I dream that I would meet you again.
再びあなたに会うとは，夢にも思わなかった。

③ **only**：〜してようやく

・**Only** yesterday did I feel cool.
昨日になってようやく涼しさを感じた。

■確認問題

＊次の英文を日本語に訳しなさい。

1. Only recently did I know the fact.

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

2. Little did I dream that he would become a doctor.

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

3. Never have I seen such a beautiful scene.

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿。

復習テスト　第33講　Chapter 4

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. (　　　) last Saturday did he tell us the truth.
   ① Never　② Only　③ Little　④ Ever

2. Little (　　　) I imagine that she would be my best friend.
   ① only　② was　③ what　④ did

3. Never (　　　) read such an interesting book.
   ① I have　② I was　③ have I　④ was I

Chapter 5　省略

● 接続詞のうしろの S + be 動詞省略

・When young, he was interested in Japanese movies.
　若いころ，彼は日本映画に興味があった。

＊接続詞の後ろには本来 SV が必要

☆ SV 省略の条件 × 2
(1) 主節と同じ S　（＊主節…接続詞を含まない節。接続詞を含む節は従属節。）
(2) be 動詞の省略

⇒ When **he was** young, he was interested in Japanese movies.

■確認問題

＊次の英文を日本語に訳しなさい。

1. Cold chicken is delicious when eaten with salad.　*cold chicken 冷製チキン

____。

2. When young, she was known for her beauty.

____。

3. When in school, you have to follow its rules.

____。

復習テスト　第33講　Chapter 5

＊次の英文の空所に入れるのにもっとも適切な語(句)を，それぞれ下の①～④から一つ選びなさい。

1. This food tastes better when (　　　).
　① heating　② heats　③ heated　④ to heat

2. When (　　　), he lived alone in Osaka.
　① young　② youth　③ the young　④ youths

3. (　　　) this room, you must not use your smartphone.
　① When is in　② When are　③ When you are　④ When in

ベーシックレベル英語　後編　解答

本講座では，解答編もただ答えを載せるものではなく，徹底して受講生の復習を意識した構成にしました。

この講座は，これから広がる大きな英語の世界の基礎を固める大切な始まりです。何より重視してほしいのが，英語学習の習慣。授業を聞いて終わりにしない，復習の大切さ・英語学習の繰り返すことの大切さ，これを念頭に英語学習の良いスタートを切ってください。講義では，全訳はしませんから，この解答の掲載している全訳を参考にしてください。

授業⇒復習⇒復習テストのサイクルで，理解⇒定着⇒実践のサイクルで，英語力を徹底して高めていきましょう。

ベーシックレベル英語　第15講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② This room is as (**large**) as my room.
   この部屋は私の部屋と同じくらい広い。
2. ① Light travels (**faster**) than sound.
   光は音よりも速く移動する。
3. ② The Nile is the (**longest**) river in the world.
   ナイル川は世界で最も長い川である。

Chapter 2　確認問題

1. 比較級 **happier**　最上級 **happiest**
2. 比較級 **better**　最上級 **best**
3. 比較級 **more**　最上級 **most**

Chapter 3　確認問題

1. ② He is (**less young**) than she.
2. ② I cannot speak English (**so well**) as Ann.
3. ② She is not so much an actress (**as**) a singer.

Chapter 4　確認問題

1. ① I want to see you (**as soon as possible**).
2. ② The population of this country is (**twice as large**) as that of Japan.
3. ② He has four times (**as many books as**) I have.

Chapter 5　確認問題

1. ① I can (**no more**) swim than a hammer can.
2. ① Making good friends is no (**less**) important than making money.

Chapter 6　確認問題

1. ① I had (**no more**) than 100 yen.
2. ② It was (**no less**) than five miles to the hospital.
3. ② He has (**no less**) than ten children.

ベーシックレベル英語　第16講　解答

Chapter 1 確認問題

1. ① He is (**senior**) to you.
2. ② She is (**superior**) to me in speaking English.
   彼女は英語を話す上では私よりも優れている。
3. ② I prefer going to the gym (**to**) watching TV at home.

Chapter 2 確認問題

1. ② Tom is (**the more popular**) of the two.
   トムは二人のうち人気のある方だ。
2. ① Which is (**the easier**) of the two questions?
   その二つの問題のうち，簡単な方はどちらですか？
3. ② That computer is the newer (**of**) the two.
   そのコンピュータは二つのうち新しい方だ。
4. ② Katy is the (**oldest**) of the three sisters.
   ケイティはその三人の姉妹の中では最も年上だ。

Chapter 3 確認問題

1. ② The older she grew, (**the wiser**) she became.
2. ① I like her (**all the better**) for her shyness.
3. ② I like her (**none the less**) for her shyness.

Chapter 4　確認問題

1. No other student in my class is **taller** **than** Alex.
   私のクラスでアレックスよりも背の高い生徒はいない。
2. No other sport in Japan is **so [as]** **popular** as baseball.
   日本で野球ほど人気のあるスポーツはない。
3. **Nothing** is more important than honesty.
   正直さよりも重要なものはない。

Chapter 5　確認問題

1. Our school is **the** **oldest** building in this area.
   私たちの学校は，この地域で最も古い建物だ。
2. ② The Shinano is longer than (**any other**) river in Japan.
   信濃川は，日本の他のどの川よりも長い。
3. ① She is more beautiful than any other (**girl**) in my school.
   彼女は私の学校の他のどの女の子よりも美しい。

ベーシックレベル英語　第17講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② The building is (**much**) older than we think.
   その建物は，私たちが思っているよりもずっと古い。
2. ① This is the (**very**) best book I've ever read.
   これは私がこれまでに読んだ中で飛び抜けて最もすばらしい本だ。
3. ② This comic is (**by far**) the most interesting of all.
   この漫画はすべての漫画の中で飛び抜けて最もおもしろい。

Chapter 2　確認問題

1. He can't read French, **much [still]** **less** write it.
2. He **knows** **better** than to betray his friends.
3. It's getting **darker** **and** **darker**.

Chapter 3　確認問題

1. ② She has not (**less**) than five children.
2. ① It is not (**more**) than two miles to the station.
3. ② My mother told me to study at (**least**) two hours a day.

Chapter 4　確認問題

1. Osaka is the **second** **largest** city in Japan.
2. He is one of the **most** **famous** **pianists** in Japan.
3. She is **at** **most** eighteen years old.

Chapter 5　確認問題

1. ① He is (**more kind**) than honest.
彼は正直というよりも親切なのだ。

2. ② She looks (**happiest**) when she is cooking.
彼女は，料理をしているときに最も幸せそうに見える。

3. ① This lake is (**the deepest**) in Japan.
この湖は日本で最も深い。

Chapter 6　確認問題

1. ① His son is younger than mine (**by**) three years.
2. ② The car looked (**as good as**) new.
3. ② He was as busy as (**a bee**) on the day.

ベーシックレベル英語　第18講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② I have a friend (**who**) plays tennis very well.
   私にはテニスがうまい友人が一人いる。
2. ② She has a son (**who**) lives in New York.
   彼女にはニューヨークに住んでいる息子が一人いる。
3. ① Is that the bus (**which**) goes to Tokyo station?
   あれは東京駅に行くバスですか？

Chapter 2　確認問題

1. ① Do you know the girl (**who**) is playing the guitar?
   ギターを弾いている少女を知っていますか？
2. ① This is the book (**which**) I have wanted.
   これは私が欲しかった本です。
3. ① Heaven helps those (**who**) help themselves.
   天は，みずからを助けるものを助ける。

Chapter 3　確認問題

1. ② I have a friend (**whose**) father is an actor.
   私には，父親が俳優の友人がいる。
2. ① I have a friend (**who**) is an actor.
   私には，俳優の友人がいる。
3. ② I bought a book (**whose**) cover is red.
   私は，表紙が赤い本を買った。

Chapter 4　確認問題

1. ① Who (**that**) knows him can trust him?
彼を知っている誰が彼を信じられようか？
2. ① This is the very book (**that**) I've wanted.
これは私が欲しかったまさにその本です。
3. ① This is the most interesting book (**that**) I've ever read.
これは私がこれまで読んだ中で最もおもしろい本です。

Chapter 5　確認問題

1. ① This is the park (**where**) the event was held last week.
これは先週そのイベントが開かれた公園だ。
2. ② Tell me the reason (**why**) you did such a thing.
君がそんなことをした理由を私に教えて。
3. ① Sunday is the day (**when**) I play soccer with my friends.
日曜日は，私が友人とサッカーをする日だ。
4. ② Computers have changed (**how**) we live.
コンピュータは私たちの暮らし方を変えた。

Chapter 6　確認問題

1. ② This is the hotel (**where**) I stayed last week.
これは私が先週滞在したホテルです。
2. ① Japan is the country (**which**) I've wanted to visit.
日本は私が訪れたいと思っていた国です。

ベーシックレベル英語　第19講　解答

Chapter 1 確認問題

1. ② I can't find the bag (**in which**) I put my wallet.
2. ② I'll never forget the day (**on which**) I first met you.
3. ② I know the boy (**with whom**) you were talking.

Chapter 2 確認問題

1. ② (**What**) is necessary is your help.
2. ② I can't understand (**what**) my teacher is talking about.
3. ② (**What**) surprised me was the result of the game.

Chapter 3 確認問題

1. ② Paris today is different from (**what it was**) 50 years ago.
2. ① Mike is (**what is called**) a musical genius.
3. ② It was very cold, and (**what was worse**) , it began to rain.

Chapter 4 確認問題

1. He said he didn't tell a lie, **which** was not true.
2. I met Mr. Green, **who** was from Hokkaido.
3. I visited Tokyo, **where** I stayed for a week.

Chapter 5　確認問題

1. You should choose such friends **as** will help you.
2. I want to buy the same book **as** he has.
3. **As** is often the case with him, he was late for the meeting.

Chapter 6　確認問題

1. ② He gave me (**what little**) money he had.
2. ② There is no one (**but**) has some faults.
3. ① She had more apples (**than**) she could eat alone.

ベーシックレベル英語　第 20 講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② This is the book (**I’ve**) been looking for.
2. ② The book (**I**) bought yesterday is very interesting.
3. ② This is the man (**I**) was talking about.

Chapter 2　確認問題

1. ② Give this ticket to (**whoever**) wants it.
   このチケットを，欲しがっているどんな人にでもあげて。
2. ② I have two rackets. Take (**whichever**) you like.
   私はラケットを 2 本持っている。どちらでも好きな方を取って。
3. ② Please let me know (**whenever**) you visit Tokyo.
   東京を訪れるときはいつでも私に知らせてください。
4. ① I’ll take you (**wherever**) you want to go.
   君の行きたいとこならどこへでも連れて行くよ。

Chapter 3　確認問題

1. ① (**Whatever**) happens, we must go home by 9 o’clock.
   たとえ何が起こっても，私たちは 9 時までに家に帰らねばならない。
2. ② (**Whoever**) may say so, I don’t believe the story.
   たとえ誰がそう言っても，私はその話を信じません。
3. ② No matter (**how**) hard it may be, you have to do your best.
   たとえどんなに大変でも，君は全力を尽くさなければならない。

Chapter 4　確認問題

1. ② The day will come (**when**) we can solve the problem.
   私たちがその問題を解決できる日がやってくるだろう。
2. ① The boy (**who**) I thought was her friend was her brother.
   彼女の友人だと思っていた少年は，彼女の兄[弟]だった。
3. ② You should do (**what**) you think is right.
   君は，自分が正しいと思うことをすべきだ。

ベーシックレベル英語　第21講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② **明日雨が降ったら，私は家にいるつもりだ。**
2. ① **もし私が鳥だったら，あなたのもとに飛んで行けるのに。**

Chapter 2　確認問題

1. ① If you (**were**) here, I would be happy.
もし君がここにいたら，私は幸せだろうに。
2. ② If I (**had known**) her address, I could have visited her.
もし彼女の住所を知っていたら，彼女を訪ねることができたのに。
3. ② If I had a little more time, I (**could talk**) with him.
もしあと少し時間があれば，私は彼と話をすることができるのに。

Chapter 3　確認問題

1. ② If I (**were not**) busy, I could go with you.
もし忙しくなかったら，あなたと一緒に行けるのに。
2. ② If I (**had taken**) his advice then, I would be happier now.
もしあのとき彼の助言を聞き入れていたら，今ごろもっと幸せだろうに。
3. ② If I had stopped smoking at that time, I (**would be**) healthier now.
あのときタバコをやめていたら，今ごろもっと健康的だろうに。
4. ① If you had not told her a lie, she (**wouldn’t be**) angry now.
彼女にうそをつかなかったら，今ごろ彼女は怒っていないだろうに。

Chapter 4　確認問題

1. ② I wish I (**had**) a million yen.
   100万円持っていたらなぁ。
2. ① I hope you (**will give**) us some help.
   君が私たちを助けてくれたらいいな。
3. ② He wishes he (**had been**) rich at that time.
   彼は，あの当時お金持ちだったならなぁと思っている。

Chapter 5　確認問題

1. ① It’s high time you (**did**) your homework.
2. ② It is time we (**decided**) what to do next.
3. ② It’s about time he (**left**) home.

Chapter 6　確認問題

1. ② She talks (**as if**) she were an adult.
2. ② He talks as if he (**had heard**) about it.
3. ② He talked about Paris as though he (**had been**) there.

ベーシックレベル英語　第 22 講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ① If it (**were not**) for water, we could not live.
   水がなければ，私たちは生きられない。
2. ② If it (**had not been**) for your help, I could not have succeeded.
   君の助けがなかったら，私は成功できなかっただろう。
3. ② He wouldn’t have succeeded (**but for**) her help.
   彼女の助けがなかったら，彼は成功しなかっただろう。

Chapter 2　確認問題

1. ① If anything (**should happen**), please let me know.
   万一何かが起こったら，私に知らせてください。
2. ② If the sun (**were to disappear**) tomorrow, what would happen in this world?
   仮に明日太陽が消えてしまったら，世界で何が起こるだろうか？
3. ② If Mike (**should come**), tell him to call me.
   万一マイクがやって来たら，私に電話するように彼に伝えて。

Chapter 3　確認問題

1. ① (**Had**) it not been for your help, we couldn’t have finished it.
   君の助けがなかったら，私たちはそれを終えることはできなかっただろう。
2. ② (**Should**) he need any help, just let me know.
   万一彼が何らかの助けを必要としていたら，私にただ知らせてください。
3. ① (**Were**) the sun to rise in the west, what would you do?
   仮に太陽が西から昇ってきたら，あなたはどうするだろうか？
4. ① (**Were**) I in your position, I would not do such a thing.
   もし私が君の立場だったら，そんなことはしないだろう。

Chapter 4　確認問題

1. ② I was very tired; (**otherwise**), I would have gone there.
   私はとても疲れていた。もしそうでなければ，そこに行っただろう。
2. ① Five years ago, I (**wouldn't have**) married him.
3. ① To hear him speak, you (**would**) take him for an American.

ベーシックレベル英語　第23講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② I don’t have (**much**) money now.
   私は今，あまりお金を持っていない。
2. ② I couldn’t buy the book because I had (**little**) money.
   ほとんどお金を持っていなかったので，私はその本を買えなかった。
3. ① There were (**few**) people in the room.
   その部屋にはほとんど人がいなかった。

Chapter 2　確認問題

1. ②，② (**Milk**) is made into (**butter**).
2. ② He has so (**much homework**).
3. ② She has (**much information**) on the matter.

Chapter 3　確認問題

1. ② He answered the question (**with**) ease.
2. ① The fact is (**of**) no importance.
3. ① His idea is (**of**) no use.

Chapter 4　確認問題

1. **ladies**　2. **leaves**　3. **teeth**
4. **boxes**　5. **classes**　6. **feet**

Chapter 5 確認問題

1. I shook **hands** with him.
2. He made **friends** with her friend.
3. I changed **trains** to go there.

Chapter 6 確認問題

1. **glasses**　　2. **gloves**　　3. **shoes**

ベーシックレベル英語　第24講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ②，②（ **The** ）sun rises in（ **the** ）east.
2. ① There is（ **a** ）cat under the table.
3. ①，② I bought（ **a** ）pen.（ **The** ）pen is easy to use.

Chapter 2　確認問題

1. ① He is very smart. He is（ **an** ）Einstein.
2. ① I work five days（ **a** ）week.
3. ② Pass me（ **the** ）salt, please.

Chapter 3　確認問題

1. ② We sell sugar by（ **the** ）pound.
2. ② We should be kind to（ **the** ）old.
3. ② He caught her by（ **the** ）arm.

Chapter 4　確認問題

1. ② I often go to school by bus.
2. ② She went to bed late last night.
3. ② He says that he doesn’t like dogs.

ベーシックレベル英語　第25講　解答

Chapter 1　確認問題

1. Mary (**sings**) a song very well.
   メアリはとてもじょうずに歌をうたう。
2. He (**lives**) in Sapporo.
   彼は札幌に住んでいる。
3. You (**run**) very fast.
   あなたはとても速く走る。

Chapter 2　確認問題

1. (**His**) watch is more expensive than (**mine**).
2. (**Our**) grandparents wants (**us**) to visit (**them**).
3. Would you like (**me**) to carry (**your**) baggage?

Chapter 3　確認問題

1. ① I've lost my watch. So I have to buy (**one**).
   私は時計を失くしてしまった。だからそれを買わねばならない。
2. ② I've lost my watch. I can't find (**it**) anywhere.
   私は時計を失くしてしまった。それはどこにも見つからなかった。
3. ② How far is (**it**) from Tokyo to Osaka?
   東京から大阪までどのくらいの距離ですか？

Chapter 4　確認問題

1. ② This book seems more interesting than (**that**).
   この本はあの本よりもおもしろそうだ。
2. ① The population of China is larger than (**that**) of Japan.
   中国の人口は日本の人口よりも多い。
3. ① The temperature here is higher than (**that**) in Hokkaido.
   ここの気温は，北海道の気温よりも高い。

Chapter 5　確認問題

1. Finally, Romeo killed (**himself**).
2. Please help (**yourself**) to these dishes.
3. I couldn’t make (**myself**) understood in English.

ベーシックレベル英語　第26講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ① I don’t like this tie. Could you show me (**another**)?
2. ② I have two daughters. One lives in Tokyo, and (**the other**) lives in Osaka.
3. ① Some like swimming, and (**others**) like dancing.
4. ② Two of the members agreed, but (**the others**) disagreed.

Chapter 2　確認問題

1. ② I read two books yesterday, but (**neither**) of them was interesting.
   私は昨日本を二冊読んだが，そのどちらもおもしろくなかった。
2. ② (**All**) of the three boys failed in the exam.
   その三人の少年全員が，試験に失敗した。
3. ① I’ll give you (**either**) of these two books.
   この二冊の本のうち，どちらかをあなたにあげましょう。

Chapter 3　確認問題

1. ① (**Each**) of the three girls got a prize.
2. ① I want (**something**) hot to drink.
3. ① (**Nobody**) in his class was interested in the story.
4. ② I couldn’t find (**anything**) in the room.

ベーシックレベル英語　第 27 講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② Don’t wake up the (**sleeping**) baby.
2. ② She is the greatest (**living**) singer.
3. ① She fell (**asleep**) on the train.

Chapter 2　確認問題

1. ② (**It is impossible for him**) to go there alone.
2. ② Please come when (**it is convenient for you**).
3. ② (**It is necessary for him**) to study for the exam.

Chapter 3　確認問題

1. ① You should be (**respectful**) toward the old.
2. ① Unicorns are (**imaginary**) creatures.
3. ① He is a (**sensible**) man.

Chapter 4　確認問題

1. ② I had (**little**) money with me at that time.
2. ① He has (**many**) friends.
3. ① There are (**a few**) books on the desk.

Chapter 5　確認問題

1. ① I **often** go to school by bus.
   私はよくバスで学校に行く。
2. ② I will **always** love you.
   いつでもあなたを愛します。
3. ② He studied English **very hard**.
   彼は一生懸命英語を勉強した。

Chapter 6　確認問題

1. ② I want to study (**abroad**).
2. ② Have you met her (**lately**)?
3. ② I can (**hardly**) believe what he says.

Chapter 7　確認問題

1. ② “I’m afraid (**not**).”
2. ① “I hope (**so**).”
3. ① “I’m afraid (**so**).”

ベーシックレベル英語　第 28 講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ① I have been waiting (**at**) the bus stop for long.
   私は長いことバス停で待っている。
2. ② I am going to meet her (**at**) 9 o’clock.
   私は 9 時に彼女に会う予定だ。
3. ② I was disappointed (**at**) her absence.
   私は彼女がいないことにがっかりしていた。

Chapter 2　確認問題

1. ② The novel is based (**on**) a true story.
   その小説は，実話をもとにしている。
2. ① Our success depends (**on**) his ability.
   私たちの成功は，彼の能力にかかっている。
3. ② The party was held (**on**) January 21.
   パーティは 1 月 21 日に開かれた。

Chapter 3　確認問題

1. ② He’ll be back (**in**) five minutes.
   彼は 5 分後に戻ってきます。
2. ① School usually begins (**in**) April in Japan.
   日本では，学校はふつう 4 月に始まる。
3. ② I’ll get (**in**) touch with you by telephone.
   電話であなたに連絡します。

Chapter 4　確認問題

1. ① (**To**) my surprise, the teacher got very angry.
　驚いたことに，その先生はとても怒った。
2. ② She bought a new bag (**for**) ten thousand yen.
　彼女は新しいバッグを 1 万円で買った。
3. ② Are you (**for**) the plan?
　あなたはその計画に賛成ですか？

Chapter 5　確認問題

1. ① I have to finish the work (**by**) the end of this month.
　私は今月末までにこの仕事を終えねばならない。
2. ② I will always stand (**by**) you.
　いつでもあなたを支持します。
3. ② How did you (**come**) by the book?
　どうやってその本を手に入れたのですか？

Chapter 6　確認問題

1. ① Let’s talk (**over**) a cup of coffee.
　コーヒーを飲みながら話しましょう。
2. ② The picture is beautiful (**beyond**) description.
　その絵は言葉で言い表せないほど美しい。
3. ② The road is now (**under**) construction.
　この道路は今，建設中だ。

ベーシックレベル英語　第29講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ① Get up right now, (**or**) you'll be late for school.
   今すぐ起きなさい。さもないと，学校に遅れるだろう。
2. ② Get up right now, (**and**) you'll catch the first train.
   今すぐ起きなさい。そうすれば，始発電車に間に合うだろう。
3. ② I went abroad (**and**) studied psychology very hard.
   私は海外に行って，一生懸命に心理学を勉強した。

Chapter 2　確認問題

1. ② I speak neither Japanese (**nor**) Korean.
   私は日本語も韓国語も話さない。
2. ① He is famous both in Japan (**and**) in Italy.
   彼は日本とイタリアの両方で有名だ。
3. ② I like not only singing (**but**) also dancing.
   私は歌うことだけでなく，踊ることも好きだ。

Chapter 3　確認問題

1. ① (**After**) you have finished your homework, please call me.
   あなたが宿題を終えたら，私に電話してください。
2. ② He stayed outside (**while**) it was raining.
   雨が降っている間，彼は外にいた。
3. ① I'll finish the work (**before**) you come.
   あなたが来る前に，私はその仕事を終えておくよ。

Chapter 4　確認問題

1. ① He was absent (**because**) he caught a cold.
   風邪を引いたので，彼は欠席だった。
2. ① We canceled the plan (**as**) it was raining.
   雨が降っていたので，私たちはその計画を中止した。
3. ② (**Now that**) he is a popular actor, everybody knows his name.
   今や彼は人気のある俳優なので，誰もが彼の名を知っている。

Chapter 5　確認問題

1. ② I'll go out (**whether**) you come or not.
   あなたが来ても来なくても，私は出かけるつもりだ。
2. ① (**Although**) I gave him some advice, he wouldn't listen to it.
   私は彼に助言をしたが，彼はそれを聞こうとしなかった。
3. ② (**While**) I like the watch, I don't like its color.
   私はその時計を気に入っているが，色が気に入らない。

Chapter 6　確認問題

1. ① He studied hard (**so that**) he can pass the exam.
   彼は，試験に合格できるように一生懸命勉強した。
2. ① It was (**such**) an interesting book that I read it in a day.
   それはとてもおもしろい本だったので，私は一日でそれを読んだ。
3. ② He got up (**so**) early that he was in time for the first train.
   彼はとても早く起きたので，始発電車に間に合った。

ベーシックレベル英語　第30講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ① He knew (**that**) she was from China.
   彼は，彼女が中国出身だということを知っていた。
2. ① Remember the fact (**that**) this is their first game.
   これが，彼らの最初の試合だという事実を思い出してください。
3. ① The trouble is (**that**) you are too tired.
   困ったことに，あなたは疲れすぎている。

Chapter 2　確認問題

1. ② (**Whether**) you like it or not is important.
   あなたがそれを好きかどうかが重要だ。
2. ① He asked me (**if**) I wanted to change the plan.
   彼は私に，私がその計画を変更したいかどうかたずねた。
3. ② I wonder (**if**) he is honest.
   私は彼が正直かどうか疑問に思う。

Chapter 3　確認問題

1. ② (**Since**) we were children, we have known each other.
   私たちは子どもの頃から，お互いのことを知っている。
2. ② (**As**) we climbed higher, it got colder.
   私たちが高く登るにつれて，さらに寒くなった。
3. ② (**As**) I had little money, I didn’t buy anything.
   ほとんどお金を持っていなかったので，私は何も買わなかった。

Chapter 4　確認問題

1. ② (**As soon as**) he saw the policeman, he ran away.
   警官を見るとすぐに，彼は逃げた。
2. ② Don’t forget to take your coat (**in case**) it snows.
   雪が降った場合に備えて，忘れずにコートを持っていきなさい。
3. ① He was out (**every time**) I went to see him.
   彼に会いに行くたびに，彼は出かけていた。

Chapter 5　確認問題

1. ① I had hardly come home (**when**) the phone rang.
   私が家に帰るとすぐに電話が鳴った。
2. ① She had hardly heard the news (**before**) she began to cry.
   その知らせを聞くとすぐに彼女は泣き出した。
3. ② No sooner (**had he seen**) me than he ran away.
   私を見るとすぐに彼は逃げ出した。

ベーシックレベル英語　第31講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ② I said I (**was**) busy.
   私は，忙しいと言った。
2. ② I said I (**had been**) busy.
   私は，忙しかったと言った。
3. ① I said I (**would study**) hard.
   私は，一生懸命勉強するつもりだと言った。

Chapter 2　確認問題

1. She said **(that) she wanted to go back to her house**.
   彼女は，自分の家に戻りたいと言った。
2. He said **(that) he didn’t want that book**.
   彼は，その本はいらないと言った。
3. She said **(that) she liked that song very much**.
   彼女は，その歌がとても好きだと言った。

Chapter 3　確認問題

1. She said **(that) she wanted to read that book then**.
   彼女は，そのときその本を読みたかったのだと言った。
2. He said **(that) he had arrived there the day before**.
   彼は，その前日にそこに到着したのだと言った。
3. He said **(that) he would meet his parents the next day**.
   彼は，その次の日に自分の両親に会うのだと言った。

Chapter 4　確認問題

1. She **told me (that) she had seen my father the day before**.
   彼女は私に，その前日に私の父を見かけたと言った。
2. He **told me not to spend too much money**.
   彼は私に，お金を使いすぎないようにと言った。
3. She **told me to leave there at once**.
   彼女は私に，すぐにそこを離れるように言った。

Chapter 5　確認問題

1. She **asked me what I was doing**.
   彼女は私に，何をしているのかとたずねた。
2. He **asked me whether [if] I wanted to read that book**.
   彼は私に，その本を読みたいかとたずねた。
3. I **asked her whether [if] she would marry me**.
   私は彼女に，私と結婚するつもりかどうかをたずねた。

Chapter 6　確認問題

1. I **suggested to him (that) we (should) go to lunch**.
   私は彼に，昼食に行かないかと提案した。
2. She **asked me to pass her the salt**.
   彼女は私に，塩を取ってくれと頼んだ。
3. He **asked me to have a seat**.
   彼は私に，座るようにと頼んだ。

ベーシックレベル英語　第32講　解答

Chapter 1　確認問題

1. ① I could (**hardly**) hear what he said.
2. ① I (**rarely**) go out for dinner.
3. ① I had (**few**) friends in school days.

Chapter 2　確認問題

1. ② Her opinion (**isn't always**) wrong.
2. ① She couldn't solve (**all**) the questions.
3. ② Money (**doesn't necessarily**) make people happy.

Chapter 3　確認問題

1. ② She is (**by no means**) kind.
2. ① He is the (**last**) person to say such a thing.
3. ① The movie was (**far from**) satisfactory.

Chapter 4　確認問題

1. ① I never see him (**without**) remembering my school days.
2. ② I had no choice (**but**) to apologize to him.
3. ② I wanted (**nothing**) but love from her.

ベーシックレベル英語　第 33 講　解答

Chapter 1　確認問題

1. **私が初めて彼に出会ったのは，つい昨日のことだった。**
2. **私たちが彼女のことを好きなのは，彼女が正直者だからだ。**
3. **昨日になってようやく，彼女は戻ってきた（昨日になるまで彼女は戻ってこなかった）。**

Chapter 2　確認問題

1. This movie is not interesting in the **least**.
2. What in the **world** did you say to her?
3. Where on **earth** did the accident happen?

Chapter 3　確認問題

1. **テーブルの上には，彼からの手紙があった。**
2. **素晴らしかったのは，私が昨日読んだ本だった。**
3. **バス停には，老人がいた。**

Chapter 4　確認問題

1. **つい最近になってようやく，私はその事実を知った。**
2. **彼が医者になるなんて夢にも思っていなかった。**
3. **私は，このような美しい景色を一度も見たことがなかった。**

Chapter 5　確認問題

1. **冷製チキンは，サラダと一緒に食べるとおいしい。**
2. **若いころ，彼女はその美しさで知られていた。**
3. **学校にいるときには，その規則に従わなければならない。**

復習テスト（解答）　第 15 講　Chapter 1

1. ①

Tom is as (**kind as**) Bob.　トムはボブと同じくらい親切だ。

解説：
空所の前に as があるので，S is as ～ as A「S は A と同じくらい～だ」という意味の原級比較の文だとわかる。よって，kind as を入れる。
原級は二つの人・ものを比較して同じくらい～だと述べる際に用いる。

2. ③

This drink is (**cooler**) than that one.
この飲み物はあの飲み物よりも冷えている。

解説：
空所の後ろに than があるので，S is ～ er[more ～] than A「S は A より～だ」という意味の比較級の文だとわかる。よって，比較級の cooler を入れる。
比較級は二つの人・ものを比較してより～だと述べる際に用いる。cool「冷えた」。

3. ②

Ken is the (**smartest**) student in my class.
ケンは私のクラスで一番頭がいい生徒だ。

解説：
空所の前に the，文末に in my class「私のクラスで」があるので，
S is the ～ est[most ～] in[of] A「S は A の中でもっとも～だ」という意味の最上級の文だとわかる。よって，最上級の smartest を入れる。
最上級は三つ以上の人・ものの中でもっとも～だと述べる際に用いる。smart「頭がいい」。

復習テスト（解答）　第 15 講　Chapter 2

1. ③

easier - easiest

解説：
形容詞 easy「簡単な」の比較級は easier，最上級は easiest。
easy のように語尾が y で終わる一部の形容詞の比較級は，語尾の y を i に変えて -er をつけて作る。
また，最上級は語尾の y を i に変えて -est をつけて作る。

2. ③

worse - worst

解説：
形容詞 bad「悪い」の比較級は worse，最上級は worst。不規則に変化する点に注意。
なお，形容詞 good「よい」の比較級は better，最上級は best。

3. ②

less - least

解説：
形容詞 little「（量が）少しの」の比較級は less，最上級は least。
なお，形容詞 much「（量が）たくさんの」の比較級は more，最上級は most で，
many「（数が）たくさんの」も同様に変化する。

復習テスト（解答）　第15講　Chapter 3

1. ②

She is not so old as he.

= She is (**less old**) than he.　　彼女は，彼より年上ではない。

解説：
not as[so] ～ as A「A ほど～でない」という原級の否定形は，
less ～ than A に書き換えることができる。

2. ④

You cannot swim (**so fast**) as Pete.

君はピートほど速く泳ぐことができない。

解説：
「A ほど～でない」という原級の否定形は not as[so] ～ as A「A ほど～でない」で表す。
この fast は副詞で「速く」の意味。

3. ③

He is not so much a writer (**as**) a film director.

彼は作家というよりもむしろ映画監督だ。

解説：
「A というよりもむしろ B」は not so much A as B で表す。原級の否定形を用いた表現で，
「彼は映画監督ほどには作家ではない」＝「作家というよりもむしろ映画監督だ」という意味。
film director「映画監督」。

復習テスト（解答）　第 15 講　Chapter 4

1. ③

Please send me a message **as soon as possible**.

できるだけ早く私にメッセージを送ってください。

解説：
「できる限り～」は as ～ as possible[S can] で表すので，as soon as possible の語順になる。
soon「早く」。

2. ②

This pizza is **twice as large as** that one.

このピザはあのピザの 2 倍の大きさだ。

解説：
倍数表現は ... times as ～ as A「A の…倍～だ」の形で表すので, twice as large as の語順になる。

3. ④

My older brother has five times **as many pens as** I have.

兄は私の 5 倍のペンを持っている。

解説：
倍数表現は ... times as ～ as A「A の…倍～だ」の形で表すが,
many pens〈数を表す形容詞＋名詞〉は切り離すことができないので,
as many pens as の語順になる。

復習テスト（解答）　第15講　Chapter 5

1. ③

You can (**no more**) fly than an elephant can.
君が空を飛べないのは，ゾウが空を飛べないのと同様だ。

解説：
「S が C でないのは S' が C でないのと同様だ」は S is no more C than S′ is (C) で表す。
両者を否定することで，「君が空を飛べない」と「ゾウが空を飛べない」という
二つの文の真実性に差がないことを示す皮肉表現。
文末の can の後ろには fly が省略されている。elephant「ゾウ」。

2. ①

Caring for ourselves is (**no less**) important than caring for others is.
自分を大切にすることが大事なのは，他人を大切にすることが大事なのと同様だ。

解説：
「S が C なのは S′ が C であるのと同様だ」は S is no less C than S′ is (C) で表す。
両者を肯定することで，「自分を大切にすることが大事だ」と「他人を大切にすることが大事だ」という
二つの文の真実性に差がないことを示す強調表現。
文末の is の後ろには important が省略されている。care for ～「～を大切にする」。

3. ④

This song is (**no less**) beautiful than that one is.
この歌が美しいのは，あの歌が美しいのと同様だ。

解説：
「S が C なのは S′ が C であるのと同様だ」は S is no less C than S′ is (C) で表す。
両者を肯定することで，「この歌が美しい」と「あの歌が美しい」という
二つの文の真実性に差がないことを示す強調表現。文末の is の後ろには beautiful が省略されている。

復習テスト（解答）　第15講　Chapter 6

1. ③

The price of this phone case was (**no more**) than 230 yen.
このスマホケースの値段はたったの230円だった。

解説：
「〜しかない」という意味はno more than 〜で表す。数が少ないことを強調する表現。
price「値段」，phone case「スマホケース，携帯電話用ケース」。

2. ④

One of my friends has (**no less**) than six cats.
私の友人の一人は6匹もネコを飼っている。

解説：
「〜もある」という意味はno less than 〜で表す。数が多いことを強調する表現。

3. ②

He can play (**no less**) than nine musical instruments.
彼は9つも楽器を弾くことができる。

解説：
「〜もある」という意味はno less than 〜で表す。数が多いことを強調する表現。
musical instrument「楽器」。

復習テスト（解答）　第16講　Chapter 1

1. ③

She is (**junior**) to her husband.　　彼女は彼女の夫よりも年下だ。

解説：
空所の直後に to があるので，「～より年下だ」という意味の be junior to ～にする。
junior「年下の」や senior「年上の」のようなラテン比較級の語は「～よりも」を表す際，
than ではなく to を用いる。

2. ②

You are (**superior**) to him in playing the harmonica.
ハーモニカを吹くことにかけては，君は彼よりも上手だ。

解説：
空所の直後に to があるので，「～より優れている」という意味の be superior to ～にする。
superior「優れている」や inferior「劣っている」のようなラテン比較級の語は
「～よりも」を表す際，than ではなく to を用いる。harmonica「ハーモニカ」。

3. ③

She prefers purple (**to**) red.　　彼女は赤色よりも紫色の方が好きだ。

解説：
動詞が prefers なので，「 B より A が好きだ」という意味の prefer A to B にする。
prefer「～の方を好む」はラテン比較級の語なので，「～よりも」を表す際，
than ではなく to を用いる。

復習テスト（解答）　第16講　Chapter 2

1. ④

Bobby is (**the taller**) of the two.

ボビーはその二人のうちで背の高い方だ。

解説：
空所の後ろに of the two「その二人のうちで」とあるので，〈the ＋比較級〉の the taller を入れて，〈the ＋比較級＋ of the two〉「二人［二つ］のうち～な方」の形にする。

2. ②

Which is (**the newest**) of the three computers?

その 3 台のコンピュータのうち，どれが最新ですか。

解説：
空所の後ろに of the three computers「その 3 台のコンピュータのうち」とあるので，
〈the ＋最上級〉の the newest を入れる。最上級は「三つ以上の中で一番～」を表す際に使う。

3. ③

Kuro is (**the smaller**) of the two cats.

クロはその 2 匹のネコのうち，小さい方だ。

解説：
空所の後ろに of the two cats「その 2 匹のネコのうち」とあるので，
〈the ＋比較級〉の the smaller を入れて，
〈the ＋比較級＋ of the two〉「二つ［二人］のうち～な方」の形にする。

復習テスト（解答）　第16講　Chapter 3

1. ②

The more you practice, (**the better**) you can play the drums.

練習すればするほど，君はそれだけますます上手にドラムを叩けるようになる。

解説：
「〜すればするほど，それだけますます…」は〈the ＋比較級〜，the ＋比較級…〉で表す。
drum「ドラム，太鼓」。

2. ①

I like my little brother (**all the better**) for his strong will.

弟は意志が強いので，それだけいっそう私は彼が好きだ。

解説：
「〜なのでそれだけいっそう…」は〈all the ＋比較級＋ for[because] 〜〉で表す。will「意志」。

3. ②

I like my little brother (**none the less**) for his laziness.

弟は怠惰だが，それにもかかわらず私は彼が好きだ。

解説：
「〜にもかかわらず…（〜だからそれだけ…ないことはない)」は
none the less for[because] 〜で表す。laziness「怠惰」。

復習テスト（解答）　第16講　Chapter 4

1. ①

Lilly is the best tennis player in the club.
リリーは部内で一番有能なテニス選手だ。

⇒ No other tennis player in the club is (**better than**) Lilly.
部内でリリーよりも有能なテニス選手は他にいない。

解説：
最上級の文から否定語を主語にした文に書き換える。better than を入れると
〈No other ＋単数名詞＋ is ＋比較級＋ than A.〉で「A より～な名詞は他にない」
という意味になり，最上級相当表現の文が成立する。

2. ③

Chicken curry is the most popular dish in this restaurant.
チキンカレーはこのレストランで一番人気のある料理だ。

⇒ No other dish in this restaurant is (**as popular**) as chicken curry.
このレストランでチキンカレーほど人気のある料理はない。

解説：
最上級の文から否定語を主語にした文に書き換える。空所の後ろに as があるので，
〈No other ＋単数名詞＋ is ＋ so[as] ～ as A.〉で「A ほど～な名詞は他にない」
という意味の原級を用いた最上級相当表現の文にする。

3. ④

He often says, “Sleep is the most important of all.”
彼はよく，「睡眠はあらゆることの中で一番大事だ」と言う。

⇒ He often says, “(**Nothing**) is more important than sleep.”
彼はよく，「睡眠よりも大事なものはない」と言う。

解説：
空所の後ろには比較級が続いているので，主語に Nothing「何も～ない」を入れると，
「睡眠よりも大事なものはない＝睡眠が一番大事だ」という意味の
比較級を用いた最上級相当表現が成立する。

復習テスト（解答）　第16講　Chapter 5

1. ②

He is younger than any other member in this rock band.
彼はこのロックバンドの他のどのメンバーよりも若い。

⇒ He is (**the youngest**) member in this rock band.
彼はこのロックバンドで一番若いメンバーだ。

解説：
上の文では〈S is ＋比較級＋ than any other ＋単数名詞 .〉
「S は他のどの名詞より～だ」という最上級相当表現が用いられているので，
空所には最上級の the youngest を入れるとほぼ同じ内容を表す文になる。

2. ③

I learned that Russia is the largest country in the world.
ロシアは世界でもっとも大きい国だということを私は知った。

⇒ I learned that Russia is larger than (**any other country**) in the world.
ロシアが世界の他のどの国よりも大きいということを私は知った。

解説：
上の文は最上級 the largest を用いた文。空所の前に比較級 larger があるので，
〈S is ＋比較級＋ than any other ＋単数名詞 .〉「S は他のどの名詞より～だ」
という最上級相当表現にする。

3. ④

She is the wisest student in my class.
彼女は私のクラスで一番賢い。

⇒ She is wiser than any (**other student**) in my class.
彼女は私のクラスの他のどの生徒よりも賢い。

解説：
上の文は最上級 the wisest を用いた文。空所の前に比較級 wiser があるので，
〈S is ＋比較級＋ than any other ＋単数名詞 .〉「S は他のどの名詞より～だ」という
最上級相当表現にするとほぼ同じ内容を表す文になる。wise「賢い」。

復習テスト（解答）　第 17 講　Chapter 1

1. ③

That park is (**much**) larger than people think.
あの公園は人々が考えているよりもずっと広い。

解説：
選択肢の中で比較級 larger を強調することができるのは，much のみ。

2. ④

This is the (**very**) best movie I’ve ever seen.
これは私がこれまで見てきた中でまさに最高の映画だ。

解説：
選択肢の中で最上級 best を強調することができるのは，very のみ。

3. ①

This book is (**by far**) the most popular of the five.
この本はその 5 冊の中で群を抜いて人気がある。

解説：
選択肢の中で最上級 the most popular を強調することができるのは，by far のみ。

復習テスト（解答）　第 17 講　Chapter 2

1. ②

We are (**more or less**) affected by the people around us.
私たちは多かれ少なかれ周囲の人々に影響を受けている。

解説：
「多かれ少なかれ」は more or less で表す。affect「～に影響を及ぼす」。

2. ①

She knows (**better**) than to lend him big money.
彼女は彼に大金を貸すほど愚かではない。

解説：
「～するほど愚かではない」＝「～するより物事をよく知っている」は
know better than to *do* で表す。lend「～を貸す」。

3. ②

These days, his French is getting (**better and better**).
近頃，彼のフランス語はますますよくなってきている。

解説：
「ますます～，だんだん～」は〈比較級＋ and ＋比較級〉で表す。these days「近頃」。

復習テスト（解答）　第17講　Chapter 3

1. ③

He has not (**less**) than ten DVDs.

彼はDVDを少なくとも10枚は持っている。

解説：
「少なくとも」は，下限を示す表現であるnot less thanまたはat leastで表す。
ここでは空所がnotとthanに挟まれているので，lessを入れる。

2. ①

That convenience store is (**not more**) than 200 meters from here.

あのコンビニはここからせいぜい200メートルだ。

解説：
「多くても，せいぜい」は，上限を示す表現であるnot more thanまたはat mostで表す。
ここでは空所の直後にthanがあるので，not moreを入れる。

3. ②

My older sister practices the guitar (**at least**) one hour a day.

姉は少なくとも1日1時間ギターを練習する。

解説：
「少なくとも」は，下限を示す表現であるnot less thanまたはat leastで表す。a day「1日につき」。

復習テスト（解答）　第17講　Chapter 4

1. ④

He is the (**third tallest**) in the ski club.
彼はスキー部で 3 番目に背が高い。

解説：
「何番目に～だ」は〈the ＋序数＋最上級〉の形で表す。

2. ②

This is (**one of the most popular**) songs that she has ever made.
これは，彼女がこれまで作ってきた中でもっとも人気の曲の一つだ。

解説：
「もっとも～な名詞の一つ」は〈one of the ＋最上級＋複数名詞〉で表す。

3. ②

I got (**at most**) two hours of sleep last night.
私は昨夜，せいぜい 2 時間しか睡眠をとっていない。

解説：
「多くても, せいぜい」は上限を表す表現 at most で表す。下限を表すのは at least。sleep「睡眠」。

復習テスト（解答）　第 17 講　Chapter 5

1. ①

She is (**more quiet**) than shy.
彼女は内気というよりもむしろおとなしい。

解説：
同一（人）物内での比較には比較級を用いず，
〈more B（原級）＋ than ＋ A（原級）〉「A というよりむしろ B」で表す。shy「内気な」。

2. ③

My mother looks (**happiest**) when she is listening to rock music.
母はロック音楽を聴いているときが一番楽しそうだ。

解説：
同一（人）物内での最上級の文にするので，the が付いていない最上級の happiest が正解。

3. ①

You should know that the lake is (**the deepest**) in this area.
その湖がこの地域で一番深いということを君は知っておくべきだ。

解説：
「その湖がこの地域で一番深い」ということは，この地域からその湖一つに限定する必要がある。
よって，the が付いている最上級の the deepest が正解。

復習テスト（解答）　第17講　Chapter 6

1. ③

My brother is older than her (**by**) four years.

兄は彼女よりも4歳年上だ。

解説：
「～の分だけ」という差は前置詞 by で表す。

2. ②

His phone case is (**as good as**) new.

彼のスマホケースは新品同然だ。

解説：
「～も同然」は as good as ～で表す。

3. ④

My mother was as busy as a (**bee**) last month.

母は先月，とても忙しかった。

解説：
bee「ハチ」を入れて，as busy as a bee「とても忙しい」という意味の慣用表現にする。

復習テスト（解答）　第18講　Chapter 1

1. ③

He has a daughter (**who**) is a teacher.　彼には教師をしている娘がいる。

解説：
先行詞が人を表す a daughter なので，who を入れる。
この関係代名詞 who は主格で，He has a daughter and she is a teacher.
という文における接続詞 and と代名詞 she の役割を兼ねている。

2. ②

I have an uncle (**who**) lives in Spain.
私にはスペインに住んでいるおじがいる。

解説：
先行詞が人を表す an uncle なので，who を入れる。
この関係代名詞 who は主格で，I have an uncle and he lives in Spain.
という文における接続詞 and と代名詞 he の役割を兼ねている。

3. ①

That is the train (**which**) goes to the South station.
あれが，南駅に向かう電車です。

解説：
先行詞が人以外を表す the train なので，which を入れる。
この関係代名詞 which は主格で，That is the train and it goes to the South station.
という文における接続詞 and と代名詞 it の役割を兼ねている。

復習テスト（解答）　第18講　Chapter 2

1. ②

I met a woman (**who**) plays the clarinet very well.
私は，とても上手にクラリネットを演奏する女性に会った。

解説：
先行詞が人を表す a woman であり，空所のうしろの節の主語が欠けている。
よって，主格の関係代名詞 who が正解。clarinet「クラリネット」。

2. ④

This is the letter (**which**) he sent to me.
これは，彼が私に送ってくれた手紙だ。

解説：
先行詞が人以外を表す the letter であり，空所のうしろの節の目的語が欠けている。
よって，目的格の関係代名詞 which が正解。

3. ③

The man (**whom**) we met last Sunday is a famous actor.
私たちがこの前の日曜日に会った男性は，有名な俳優だ。

解説：
先行詞が人を表す The man であり，空所のうしろの節の目的語が欠けている。
よって，目的格の関係代名詞 whom が正解。actor「俳優」。

復習テスト（解答）　第18講　Chapter 3

1. ④

She has a friend (**whose**) aunt is a movie star.
彼女には，おばが映画スターの友人がいる。

解説：
先行詞 a friend と空所の直後にある名詞 aunt「おば」が，
「～の」という所有の関係になっており，aunt に冠詞が付いていない。
よって，所有格の関係代名詞 whose が正解。movie star「映画スター」。

2. ②

You have a friend (**who**) studies French.
君にはフランス語を勉強している友人がいる。

解説：
先行詞が人を表す a friend であり，空所のうしろの節の主語が欠けている。
よって，主格の関係代名詞 who が正解。

3. ③

He lives in a house (**whose**) roof is pink.
彼は，屋根がピンク色の家に住んでいる。

解説：
先行詞 a house と空所の直後にある名詞 roof「屋根」が，
「～の」という所有の関係になっており，roof に冠詞が付いていない。
よって，所有格の関係代名詞 whose が正解。関係代名詞 whose は人以外の先行詞にも使える。

復習テスト（解答）　第18講　Chapter 4

1. ①

Who (**that**) knows the boy will believe his story?
その少年を知る誰が，彼の話を信じるだろうか。

解説：
先行詞が疑問詞 Who であり，うしろに続く節の主語が欠けている。
よって，主格の関係代名詞 that が正解。

2. ③

This is the very thing (**that**) he has always wanted.
これこそまさに，彼がずっと欲しがっていた物だ。

解説：
thing が形容詞 very で修飾されており，うしろに続く節の目的語が欠けている。
よって，目的格の関係代名詞 that が正解。

3. ②

That is the funniest joke (**that**) I've ever heard.
それは私が今まで聞いた中で一番面白いジョークだ。

解説：
joke が最上級形容詞 funniest で修飾されており，うしろに続く節の目的語が欠けている。
よって，目的格の関係代名詞 that が正解。funny「面白い」，joke「ジョーク，冗談」。

復習テスト（解答）　第 18 講　Chapter 5

1. ②

This is the park (**where**) I saw those cats yesterday.
ここが，私が昨日それらのネコを見た公園だ。

解説：
適切な関係副詞を選ぶ問題。先行詞が場所を表す the park なので，where が正解。

2. ④

Please tell me the reason (**why**) you like dogs.
あなたがイヌを好きな理由を私に教えてください。

解説：
適切な関係副詞を選ぶ問題。先行詞が the reason なので，why が正解。

3. ②

2011 is the year (**when**) my little sister was born.
2011 年は，私の妹が生まれた年だ。

解説：
適切な関係副詞を選ぶ問題。先行詞が時を表す the year なので，when が正解。

復習テスト（解答）　第18講　Chapter 6

1. ③

Finland is the country (**which**) my uncle sometimes visits.

フィンランドは，おじが時折訪れる国だ。

解説：
空所のうしろに続く節には，他動詞 visit「～を訪れる」の目的語（名詞）が欠けている。
よって，人以外を表す the country を先行詞とする目的格の関係代名詞 which が正解。

2. ①

Okinawa is the prefecture (**where**) I've wanted to go.

沖縄は，私が行きたいと思っていた県だ。

解説：
空所のうしろに続く節には，名詞の欠けがないので，
場所を表す the prefecture「県」を先行詞とする関係副詞 where が正解。

3. ②

Hakodate is the city (**where**) my mother was born.

函館は母が生まれた市だ。

解説：
空所のうしろに続く節には，名詞の欠けがないので，
場所を表す the city を先行詞とする関係副詞 where が正解。

復習テスト（解答）　第19講　Chapter 1

1. ③

This is the city (**in which**) my best friend was born.

ここは，私の親友が生まれた市です。

解説：
空所のうしろに続く節には，名詞の欠けがない。よって，〈前置詞＋関係代名詞〉の in which が正解。
先行詞である the city を後ろの節に入れて，my best friend was born in the city と考える。

2. ④

He forgot the day (**on which**) she takes a piano lesson.

彼は，彼女がピアノのレッスンを受けている曜日を忘れた。

解説：
空所のうしろに続く節には，名詞の欠けがない。よって，〈前置詞＋関係代名詞〉の on which が正解。
先行詞である the day を後ろの節に入れて，she takes a piano lesson on the day と考える。

3. ②

I don’t know the man (**to whom**) she was talking.

私は，彼女が話していた男性を知らない。

解説：
空所のうしろに続く節には，名詞の欠けがない。よって，〈前置詞＋関係代名詞〉の to whom が正解。
先行詞である the man を後ろの節に入れて，she was talking to the man と考える。

復習テスト（解答）　第19講　Chapter 2

1. ④

(**What**) is important is trying your best.

大事なのは君のベストを尽くすことだ。

解説：
空所のうしろに続く節には，主語が欠けているので，
先行詞を含み「〜こと」という名詞節を作る関係代名詞 what が正解。
try *one's* best「(〜の）ベストを尽くす」。

2. ①

I don't know (**what**) they are talking about.

私には彼らの話していることがわからない。

解説：
空所のうしろに続く節には，前置詞 about の目的語が欠けているので，
先行詞を含み「〜こと」という名詞節を作る関係代名詞 what が正解。

3. ③

(**What**) excited me was an e-mail message from him.

私をわくわくさせたのは，彼からの E メールのメッセージだ。

解説：
空所のうしろに続く節には，主語が欠けているので，
先行詞を含み「〜こと」という名詞節を作る関係代名詞 what が正解。
excite「〜をわくわくさせる」。

復習テスト（解答）　第19講　Chapter 3

1. ②

Brian has changed from (**what he was**) three years ago.
ブライアンは3年前の彼とは変わった。

解説：
「〜年前のS」は関係代名詞 what を用いた慣用表現 what S was 〜 years ago で表す。
change「変わる」。

2. ④

(**What with**) shopping and movies, she is usually out on weekends.
買い物やら映画やらで，彼女は週末にはたいてい外出している。

解説：
「AやらBやらが原因で〜」は，
関係代名詞 what を用いた慣用表現 what with A and (what with) B で表す。

3. ①

It was very hot last night, and (**what was worse**), the air conditioner broke.
昨夜はとても暑かった。さらに悪いことに，エアコンが壊れた。

解説：
「さらに〜なことに」は関係代名詞 what を用いた慣用表現〈what is ＋比較級〉で表す。
worse は bad の比較級。air conditioner「エアコン」。

復習テスト（解答）　第19講　Chapter 4

1. ③

My son said he finished washing the bath, (**which**) was not true.
息子は浴槽を洗い終えたと言ったが，それは本当ではなかった。

解説：
先行詞は he finished washing the bath という息子の発言内容で，
「そしてそれは本当ではなかった」と説明を続けている。
そのためここでは，〈カンマ＋関係詞〉の非制限［継続］用法で，
文や節を先行詞にとれる関係代名詞 which が正解。wash the bath「浴槽を洗う」。

2. ②

I have an aunt, (**who**) lives in Bali.
私にはおばがおり，彼女はバリ島に住んでいる。

解説：
人を表す先行詞 an aunt について「そしてその人はバリ島に住んでいる」と説明を続ける
非制限［継続］用法の文なので，関係代名詞 who が正解。Bali「バリ島」。

3. ④

We went to Nagano, (**where**) we enjoyed skiing.
私たちは長野に行き，そこでスキーを楽しんだ。

解説：
場所を表す先行詞 Nagano について，「そしてそこでスキーを楽しんだ」と説明を続ける
非制限［継続］用法の文なので，関係副詞 where が正解。

復習テスト（解答）　第19講　Chapter 5

1. ②

I want such a notebook (**as**) she has.
私は，彼女が持っているようなノートが欲しい。

解説：
as を入れて，such A as B「B のような A」の形にする。この as は such と呼応する関係代名詞。

2. ①

I use the same kind of hair wax (**as**) my brother uses.
私は，兄が使っているのと同じ種類のヘアワックスを使っている。

解説：
as を入れて，the same A as B「B と同じ A」の形にする。
この as は the same と呼応する関係代名詞。hair wax「ヘアワックス」。

3. ④

(**As**) is often the case with my cat, she slept almost all day yesterday.
私のネコにはよくあることだが，彼女は昨日ほぼ一日中寝ていた。

解説：
As を入れて，As is often the case with ～「～にはよくあることだが」の形にする。
この as は関係代名詞で，カンマのうしろにある主節を先行詞としている。

復習テスト（解答）　第19講　Chapter 6

1. ①

Yesterday, she spent (**what little**) money she had.

昨日，彼女は持っていたなけなしのお金を使った。

解説：
「なけなしのお金」は関係形容詞の what「～するすべての名詞」を用いて，
what little money と表す。

2. ②

There is no one (**but**) knows the news.

そのニュースを知らない人はいない。

解説：
否定を表す代名詞 no one「だれも～ない」を先行詞とする関係代名詞の but「～ない名詞」を入れる。

3. ③

The woman has more bags (**than**) are needed.

その女性は必要以上のかばんを持っている。

解説：
more bags とあるので，関係代名詞と同じような働きをする than「～以上の」を入れる。
ここでは are needed の主語の働きをしている。need「～を必要とする」。

復習テスト（解答）　第20講　Chapter 1

1. ③

This is the DVD (**I’ve**) always wanted.

これは私がずっと欲しかったDVDだ。

解説：
空所のうしろに動詞wantedの目的語が欠けていることに着目。
I’veを入れると，〈名詞＋SV〉の語順となり，
目的語DVDのうしろの関係代名詞which[that]が省略された文が成立する。

2. ②

The movie (**we**) saw last Sunday was boring.

私たちがこの前の日曜日に見た映画は退屈だった。

解説：
空所のうしろに動詞sawの目的語が欠けていることに着目。
weを入れると，〈名詞＋SV〉の語順となり，
主語The movieのうしろの関係代名詞which[that]が省略された文が成立する。

3. ①

That person is the dancer (**she**) was talking about.

あの人が，彼女の話していたダンサーだ。

解説：
空所のうしろに前置詞aboutの目的語が欠けていることに着目。
sheを入れると，〈名詞＋SV〉の語順となり，
目的語dancerのうしろの関係代名詞who(m)[that]が省略された文が成立する。

復習テスト（解答）　第20講　Chapter 2

1. ④

You can lend this book to (**whoever**) needs it.
この本を必要としているどんな人にでもそれを貸していいよ。

解説：
先行詞が見当たらないことに着目。
「～するどんな人でも」という意味の名詞節を作る複合関係詞の whoever を空所に入れると，
「それ（＝この本）を必要としているどんな人にでも」となり，文が成立する。

2. ②

Please call me (**whenever**) you like.
いつでも好きなときに私に電話してください。

解説：
文意に合うのは「～するどんなときでも」という副詞節を作る，複合関係詞の whenever。

3. ③

Our dog follows my son (**wherever**) he goes.
私たちのイヌは，息子が行くどこへでもついて行く。

解説：
適切な複合関係詞を選ぶ問題。
文意に合うのは「～するどんな場所でも」という副詞節を作る，複合関係詞の wherever。

復習テスト（解答）　第 20 講　Chapter 3

1. ②

(**Whichever**) team wins, the game will be exciting.

たとえどちらのチームが勝っても，その試合はおもしろくなるだろう。

解説：
ここでの文意に合うのは「たとえどちらが～しても」という譲歩を表す副詞節を作る，
複合関係詞の Whichever。

2. ③

(**However**) long it takes, he’ll fulfill his dream.

たとえどんなに時間がかかっても，彼は夢を実現するだろう。

解説：
ここでの文意に合うのは〈however ＋ 形容詞［副詞］〉で「たとえ S がどんなに形容詞［副詞］でも」という譲歩を表す副詞節を作る，複合関係詞の However。fulfill「～を実現する」。

3. ①

No matter (**how**) old you get, I’m on your side.

たとえ君がいくつになっても，私は君のそばにいるよ。

解説：
〈no matter ＋疑問詞〉で譲歩を表す副詞節を作ることができる。
空所の直後に形容詞 old があるので，how を入れて
no matter how SV「たとえ～がどんなに…でも」という意味になる。side「そば」。

復習テスト（解答）　第20講　Chapter 4

1. ②

The time will soon come (**when**) she can speak Japanese fluently.
彼女が日本語を流ちょうに話すことができる時はすぐに来るだろう。

解説：
先行詞である The time「時」と関係詞が分離している文だと考えられる。
空所のうしろに続く節に名詞の欠けはないので，関係副詞 when が正解。fluently「流ちょうに」。

2. ④

The woman (**who**) I believed was his mother was his aunt.
彼の母親だと信じていた女性は，彼のおばだった。

解説：
空所の直後に I believed とあることから，
関係詞の直後に SV を挿入して関係詞節を続けている表現だと考えられる。
空所の直後にあるI believedをいったん外して考えると, was his motherの主語が欠けているので,
人を表す The woman を先行詞とする主格の関係代名詞 who が正解。

3. ①

It’s important to do (**what**) you think is best.
君が最善だと考えることをするのが大切だ。

解説：
空所の直後に you think とあることから,
関係詞の直後に SV を挿入して関係詞節を続けている表現だと考えられる。
空所の直後にある you think をいったん外して考えると is best の主語が欠けており,
先行詞が見当たらないので, 先行詞を含んで「～こと」という名詞節を作る関係代名詞 what が正解。

復習テスト（解答）　第21講　Chapter 1

1. ②

If it (**rains**) next Sunday, I will watch online videos at home.
今度の日曜日に雨が降ったら，私は家でオンライン動画を見るつもりだ。

解説：
主節に未来を表す助動詞 will があることに着目。
今度の日曜日に雨が降るという可能性は十分にあると考えられるので，直説法の文。
直説法の文における時・条件を表す副詞節内の動詞は未来の内容でも現在形にするので，
rains が正解。online video「オンライン動画」。

2. ③

If I (**were**) him, I would not say such a thing.
私が彼なら，そんなことは言わないだろう。

解説：
主節に助動詞の過去形 would があることから，現実に反する内容を述べる仮定法の文だとわかる。
よって，were が正解。

3. ④

If it (**were**) sunny now, I could go to that park.
今晴れていたら，私はあの公園に行くことができるのに。

解説：
主節に助動詞の過去形 could があることから，現実に反する内容を述べる仮定法の文だとわかる。
よって，were が正解。sunny「晴れている」。

復習テスト（解答）　第21講　Chapter 2

1. ②

If she (**were**) here, we could enjoy this party more.
彼女がここにいたら，私たちはこのパーティーをもっと楽しめるのに。

解説：
主節に〈助動詞の過去形＋ V 原形〉の could enjoy があるので，仮定法過去の文だとわかる。
仮定法過去の文の if 節内では過去形を用いるので，were が正解。
仮定法では，主語に関係なく be 動詞に were を使うことができる。

2. ④

If I (**had studied**) harder, I could have passed that test.
もっと熱心に勉強していたら，私はあのテストに合格できたのに。

解説：
主節に〈助動詞の過去形＋ have p.p.〉の could have passed があるので，
仮定法過去完了の文だとわかる。
仮定法過去完了の文の if 節内では過去完了形を用いるので，had studied が正解。
pass「～に合格する」。

3. ③

If I had 200 yen in my pocket now, I (**could buy**) a drink.
今ポケットに 200 円入っていたら，私は飲み物が買えるのに。

解説：
if 節内で過去形 had が用いられているので，仮定法過去の文。
仮定法過去の文の主節は〈助動詞の過去形＋ V 原形〉にするので，could buy が正解。
pocket「ポケット」。

復習テスト（解答）　第21講　Chapter 3

1. ④

If I (**had saved**) money yesterday, I could buy this video game now.
昨日お金を節約していたら，私は今このテレビゲームを買うことができるのに。

解説：
主節は〈助動詞の過去形＋V原形〉で仮定法過去の形だが，if節内にyesterdayがある。
このことから，if節では過去の事実に反する内容を，
主節では現実に反する内容をそれぞれ述べているとわかる。
よって，過去完了形のhad savedを入れてif節を仮定法過去完了の内容にすればよい。
save「～を節約する」。

2. ②

If we had taken her advice at that time, we (**would be**) happier now.
あのとき彼女の助言に従っていたら，私たちは今頃もっと幸せだろうに。

解説：
if節では仮定法過去完了が用いられているが，主節にnowがある。
このことから，if節では過去の事実に反する内容を，
主節では現実に反する内容をそれぞれ述べているとわかる。
よって，would beを入れて，仮定法過去を表す〈助動詞の過去形＋V原形〉の形にすればよい。
take *one's* advice「～の助言に従う」。

3. ③

If you had not skipped breakfast this morning, you (**wouldn't be**) hungry now.
今朝，朝食を抜かなかったら，君は今頃おなかが空いていないだろうに。

解説：
if節では仮定法過去完了が用いられているが，主節にnowがある。
このことから，if節では過去の事実に反する内容を，
主節では現実に反する内容をそれぞれ述べているとわかる。
よって，wouldn't beを入れて，仮定法過去を表す〈助動詞の過去形＋V原形〉の形にすればよい。
skip breakfast「朝食を抜く」。

復習テスト（解答）　第21講　Chapter 4

1. ③

I wish I (**knew**) that girl’s name.

あの少女の名前を知っていればなぁ。

解説：
wish (that) …の文は，that 節内では仮定法を用いる。
that 節内の動詞の時制は本来の時制から一つ古い方にずらすので，
過去形の knew を入れて，現実と反する内容を述べる。
I wish SV.「S が V だったらなぁ」は，仮定法の慣用表現。

2. ②

I hope she (**will come**) to the party tomorrow.

彼女が明日そのパーティーに来るといいな。

解説：
hope (that) …の文なので，that 節内では直説法を用いる。よって，will come が正解。

3. ④

I wish I (**had joined**) the festival last week.

先週，その祭りに参加していたらなぁ。

解説：
wish (that) …の文は，that 節内では仮定法を用いる。that 節内に last week とあるので，
本来の時制から一つ古い方にずらした過去完了形の had joined を入れて，
過去の事実と反する内容を述べる。
I wish SV.「S が V だったらなぁ」は，仮定法の慣用表現。

復習テスト（解答）　第21講　Chapter 5

1. ②

It is time we (**left**) for the station.

私たちは駅に向かって出発する時間だ。

解説：
It is time SV.「S が V する時間［時期］だ」という仮定法の慣用表現。
現在を表す文なので，V の時制は一つ古い方にずらした過去形になる。よって，left が正解。

2. ④

It’s about time we (**bought**) toilet paper rolls.

そろそろトイレットペーパーを買う時期だ。

解説：
It is about time SV.「そろそろ S が V する時間［時期］だ」という仮定法の慣用表現。
現在を表す文なので，V の時制は一つ古い方にずらした過去形になる。よって，bought が正解。

3. ①

It’s high time you (**studied**) English.

君はとっくに英語を勉強する時間だ。

解説：
It is high time SV.「とっくに S が V する時間［時期］だ」という仮定法の慣用表現。
現在を表す文なので，V の時制は一つ古い方にずらした過去形になる。よって，studied が正解。

復習テスト（解答）　第21講　Chapter 6

1. ④

He plays the guitar (**as if**) he were a famous musician.

彼はまるで自分が有名な音楽家であるかのようにギターを弾く。

解説：
「まるで S′ が V′ するかのように～ S は V する」は，SV ～ as if[though] S′ V′. で表す。
ここでは V と V′ が同時なので，V′ に過去形が用いられている。

2. ②

She talks as if she (**had been**) there, too.

彼女はまるで自分もそこに居合わせていたかのような口ぶりだ。

解説：
SV ～ as if[though] S′ V′.「まるで S′ が V′ するかのように～ S は V する」の V よりも
V′ が過去なので，V′ を過去完了形にする。よって，had been が正解。

3. ④

He talked as though he (**had seen**) the video.

彼はまるでその動画を見たことがあるかのような口ぶりだった。

解説：
SV ～ as if[though] S′ V′.「まるで S′ が V′ するかのように～ S は V する」の V よりも
V′ が過去なので，V′ を過去完了形にする。よって，had seen が正解。

復習テスト（解答）　第22講　Chapter 1

1. ③

If it (**were not**) for chocolate, I could not enjoy my life.
チョコレートがなかったら，私は人生を楽しめないだろう。

解説：
主節に〈助動詞の過去形＋V原形〉があるので，仮定法過去の文。
仮定法過去の「もし～がなかったら」はIf it were not for ～で表すので，were notが正解。

2. ③

If it (**had not been**) for this cook book, I couldn't have cooked the omelet.
この料理本がなかったら，私はオムレツを作ることができなかっただろう。

解説：
主節に〈助動詞の過去形＋have p.p.〉があるので，仮定法過去完了の文。
仮定法過去完了の「もし～がなかったら」はIf it had not been for ～で表すので，
had not beenが正解。

3. ②

(**But for**) her uncle's advice, she wouldn't have passed the test.
彼女のおじの助言がなかったら，彼女はテストに合格していなかっただろう。

解説：
主節に〈助動詞の過去形＋have p.p.〉があるので，仮定法過去完了の文。
仮定法過去完了の「もし～がなかったら」はIf it had not been for ～で表すが，
But for ～またはWithout ～でも表現できる。

復習テスト（解答）　第22講　Chapter 2

1. ②

If John (**should call**) me, tell him I’m busy.
万一ジョンが私に電話してきたら，私は忙しいと伝えておいて。

解説：
主節が命令文なので，should call を入れて
If S should *do*「万一 S が～するなら」という仮定法未来の文にする。

2. ④

If you (**were to get**) into a parallel world, what would you do?
仮にパラレルワールドに入り込んだら，あなたはどうしますか。

解説：
主節が〈S ＋助動詞の過去形＋ V 原形〉なので，
If S were to *do*「仮に S が～するなら」という極めて実現性の低い仮定を表す文にする。
parallel world「パラレルワールド，並行世界」。

3. ③

If you (**should find**) my purse, please let me know.
万一私の財布を見つけたら，私に知らせてください。

解説：
主節が命令文なので，should find を入れて
If S should *do*「万一 S が～するなら」という仮定法未来の文にする。purse「財布」。

復習テスト（解答）　第22講　Chapter 3

1. ②

(**Had**) it not been for their help, we wouldn’t have succeeded.

彼らの助けがなかったら，私たちは成功していなかっただろう。

解説：
主節が仮定法過去完了の表現なので, If it had not been for ～「～がなかったら」の If が省略され，主語 it と助動詞 had が倒置された文だと考えられる。よって，Had が正解。succeed「成功する」。

2. ④

(**Should**) any trouble happen, please send me a message.

万一何か問題が起こったら，私にメッセージを送ってください。

解説：
主節が命令文であり動詞 happen が原形なので，If S should *do*「万一 S が V するなら」という仮定法未来の文だと考えられるが，空所のうしろには should がないため If が省略され，主語 any trouble と助動詞 should が倒置された文だと判断できる。よって，Should が正解。trouble「問題，トラブル」。

3. ①

(**Were**) I in his place, I would not buy two tickets.

私が彼の立場だったら，チケットを 2 枚買わないだろう。

解説：
主節が仮定法過去の表現なので，If I were in his place の If が省略され，主語 I と be 動詞 were が倒置された文だと考えられる。よって，Were が正解。place「立場」。

復習テスト（解答）　第22講　Chapter 4

1. ③

I studied English hard; (**otherwise**), I would have failed the test.
私は熱心に英語を勉強した。そうでなければ，私はテストに不合格だっただろう。

解説：
「そうでなければ」は otherwise で表す。
if I had not studied English hard「熱心に英語を勉強していなかったら」という if 節の代用表現。
fail「～に不合格となる」。

2. ②

A few weeks ago, I (**couldn't have**) solved this question.
数週間前なら，私はこの問題が解けなかっただろう。

解説：
文頭にある副詞句 A few weeks ago が if 節の代わりに用いられていると考えられるので，
couldn't have を入れて仮定法過去完了の文にする。solve「～を解く」。

3. ④

To hear her speak, you (**would take**) her for a native Japanese.
彼女が話すのを聞けば，あなたは彼女が生粋の日本人だと思うだろう。

解説：
文頭にある不定詞句 To hear her speak が if 節の代わりに用いられていると考えられるので，
would take を入れて仮定法過去の文にする。take A for B「A を B だと思う」，native「生粋の」。

復習テスト（解答）　第23講　Chapter 1

1. ②

She doesn’t have (**much**) money.　彼女はあまりお金を持っていない。

解説：
4つの選択肢の中で不可算名詞 money「お金」を修飾することができるのは,
much「たくさんの～」のみ。

2. ④

This web page has (**little**) information.
このウェブページには情報がほとんどない。

解説：
4つの選択肢の中で不可算名詞 information「情報」を修飾することができるのは,
little「ほとんど～ない」のみ。

3. ③

(**Few**) people like cockroaches.
ゴキブリが好きな人はほとんどいない。

解説：
4つの選択肢の中で可算名詞 people「人々」を修飾することができるのは,
Few「ほとんど～ない」のみ。cockroach「ゴキブリ」。

復習テスト（解答）　第 23 講　Chapter 2

1. ③

Give me (**bread and water**).　　私にパンと水をちょうだい。

解説：
物質名詞である bread「パン」および water「水」は不可算名詞なので，複数形にはならない。

2. ④

She has so (**much**) furniture.　　彼女はとてもたくさんの家具を持っている。

解説：
ひとまとめで考える名詞である furniture「家具」は不可算名詞。
よって，不可算名詞を修飾して「たくさんの～」の意味を持つ much が正解。

3. ③

I have (**little**) knowledge of astronomy.
私は天文学の知識がほとんどない。

解説：
抽象名詞である knowledge「知識」は不可算名詞。
不可算名詞を修飾して「少しの～，ほとんど～ない」の意味を持つ little が正解。
astronomy「天文学」。

復習テスト（解答）　第23講　Chapter 3

1. ③

Please handle it (**with**) care.　　取り扱いに注意してください。

解説：
care は「注意，気配り」という意味の抽象名詞で，〈with ＋抽象名詞〉で副詞の働きになる。
with care で副詞 carefully「注意深く」と同義になる。handle「～を扱う」。

2. ①

Customer reviews are (**of**) value to the shop.
顧客のレビューは店にとって価値がある。

解説：
value は「価値」という意味の抽象名詞で，〈of ＋抽象名詞〉で形容詞の働きになる。
of value で形容詞 valuable「価値のある」と同義になる。
customer「顧客」，review「レビュー，評価」。

3. ④

Her advice was of no (**use**).
彼女のアドバイスはまったく役に立たなかった。

解説：
use は「役立つこと」という意味の抽象名詞で，〈of ＋抽象名詞〉で形容詞の働きになる。
of use で形容詞 useful「役に立つ」と同義になる。

復習テスト（解答）　第 23 講　Chapter 4

1. ④

child

解説：
複数形にする際に不規則変化する名詞は child「子ども」。複数形は children。
他の選択肢はそれぞれ，class → class<u>es</u>，leaf → lea<u>ves</u>，bus → bus<u>es</u> と，
規則変化して複数形を作る。

2. ①

tooth

解説：
複数形にする際に不規則変化する名詞は tooth「歯」。複数形は teeth。
他の選択肢はそれぞれ，knife → kni<u>ves</u>，city → cit<u>ies</u>，book → book<u>s</u> と，
規則変化して複数形を作る。

3. ④

foot

解説：
複数形にする際に不規則変化する名詞は foot「足」。複数形は feet。
他の選択肢はそれぞれ，baby → bab<u>ies</u>，desk → desk<u>s</u>，fox → fox<u>es</u> と，
規則変化して複数形を作る。

復習テスト（解答）　第23講　Chapter 5

1. ④

I made (**friends**) with an exchange student from Canada.
私はカナダからの留学生と仲よくなった。

解説：
「～と仲よくなる」は，friend「友人」の複数形を用いて make friends with ～と表す。
相互複数の熟語表現。exchange student「（交換）留学生」。

2. ②

We should change (**trains**) here.
私たちはここで電車を乗り換えるべきだ。

解説：
「電車を乗り換える」は，train「電車」の複数形を用いて change trains と表す。
相互複数の熟語表現。

3. ②

He shook (**hands**) with her.　　　彼は彼女と握手した。

解説：
「～と握手する」は，hand「手」の複数形を用いて shake hands with ～と表す。
相互複数の熟語表現。shook は shake の過去形。

復習テスト（解答）　第23講　Chapter 6

1. ①

I wear (**glasses**) at home.　私は家ではメガネをかけている。

解説：
「メガネ」は複数形 glasses で表す。
なお，単数形の glass は「ガラス，コップ」の意味。at home「家で」。

2. ③

He lost a pair of (**gloves**) yesterday.　彼は昨日，一対の手袋をなくした。

解説：
「手袋」は通常二つそろって使う物なので，複数形 gloves で表す。
数えるときは a pair of ～「一対の～」を使う。

3. ②

(**Mathematics is**) as difficult as science for me.
私にとって，数学は科学と同じくらい難しい。

解説：
「数学」は mathematics または math で表す。
学問は s が付いても単数扱いなので，be 動詞は is にする。
mathematic は「数学的な」という意味の形容詞。

復習テスト（解答）　第24講　Chapter 1

1. ③

(**The moon**) is 384,400 kilometers away from the earth.

月は，地球から 384,400 キロメートル離れている。

解説：
「月」は一つに特定できるものなので，名詞 moon の前には定冠詞 the を置く。
kilometer「キロメートル」。

2. ①

There is (**a bird**) on that tree.　　あの木に鳥が 1 羽いる。

解説：
There is[are] 〜「〜がいる［ある］」は不特定の名詞を後ろに続ける表現なので, 定冠詞は用いない。
be 動詞が is なので，名詞 bird の前には不定冠詞 a を置く。

3. ④

He gave me a book. (**The book**) is about animals.

彼は私に 1 冊の本をくれた。その本は動物についてのものだ。

解説：
第 2 文は第 1 文にある「彼がくれた 1 冊の本」のことを指すので，一つに特定できる。
よって，名詞 book の前に定冠詞 the を置いた The book が正解。

復習テスト（解答）　第24講　Chapter 2

1. ③

(**A**) Ms. Yamada called us.

山田さんという人が私たちに電話をしてきた。

解説：
固有名詞の前に置いて「～という人」という意味を表す，不定冠詞 A が正解。
An は，母音で始まる語の前に置くので不適切。

2. ①

I study English six days (**a**) week.　　私は週に 6 日，英語を勉強している。

解説：
空所の後ろに week「週」があるので，「～につき」という意味を持つ不定冠詞 a を入れて，
six days a week「週に 6 日」とする。

3. ②

〈同じ食卓で食事をしている相手に対し〉

Hey, pass me (**the**) soy sauce.　　ねえ，私にしょうゆを取って。

解説：
特定の soy sauce「しょうゆ」を渡すよう相手にお願いしている文だと判断できるので，
定冠詞 the が正解。pass O_1 O_2「O_1 に O_2 を渡す」。

復習テスト（解答）　第24講　Chapter 3

1. ④

The shop sells meat (**by the**) gram.

その店は肉をグラム単位で売っている。

解説：
「～単位で」は定冠詞 the を用いて，by the ～で表す。gram「グラム」。

2. ③

This video is for (**the young**).　　この動画は若者向けだ。

解説：
〈定冠詞 the ＋形容詞〉で「～な人々」という意味になる。the young は young people と同義。

3. ④

He doesn’t look me in (**the**) eye.　彼は私の目を見てくれない。

解説：
「A の目を見る」は look A in the eye(s) で表すので，定冠詞 the が正解。

復習テスト（解答）　第24講　Chapter 4

1. ①

We went to Yamanashi by (**train**).　私たちは電車で山梨に行った。

解説：
交通手段は〈by ＋無冠詞名詞〉で表す。よって，train が正解。

2. ③

She usually goes to (**school**) at eight.　彼女は普段，8 時に学校に行く。

解説：
go to school で「学校に行く」という意味なので，無冠詞の school が正解。
この school のように，目的を表す場合には冠詞を付けない。

3. ④

He really likes (**cats**).　彼はネコが大好きだ。

解説：
無冠詞の複数形は，「ネコというもの」のような総称を表す。よって，cats が正解。

復習テスト（解答）　第25講　Chapter 1

1. ②

He (**practices**) tennis on Sundays.　彼は日曜日にテニスを練習している。

解説：
主語が三人称単数を表す He なので，三人称単数現在形の practices が正解。
主語が三人称単数で現在時制の場合，動詞の語尾に s を付ける。

2. ③

She (**talks**) very fast.　彼女はとても早口だ。

解説：
主語が三人称単数を表す She なので，三人称単数現在形の talks が正解。
主語が三人称単数の現在時制の文なので，動詞の語尾に s を付ける。

3. ①

We (**have**) a big garden.　私たちは広い庭を持っている。

解説：
主語が一人称複数を表す We なので，動詞の原形の have が正解。現在時制の文。

復習テスト（解答）　第25講　Chapter 2

1. ②

Yesterday, I lost (**my**) umbrella.　　私は昨日，私の傘をなくした。

解説：
空所の直後にある名詞 umbrella「傘」を修飾することができるのは，所有格である my「私の」のみ。

2. ④

Our house is bigger than (**theirs**).　私たちの家は彼らのものよりも大きい。

解説：
比較の文で，主語 Our house に対するものを一語で表すには，
所有代名詞である theirs「彼らのもの」を入れる。この theirs は their house のこと。

3. ③

Do you want (**us**) to join the party?
あなたは私たちに，そのパーティーに参加してほしいと思っていますか。

解説：
空所は want の目的語の位置にあるので，目的格である us「私たちに［を］」が正解。
want O to *do*「O に～してほしいと思う」。

復習テスト（解答）　第25講　Chapter 3

1. ③

My pencil case is broken, so I must buy (**one**).
私の筆箱が壊れているので，一つ買わねばならない。

解説：
前に出てきた名詞 pencil case「筆箱」と同種の一つを表す one が正解。broken「壊れた」。

2. ①

I bought a book last month. I lent (**it**) to my friend yesterday.
私は先月，本を一冊買った。私は昨日，それを友人に貸した。

解説：
前に出てきた名詞 a book そのものを指す it が正解。lent は lend「～に貸す」の過去形。

3. ③

What time is (**it**) in Cambodia now?　カンボジアでは今，何時ですか。

解説：
空所には時間を表す文の主語が入るので，it が正解。
この it は天候・時間・距離を表す it で，日本語には訳さない。Cambodia「カンボジア」。

復習テスト（解答）　第 25 講　Chapter 4

1. ④

〈近くにある物と少し離れたところにある物を比べて〉

This box is smaller than (**that**).　　この箱はあの箱よりも小さい。

解説：
主語が This box「この箱」なので，話し手から遠い位置にある人や物を指す that が正解。

2. ①

The population of this prefecture is smaller than (**that**) of Tokyo.

この県の人口は東京の人口よりも少ない。

解説：
〈the ＋単数名詞〉の The population の代わりとして用いることができる that が正解。
population「人口」，prefecture「県，都道府県」。

3. ④

The trees in this park are taller than (**those**) in that park.

この公園にある木は，あの公園にある木よりも高い。

解説：
〈the ＋複数名詞〉である The trees の代わりとして用いることができる those が正解。

復習テスト（解答）　第25講　Chapter 5

1. ②

We enjoyed (**ourselves**) a lot.　　私たちは大いに楽しんだ。

解説：
他動詞の目的語が主語と同じ場合は，再帰代名詞を用いる。
enjoy oneself で「自身を楽しませる」，つまり「楽しむ」という意味。
よって，we の再帰代名詞である ourselves が正解。

2. ④

Help (**yourself**) to these cookies, please.
このクッキーをどうぞ自由に取って食べてください。

解説：
再帰代名詞を使った表現 help oneself to ～で，「自由に～を取って食べる［飲む］」という意味。
よって，you の再帰代名詞である yourself が正解。

3. ③

She couldn’t make (**herself**) understood in Japanese.
彼女は，日本語で自分の言うことを理解してもらえなかった。

解説：
再帰代名詞を使った表現 make oneself understood で，「自分の話をわかってもらう」という意味。
よって，she の再帰代名詞である herself が正解。

復習テスト（解答）　第26講　Chapter 1

1. ③

I don’t like the color of this hat. Could you show me (**another**)?

この帽子の色が好きではありません。もう一つ別のものを見せてくれますか。

解説：
「複数あるうちの不特定の一つ」は another で表す。

2. ④

He has two birds. One is green, and (**the other**) is yellow.

彼は鳥を二羽買っている。一羽は緑色で，もう一羽は黄色だ。

解説：
「残りの一つ」は the other で表す。

3. ②

Three of the workers were absent from the meeting, but (**the others**) joined it.

従業員のうち三人はその会議を欠席したが，残りの全員はそれに参加した。

解説：
「残りのすべて」は the others で表す。be absent from ～「～を欠席する」。

復習テスト（解答）　第26講　Chapter 2

1. ③

I like (**both**) of the two students.

私は，その二人の学生のうち両方とも好きだ。

解説：
the two students「その二人の学生」とあるので，
二つのものを対象とする代名詞 both「両方」が正解。

2. ④

I'll lend you (**any**) of these five DVDs.

この五枚の DVD のうちどれでも君に貸してあげるよ。

解説：
these five DVDs「この五枚の DVD」とあるので，
三つ以上のものを対象とする代名詞 any「どれでも」が正解。

3. ①

I heard both opinions, and (**neither**) of them was wrong.

私は両者の意見を聞いたが，どちらも間違っていなかった。

解説：
both opinions「両者の意見」とあるので，
二つのものを対象とする代名詞 neither「どちらも～ない」が正解。opinion「意見」。

復習テスト（解答）　第26講　Chapter 3

1. ③

(**Each**) of the four movies is interesting.
その4本の映画のそれぞれが面白い。

解説：
空所の直後に of があるので, each of ～で「～のそれぞれ」という意味になる代名詞の Each が正解。
Every も同様の意味があるが，形容詞なので直後に of を続けることはできない。

2. ④

(**Nobody**) arrived late.　誰も遅れずに到着した。

解説：
「誰も～ない」という意味の Nobody が正解。arrive「到着する」。

3. ②

I can’t cook (**anything**).　私は何も料理することができない。

解説：
can’t があるので，否定文で用いて「何も～ない」という意味になる anything が正解。

復習テスト（解答）　第 27 講　Chapter 1

1. ②

Is Fred still (**awake**)?　フレッドはまだ起きているのですか。

解説：
動詞は be 動詞 is で，空所のうしろには何もないので，第Ⅱ文型（SVC）の文。
補語（C）になる限定用法の形容詞 awake が正解。
awake「起きている」は叙述用法でしか使えない形容詞。

2. ④

She is (**an active**) student.　彼女は活発な生徒だ。

解説：
空所には名詞 student を前から修飾する語が入る。
可算名詞 student には冠詞が必要なので，an active が正解。

3. ③

Emma has a new smartphone, but mine is (**old**).
エマは新しいスマートフォンを持っているが，私のものは古い。

解説：
空所のある文の主語は mine「私のもの」。
動詞は be 動詞 is なので，空所には第Ⅱ文型（SVC）の補語（C）になる old が入る。
第 1 文の new は名詞 smartphone を修飾する限定用法で，第 2 文の old は文の補語となる叙述用法。

復習テスト（解答）　第27講　Chapter 2

1. ①

(**It is necessary for you**) to study Japanese history.
あなたは日本史を勉強する必要がある。

解説：
空所には，necessary「必要な」を含む語句が入る。
necessary は人を主語にできない形容詞なので，形式主語 it を用いて，
「～にとって」は for ～で表す。Japanese history「日本史」。

2. ③

Visit my place when (**it is convenient for you**).
あなたが都合のよいときに私の家に来て。

解説：
空所には，convenient「都合のよい，便利な」を含む語句が入る。
convenient は人を主語にできない形容詞なので，形式主語 it を用いて，
「～にとって」は for ～で表す。place「家」。

3. ②

(**It is impossible for her**) to live alone.
彼女が一人で暮らすのは不可能だ。

解説：
空所には，impossible「不可能な」を含む語句が入る。
この意味での impossible は人を主語にできない形容詞なので，形式主語 it を用いて，
「～にとって」は for ～で表す。alone「一人で」。

復習テスト（解答）　第27講　Chapter 3

1. ①

Your decision was (**sensible**).　　君の決断は分別のあるものだった。

解説：
「分別のある」という意味の形容詞 sensible が正解。
sensitive は「敏感な，繊細な」，a sense は名詞で「感覚」，
senseless は「無感覚の，無意味な」の意味。decision「決断」。

2. ③

The boy has an (**imaginary**) friend in his head.
その少年は頭の中に想像上の友人がいる。

解説：
「想像上の」という意味の形容詞 imaginary が正解。
imaginative は「想像力豊かな」，imaginable は「想像できる」の意味。
imagining は「～を想像する」の現在分詞。

3. ④

She is (**respectful**) of her grandfather.
彼女は祖父を敬っている。

解説：
respectful toward[of] ～で「～に敬意を払う」という意味になる。
respective は「それぞれの」，respectable は「立派な」，a respect は名詞で「尊敬，点」の意味。

復習テスト（解答）　第 27 講　Chapter 4

1. ④

(**Few**) students could answer the question.

その質問に答えられる生徒はほとんどいなかった。

解説：
可算名詞の複数形 students を修飾して「(数が) ほとんどない」を表す形容詞 Few が正解。

2. ②

We had (**much**) rain last year.　　昨年は雨がたくさん降った。

解説：
不可算名詞 rain を修飾して「(量が) 多い」を表す形容詞 much が正解。

3. ②

There is (**a little**) wine left in the bottle.

その瓶にはワインが少し残っている。

解説：
不可算名詞 wine を修飾して「(量が) 少しある」を表す語句 a little が正解。

復習テスト（解答）　第 27 講　Chapter 5

1. ④

It will be sunny **tomorrow**.　明日は晴れるだろう。

解説：
tomorrow「明日」は時を表す副詞。時を表す副詞は，基本的に動詞（＋目的語）のうしろに置く。

2. ②

You can **always** send me a message.
君はいつでも私にメッセージを送ることができる。

解説：
always「いつも」は頻度を表す副詞。
頻度を表す副詞は not と同じ位置，つまり一般動詞の前かつ be 動詞・助動詞のうしろに置く。

3. ④

Please read instructions **carefully** before use.
ご使用前に，説明書を注意深く読んでください。

解説：
carefully「注意深く」は様子を表す副詞。様子を表す副詞は，動詞（＋目的語）のうしろに置く。
instructions「説明書」，use「使用」。

復習テスト（解答）　第 27 講　Chapter 6

1. ④

He will come (**home**) soon.　　彼はもうじき帰宅するだろう。

解説：
home は「家に［へ］」という意味の副詞なので，直前に前置詞は伴わない。
come home で「帰宅する」という意味。

2. ②

My brother is going to (**study abroad**) next year.
兄は来年，留学する予定だ。

解説：
abroad は「海外に［へ］」という意味の副詞なので，直前に前置詞は伴わない。
study abroad で「留学する」という意味。

3. ①

I could (**hardly**) sleep last night.　私は昨夜，ほとんど眠れなかった。

解説：
副詞 hardly で「ほとんど～ない」という意味を表す。
同じ副詞の hard「熱心に」との違いに注意。なお，late は「遅れて」，lately は「最近」の意味。

復習テスト（解答）　第 27 講　Chapter 7

1. ①

A: Do you think we will win?　私たちが勝つと思いますか。

B: (**I hope so**).　勝つといいですね。

解説：
B は，I hope (that) we will win. という内容の返事をしていると考えられる。
よって，I hope ～ .「～であることを望む」のうしろに，肯定の that 節を代用できる so を続ける。

2. ③

A: Did she get a cold?　彼女は風邪をひいたのですか。

B: (**I'm afraid so**).　残念ながらそのようです。

解説：
B は，I'm afraid (that) she got a cold. という内容の返事をしていると考えられる。
よって，I'm afraid ～ .「残念ながら～ではないかと思う」のうしろに，
肯定の that 節を代用できる so を続ける。

3. ②

A: Do you think it will rain next Sunday?
今度の日曜日，雨が降ると思いますか。

B: (**I hope not**).　降らないといいですね。

解説：
B は，I hope (that) it will not rain next Sunday. という内容の返事をしていると考えられる。
よって，I hope ～ .「～であることを望む」のうしろに，否定の that 節を代用できる not を続ける。

復習テスト（解答）　第 28 講　Chapter 1

1. ④

I called him (**at**) 7:00 p.m. yesterday.

私は昨日，午後 7 時に彼に電話した。

解説：
空所の直後に 7:00 p.m.「午後 7 時」が続いているので，時刻を表す at が正解。

2. ②

She waited (**at**) the train station.　彼女は鉄道の駅で待った。

解説：
空所の直後に the train station「鉄道の駅」が続いているので，場所を表す at が正解。

3. ③

I was surprised (**at**) what I saw.　私は自分が見たものに驚いた。

解説：
感情を表す語 surprised があることに着目。
空所の直後には what I saw「自分が見たもの」が続いているので，
感情の対象を表す at が正解。be surprised at ～「～に驚く」。

復習テスト（解答）　第 28 講　Chapter 2

1. ②

This anime is based (**on**) a novel.　このアニメは小説に基づいている。

解説：
be based on ～で「～に基づいている」という意味になる。この前置詞 on は根拠を表す。
anime「アニメ」。

2. ③

He relies (**on**) his friend Kenji.　彼は友人のケンジを信頼している。

解説：
rely on ～で「～に頼る，～を信頼する」という意味になる。この前置詞 on は信頼を表す。

3. ①

She is going to leave Japan (**on**) May 15.
彼女は 5 月 15 日に日本を去る予定だ。

解説：
空所のうしろに日付があるので，日付を表す on が正解。

復習テスト（解答）　第 28 講　Chapter 3

1. ④

She’ll get home (**in**) two hours.　彼女は 2 時間後に帰宅するだろう。

解説：
空所のうしろに時間を表す two hours「2 時間」があるので，時の経過を表す in「～後に」が正解。

2. ①

The sun rises (**in**) the east.　太陽は東から昇る。

解説：
空所のうしろには, 広がりのある範囲を表す the east「東」があるので, 方角や方向を表す in が正解。

3. ②

Let’s get (**in**) touch with each other.　お互いに連絡を取り合おう。

解説：
get in touch with ～で「～と連絡を取り合う」という意味になる in が正解。
ここでの in は状態を表す。 each other「お互い」。

復習テスト（解答）　第 28 講　Chapter 4

1. ①

(**To**) my surprise, she passed the test.

驚いたことに，彼女はその試験に合格した。

解説：
to *one's* surprise で「～の驚いたことに」という意味になる。
この to は到達を表し，〈to *one's* ＋感情名詞〉で「～したことに」の意味。

2. ②

Are your parents (**for**) your opinion?

ご両親はあなたの意見に賛成ですか。

解説：
賛成を表す for を入れる。opinion「意見」。

3. ③

I bought this hat (**for**) nine hundred yen.

私はこの帽子を 900 円で購入した。

解説：
空所のうしろに金額を表す語句があるので，交換を表す for「～（の値段）で」が正解。

復習テスト（解答）　第28講　Chapter 5

1. ②

My sister stood (**by**) me about that matter.

姉は例の件で私を支持してくれた。

解説：
stand by ～で「～を支持する」という意味になる。matter「事柄，問題」。

2. ④

This rare card is hard to come (**by**).　このレアカードは入手困難だ。

解説：
come by ～で「～を手に入れる」という意味になる。rare「レアな，珍しい」。

3. ③

I must get home (**by**) 6:30 p.m. today.

私は今日，午後6時30分までに帰宅しなくてはいけない。

解説：
空所のうしろに特定の時刻があるので，「～までに」という期限を表す by を入れる。
「～まで（ずっと）」という継続を表す until との違いに注意。

復習テスト（解答）　第28講　Chapter 6

1. ①

Why don’t we talk about this (**over**) dinner?
この件については夕食を食べながら話しませんか。

解説：
空所のうしろに dinner「夕食」があるので,
〈over ＋食事〉で「食べながら，飲みながら」という従事を表す over が正解。
Why don’t we ～？「～しませんか」。

2. ②

This book is boring (**beyond**) description.
この本は言葉で言い表せないほど退屈だ。

解説：
beyond description で「言葉で言い表せないほど」という意味になる。
〈beyond ＋抽象名詞〉で否定を表す。boring「退屈な」，description「説明，記述」。

3. ③

The sign says a new building is (**under**) construction.
その看板には，新しい建物が建設中だと書かれている。

解説：
under construction で「建設中」という意味になる。〈under ＋抽象名詞〉で最中を表す。
sign「看板」，construction「建設」。

復習テスト（解答）　第29講　Chapter 1

1. ②

Practice very hard, (**and**) you'll win the next tennis match.
とても熱心に練習しなさい，そうすれば君は今度のテニスの試合で勝てるだろう。

解説：
カンマまでが命令文なので，and を入れて，
〈命令文～ , and …〉「～しなさい，そうすれば…」の形にする。match「試合」。

2. ①

Leave now, (**or**) you'll miss the last train.
今出発しなさい，さもないと君は終電を逃すよ。

解説：
カンマまでが命令文なので，or を入れて，
〈命令文～ , or …〉「～しなさい，さもないと…」の形にする。last train「終電」。

3. ③

He went to a bookstore (**and**) bought some books.
彼は書店に行き，本を数冊買った。

解説：
空所の前後にある went to a bookstore と bought some books は，文法上同じ性質なので，
並列で結んで意味が通る等位接続詞の and を入れる。

復習テスト（解答）　第29講　Chapter 2

1. ④

She likes neither snakes (**nor**) spiders.　彼女はヘビもクモも好きではない。

解説：
neither があることに注目する。「A も B も～ない」という意味の neither A nor B の形にする。

2. ②

This book is popular both in Asia (**and**) in Europe.
この本はアジアでもヨーロッパでも人気だ。

解説：
both があることに注目する。「A と B 両方」という意味の both A and B の形にする。
Europe「ヨーロッパ」。

3. ①

Not only he (**but**) also she should join us.
彼だけでなく彼女も私たちに加わるべきだ。

解説：
Not only や also があることに注目する。
「A だけではなく B も」という意味の not only A but also B の形にする。

復習テスト（解答）　第29講　Chapter 3

1. ③

I'll call you (**after**) I have arrived home.　　家に着いたら君に電話するよ。

解説：
空所の前後にある「君に電話する」と「家に帰った」という
二つの内容を結ぶ接続詞として適切なのは，時を表す接続詞の after「～した後」。

2. ④

I took a bath (**while**) she was watching TV.
彼女がテレビを見ている間に，私は風呂に入った。

解説：
空所の前後にある「私は風呂に入った」と「彼女がテレビを見ていた」という
二つの内容を結ぶ接続詞として適切なのは，時を表す接続詞の while「～している間」。
take a bath「風呂に入る」。

3. ①

Please answer my question (**before**) you leave.
出発する前に，私の質問に答えてください。

解説：
空所の前後にある「私の質問に答えてください」と「あなたが出発する」という
二つの内容を結ぶ接続詞として適切なのは，時を表す接続詞の before「～する前」。

復習テスト（解答）　第29講　Chapter 4

1. ①

I slept all day yesterday (**because**) I was sick.
私は昨日，一日中寝ていた。なぜなら具合が悪かったからだ。

解説：
空所の前後にある「私は昨日，一日中寝ていた」と「具合が悪かった」が
原因と結果の関係にあるので，理由を表す接続詞 because「なぜなら～だから」が正解。
because は理由として新しい内容を伝える際に用いる。

2. ④

Many people love cats (**as**) they are cute.
たくさんの人がネコはかわいいという理由でネコを愛している。

解説：
空所のうしろの「それら（=ネコ）はかわいい」は，
前の「たくさんの人がネコを愛している」の理由を表していると判断できるので，
理由を表す接続詞 as が正解。as は理由として既知の内容を伝える際に用いる。

3. ②

(**Now that**) she is 20 years old, she can drink wine.
彼女は今や 20 歳なので，ワインが飲める。

解説：
カンマまでの「彼女は 20 歳だ」は，
カンマ以降の「彼女はワインが飲める」の理由を表していると判断できる。
よって，理由を表す接続詞句 Now that「今や～なので」が正解。wine「ワイン」。

復習テスト（解答）　第29講　Chapter 5

1. ④

(**While**) I like watching soccer, I’m not good at playing it.
私はサッカーを見るのは好きだが，プレーするのは得意ではない。

解説：
カンマ以降の「（サッカーを）プレーするのは得意ではない」は，
カンマまでの「サッカーを見るのが好きだ」から予想される内容と反する。
よって，譲歩を表す While「～だけれども」が正解。be good at ～「～が得意である」。

2. ②

(**Although**) I went to bed early yesterday, I woke up late this morning.
私は昨日早めに寝たが，今朝遅く目を覚ました。

解説：
カンマ以降の「今朝遅く目を覚ました」は，
カンマまでの「昨日早めに寝た」から予想される内容と反する。
よって，譲歩を表す Although「～だけれども」が正解。wake up「目を覚ます」。

3. ③

I’ll go to the party (**whether**) she joins or not.
彼女が参加しようとしまいと，私はそのパーティーに行くつもりだ。

解説：
空所のうしろに or not があるので，
「A だろうと B だろうと」という意で譲歩を表す whether A or B の形にする。

復習テスト（解答）　第29講　Chapter 6

1. ②

She went to bed early (**so that**) she can wake up at 5 a.m. tomorrow.
彼女は，明日は午前 5 時に起きられるよう早めに寝た。

解説：
空所以降の「明日は午前 5 時に起きられる」が，空所までの「早めに寝た」の目的を表しているので，「S が〜するように」という意味の〈so that S ＋助動詞〜〉の形にする。

2. ③

He spoke English (**so**) fast that I couldn’t understand him.
彼はとても速く英語を話したので，私は彼の言っていることがわからなかった。

解説：
that の前後が原因と結果の関係にあり，空所のうしろには副詞が続いている。
よって，「とても〜なので…」という意味の so 〜 that …の形にする。

3. ①

It was (**such**) a heavy box that he couldn’t move it.
それはとても重い箱だったので，彼はそれを動かすことができなかった。

解説：
that の前後が原因と結果の関係にあり，空所のうしろには名詞が続いている。
よって，「とても〜なので…」という意味の such 〜 that …の形にする。move「〜を動かす」。

復習テスト（解答）　第30講　Chapter 1

1. ③

Everyone knows (**that**) she is a good person.

彼女がいい人だということは誰もが知っている。

解説：
空所以降は他動詞 knows の目的語になることがわかる。
よって，knows の目的語となる名詞節を導く that が正解。

2. ①

I learned the fact (**that**) he was from the U.K.

私は，彼がイギリス出身だという事実を知った。

解説：
空所のうしろが前の名詞 the fact「事実」の具体的な内容を表しているので，
the fact と同格の名詞節を導く that が正解。
〈名詞＋ that ～〉で「～という名詞」という意味。

3. ④

The problem is (**that**) my computer is broken.

問題は，私のコンピュータが壊れているということだ。

解説：
この文の動詞は is なので，空所以降は文の補語になることがわかる。
よって，補語となる名詞節を導く that が正解。problem「問題」。

復習テスト（解答）　第30講　Chapter 2

1. ②

(**Whether**) she has her own credit card or not is important.
彼女が自分のクレジットカードを持っているかどうかが重要だ。

解説：
not までが主語のかたまりだと考えられるので，
「～かどうか」という意味で主語となる名詞節を導く Whether が正解。
if にも名詞節を導く働きがあるが，主語に使うことはできない。credit card「クレジットカード」。

2. ④

Do you know (**if**) he is available on that day?
あなたは，彼がその日に都合がよいかどうか知っていますか。

解説：
空所以降は他動詞 know の目的語に相当すると考えられるので，
「～かどうか」という意味で名詞節を導く if が正解。available「手があいている，入手可能な」。

3. ②

Have you decided (**whether**) you’re going to the party or not?
あなたは，パーティーに行くかどうか決めましたか。

解説：
空所以降は他動詞 decide の目的語に相当すると考えられる。
文末に or not があるので，「～かどうか」という意味で名詞節を導く whether が正解。

復習テスト（解答）　第30講　Chapter 3

1. ③

(**Since**) I don’t have the ticket, I have to buy one.

私はチケットを持っていないので，一枚買わなければならない。

解説：
カンマの前後の節が原因と結果の関係にあると判断できるので，
理由を表す Since「～なので」が正解。

2. ①

(**As**) the exam day got closer, he became more nervous.

試験の日が近づくにつれ，彼は緊張してきた。

解説：
比較級 closer と more nervous があることに着目。
比較級を伴って比例を表す As「～するにつれて」が正解。exam「試験」，nervous「緊張して」。

3. ③

(**As**) she was rich, she bought a third house.

彼女は裕福だったので，三つ目の家を買った。

解説：
カンマの前後の節が原因と結果の関係にあると判断できるので，理由を表す As「～なので」が正解。

復習テスト（解答）　第30講　Chapter 4

1. ③

(**Once**) he falls asleep, he doesn’t wake up easily.

彼は一度眠りにつくと，かんたんには目を覚まさない。

解説：
「彼は眠りにつく」と「かんたんには目を覚まさない」という2つの内容を結ぶには，
「一度SがVすると」という意味のonce SVを入れる。

2. ①

You should bring a sweater (**in case**) it gets colder.

寒くなる場合に備えて，セーターを持っていった方がいいよ。

解説：
「君はセーターを持っていくべきだ」と「寒くなる」という2つの内容を結ぶには，
「SがVする場合に備えて」という意味のin case SVを入れる。 sweater「セーター」。

3. ④

He feels very happy (**every time**) he touches his cat.

飼い猫に触れるたびに，彼はとても幸せな気持ちになる。

解説：
「とても幸せな気持ちになる」と「飼い猫に触れる」という2つの内容を結ぶには，
「SがVするたびに」という意味のevery[each] time SVを入れる。

復習テスト（解答）　第30講　Chapter 5

1. ②

She had hardly left home (**when**) it began to snow.

彼女が家を出るとすぐに，雪が降り出した。

解説：
空所の前に hardly があるので，when を入れて，
hardly A when[before] B「A するとすぐに B」の形にする。

2. ③

The movie had scarcely started (**before**) I wanted to go to the bathroom.

その映画が始まるとすぐに，私はお手洗いに行きたくなった。

解説：
空所の前に scarcely があるので，before を入れて，
scarcely A before[when] B「A するとすぐに B」の形にする。
go to the bathroom「お手洗いに行く」。

3. ④

No sooner (**had he eaten**) *sashimi* than he had a stomachache.

彼は刺身を食べるとすぐに，お腹が痛くなった。

解説：
文頭の No sooner に着目。
no sooner A than B「A するとすぐに B」の no sooner が文頭に置かれた場合，
うしろは倒置されて疑問文の語順になる。stomachache「腹痛」。

復習テスト（解答）　第31講　Chapter 1

1. ②

I said, "I am a student."　私は，「私は学生だ」と言った。

⇒ I said I (**was**) a student.　私は，自分が学生だと言った。

解説：
この文を直接話法から間接話法に書き換える際には，
発言部分を示すクォーテーションマーク内の動詞を，時制の一致により said と同じ時制にする。
よって，am の過去形 was が正解。

2. ④

I said, "I have been tired."　私は，「ずっと疲れている」と言った。

⇒ I said I (**had been**) tired.　私は，自分がずっと疲れていると言った。

解説：
時制の一致により，クォーテーションマーク内の現在完了形 have been を過去完了形にした
had been が正解。

3. ③

I said, "I will become a teacher."　私は，「私は教師になる」と言った。

⇒ I said I (**would become**) a teacher.

私は，自分が教師になると言った。

解説：
クォーテーションマーク内の動詞は will become なので，時制の一致により，
will を過去形の would にし，うしろに動詞の原形を続けた would become が正解。

復習テスト（解答）　第 31 講　Chapter 2

1. ④

He said, “I’m walking my dog.”

彼は，「僕は自分のイヌを散歩させている」と言った。

⇒ He said he (**was walking his**) dog.

彼は，自分のイヌを散歩させていると言った。

解説：
“I’m walking my dog.” という発言部分を直接話法から間接話法に書き換える際には，
I を he に，am を was に，my を his にする。人称代名詞の変化に注意。

2. ③

She said, “I don’t know this boy.”

彼女は，「私はこの少年を知らない」と言った。

⇒ She said she (**didn’t know that**) boy.

彼女は，自分はその少年を知らないと言った。

解説：
“I don’t know this boy.” という発言部分を直接話法から間接話法に書き換える際には，
I を she に，don’t を didn’t に，this を that にする。人称代名詞と指示語の変化に注意。

3. ②

He said, “I like this movie very much.”

彼は，「僕はこの映画が大好きだ」と言った。

⇒ He said (**he liked that**) movie very much.

彼は，自分はその映画が大好きだと言った。

解説：
“I like this movie very much.” という発言部分を直接話法から間接話法に書き換える際には，
I を he に，like を liked に，this を that にする。人称代名詞と指示語の変化に注意。

復習テスト（解答）　第31講　Chapter 3

1. ④

He said, “I want to watch a movie today.”

彼は，「僕は今日，映画が見たい」と言った。

⇒ He said he wanted to watch a (**movie that day**).

彼はその日，映画が見たいと言った。

解説：
“I want to watch a movie today.” という発言部分を直接話法から間接話法に書き換える際には，
I を he に，want を wanted に，today を that day にする。時を表す副詞の変化に注意。

2. ④

She said, “I met the boy a few minutes ago.”

彼女は，「私は数分前にその少年に会った」と言った。

⇒ She said she had met the boy (**a few minutes before**).

彼女は，自分が数分前にその少年に会ったと言った。

解説：
“I met the boy a few minutes ago.” という発言部分を
直接話法から間接話法に書き換える際には，
I を she に，met を had met に，a few minutes ago を a few minutes before にする。

3. ②

He said, “I will see her here tomorrow.”

彼は，「僕は明日，ここで彼女に会うだろう」と言った。

⇒ He said he would see her (**there the next day**).

彼は，自分がその翌日にそこで彼女に会うだろうと言った。

解説：
“I will see her here tomorrow.” という発言部分を直接話法から間接話法に書き換える際には，
I を he に，will を would に，here を there に，tomorrow を the next day にする。

復習テスト（解答）　第31講　Chapter 4

1. ②

He said to me, “I went to bed early last night.”
彼は私に,「僕は昨夜，早く寝た」と言った。
⇒ He (**told**) me he had gone to bed early the night before.
彼は私に，自分はその前日の夜に早く寝たと言った。

解説：
空所の直後に目的語 me があるので，他動詞 tell を用いて〈tell ＋人（＋ that）～〉の文にする。

2. ③

She said to me, “Don’t leave now.”
彼女は私に,「今行かないで」と言った。
⇒ She (**told me not to**) leave then.
彼女は私に，そのとき行かないように言った。

解説：
クォーテーションマーク内が否定の命令文。
直接話法の〈say to ＋人 , “否定の命令文”〉は間接話法の〈tell ＋人＋ not to *do*〉に書き換える。

3. ④

He said to me, “Try this cake.”
彼は私に,「このケーキを食べてみて」と言った。
⇒ He (**told me to**) try that cake.
彼は私に，そのケーキを食べてみるように言った。

解説：
クォーテーションマーク内が命令文。
直接話法の〈say to ＋人 , “命令文”〉は間接話法の〈tell ＋人＋ to *do*〉に書き換える。

復習テスト（解答）　第31講　Chapter 5

1. ③

He said to her, “Where are you going?”

彼は彼女に，「君はどこに向かっているの？」と言った。

⇒ He (**asked her where she was**) going.

彼は彼女に，彼女がどこに向かっているか尋ねた。

解説：
クォーテーションマーク内が疑問詞疑問文なので，
〈say to ＋人 , “疑問詞疑問文”〉を〈ask ＋人＋間接疑問文〉に書き換える。間接疑問文内の語順に注意。

2. ②

She said to me, “Do you like cats?”

彼女は私に，「あなたはネコが好き？」と言った。

⇒ She (**asked me whether I liked**) cats.

彼女は私に，私がネコ好きかどうか尋ねた。

解説：
クォーテーションマーク内が Yes/No 疑問文なので，
〈say to ＋人 , “Yes/No 疑問文”〉を〈ask ＋人＋ whether[if] ～〉に書き換える。

3. ③

I said to him, “Will you go there alone?”

私は彼に，「君は一人でそこに行くの？」と言った。

⇒ I (**asked him if he would go**) there alone.

私は彼に，彼が一人でそこに行くかどうか尋ねた。

解説：
クォーテーションマーク内が Yes/No 疑問文なので，
〈say to ＋人 , “Yes/No 疑問文”〉を〈ask ＋人＋ if [whether] ～〉に書き換える。

復習テスト（解答）　第31講　Chapter 6

1. ①

He said to me, “Let’s eat something.”

彼は私に，「何か食べよう」と言った。

⇒ He (**suggested to me**) that we eat something.

彼は私に，私たちが何か食べることを提案した。

解説：
クォーテーションマーク内が提案を表す Let’s ～ . の文なので，
〈say to ＋人 , “Let’s ～ .”〉を〈suggest to ＋人＋ that we ～〉に書き換える。

2. ④

She said to him, “Please tell me the truth.”

彼女は彼に，「私に真実を教えて」と言った。

⇒ She (**asked him to tell her**) the truth.

彼女は彼に，自分に真実を伝えるよう頼んだ。

解説：
クォーテーションマーク内が依頼を表す Please ～ . の文なので，
〈say to ＋人 , “Please ～ .”〉を〈ask ＋人＋ to *do* ～〉に書き換える。

3. ③

I said to her, “Would you call me at 10 a.m.?”

私は彼女に，「午前 10 時に私に電話してもらえますか。」と言った。

⇒ I (**asked her to call me**) at 10 a.m.

私は彼女に，午前 10 時に自分に電話するよう頼んだ。

解説：
クォーテーションマーク内が依頼を表す Would you ～ ? の文なので，
〈say to ＋人 , “Would you ～ ?”〉を〈ask ＋人＋ to *do* ～〉に書き換える。

復習テスト（解答）　第32講　Chapter 1

1. ③

I could (**hardly**) understand her.

私は彼女の言うことがほとんどわからなかった。

解説：
「ほとんど～ない」という程度は，準否定語の hardly[scarcely] で表す。

2. ④

I (**rarely**) stay up all night.　私はめったに徹夜しない。

解説：
「めったに～ない」という頻度は, 準否定語の rarely[seldom] で表す。stay up all night「徹夜する」。

3. ①

I had (**little**) money last month.　私は先月，ほとんどお金がなかった。

解説：
「(数量が）ほとんど～ない」は，準否定語の few[little] で表す。
ここでは空所の直後に不可算名詞 money があるので，little が正解。

復習テスト（解答）　第 32 講　Chapter 2

1. ②

She is (**not always**) busy.　　　彼女はいつも忙しいわけではない。

解説：
「いつも～なわけではない」という部分否定は not always で表す。

2. ④

I couldn’t see (**all**) the animals in the zoo.
私は，その動物園内の全ての動物を見られたわけではなかった。

解説：
「すべての名詞が～なわけではない」という部分否定は
〈not all ＋名詞〉もしくは〈not every ＋単数形の名詞〉で表す。
ここでは空所の直後が the animals なので，all が正解。

3. ③

Your parents or teachers are (**not necessarily**) right.
君の両親や教師が必ずしも正しいとは限らない。

解説：
「必ずしも～なわけではない」という部分否定は not necessarily で表す。

復習テスト（解答）　第32講　Chapter 3

1. ④

The boy is (**by no means**) smart.　その少年は決して賢くはない。

解説：
「決して～ではない」は by no means または far from で表す。smart「賢い」。

2. ②

The book was (**far from**) useful.
その本は決して役立つものではなかった。

解説：
「決して～ではない」は by no means または far from で表す。useful「役に立つ」。

3. ③

He is the (**last**) person to hurt people's feelings.
彼は人の気持ちを傷つけるような人ではない。

解説：
「～するような人ではない」は「～する最後の人」から転じて the last person to *do* で表す。
hurt「～を傷つける」。

復習テスト（解答）　第32講　Chapter 4

1. ①

I had no choice (**but**) to call her.　私は彼女に電話せざるをえなかった。

解説：
「～せざるをえない」は，have no choice but to *do*「～以外選択肢がない」という
前置詞 but「～以外」を用いた二重否定の表現で表す。

2. ④

That day, I read (**nothing**) but comic books.
その日，私は漫画しか読まなかった。

解説：
「～しかない」は，nothing but「～以外の何もない」という
前置詞 but「～以外」を用いた二重否定の表現で表す。

3. ③

He never goes shopping (**without**) spending a lot of money.
彼は買い物に出かけると必ず大金を使う。

解説：
「A すると必ず B する」は never A without B「B なしで決して A しない」という
二重否定の表現で表す。

復習テスト（解答）　第 33 講　Chapter 1

1. ③

It was only last week (**that**) I learned her first name.

私が彼女のファーストネームを知ったのは，つい先週のことだった。

解説：
英文は It was で始まっており，空所のうしろが節になっていることから，
強調構文 It is[was] A that ～ .「～なのは A だ［だった］」だとわかるので，that が正解。
It was のうしろの only last week が強調されている。

2. ①

It is (**because**) he is kind that I like him.

私が彼を好きなのは，彼が優しいからだ。

解説：
英文は It is で始まっており，うしろに that 節があることから，
強調構文 It is A that ～ .「～なのは A だ」だとわかる。
「彼は優しい」が「私が彼を好き」な理由になっているので，because を入れると，
because 節が強調された文になる。

3. ②

It was not (**until**) 2021 that I wore glasses.

2021 年になって初めて，私はメガネをかけた。

解説：
It is not until A that B. の形で，「A まで B しない（＝ A して初めて B する）」という意味の
強調構文になるので，until が正解。glasses「メガネ」。

復習テスト（解答）　第33講　Chapter 2

1. ④

He is not lazy in (**the least**).　　彼は少しも怠惰ではない。

解説：
否定を表す not と空所の前に in があることに着目。
not ～ in the least で「少しも～ない」という意味になるので，the least が正解。lazy「怠惰な」。

2. ②

What in (**the world**) are they doing?
一体全体，彼らは何をしているんだ？

解説：
空所の前に疑問詞 What があることに着目。
疑問詞の直後に in the world または on earth を置くと
「一体全体」と疑問詞を強調することができる。

3. ③

Believe me, Mom. I (**did**) finish my homework.
信じて，お母さん。僕は本当に宿題を終えたんだ。

解説：
空所の直後に動詞の原形 finish があるので，これを強調する助動詞が入るとわかる。
「宿題を終えた」という過去の内容なので did が正解。

復習テスト（解答）　第33講　Chapter 3

1. ②

In that box (**is**) a white cat.　あの箱の中にいるのは白いネコだ。

解説：
文頭に前置詞句 In that box があるので，be 動詞 is を入れると，
第Ⅰ文型の SVM が MVS に文型倒置された文となる。

2. ①

(**Interesting**) was the film we saw.
興味深かったのは，私たちが見た映画だ。

解説：
形容詞 Interesting「興味深い」を入れると，第Ⅱ文型の SVC が CVS に文型倒置された文となる。
Interested も形容詞だが，「(映画が) 興味を持った」という意味になるので不適切。

3. ④

On the corner (**was**) a convenience store.
その角にあったのはコンビニだ。

解説：
文頭に前置詞句 On the corner があるので，be 動詞 was を入れると，
第Ⅰ文型の SVM が MVS に文型倒置された文となる。

復習テスト（解答）　第 33 講　Chapter 4

1. ②

(**Only**) last Saturday did he tell us the truth.
この前の土曜日にようやく，彼は私たちに真実を話した。

解説：
last Saturday のうしろが疑問文の語順になっているので，
否定の意味を持つ副詞を文頭に置いて強調する強制倒置の文だと考えられる。
Only「つい～」を入れると文意が通る。

2. ④

Little (**did**) I imagine that she would be my best friend.
彼女が私の親友になるとは想像もしなかった。

解説：
文頭に否定を表す副詞 Little「少しも～ない」があるので，うしろは疑問文の語順になる。
一般動詞 imagine「～を想像する」が用いられているので，助動詞 do の過去形 did が正解。

3. ③

Never (**have I**) read such an interesting book.
そのような興味深い本は一度も読んだことがない。

解説：
文頭に否定を表す副詞 Never「決して～ない」があるので，うしろは疑問文の語順になる。
経験の現在完了を用いて「読んだことがない」という意味にすると文意が通るので，have I が正解。

復習テスト（解答）　第33講　Chapter 5

1. ③

This food tastes better when (**heated**).
この食べ物は温めた方がおいしい。

解説：
空所の直前にある接続詞 when に着目。接続詞のうしろには本来 SV が必要だが，
選択肢の並びから，when 節の S（主節と同じ This food で，主語）と be 動詞が省略された文
（This food tastes better when it is ...）だと考えられる。
heat「～を熱する，温める」の過去分詞 heated を入れると文意が通る。

2. ①

When (**young**), he lived alone in Osaka.
若いころ，彼は大阪で一人暮らしをしていた。

解説：
空所の直前にある接続詞 when に着目。接続詞のうしろには本来 SV が必要だが，
形容詞 young を入れると，
when 節の S と be 動詞が省略された文（When he was young, ...）になる。

3. ④

(**When in**) this room, you must not use your smartphone.
この部屋にいるときは，君は自分のスマートフォンを使ってはいけない。

解説：
空所の直後に場所を表す this room があるので，接続詞 When とそのうしろに前置詞 in を入れると，
when 節の S と be 動詞が省略された文（When you are in this room, ...）になる。

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。